

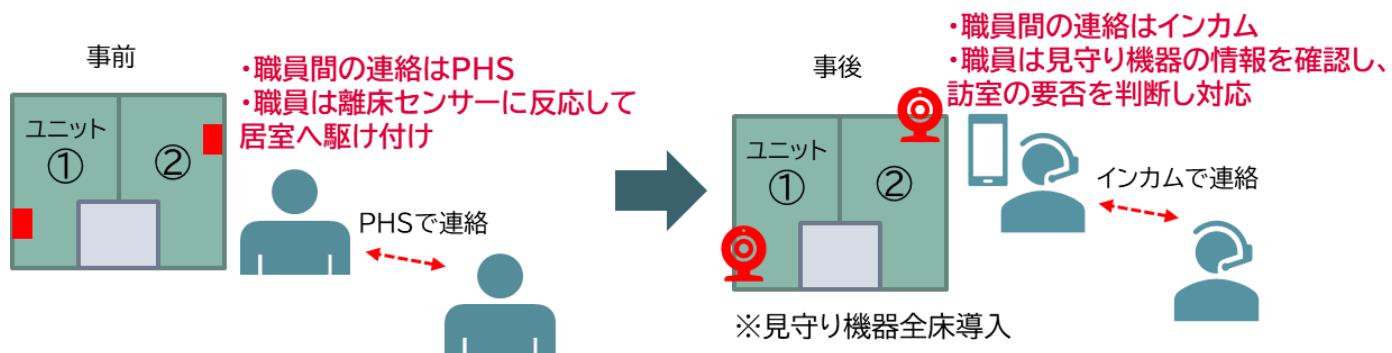
(8) 社会福祉法人墨友会「見守り機器、インカムの導入による情報共有の効果測定」

ア. 実証の概要

① 実証目的

見守り機器(HitomeQ(ひとめく)ケアサポート)、インカムの導入により、介護職員、各専門職間でリアルタイムでの情報共有を促進し、介護職員の業務の中で利用者の介護にかかる時間、その他業務にかかる時間等の把握・整理を行うことで、職員の時間的・心理的負担の軽減に繋げることを目的とした。

図表 IX-260 実証イメージ



② 実証フィールドの概要

本実証では以下の実証フィールドにて効果測定を実施した。なお、実証開始前から見守り機器が稼働していた実証フィールドもあったため、実証結果については、実証フィールド全体(以下、「施設全体」という。)での集計だけでなく、以下の3区分での分析を実施した。

- 以前から稼働:見守り機器が実証以前から稼働していた実証フィールド2か所
- 実証期間中のみ稼働:本実証期間中のみ新たに見守り機器を稼働させた実証フィールド2か所
- 実証期間中のみ稼働(ショートステイ):入所者の入れ替わりが多く他のユニットと利用者の状況が異なるショートステイ1か所

図表 IX-261 実証フィールドの概要

実証フィールド	法人名	施設名	備考
1	社会福祉法人墨友会	特別養護老人ホームサンヴェール尾張旭	4階・2ユニット 実証以前から見守り機器使用
2	社会福祉法人墨友会	特別養護老人ホームサンヴェール尾張旭	2階・2ユニット 実証以前から見守り機器使用
3	社会福祉法人墨友会	特別養護老人ホームサンヴェール尾張旭	3階・2ユニット 実証期間中のみ見守り機器使用
4	社会福祉法人墨友会	特別養護老人ホームサンヴェール	3階・2ユニット

実証 フィールド	法人名	施設名	備考
		尾張旭	実証期間中のみ見守り機器使用
5	社会福祉法人墨友会	特別養護老人ホームサンヴェール尾張旭 ショートステイサンヴェール尾張旭	2階・2ユニット 実証期間中のみ見守り機器使用

③ 実証期間

調査の時期は以下の通りである。

図表 IX-262 調査の時期

調査	時期	補足
事前調査	令和6年9月 30日～10月5日	左記のうち、平日5日間で実施
事後調査①	令和6年 10月 27日～11月1日	左記のうち、平日5日間で実施
事後調査②	令和7年 12月 16日～12月 20日	—
ヒアリング調査	令和7年2月 25日	—

④ 各調査の概要

本調査では、実証の事前と事後(2回)で「タイムスタディ調査」、「職員アンケート調査」、「利用者アンケート調査」を実施し、実証終了後に「ヒアリング調査」を行った。以下に各調査の概要を記載する。

図表 IX-263 各調査の概要

調査項目	調査対象者	調査概要
タイムスタディ調査 (全テーマ共通)	本実証期間に実証フィールドで勤務する職員	<ul style="list-style-type: none"> 回答方法:自記式(1分刻みで自身の作業項目を記入) 調査スケジュール:事前(機器導入前)1回、事後(機器導入後)2回の計3回、それぞれ5日間実施。各日に勤務した職員全員が回答 <p>※以前より機器導入済の実証フィールドにおいては、事前調査5日間のみ機器を一時的に停止し、未使用の状況にて調査を実施</p>
職員向けアンケート調査 (全テーマ共通)	本調査に関与した全職員	<ul style="list-style-type: none"> 回答方式:自記式 調査スケジュール:事前1回、事後2回、職員1名につき1回のみ回答
利用者向けアンケート調査 (全テーマ共通)	機器を提供された全利用者	<ul style="list-style-type: none"> 回答方式:自記式 調査スケジュール:事前1回、事後2回、1職員あたり1回のみ回答。
ヒアリング調査 (全テーマ共通)	施設管理者等	<ul style="list-style-type: none"> 調査方法:WEB会議による聞き取り 調査方法スケジュール:事前1回、事後1回

イ. 利用者・職員概要

① 利用者概要

本調査において利用者向けアンケート調査に回答があった利用者は 76 名であった。

図表 IX-264 利用者概要:性別

		男性	女性	無回答	合計
施設全体	人数(人)	14	62	0	76
	割合	18%	82%	0%	100%
以前から稼働	人数(人)	5	29	0	34
	割合	15%	85%	0%	100%
実証期間中のみ稼働	人数(人)	7	23	0	30
	割合	23%	77%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	人数(人)	2	10	0	12
	割合	17%	83%	0%	100%

図表 IX-265 利用者概要:年齢

		70歳未満	70歳～ 75歳未 満	75歳～ 80歳未 満	80歳～ 85歳未 満	85歳～ 90歳未 満	90歳～ 95歳未 満	95歳以 上	無回答	合計
施設全体	人数(人)	0	2	8	13	17	24	12	0	76
	割合	0%	3%	11%	17%	22%	32%	16%	0%	100%
以前から稼働	人数(人)	0	1	3	5	10	9	6	0	34
	割合	0%	3%	9%	15%	29%	26%	18%	0%	100%
実証期間中のみ稼働	人数(人)	0	0	4	3	6	12	5	0	30
	割合	0%	0%	13%	10%	20%	40%	17%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	人数(人)	0	1	1	5	1	3	1	0	12
	割合	0%	8%	8%	42%	8%	25%	8%	0%	100%

図表 IX-266 利用者概要:要介護度

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	自立・要 支援	その他(区 分申請中 等)	無回答	合計
施設全体	人数(人)	1	2	34	24	15	0	0	0	76
	割合	1%	3%	45%	32%	20%	0%	0%	0%	100%
以前から稼働	人数(人)	0	1	16	9	8	0	0	0	34
	割合	0%	3%	47%	26%	24%	0%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働	人数(人)	1	0	12	11	6	0	0	0	30
	割合	3%	0%	40%	37%	20%	0%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	人数(人)	0	1	6	4	1	0	0	0	12
	割合	0%	8%	50%	33%	8%	0%	0%	0%	100%

図表 IX-267 利用者概要:障害高齢者の日常生活自立度

		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明・未 実施	無回答	合計
施設全体	人数(人)	2	0	12	16	13	24	3	6	0	0	76
	割合	3%	0%	16%	21%	17%	32%	4%	8%	0%	0%	100%
以前から稼働	人数(人)	1	0	3	8	6	10	3	3	0	0	34
	割合	3%	0%	9%	24%	18%	29%	9%	9%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働	人数(人)	1	0	5	4	6	11	0	3	0	0	30
	割合	3%	0%	17%	13%	20%	37%	0%	10%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	人数(人)	0	0	4	4	1	3	0	0	0	0	12
	割合	0%	0%	33%	33%	8%	25%	0%	0%	0%	0%	100%

② 職員概要

本調査において職員向けアンケート調査に回答があった職員は施設全体で 45 名であった。

図表 IX-268 職員概要:性別

		男性	女性	無回答	合計
施設全体	人数(人) 割合	19 42%	26 58%	0 0%	45 100%
以前から稼働	人数(人) 割合	9 50%	9 50%	0 0%	18 100%
実証期間中のみ稼働	人数(人) 割合	7 44%	9 56%	0 0%	16 100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	人数(人) 割合	3 27%	8 73%	0 0%	11 100%

図表 IX-269 職員概要:年齢

		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 ~	無回答	合計
施設全体	人数(人) 割合	0 0%	8 18%	7 16%	16 36%	9 20%	3 7%	2 4%	0 0%	45 100%
以前から稼働	人数(人) 割合	0 0%	4 22%	4 22%	5 28%	3 17%	2 11%	0 0%	0 0%	18 100%
実証期間中のみ稼働	人数(人) 割合	0 0%	4 25%	1 6%	7 44%	4 25%	0 0%	0 0%	0 0%	16 100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	2 18%	4 36%	2 18%	1 9%	2 18%	0 0%	11 100%

図表 IX-270 職員概要:職種

		介護福祉士	介護職員 (介護福祉士以外)	看護職員	リハビリ 職(機能訓練指導員を 含む)	相談員	事務職員	その他	無回答	合計
施設全体	人数(人) 割合	33 73%	10 22%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 4%	0 0%	45 100%
以前から稼働	人数(人) 割合	13 72%	5 28%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	18 100%
実証期間中のみ稼働	人数(人) 割合	13 81%	3 19%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	16 100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	人数(人) 割合	7 64%	2 18%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 18%	0 0%	11 100%

図表 IX-271 職員概要:役職

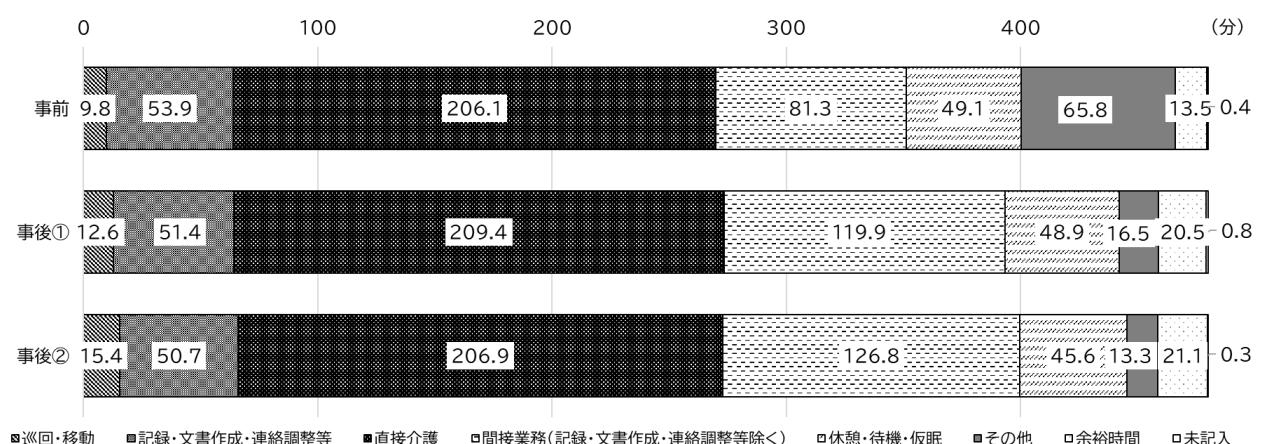
		経営層	管理者・ リーダー	一般職	その他	無回答	合計
施設全体	人数(人) 割合	0 0%	11 24%	29 64%	5 11%	0 0%	45 100%
以前から稼働	人数(人) 割合	0 0%	4 22%	13 72%	1 6%	0 0%	18 100%
実証期間中のみ稼働	人数(人) 割合	0 0%	5 31%	10 63%	1 6%	0 0%	16 100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	人数(人) 割合	0 0%	2 18%	6 55%	3 27%	0 0%	11 100%

ウ. タイムスタディ調査結果

タイムスタディ調査では、事前と事後①、事後②を比較し、顕著な変化はみられなかった。

図表 IX-272 【実証フィールド全体】タイムスタディ調査の結果(職員1人1日(480分)あたり)

区分	直接介護					間接業務					休憩	その他	余裕時間	未記入	合計（分）		
	移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	機能訓練・医療的処置等	その他の直接介護	巡回・移動	記録・文書作成・連絡調整等	利用者のアセスメント・介護計画の作成等	介護ロボット・ICT機器の準備・使用・確認							
事前	時間(分) 割合	26.6 6%	64.8 14%	17.4 4%	5.3 1%	7.6 2%	84.4 18%	9.8 2%	53.9 11%	0.9 0%	5.8 1%	74.6 16%	49.1 10%	65.8 14%	13.5 3%	0.4 0%	480 100%
事後①	時間(分) 割合	26.3 5%	60.5 13%	17.7 4%	10.0 2%	11.1 2%	83.8 17%	12.6 3%	51.4 11%	1.8 0%	7.6 2%	110.4 23%	48.9 10%	16.5 3%	20.5 4%	0.8 0%	480 100%
事後②	時間(分) 割合	25.9 5%	64.3 13%	22.2 5%	3.6 1%	9.7 2%	81.2 17%	15.4 3%	50.7 11%	2.9 1%	8.2 2%	115.7 24%	45.6 9%	13.3 3%	21.1 4%	0.3 0%	480 100%



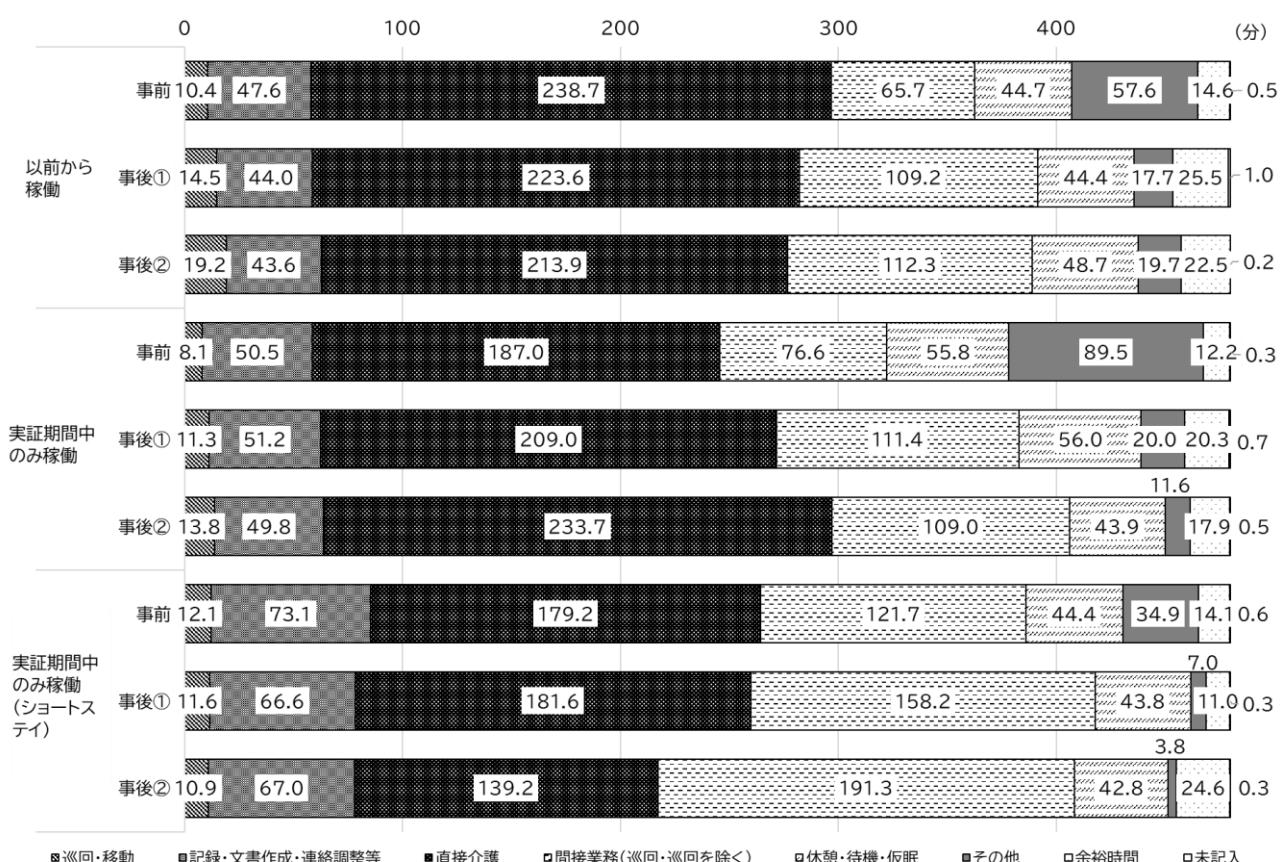
事前 $n=53$ 、事後① $n=51$ 、事後② $n=50$

※5日間の自記式による職員業務量調査(タイムスタディ)を実施。

※グラフトの数は、調査結果の和から 8 時間(480 分)換算した値。

図表 IX-273 【見守り機器の稼働状況別】タイムスタディ調査の結果(職員1人1日(480分)あたり)

		直接介護						間接業務				休憩		余裕時間	未記入	合計(分)		
		移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	機能訓練・医療的処置等	その他の直接介護	巡回・移動	記録・文書作成・連絡調整等	利用者の計画のアセスメント・介護の準備・使用・確認	介護ロボット・ICT機器	その他の間接業務	休憩・待機・仮眠	その他				
以前から稼働	事前	時間(分) 割合	26.5 6%	66.6 14%	22.7 5%	5.5 1%	8.1 2%	109.3 23%	10.4 2%	47.6 10%	1.0 0%	4.1 1%	60.7 13%	44.7 9%	57.6 12%	14.6 3%	0.5 0%	480 100%
	事後①	時間(分) 割合	28.9 6%	61.8 13%	15.9 3%	5.4 1%	14.5 3%	97.3 20%	14.5 3%	44.0 9%	1.5 0%	10.4 2%	97.3 20%	44.4 9%	17.7 4%	25.5 5%	1.0 0%	480 100%
	事後②	時間(分) 割合	24.0 5%	61.4 13%	19.6 4%	3.8 1%	12.1 3%	93.1 19%	19.2 4%	43.6 9%	4.2 1%	7.1 1%	101.1 21%	48.7 10%	19.7 4%	22.5 5%	0.2 0%	480 100%
実証期間中のみ稼働	事前	時間(分) 割合	26.9 6%	68.7 14%	11.5 2%	3.3 1%	4.6 1%	72.0 15%	8.1 2%	50.5 11%	0.2 0%	7.3 2%	69.1 14%	55.8 12%	89.5 19%	12.2 3%	0.3 0%	480 100%
	事後①	時間(分) 割合	23.2 5%	64.0 13%	20.0 4%	3.5 1%	6.5 1%	92.0 19%	11.3 2%	51.2 11%	1.9 0%	7.4 2%	102.2 21%	56.0 12%	20.0 4%	20.3 4%	0.7 0%	480 100%
	事後②	時間(分) 割合	26.0 5%	78.5 16%	25.4 5%	2.7 1%	5.3 1%	95.7 20%	13.8 3%	49.8 10%	2.3 0%	5.0 1%	101.7 21%	43.9 9%	11.6 2%	17.9 4%	0.5 0%	480 100%
実証期間中のみ稼働(ショートステイ)	事前	時間(分) 割合	26.3 5%	53.5 11%	18.7 4%	8.8 2%	12.4 3%	59.4 12%	12.1 3%	73.1 15%	1.9 0%	6.4 1%	113.4 24%	44.4 9%	34.9 7%	14.1 3%	0.6 0%	480 100%
	事後①	時間(分) 割合	27.6 6%	51.0 11%	16.9 4%	3.2 7%	13.6 3%	40.4 8%	11.6 2%	66.6 14%	2.3 0%	2.6 1%	153.2 32%	43.8 9%	7.0 1%	11.0 2%	0.3 0%	480 100%
	事後②	時間(分) 割合	29.3 6%	41.5 9%	21.3 4%	5.2 1%	13.6 3%	28.2 6%	10.9 2%	67.0 14%	1.6 0%	16.9 4%	172.9 36%	42.8 9%	3.8 1%	24.6 5%	0.3 0%	480 100%



以前から稼働(4ユニット):事前 n=21、事後①n=21、事後②n=20

実証期間中のみ稼働(4ユニット):事前 n=21、事後①n=19、事後②n=18

実証期間中のみ稼働(ショートステイ)(2ユニット):事前 n=11、事後①n=11、事後②n=12

※5日間の自記式による職員業務量調査(タイムスタディ)を実施。

※グラフ上の数は、調査結果の和から8時間(480分)換算した値。

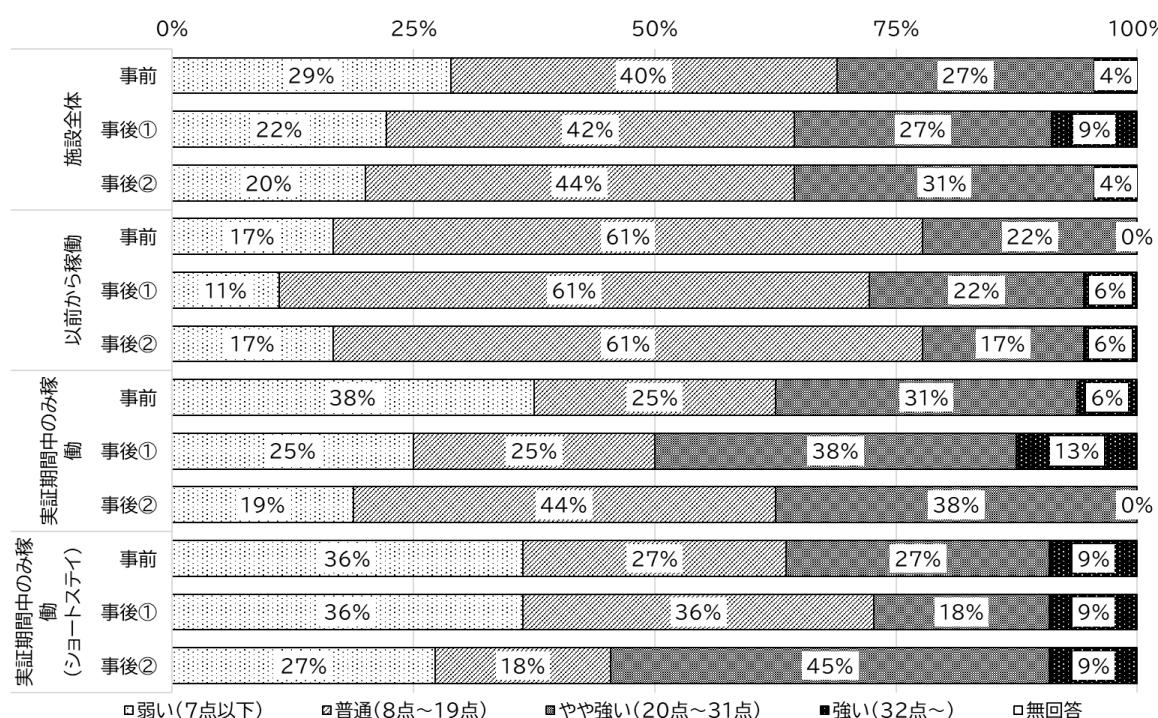
工. 職員向けアンケート調査

① 心理的負担評価

施設全体でみると、心理的負担が弱い(7点以下)職員の割合は、事前では29%であったが、事後①では22%、事後②20%に減少した。心理的負担が強い(32点～)職員の割合は、実証期間中のみ稼働したフィールドにおいて、事後①で増加し、事後②で減少した。

図表 IX-274 職員調査:心理的負担評価

			7点以下	8点～19点	20点～31点	32点～	無回答	合計
施設全体	事前	人数(人)	13	18	12	2	0	45
	事前	割合	29%	40%	27%	4%	0%	100%
	事後①	人数(人)	10	19	12	4	0	45
	事後①	割合	22%	42%	27%	9%	0%	100%
	事後②	人数(人)	9	20	14	2	0	45
	事後②	割合	20%	44%	31%	4%	0%	100%
以前から稼働	事前	人数(人)	3	11	4	0	0	18
	事前	割合	17%	61%	22%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	2	11	4	1	0	18
	事後①	割合	11%	61%	22%	6%	0%	100%
	事後②	人数(人)	3	11	3	1	0	18
	事後②	割合	17%	61%	17%	6%	0%	100%
実証期間中のみ稼働	事前	人数(人)	6	4	5	1	0	16
	事前	割合	38%	25%	31%	6%	0%	100%
	事後①	人数(人)	4	4	6	2	0	16
	事後①	割合	25%	25%	38%	13%	0%	100%
	事後②	人数(人)	3	7	6	0	0	16
	事後②	割合	19%	44%	38%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事前	人数(人)	4	3	3	1	0	11
	事前	割合	36%	27%	27%	9%	0%	100%
	事後①	人数(人)	4	4	2	1	0	11
	事後①	割合	36%	36%	18%	9%	0%	100%
	事後②	人数(人)	3	2	5	1	0	11
	事後②	割合	27%	18%	45%	9%	0%	100%



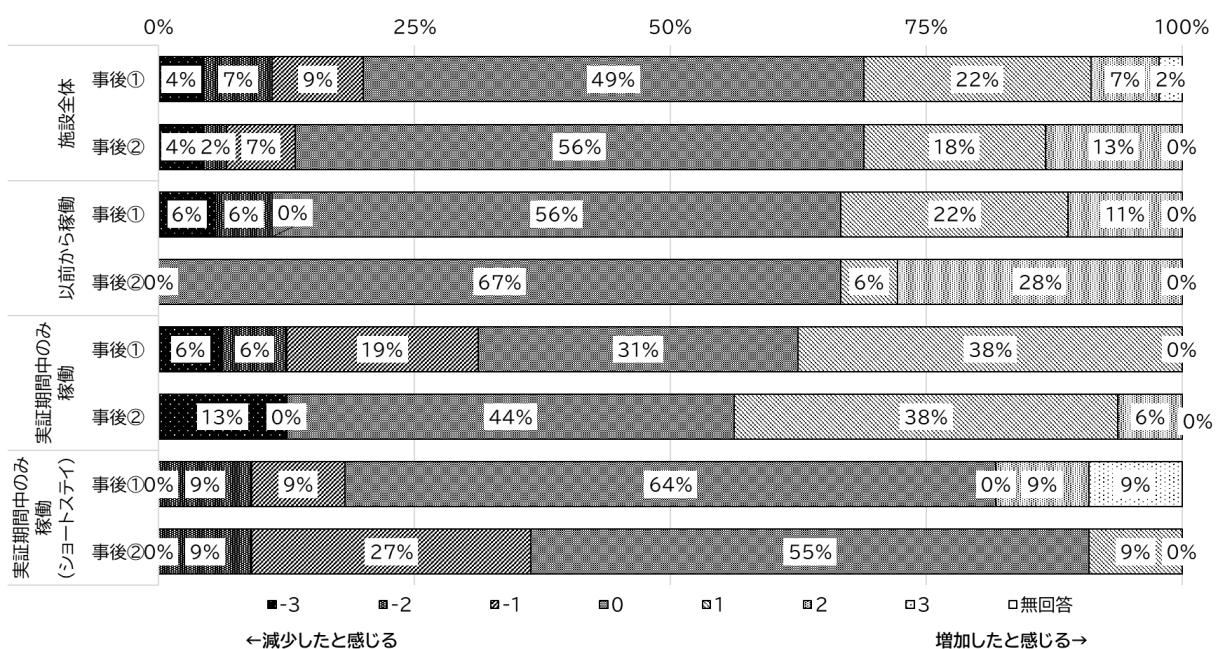
※心理的負担評価(SRS-18)は、18 項目からなる個人の心理的ストレス反応を評価する尺度。各項目について「全くちがう(0点)」～「その通りだ(3点)」で評価する。合計点が0～7点を「弱い」、8～19 点を「普通」、20～31 点を「やや強い」、32 点以上を「強い」と評価した。事前調査および事後調査ともに回答のあった職員のみを集計対象とした。事前調査または事後調査①・②で、各 18 項目のうち 1 項目でも無回答がある職員はすべて無回答とした。また、各項目の回答が 0、1、2、3 以外の場合は無回答処理をした。

② 機器導入によるモチベーションの変化

機器導入による仕事のやりがいの変化は、以前から稼働していたフィールドと比較し、実証期間中のみ稼働したフィールドで、「増加した」と回答した職員が多い傾向にあった。実証期間中のみ稼働(ショートステイ)のフィールドでは、事後①で 18%、事後②で 9% にとどまった。

図表 IX-275 職員調査:機器導入による、仕事のやりがいの変化

			←減少したと感じる							増加したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
施設全体	事後①	人数(人)	2	3	4	22	10	3	1	0			45
		割合	4%	7%	9%	49%	22%	7%	2%	0%			100%
以前から稼働	事後②	人数(人)	2	1	3	25	8	6	0	0			45
		割合	4%	2%	7%	56%	18%	13%	0%	0%			100%
実証期間中のみ稼働	事後①	人数(人)	1	1	0	10	4	2	0	0			18
		割合	6%	6%	0%	56%	22%	11%	0%	0%			100%
実証期間中のみ稼働(ショートステイ)	事後②	人数(人)	0	0	0	12	1	5	0	0			18
		割合	0%	0%	0%	67%	6%	28%	0%	0%			100%
実証期間中のみ稼働(ショートステイ)	事後①	人数(人)	1	1	3	5	6	0	0	0			16
		割合	6%	6%	19%	31%	38%	0%	0%	0%			100%
実証期間中のみ稼働(ショートステイ)	事後②	人数(人)	2	0	0	7	6	1	0	0			16
		割合	13%	0%	0%	44%	38%	6%	0%	0%			100%
実証期間中のみ稼働(ショートステイ)	事後①	人数(人)	0	1	1	7	0	1	1	0			11
		割合	0%	9%	9%	64%	0%	9%	9%	0%			100%
実証期間中のみ稼働(ショートステイ)	事後②	人数(人)	0	1	3	6	1	0	0	0			11
		割合	0%	9%	27%	55%	9%	0%	0%	0%			100%



※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の 7 段階で評価した。

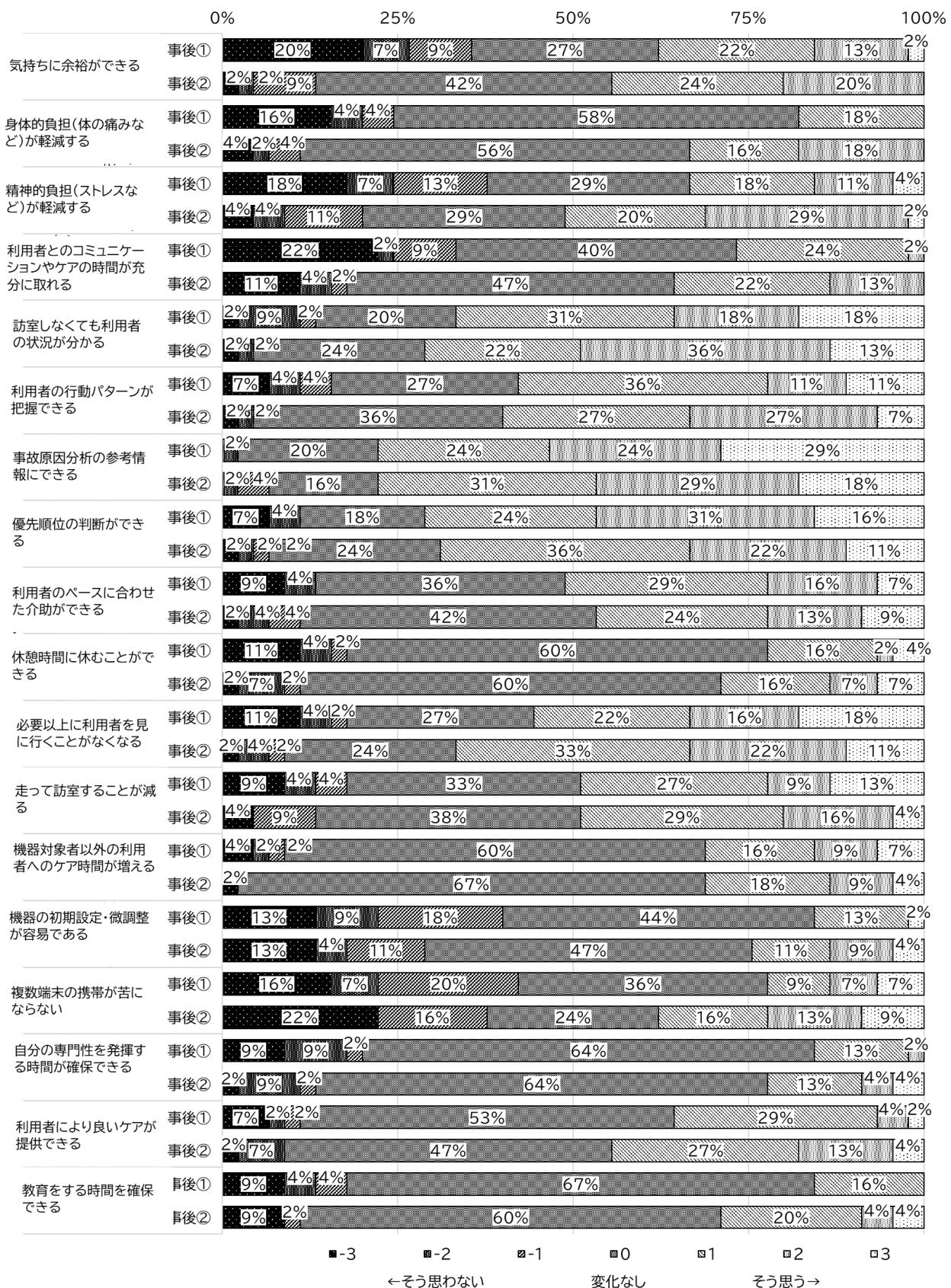
③ 機器導入による職員や施設業務の変化

機器導入による職員や施設業務の変化として、「そう思う」の回答が多かった上位項目は、「事故原因分析の参考情報にできる」「利用者の行動パターンが把握できる」「優先順位の判断ができる(同時コールの発生、他の利用者の介護中)」であった。複数の項目において、事後①と比較し、事後②で「そう思う」の回答が増加した。

「気持ちに余裕ができる」「身体的負担(体の痛みなど)が軽減する」「精神的負担(ストレスなど)が軽減する」に対し、「そう思う」と回答した割合は、事後①と比較し事後②で増加した。

図表 IX-276 【施設全体】職員調査:機器導入によ職員や施設業務の変化

			←そう思わない			変化なし			そう思う→			無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
気持ちに余裕ができる	事後①	人数(人)	9	3	4	12	10	6	1	0	45		
		割合	20%	7%	9%	27%	22%	13%	2%	0%	100%		
身体的負担(体の痛みなど)が軽減する	事後①	人数(人)	7	2	2	26	8	0	0	0	45		
		割合	16%	4%	4%	58%	18%	0%	0%	0%	100%		
精神的負担(ストレスなど)が軽減する	事後①	人数(人)	2	1	2	25	7	8	0	0	45		
		割合	4%	2%	4%	56%	16%	18%	0%	0%	100%		
利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れる	事後①	人数(人)	8	3	6	13	8	5	2	0	45		
		割合	18%	7%	13%	29%	18%	11%	4%	0%	100%		
訪室しなくても利用者の状況が分かる(即時性)	事後①	人数(人)	10	1	4	18	11	1	0	0	45		
		割合	22%	2%	9%	40%	24%	2%	0%	0%	100%		
利用者の行動パターンが把握できる	事後①	人数(人)	5	2	1	21	10	6	0	0	45		
		割合	11%	4%	2%	47%	22%	13%	0%	0%	100%		
事故原因分析の参考情報にできる	事後①	人数(人)	3	2	2	12	16	5	5	0	45		
		割合	7%	4%	4%	27%	36%	11%	11%	0%	100%		
優先順位の判断ができる(同時コールの発生、他の利用者の介護中)	事後①	人数(人)	0	1	0	9	14	8	8	0	45		
		割合	0%	2%	0%	20%	31%	18%	18%	0%	100%		
利用者のベースに合わせた介助ができる	事後①	人数(人)	3	2	1	27	7	1	2	0	45		
		割合	2%	4%	4%	42%	24%	13%	9%	0%	100%		
休憩時間に休むことができる	事後①	人数(人)	5	2	1	27	7	1	2	0	45		
		割合	11%	4%	2%	60%	16%	2%	4%	0%	100%		
必要以上に利用者を見に行くことがなくなる	事後①	人数(人)	5	2	1	12	10	7	8	0	45		
		割合	11%	4%	2%	27%	22%	16%	18%	0%	100%		
走って訪室することが減る	事後①	人数(人)	2	0	4	17	13	7	2	0	45		
		割合	4%	0%	9%	38%	29%	16%	4%	0%	100%		
機器対象者以外の利用者へのケア時間が増える	事後①	人数(人)	2	1	1	27	7	4	3	0	45		
		割合	4%	2%	2%	60%	16%	9%	7%	0%	100%		
機器の初期設定・微調整が容易である	事後①	人数(人)	6	4	8	20	6	0	1	0	45		
		割合	13%	9%	18%	44%	13%	0%	2%	0%	100%		
複数端末の携帯が苦にならない	事後①	人数(人)	6	2	5	21	5	4	2	0	45		
		割合	13%	4%	11%	47%	11%	9%	4%	0%	100%		
自分の専門性を發揮する時間が確保できる	事後①	人数(人)	7	3	9	16	4	3	0	0	45		
		割合	16%	7%	20%	36%	9%	7%	0%	0%	100%		
利用者により良いケアが提供できる	事後①	人数(人)	10	0	7	11	7	6	4	0	45		
		割合	22%	0%	16%	24%	16%	13%	9%	0%	100%		
教育をする(教育をうける)時間を確保できる	事後①	人数(人)	4	4	1	29	6	1	0	0	45		
		割合	9%	9%	2%	64%	13%	4%	4%	0%	100%		
	事後②	人数(人)	1	3	0	21	12	6	2	0	45		
		割合	2%	7%	0%	47%	27%	13%	4%	0%	100%		
	事後①	人数(人)	4	2	2	30	7	0	0	0	45		
		割合	9%	4%	4%	67%	16%	0%	0%	0%	100%		
	事後②	人数(人)	4	0	1	27	9	2	2	0	45		
		割合	9%	0%	2%	60%	20%	4%	4%	0%	100%		



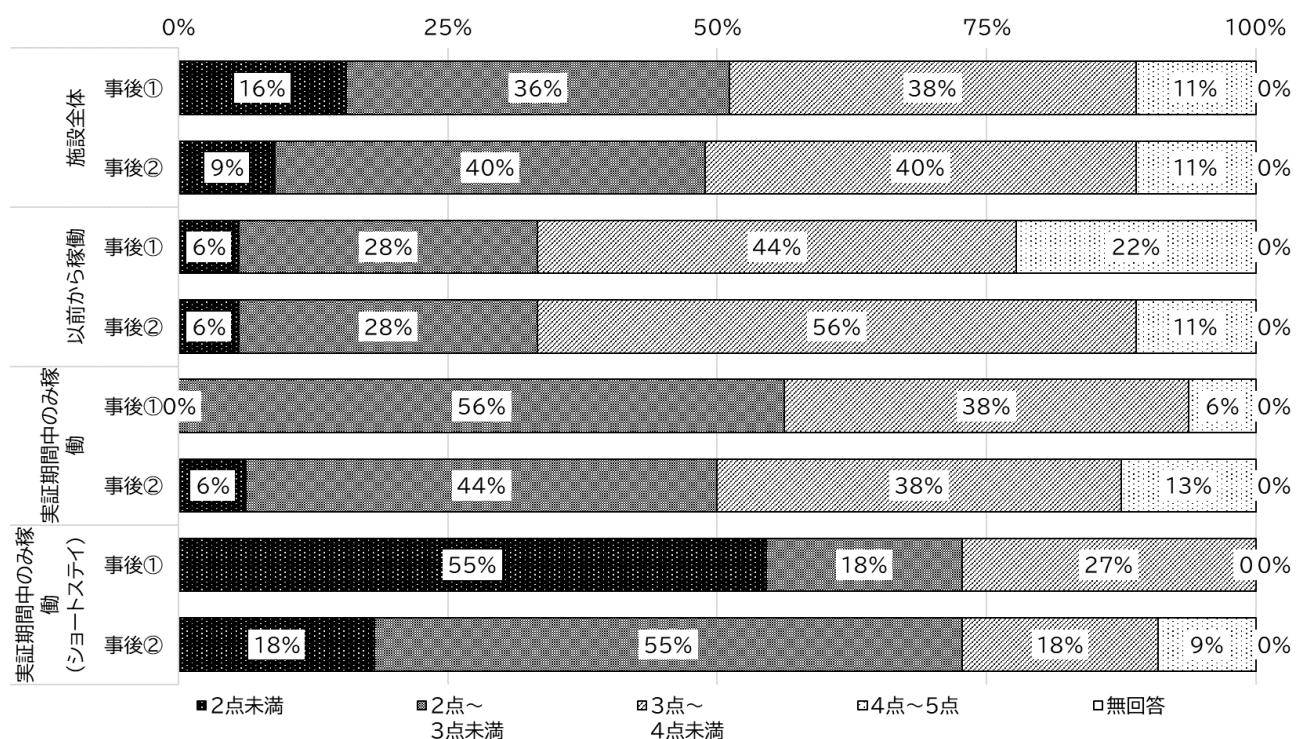
※質問項目に対し、-3(そう思わない)～+3(そう思う)の7段階で評価した。

④ 導入機器の満足度評価 ※出典:QUEST 福祉用具満足度評価

導入機器の満足度評価については、満足度 3 点以上である割合を比較すると、以前から稼働していたフィールドでは、事後①、事後②ともに約 7 割であったが、実証期間中のみ稼働したフィールドでは、事後①は 44%、事後②は 51% であった。実証期間中のみ稼働(ショートステイ)のフィールドでは、事後①、事後②ともに 27% であった。

図表 IX-277 職員調査:導入機器の満足度評価(総合評価)

			2点未満	2点～3点未満	3点～4点未満	4点～5点	無回答	合計
施設全体	事後①	人数(人)	7	16	17	5	0	45
		割合	16%	36%	38%	11%	0%	100%
以前から稼働	事後①	人数(人)	1	5	8	4	0	18
		割合	6%	28%	44%	22%	0%	100%
実証期間中のみ稼働	事後①	人数(人)	1	5	10	2	0	18
		割合	6%	28%	56%	11%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後①	人数(人)	0	9	6	1	0	16
		割合	0%	56%	38%	6%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後②	人数(人)	1	7	6	2	0	16
		割合	6%	44%	38%	13%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後①	人数(人)	6	2	3	0	0	11
		割合	55%	18%	27%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後②	人数(人)	2	6	2	1	0	11
		割合	18%	55%	18%	9%	0%	100%



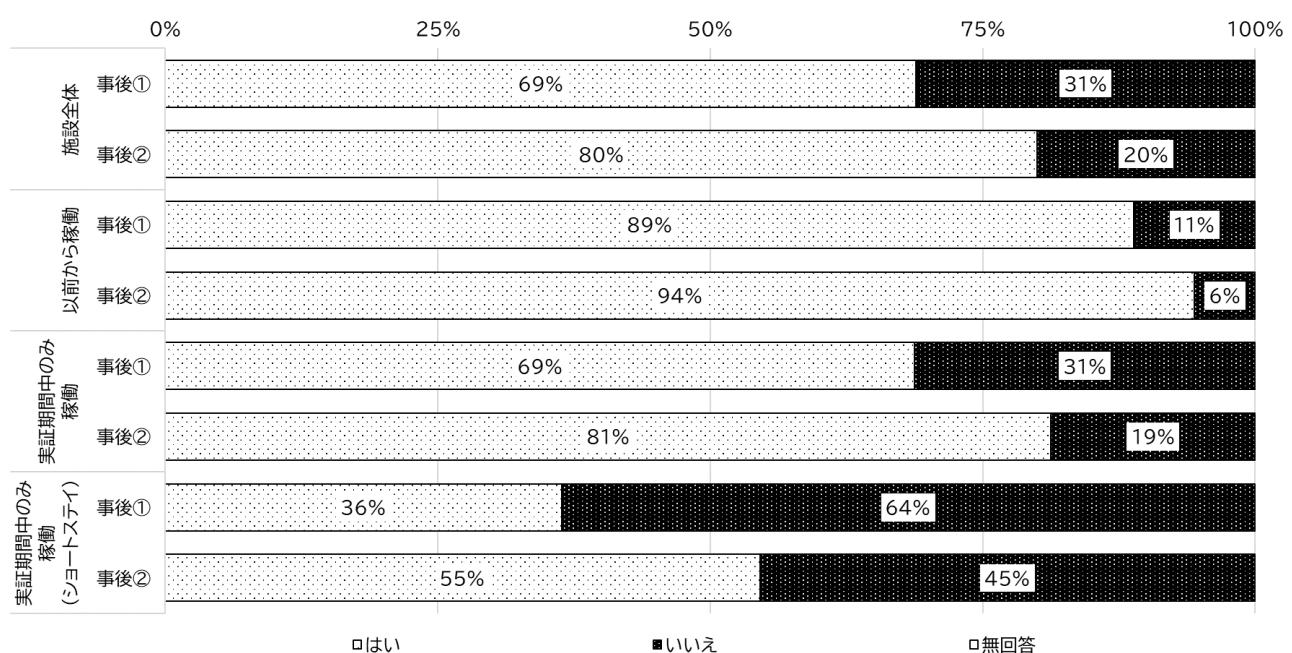
⑤ 導入機器の満足度評価 機器の継続利用意向

機器の継続利用意向について、継続利用を希望する職員は從前からの稼働状況に依存せず、事後①と比較し、事後②で増加した。実証期間中のみ稼働(ショートステイ)のフィールドにおいては、機器の継続利用を希望しない職員が、事後①では64%、事後②では45%であった。

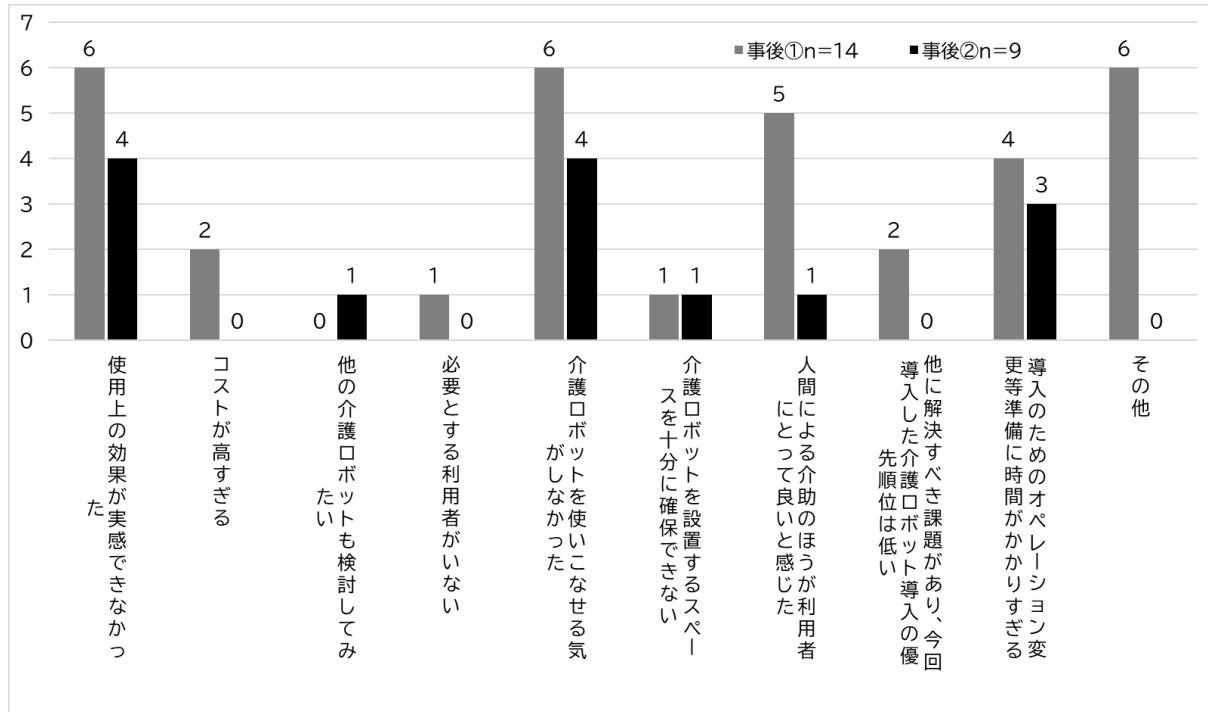
継続して利用したいと思わない理由として、事後①では「使用上の効果を実感できなかった」、「介護ロボットを使いこなせる気がしなかった」、「人間による介助の方が利用者にとってよいと感じた」が多く挙げられた。

図表 IX-278 職員調査:導入機器の満足度評価 機器の継続利用意向

			はい	いいえ	無回答	合計
施設全体	事後①	人数(人)	31	14	0	45
	割合	69%	31%	0%	100%	
以前から稼働	事後①	人数(人)	16	2	0	18
	割合	89%	11%	0%	100%	
実証期間中のみ稼働	事後①	人数(人)	11	5	0	16
	割合	69%	31%	0%	100%	
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後①	人数(人)	13	3	0	16
	割合	81%	19%	0%	100%	
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後①	人数(人)	4	7	0	11
	割合	36%	64%	0%	100%	
	事後②	人数(人)	6	5	0	11
	割合	55%	45%	0%	100%	



図表 IX-279 職員調査:継続して利用したいと思わない理由
(機器の継続利用意向で「いいえ」と回答した場合のみ)



【事後①:その他(主な自由記述)】

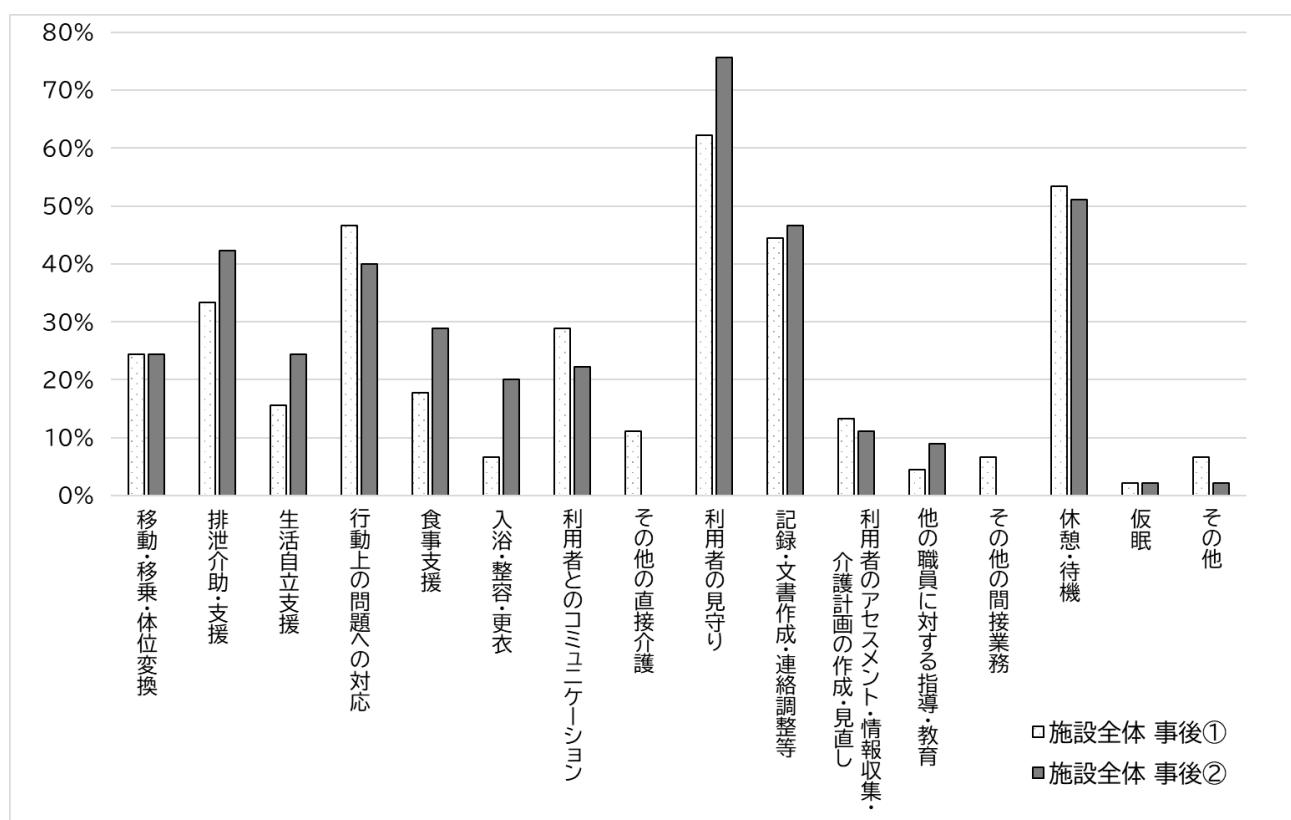
- ・ 利用する機会がない。
- ・ 誤作動が多い、充電がすぐになくなる、重い、ぶつけてすぐに画面が割れそう。
- ・ 部屋の位置を固定しなければいけない、位置の変更には 3 日かかるというのは凄く不便に感じた。自分自身の部署には不向きだと感じた。
- ・ ショートステイでは利用者様が入れ替わり、レイアウトの変更が必要だが、機械導入によりそれができない。部屋を利用者に合わせるのではなく、部屋に利用者を合わせている感じがとても悪い印象です。カメラの設定変更にはオペレーターに要請して直ぐに対応出来ないのもショートステイでは難しい課題だと思われます。
- ・ スタッフも監視されているので気持ちが休まる時が感じない。

⑥ 職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間

職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間として、事後①、事後②ともに最も多かった回答は、「利用者の見守り」であり、事後②では、事後①と比較し、さらに増加した。

図表 IX-280 職員調査:職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間

		直接介護							間接業務				休憩		合計（人）				
		移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	食事支援	入浴・整容・更衣	利用者とのコミュニケーション	その他の直接介護	利用者の見守り	記録・文書作成	利用者のアセスメント・見直し・情報収集	他の職員に対する指導・教育	その他の間接業務	休憩・待機	仮眠			
施設全体	事後①	人數(人)	11	15	7	21	8	3	13	5	28	20	6	2	3	24	1	3	45
		割合	24%	33%	16%	47%	18%	7%	29%	11%	62%	44%	13%	4%	7%	53%	2%	7%	-
	事後②	人數(人)	11	19	11	18	13	9	10	0	34	21	5	4	0	23	1	1	45
		割合	24%	42%	24%	40%	29%	20%	22%	0%	76%	47%	11%	9%	0%	51%	2%	2%	-



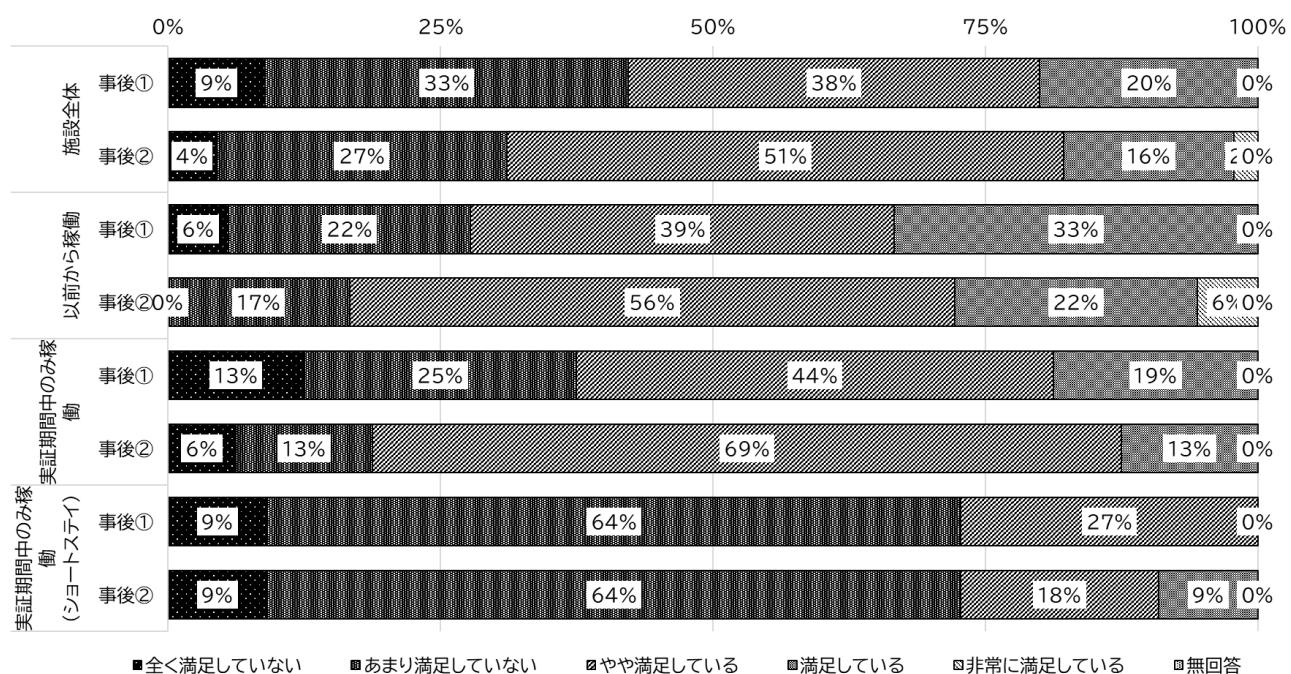
※該当する項目をすべて選択する設問。

⑦ 満足度評価

導入機器を使用したケアに対する満足度評価については、以前から稼働していたフィールドおよび実証期間中のみ稼働したフィールドでは、機器導入に対し、「やや満足している」「満足している」「非常に満足している」と回答した職員の割合は、事後①と比較し事後②で増加した。実証期間中のみ稼働した(ショートステイ)フィールドでは、変化がみられなかった。

図表 IX-281 職員調査:満足度評価

			全く満足していない	あまり満足していない	やや満足している	満足している	非常に満足している	無回答	合計
施設全体	事後①	人数(人)	4	15	17	9	0	0	45
		割合	9%	33%	38%	20%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	2	12	23	7	1	0	45
		割合	4%	27%	51%	16%	2%	0%	100%
以前から稼働	事後①	人数(人)	1	4	7	6	0	0	18
		割合	6%	22%	39%	33%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	3	10	4	1	0	18
		割合	0%	17%	56%	22%	6%	0%	100%
実証期間中のみ稼働	事後①	人数(人)	2	4	7	3	0	0	16
		割合	13%	25%	44%	19%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	1	2	11	2	0	0	16
		割合	6%	13%	69%	13%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後①	人数(人)	1	7	3	0	0	0	11
		割合	9%	64%	27%	0%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	1	7	2	1	0	0	11
		割合	9%	64%	18%	9%	0%	0%	100%



※質問項目に対し、1(全く満足していない)～5(非常に満足している)の5段階で評価した。

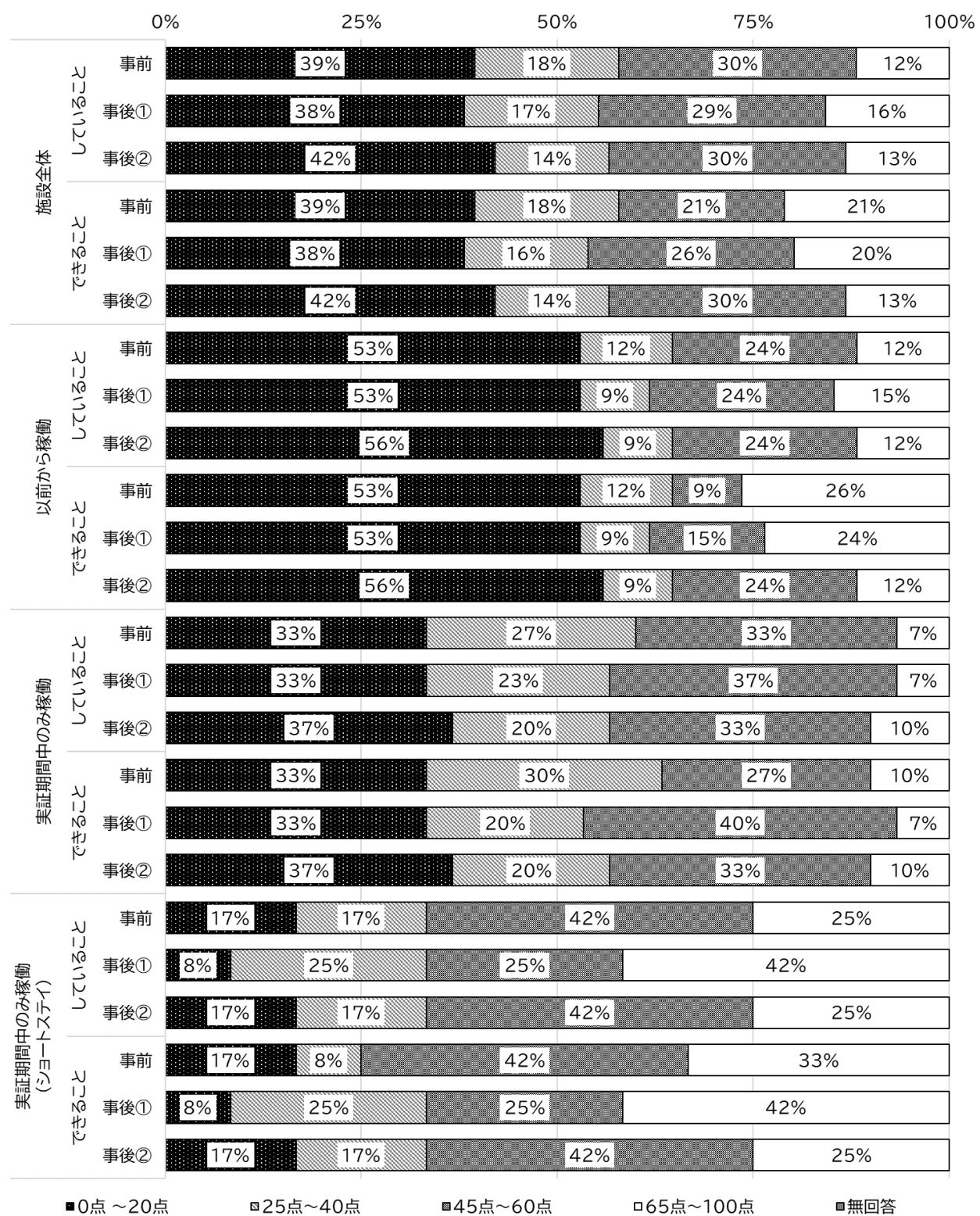
オ. 利用者向けアンケート調査

① ADL の変化

ADL について、事前と事後①、事後②を比較し、顕著な変化はみられなかった。

図表 IX-282 利用者調査:ADL の変化

			0点～ 20点	25点～ 40点	45点～ 60点	65点～ 100点	無回答	合計	
施設全体	している こと	事前	人数(人) 割合	30 39%	14 18%	23 30%	9 12%	0 0%	76 100%
		事後①	人数(人) 割合	29 38%	13 17%	22 29%	12 16%	0 0%	76 100%
		事後②	人数(人) 割合	32 42%	11 14%	23 30%	10 13%	0 0%	76 100%
	できるこ と	事前	人数(人) 割合	30 39%	14 18%	16 21%	16 21%	0 0%	76 100%
		事後①	人数(人) 割合	29 38%	12 16%	20 26%	15 20%	0 0%	76 100%
		事後②	人数(人) 割合	32 42%	11 14%	23 30%	10 13%	0 0%	76 100%
以前から稼働	している こと	事前	人数(人) 割合	18 53%	4 12%	8 24%	4 12%	0 0%	34 100%
		事後①	人数(人) 割合	18 53%	3 9%	8 24%	5 15%	0 0%	34 100%
		事後②	人数(人) 割合	19 56%	3 9%	8 24%	4 12%	0 0%	34 100%
	できるこ と	事前	人数(人) 割合	18 53%	4 12%	3 9%	9 26%	0 0%	34 100%
		事後①	人数(人) 割合	18 53%	3 9%	5 15%	8 24%	0 0%	34 100%
		事後②	人数(人) 割合	19 56%	3 9%	8 24%	4 12%	0 0%	34 100%
実証期間中のみ稼働	している こと	事前	人数(人) 割合	10 33%	8 27%	10 33%	2 7%	0 0%	30 100%
		事後①	人数(人) 割合	10 33%	7 23%	11 37%	2 7%	0 0%	30 100%
		事後②	人数(人) 割合	11 37%	6 20%	10 33%	3 10%	0 0%	30 100%
	できるこ と	事前	人数(人) 割合	10 33%	9 30%	8 27%	3 10%	0 0%	30 100%
		事後①	人数(人) 割合	10 33%	6 20%	12 40%	2 7%	0 0%	30 100%
		事後②	人数(人) 割合	11 37%	6 20%	10 33%	3 10%	0 0%	30 100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	している こと	事前	人数(人) 割合	2 17%	2 17%	5 42%	3 25%	0 0%	12 100%
		事後①	人数(人) 割合	1 8%	3 25%	3 25%	5 42%	0 0%	12 100%
		事後②	人数(人) 割合	2 17%	2 17%	5 42%	3 25%	0 0%	12 100%
	できるこ と	事前	人数(人) 割合	2 17%	1 8%	5 42%	4 33%	0 0%	12 100%
		事後①	人数(人) 割合	1 8%	3 25%	3 25%	5 42%	0 0%	12 100%
		事後②	人数(人) 割合	2 17%	2 17%	5 42%	3 25%	0 0%	12 100%



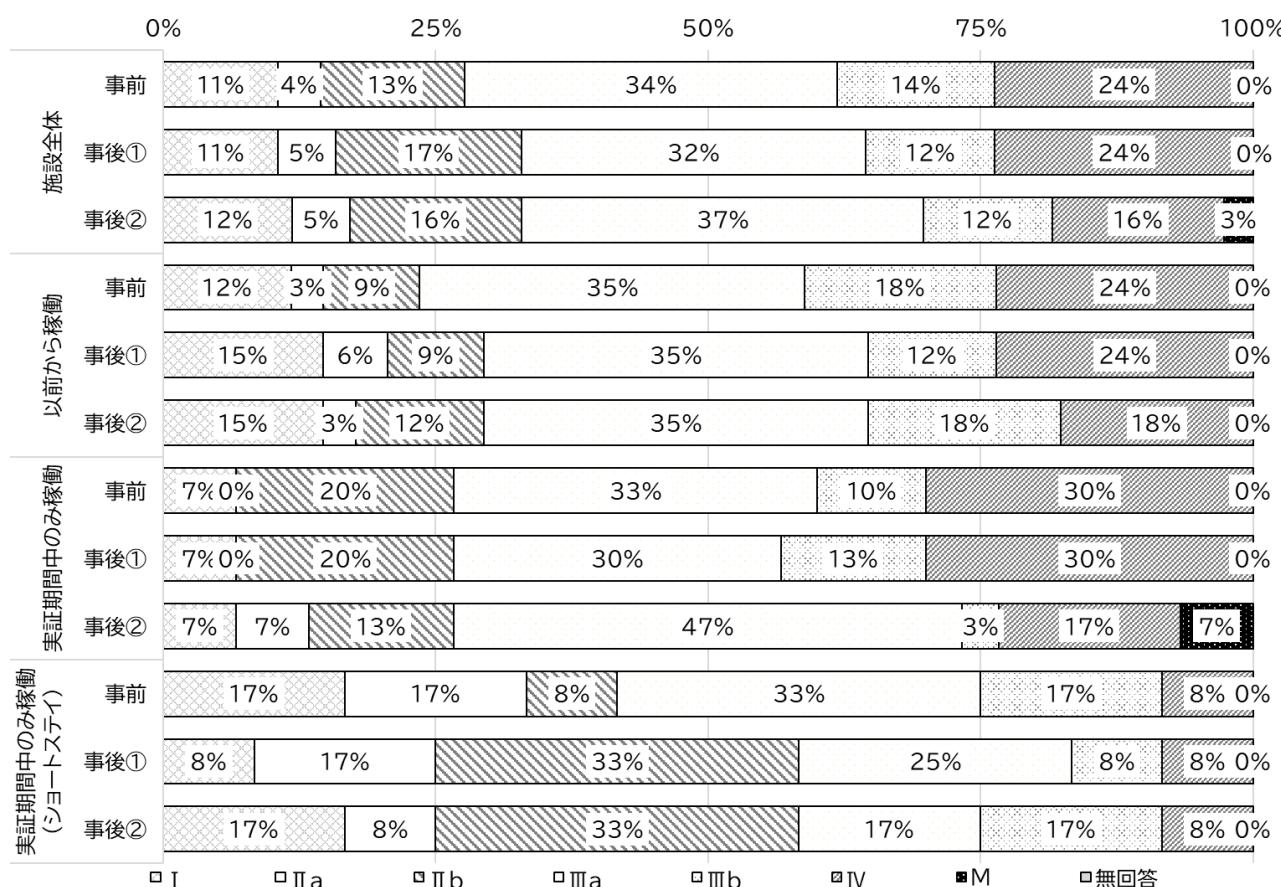
※事前調査または事後調査で、各 10 項目のうち 1 項目でも無回答がある場合は無回答処理をした。

② 認知症高齢者の日常生活自立度の変化

認知症高齢者の日常生活自立度について、事前と事後①、事後②を比較し、顕著な変化はみられなかつた。

図表 IX-283 利用者調査:認知症高齢者の日常生活自立度の変化

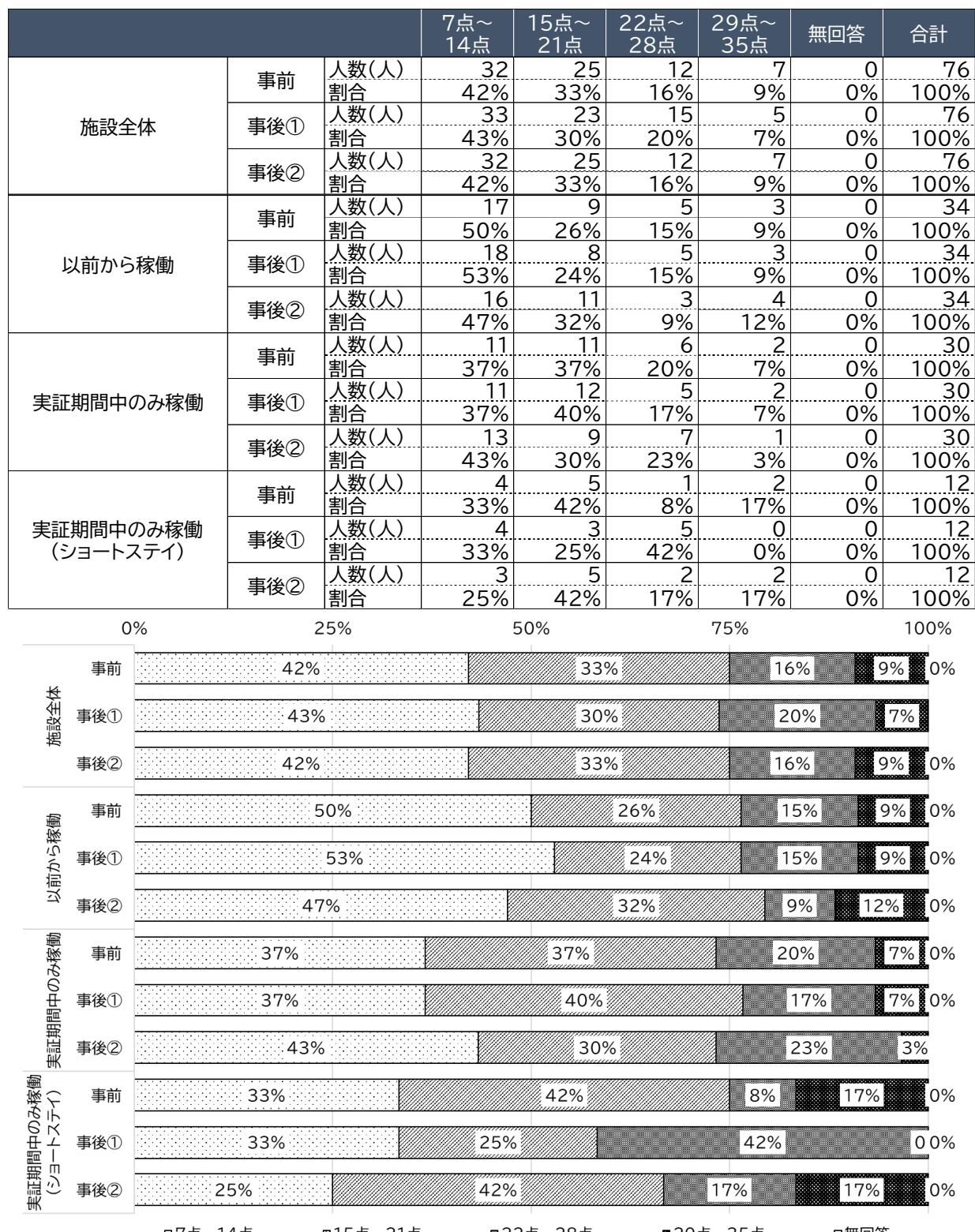
			I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	無回答	合計
施設全体	事前	人数(人)	8	3	10	26	11	18	0	0	76
		割合	11%	4%	13%	34%	14%	24%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	8	4	13	24	9	18	0	0	76
		割合	11%	5%	17%	32%	12%	24%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	9	4	12	28	9	12	2	0	76
		割合	12%	5%	16%	37%	12%	16%	3%	0%	100%
以前から稼働	事前	人数(人)	4	1	3	12	6	8	0	0	34
		割合	12%	3%	9%	35%	18%	24%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	5	2	3	12	4	8	0	0	34
		割合	15%	6%	9%	35%	12%	24%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	5	1	4	12	6	6	0	0	34
		割合	15%	3%	12%	35%	18%	18%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働	事前	人数(人)	2	0	6	10	3	9	0	0	30
		割合	7%	0%	20%	33%	10%	30%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	2	0	6	9	4	9	0	0	30
		割合	7%	0%	20%	30%	13%	30%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	2	2	4	14	1	5	2	0	30
		割合	7%	7%	13%	47%	3%	17%	7%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事前	人数(人)	2	2	1	4	2	1	0	0	12
		割合	17%	17%	8%	33%	17%	8%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	1	2	4	3	1	1	0	0	12
		割合	8%	17%	33%	25%	8%	8%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	2	1	4	2	2	1	0	0	12
		割合	17%	8%	33%	17%	17%	8%	0%	0%	100%



③ 生活・認知機能尺度の変化

生活・認知機能尺度について、事前と事後①、事後②を比較し、顕著な変化はみられなかった。

図表 IX-284 利用者調査:生活・認知機能尺度の変化

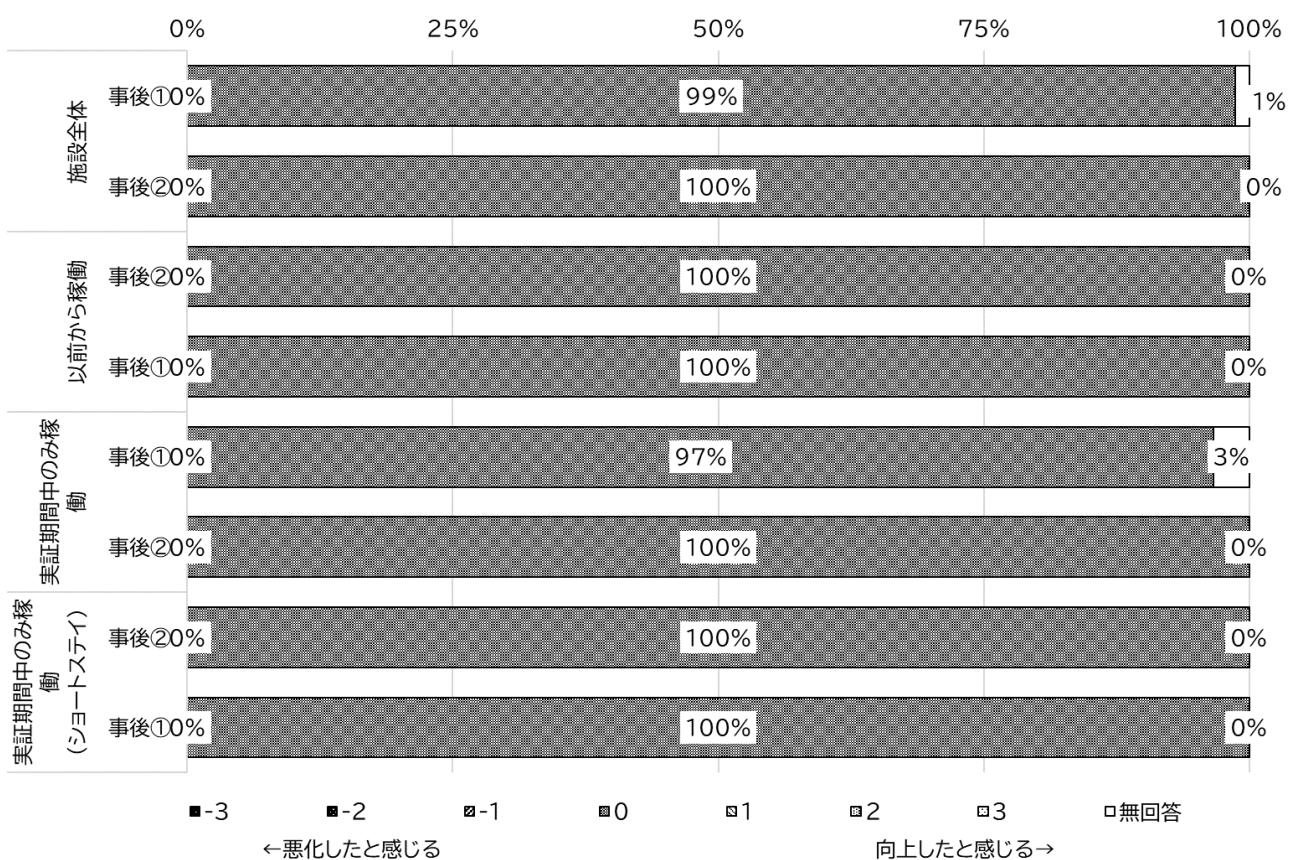


④ 認知機能変化の総合的な評価

認知機能変化について、事前と事後①、事後②を比較し、顕著な変化はみられなかった。

図表 IX-285 利用者調査・認知機能変化の総合的な評価

			←悪化したと感じる							↑向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	0	75	0	0	0	1	76		
		割合	0%	0%	0%	99%	0%	0%	0%	1%	100%		
事後②		人数(人)	0	0	0	76	0	0	0	0	76		
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%		
以前から稼働	事後①	人数(人)	0	0	0	34	0	0	0	0	34		
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%		
事後②		人数(人)	0	0	0	34	0	0	0	0	34		
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%		
実証期間中のみ稼働	事後①	人数(人)	0	0	0	29	0	0	0	1	30		
		割合	0%	0%	0%	97%	0%	0%	0%	3%	100%		
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後②	人数(人)	0	0	0	30	0	0	0	0	30		
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%		
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後①	人数(人)	0	0	0	12	0	0	0	0	12		
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%		
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後②	人数(人)	0	0	0	12	0	0	0	0	12		
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%		



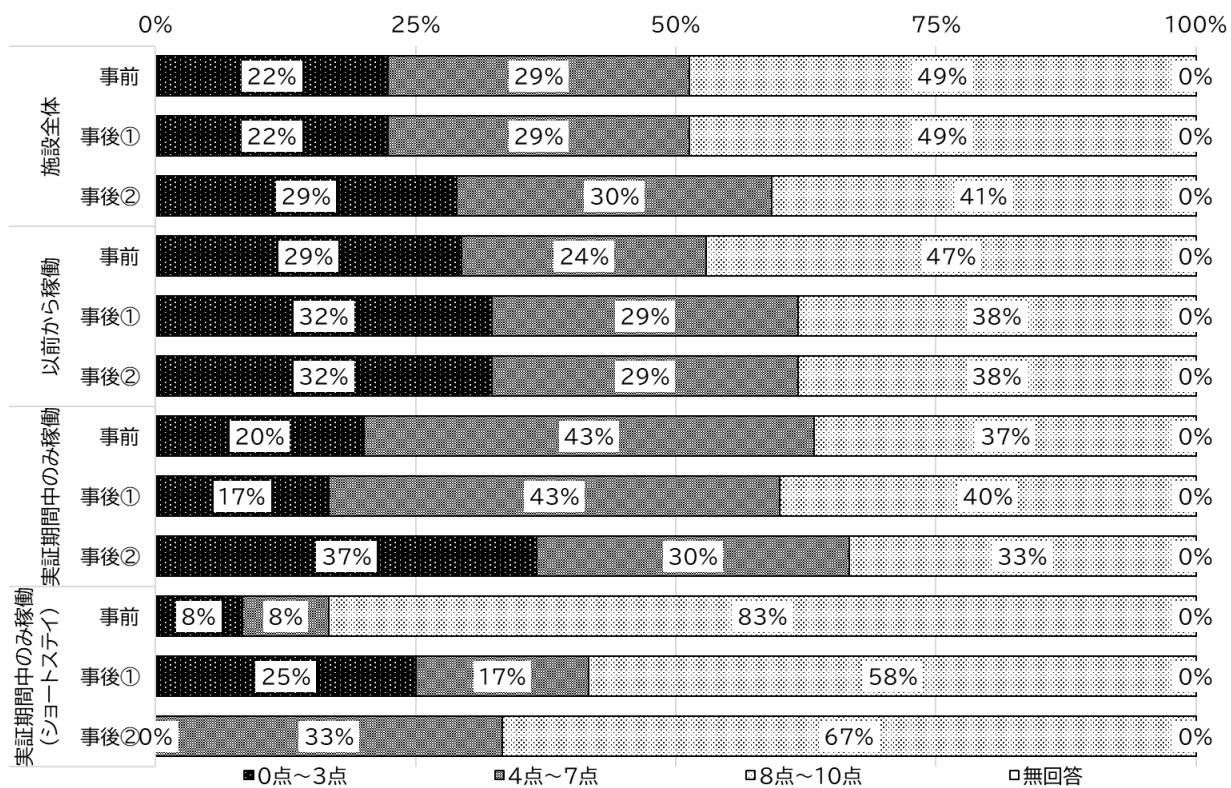
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑤ Vitality Index の変化

Vitality Index の変化について、実証期間中のみ稼働したフィールドでは、事前および事後①と比較し、事後②において「0～3 点」の割合が増加した。他の稼働状況のフィールドでは、事前と事後①、事後②を比較し、顕著な変化はみられなかった。

図表 IX-286 利用者調査:Vitality Index の変化

			0点～ 3点	4点～ 7点	8点～ 10点	無回答	合計
施設全体	事前	人数(人)	17	22	37	0	76
		割合	22%	29%	49%	0%	100%
	事後①	人数(人)	17	22	37	0	76
		割合	22%	29%	49%	0%	100%
	事後②	人数(人)	22	23	31	0	76
		割合	29%	30%	41%	0%	100%
以前から稼働	事前	人数(人)	10	8	16	0	34
		割合	29%	24%	47%	0%	100%
	事後①	人数(人)	11	10	13	0	34
		割合	32%	29%	38%	0%	100%
	事後②	人数(人)	11	10	13	0	34
		割合	32%	29%	38%	0%	100%
実証期間中のみ稼働	事前	人数(人)	6	13	11	0	30
		割合	20%	43%	37%	0%	100%
	事後①	人数(人)	5	13	12	0	30
		割合	17%	43%	40%	0%	100%
	事後②	人数(人)	11	9	10	0	30
		割合	37%	30%	33%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事前	人数(人)	1	1	10	0	12
		割合	8%	8%	83%	0%	100%
	事後①	人数(人)	3	2	7	0	12
		割合	25%	17%	58%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	4	8	0	12
		割合	0%	33%	67%	0%	100%



※事前調査または事後調査で、各5項目のうち 1 項目でも無回答がある利用者はすべて無回答とし、各項目の回答が0、1、2、以外の場合は無回答処理をした。

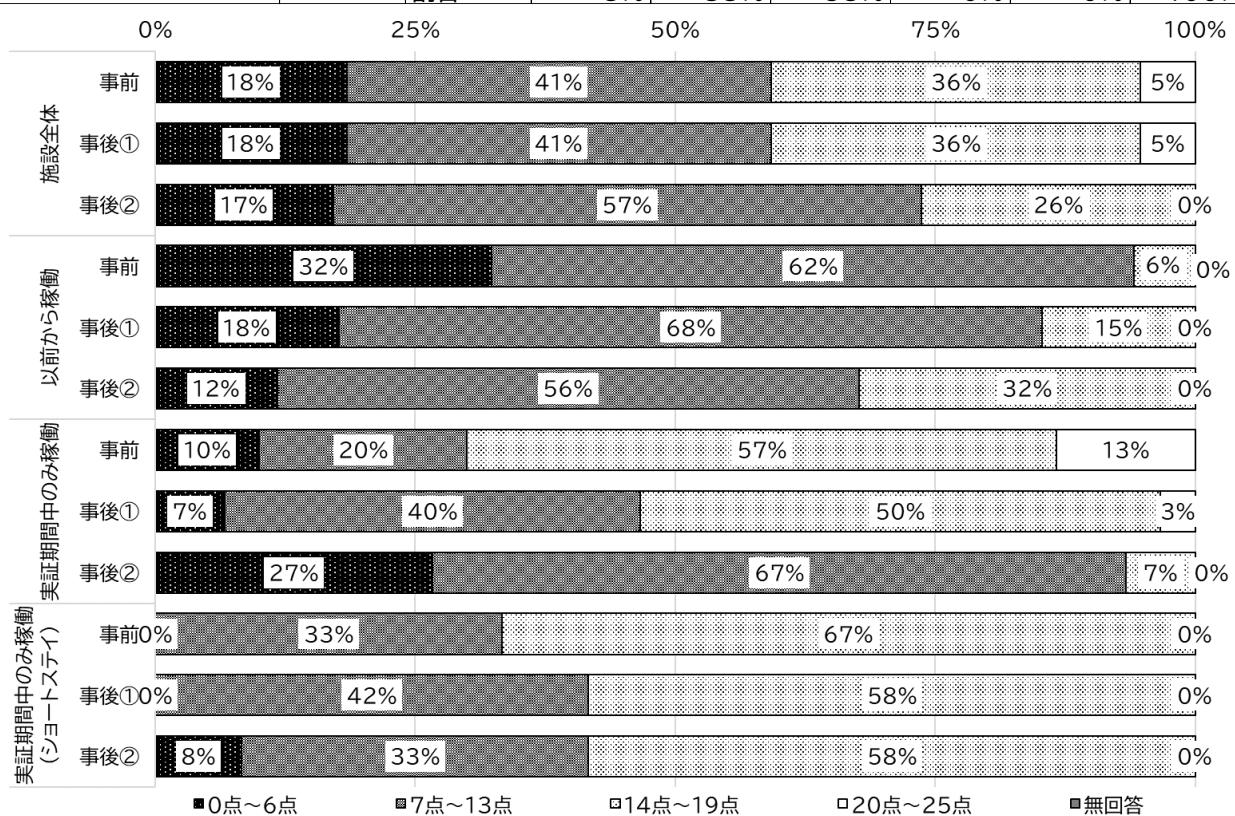
※ Vitality index とは、鳥羽ら(2002)によって開発された、高齢者の日常生活動作「起床」「意志疎通」「食事」「排泄」「活動」の 5 項目から高齢者における日常生活動作に関連した「意欲」を客観的に評価する指標。5 項目それぞれに0～2 点で回答し、それぞれ 2 点が最もよい状態を示す。10 点満点。

⑥ QOL(WHO-5 精神的健康状態表)の変化

QOLの変化について、実証期間中のみ稼働したフィールドにおいて、13点以下の割合は、事前30%であったのに対し、事後①では47%、事後②では94%であった。他の稼働状況のフィールドでは、事前と事後①、事後②を比較し、顕著な変化はみられなかった。

図表 IX-287 利用者調査:QOLの変化

			0点~6点	7点~13点	14点~19点	20点~25点	無回答	合計
施設全体	事前	人数(人)	14	31	27	4	0	76
	事前	割合	18%	41%	36%	5%	0%	100%
	事後①	人数(人)	14	31	27	4	0	76
	事後①	割合	18%	41%	36%	5%	0%	100%
	事後②	人数(人)	13	43	20	0	0	76
	事後②	割合	17%	57%	26%	0%	0%	100%
以前から稼働	事前	人数(人)	11	21	2	0	0	34
	事前	割合	32%	62%	6%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	6	23	5	0	0	34
	事後①	割合	18%	68%	15%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	4	19	11	0	0	34
	事後②	割合	12%	56%	32%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働	事前	人数(人)	3	6	17	4	0	30
	事前	割合	10%	20%	57%	13%	0%	100%
	事後①	人数(人)	2	12	15	1	0	30
	事後①	割合	7%	40%	50%	3%	0%	100%
	事後②	人数(人)	8	20	2	0	0	30
	事後②	割合	27%	67%	7%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事前	人数(人)	0	4	8	0	0	12
	事前	割合	0%	33%	67%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	5	7	0	0	12
	事後①	割合	0%	42%	58%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	1	4	7	0	0	12
	事後②	割合	8%	33%	58%	0%	0%	100%



※事前または事後で、各5項目のうち 1 項目でも無回答がある利用者はすべて無回答とし、各項目の回答が0、1、2、3、4、5 以外の場合は無回答処理をした。

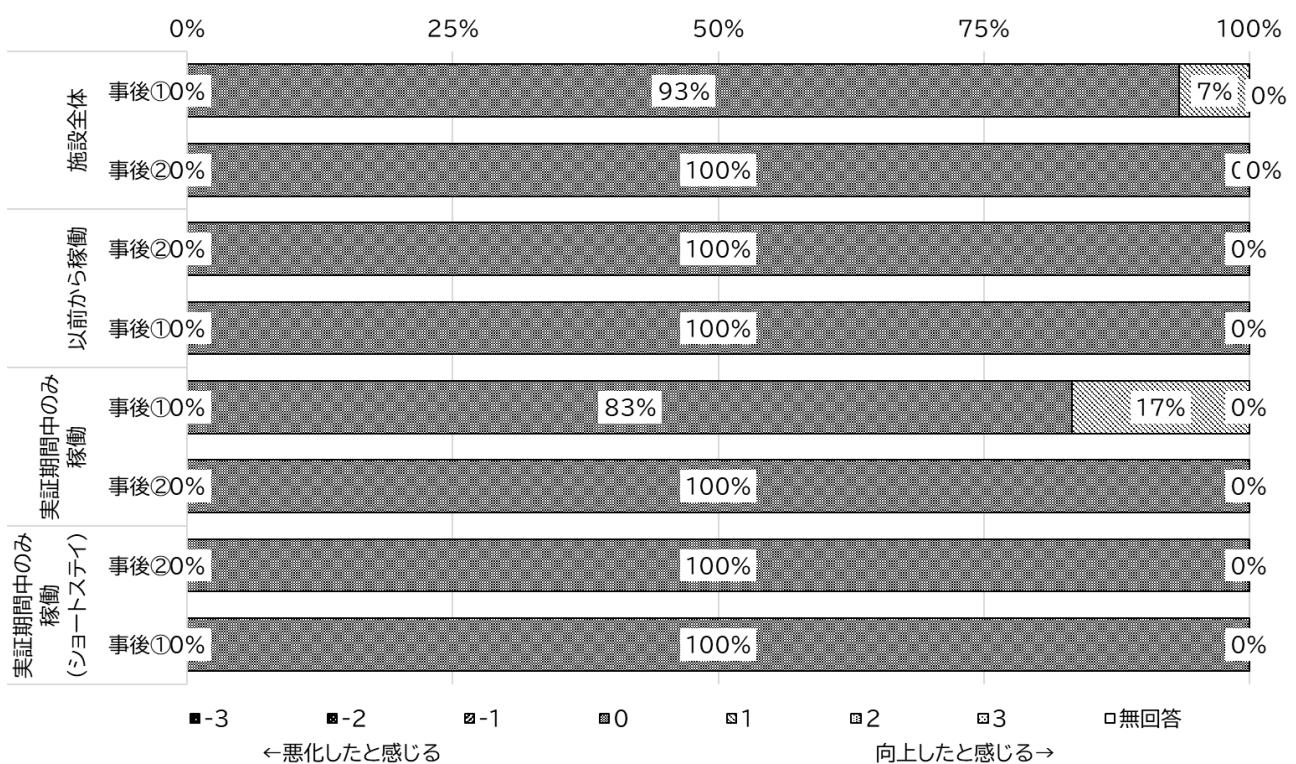
※QOL の変化は、WHO-5 精神的健康状態表を用いて実証対象施設の職員が回答した。最近2週間、利用者の状態に最も近いものについて、5 項目それぞれに 5(いつも)～0(まったくない)点で回答し、その合計点で評価。25 点満点。

⑦ QOL の変化の総合的な評価

QOL の変化の総合的な評価について、実証期間中のみ稼働したフィールドでは、「QOL が向上した」との回答は、事後①では 17% みられたが、事後②では 0% であった。他の稼働状況のフィールドでは、事前と事後①、事後②を比較し、顕著な変化はみられなかった。

図表 IX-288 利用者調査:QOL の変化の総合的な評価

		←悪化したと感じる	向上したと感じる→					無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1		
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	0	71	5	0	0
		割合	0%	0%	0%	93%	7%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	76	0	0	0	76
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
以前から稼働	事後①	人数(人)	0	0	0	34	0	0	34
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	34	0	0	0	34
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働	事後①	人数(人)	0	0	0	25	5	0	30
		割合	0%	0%	0%	83%	17%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後②	人数(人)	0	0	0	30	0	0	30
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後①	人数(人)	0	0	0	12	0	0	12
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	0	12	0	0	12
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%



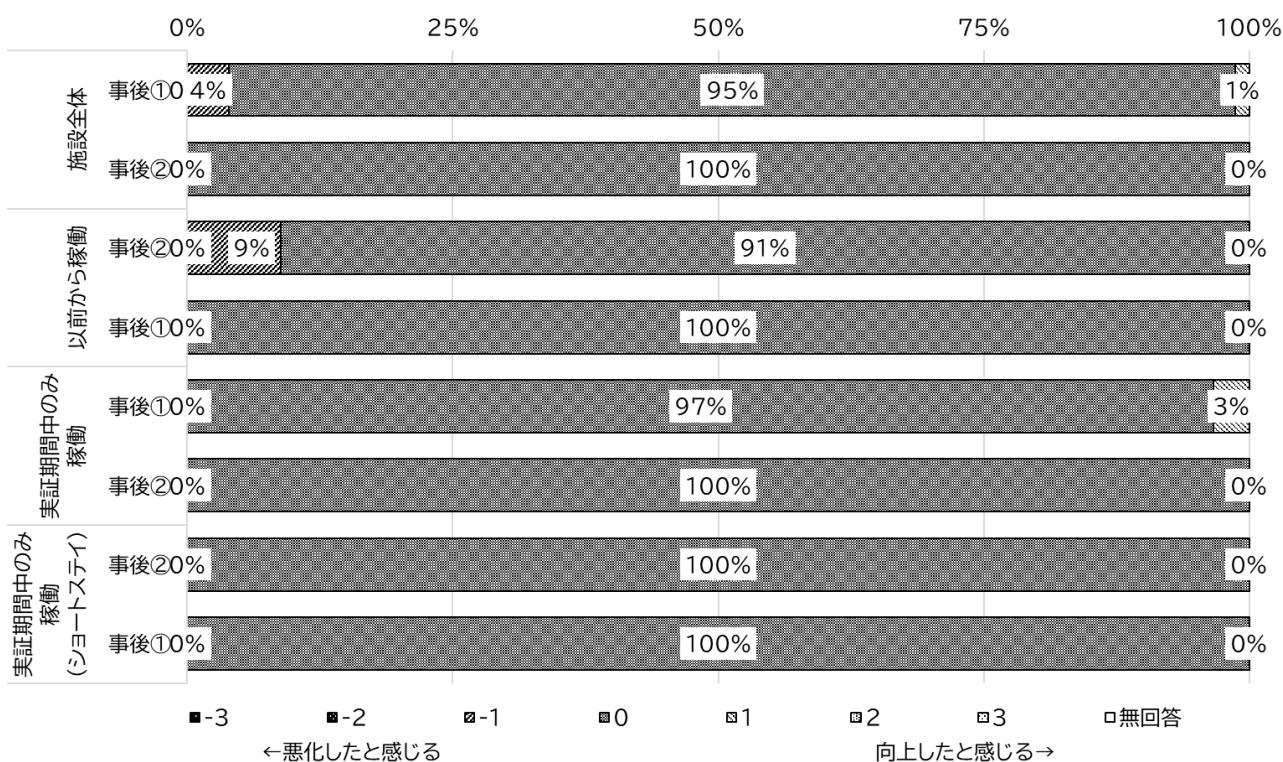
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑧ 機器導入によるコミュニケーションの変化

利用者の発語量および表情については、事前と事後①、事後②を比較し、顕著な変化はみられなかった。

図表 IX-289 利用者調査:利用者の発語量の変化

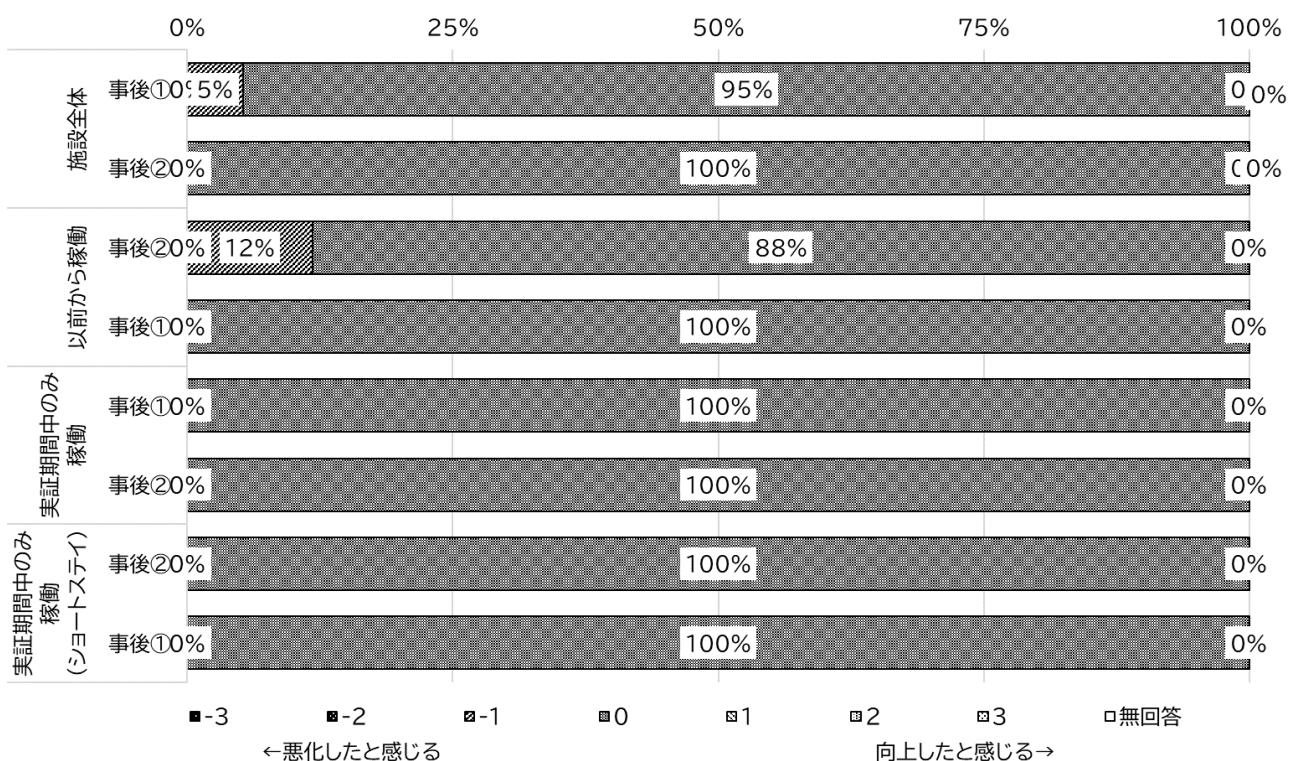
			←悪化したと感じる							向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	3	72	1	0	0	0	0	0	76
		割合	0%	0%	4%	95%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②		人数(人)	0	0	0	76	0	0	0	0	0	0	76
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
以前から稼働	事後①	人数(人)	0	0	3	31	0	0	0	0	0	0	34
		割合	0%	0%	9%	91%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②		人数(人)	0	0	0	34	0	0	0	0	0	0	34
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働	事後①	人数(人)	0	0	0	29	1	0	0	0	0	0	30
		割合	0%	0%	0%	97%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後①	人数(人)	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	30
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後②	人数(人)	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	12
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%



※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-290 利用者調査:利用者の表情の変化

			←悪化したと感じる							↑向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	4	72	0	0	0	0	0	0	76
		割合	0%	0%	5%	95%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②		人数(人)	0	0	0	76	0	0	0	0	0	0	76
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
以前から稼働	事後①	人数(人)	0	0	4	30	0	0	0	0	0	0	34
		割合	0%	0%	12%	88%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②		人数(人)	0	0	0	34	0	0	0	0	0	0	34
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働	事後①	人数(人)	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	30
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後①	人数(人)	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	12
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	12
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

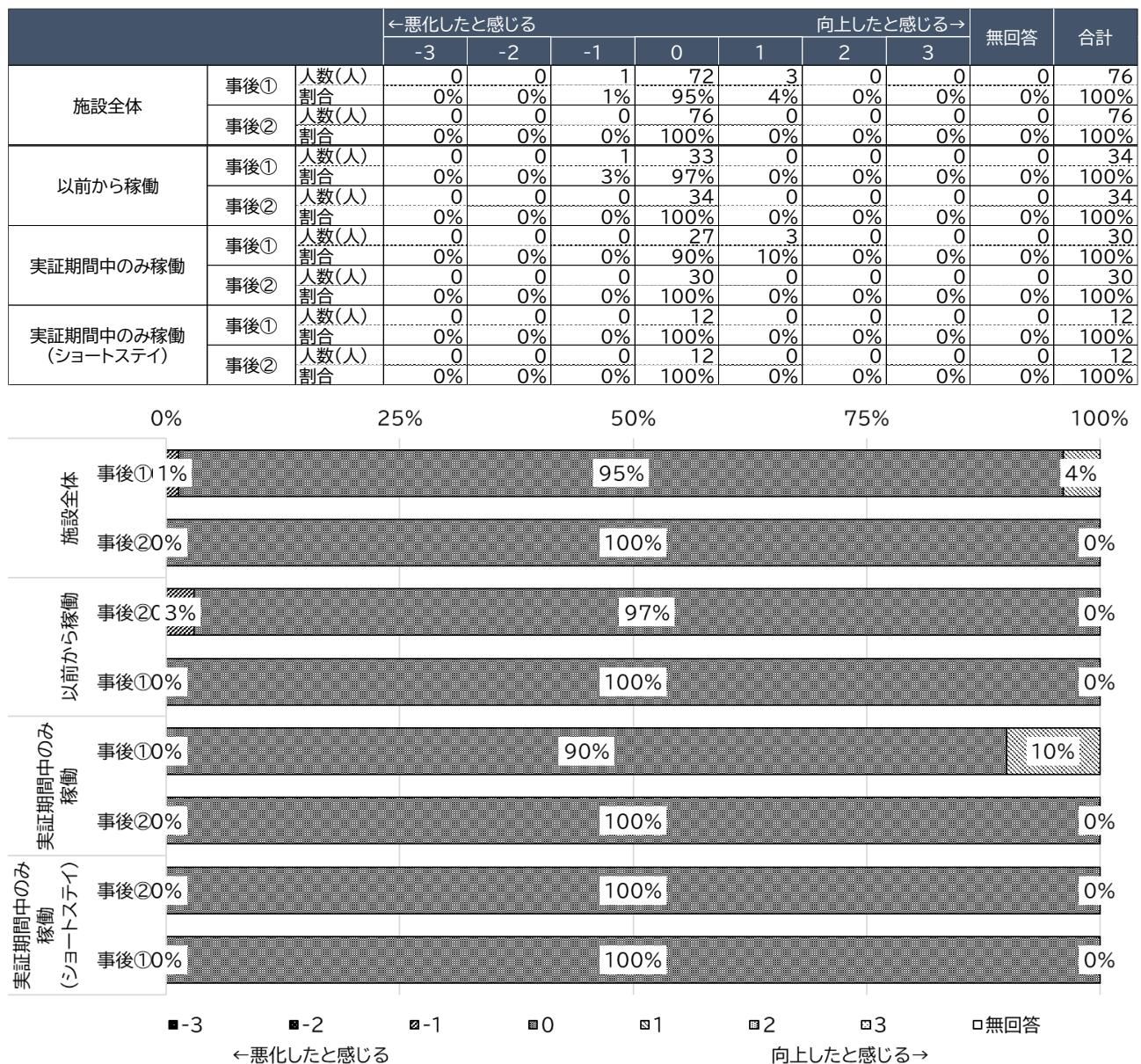


※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑨ 機器導入によるコミュニケーション変化の総合的な評価

機器導入によるコミュニケーション変化の総合的な評価について、実証期間中のみ稼働したフィールドでは、コミュニケーションが「向上した」との回答が、事後①では 10%みられたが、事後②では 0%であった。他の稼働状況のフィールドでは、事前と事後①、事後②を比較し、顕著な変化はみられなかった。

図表 IX-291 利用者調査:機器導入によるコミュニケーション変化の総合的な評価

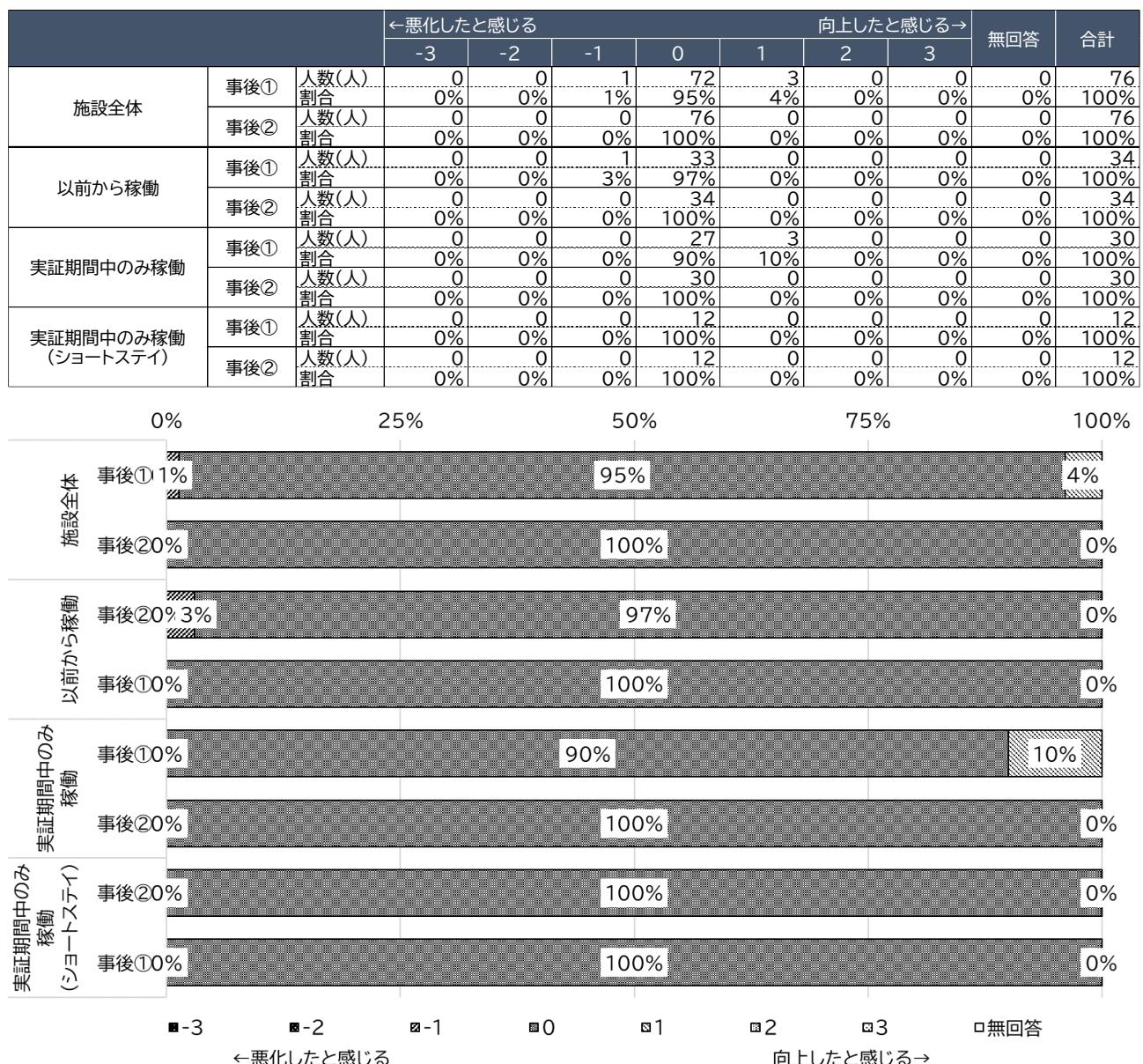


※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑩ 機器導入によるレクリエーション・イベントへの参加状況の変化

機器導入によるレクリエーション・イベントへの参加状況の変化について、実証期間中のみ稼働したフィールドでは、レクリエーション・イベントへの参加状況が「向上した」との回答が、事後①では 10%みられたが、事後②では 0%であった。他の稼働状況のフィールドでは、事前と事後①、事後②を比較し、顕著な変化はみられなかった。

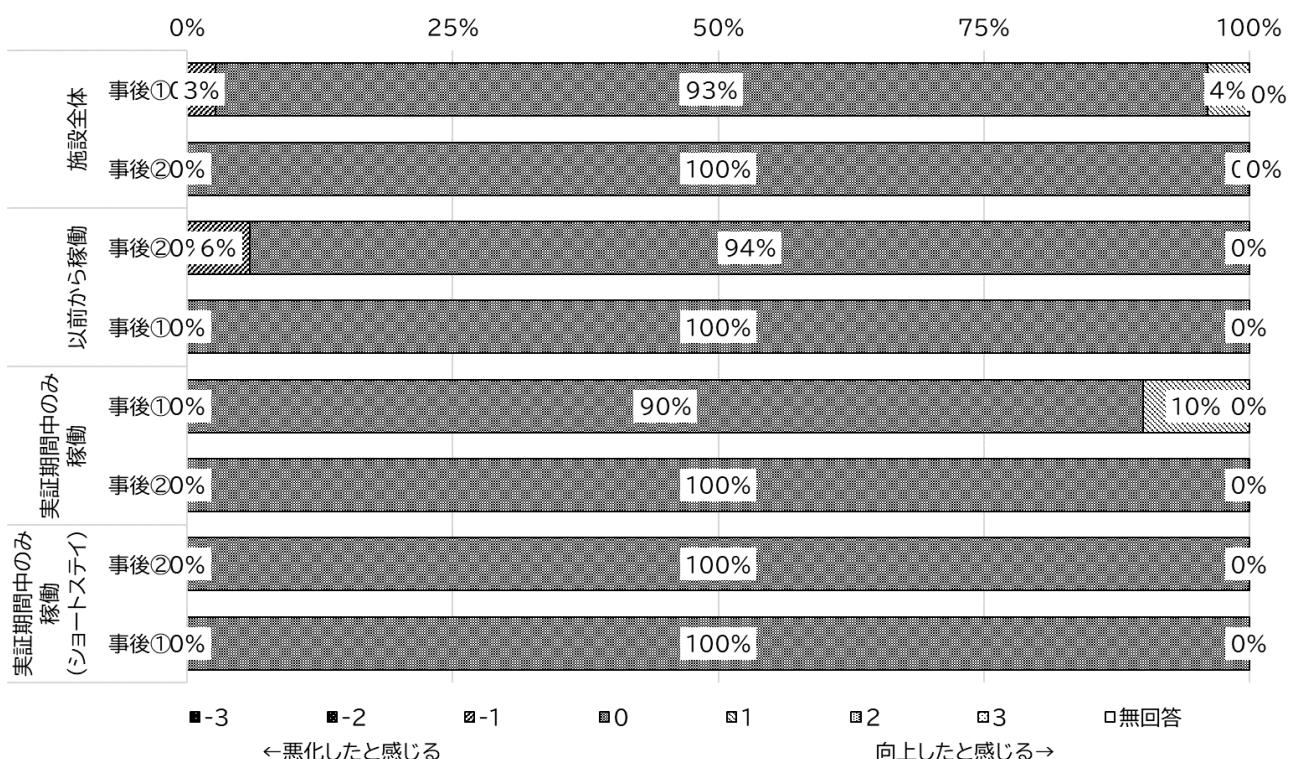
図表 IX-292 利用者調査:利用者が自ら進んでレクリエーション・イベントへ参加する頻度の変化



※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

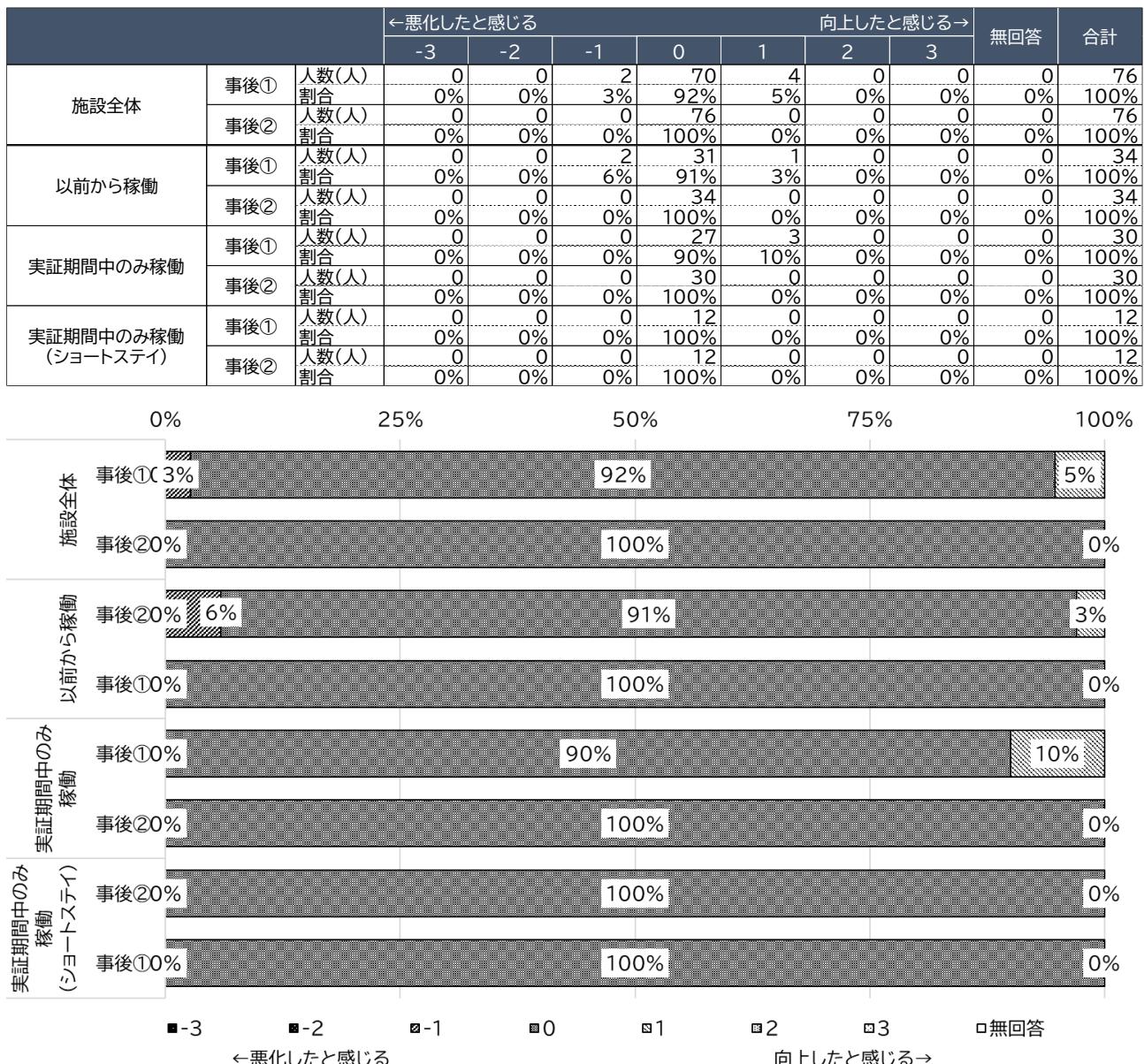
図表 IX-293 促されるとレクリエーション・イベントへ参加する頻度の変化

			←悪化したと感じる							無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3		
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	2	71	3	0	0	0	76
		割合	0%	0%	3%	93%	4%	0%	0%	0%	100%
以前から稼働	事後②	人数(人)	0	0	0	76	0	0	0	0	76
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働	事後①	人数(人)	0	0	2	32	0	0	0	0	34
		割合	0%	0%	6%	94%	0%	0%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後②	人数(人)	0	0	0	34	0	0	0	0	34
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後①	人数(人)	0	0	0	27	3	0	0	0	30
		割合	0%	0%	0%	90%	10%	0%	0%	0%	100%
実証期間中のみ稼働 (ショートステイ)	事後②	人数(人)	0	0	0	30	0	0	0	0	30
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%



※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-294 利用者調査:レクリエーション・イベントへの興味・関心の変化

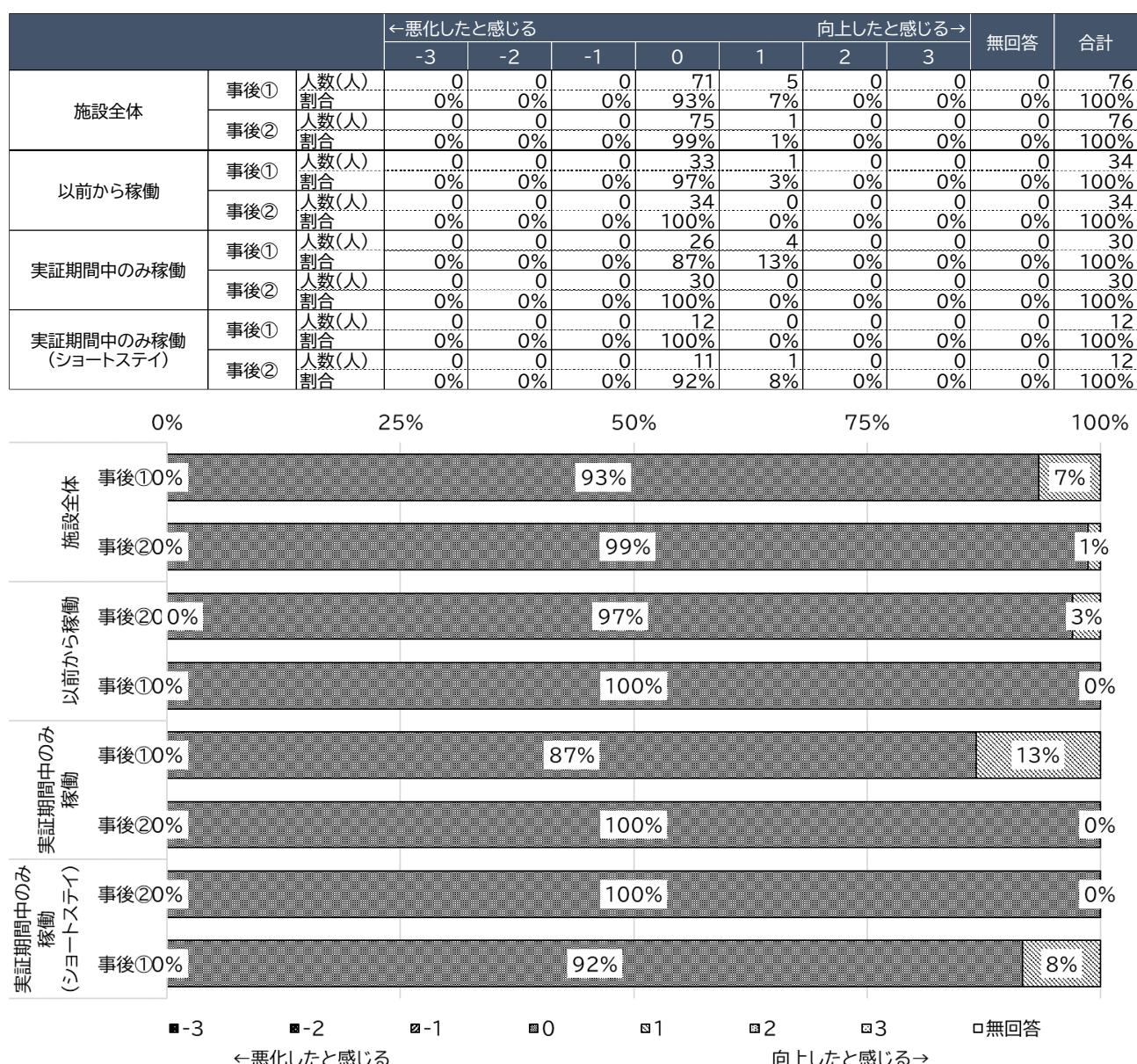


※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑪ 機器導入による、食事やレクリエーション・イベント以外の場面での他者との交流の変化

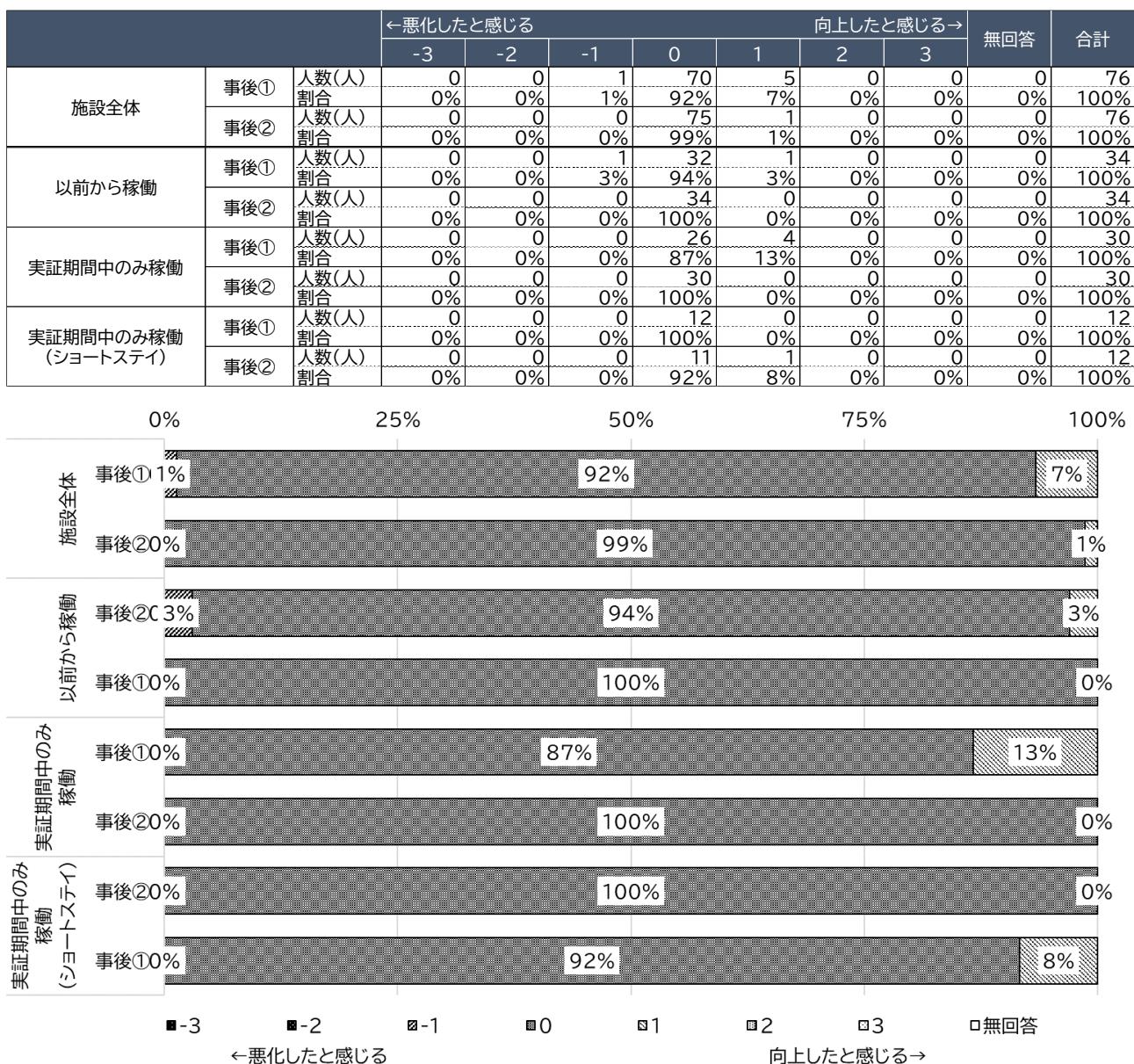
食事やレクリエーション・イベント以外の場面で、利用者が自ら進んで談話室に向かう頻度の変化について、実証期間中のみ稼働したフィールドでは、利用者が自ら談話室にいる頻度および時間、他社との交流回数が「向上した」との回答が、事後①では 13%みられたが、事後②では 0%であった。他の稼働状況のフィールドでは、事前と事後①、事後②を比較し、顕著な変化はみられなかった。

図表 IX-295 利用者調査:食事やレクリエーション・イベント以外の場面で、利用者が自ら進んで談話室に向かう頻度の変化



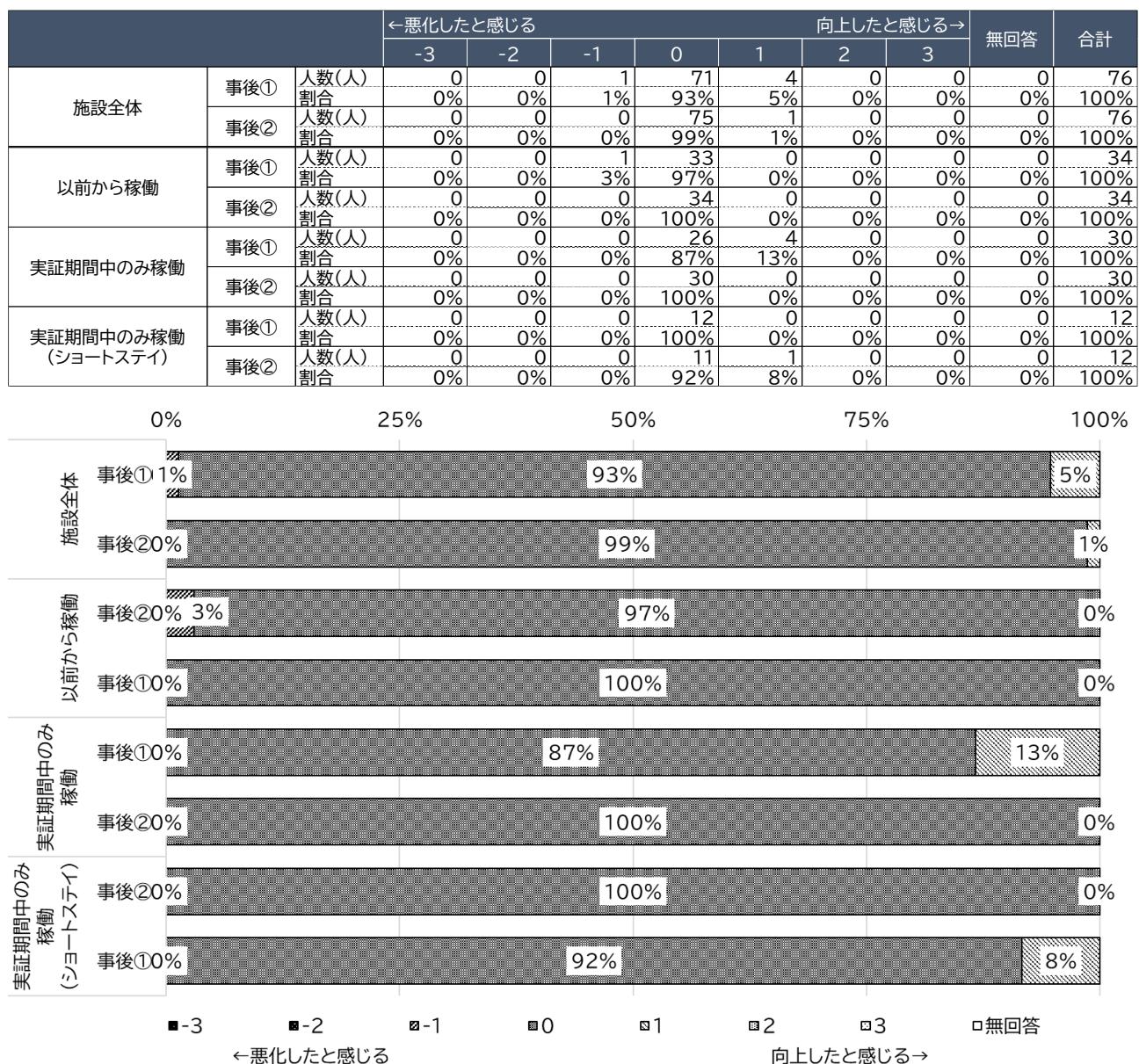
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-296 利用者調査:食事やレクリエーション・イベント以外の場面で、利用者が他者と交流する時間(談話室にいる時間等)の変化



※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-297 利用者調査:食事やレクリエーション・イベント以外の場面で、利用者の他者との交流回数の変化

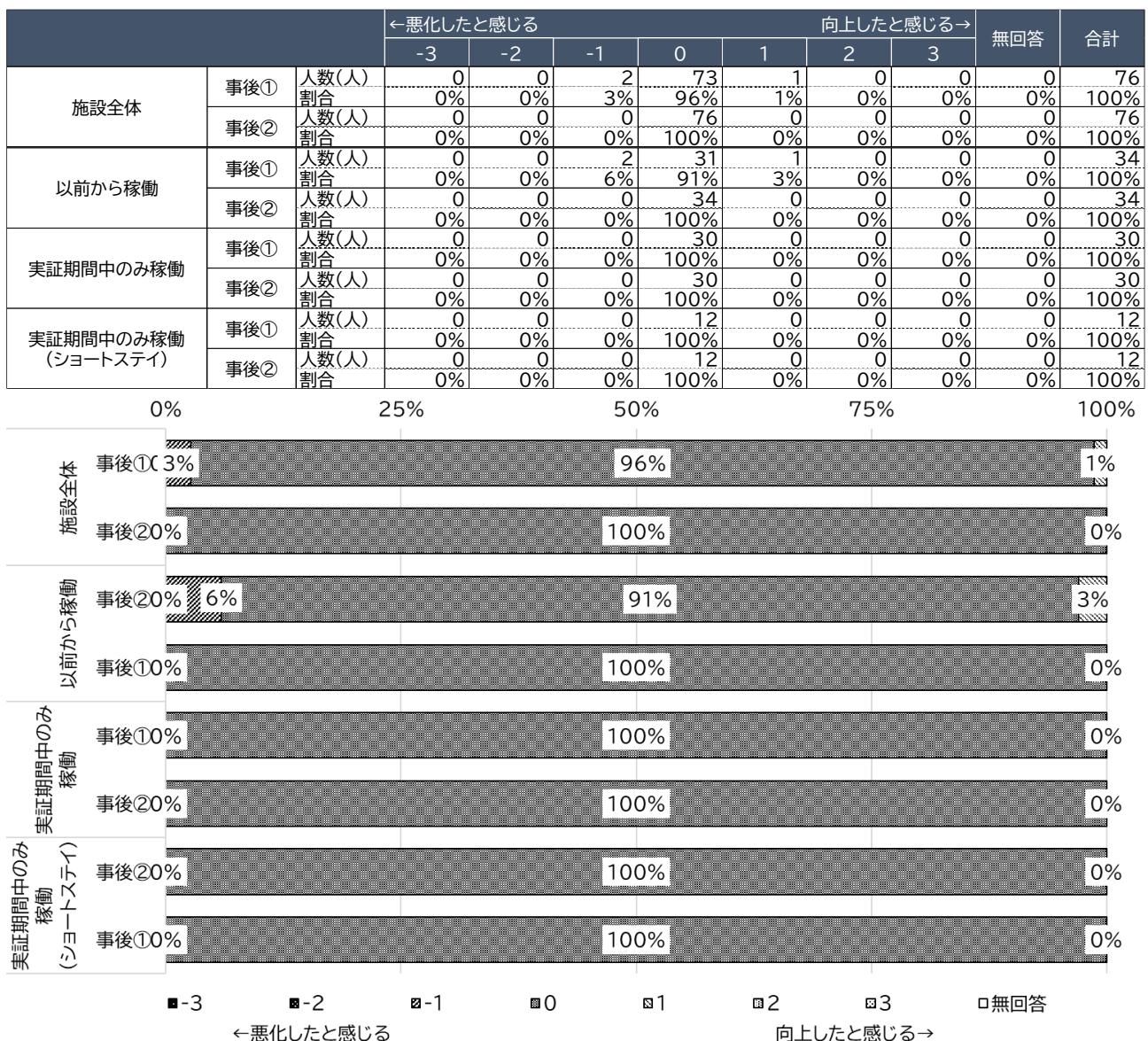


※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑫ 機器導入による社会参加の総合的な評価

社会参加の変化の総合的な評価は、事前と事後①、事後②を比較し、顕著な変化はみられなかった。

図表 IX-298 利用者調査:機器導入による社会参加の変化の総合的な評価



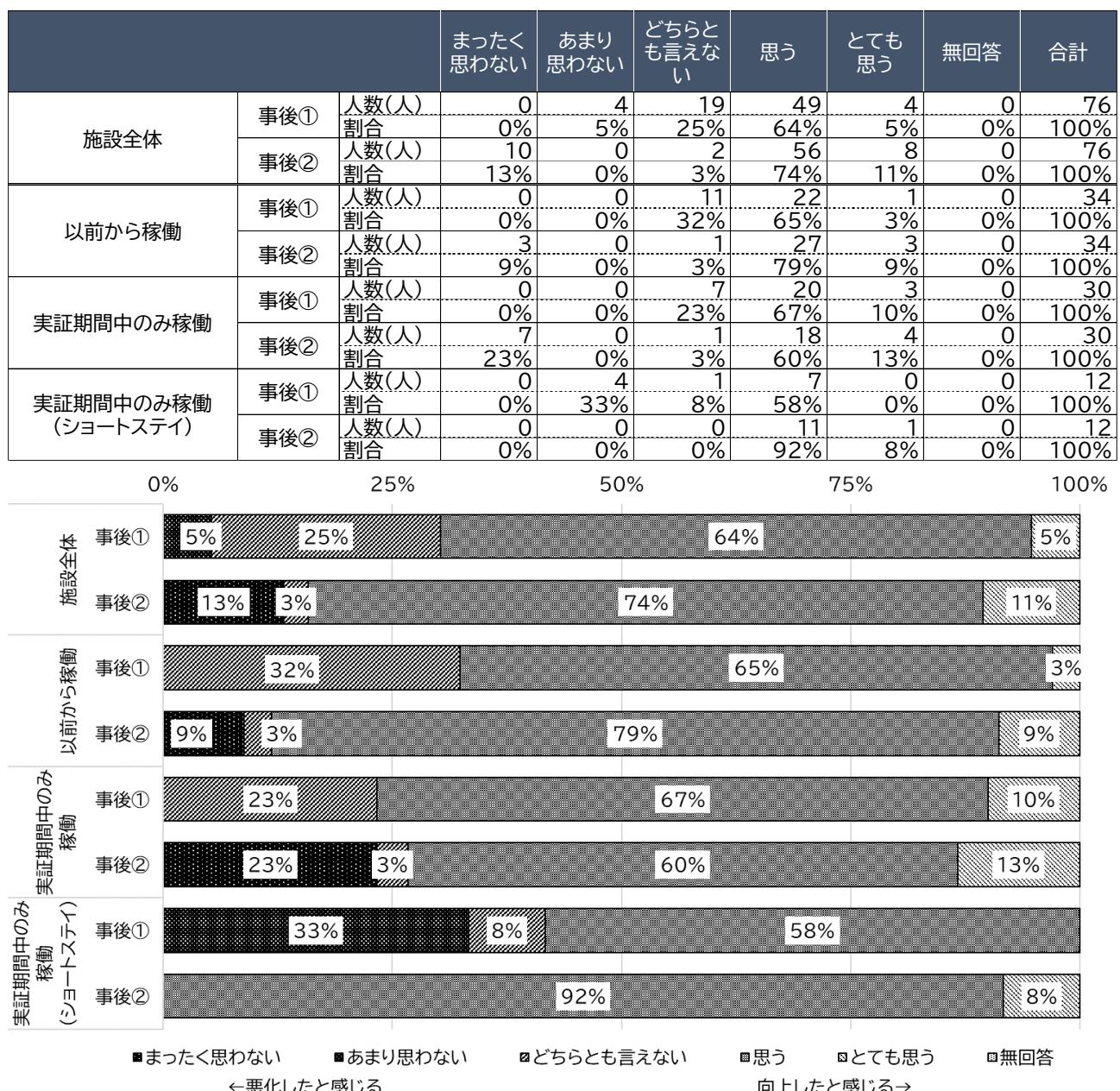
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑬ 機器導入によるケア内容の変更

施設全体において、「利用者の状況が可視化できる」「より適切なタイミングでケアできる」「より適切な内容のケアが提供できる」と思う割合は、事後①と比較し、事後②で増加した。

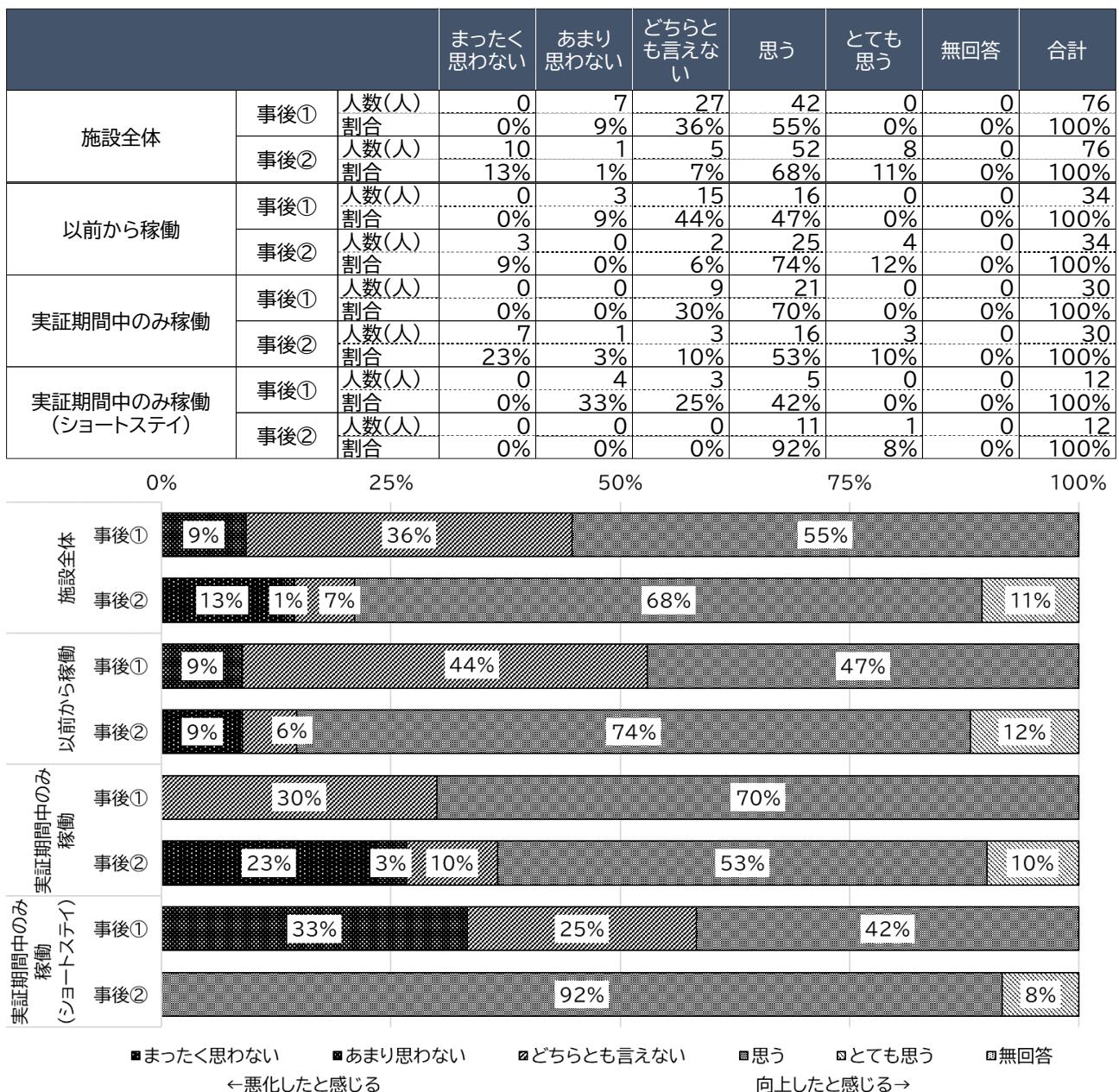
機器が取得したデータ等を「別なケアに活かすことができる」「ケア計画の策定・見直しに活かすことができる」、また「機器導入により、日中の生活が充実する」と思う割合は、事後①と比較し、事後②で増加した。

図表 IX-299 機器導入により、利用者の状況が可視化できる



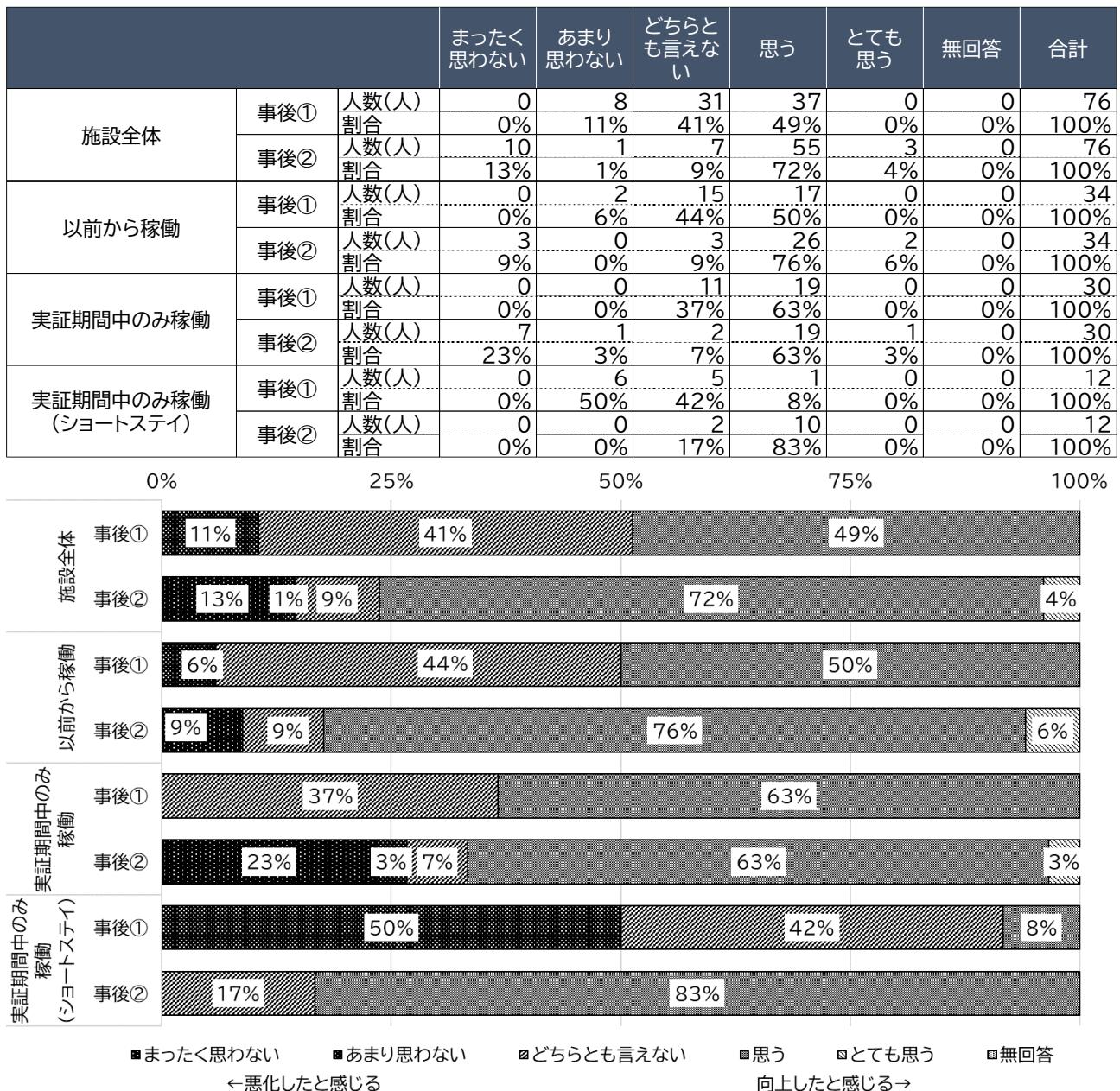
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-300 機器導入により、より適切なタイミングでケアが提供できる



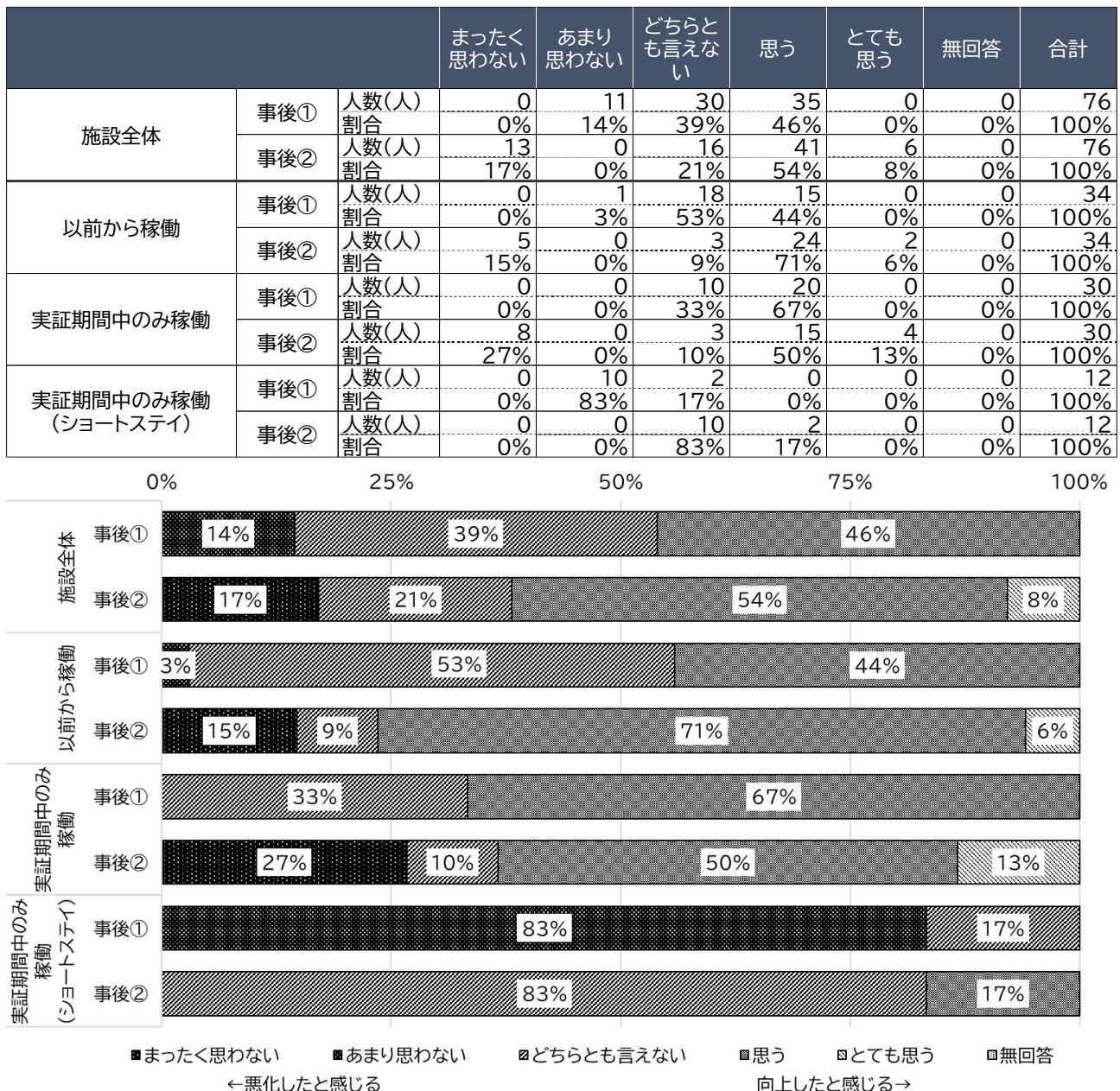
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-301 機器導入により、より適切な内容のケアが提供できる



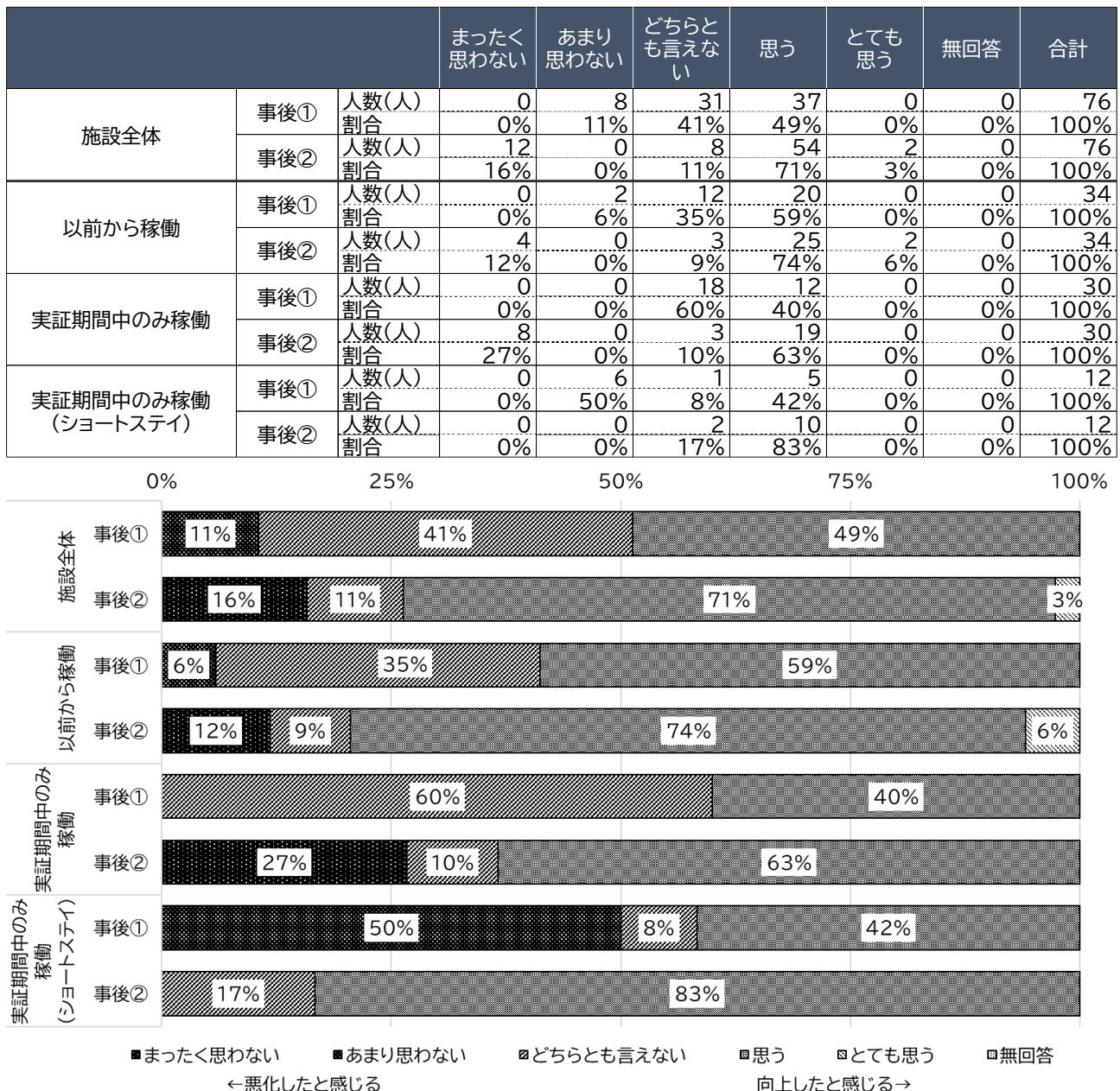
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-302 機器が取得したデータ等から、別なケアに活かすことができる



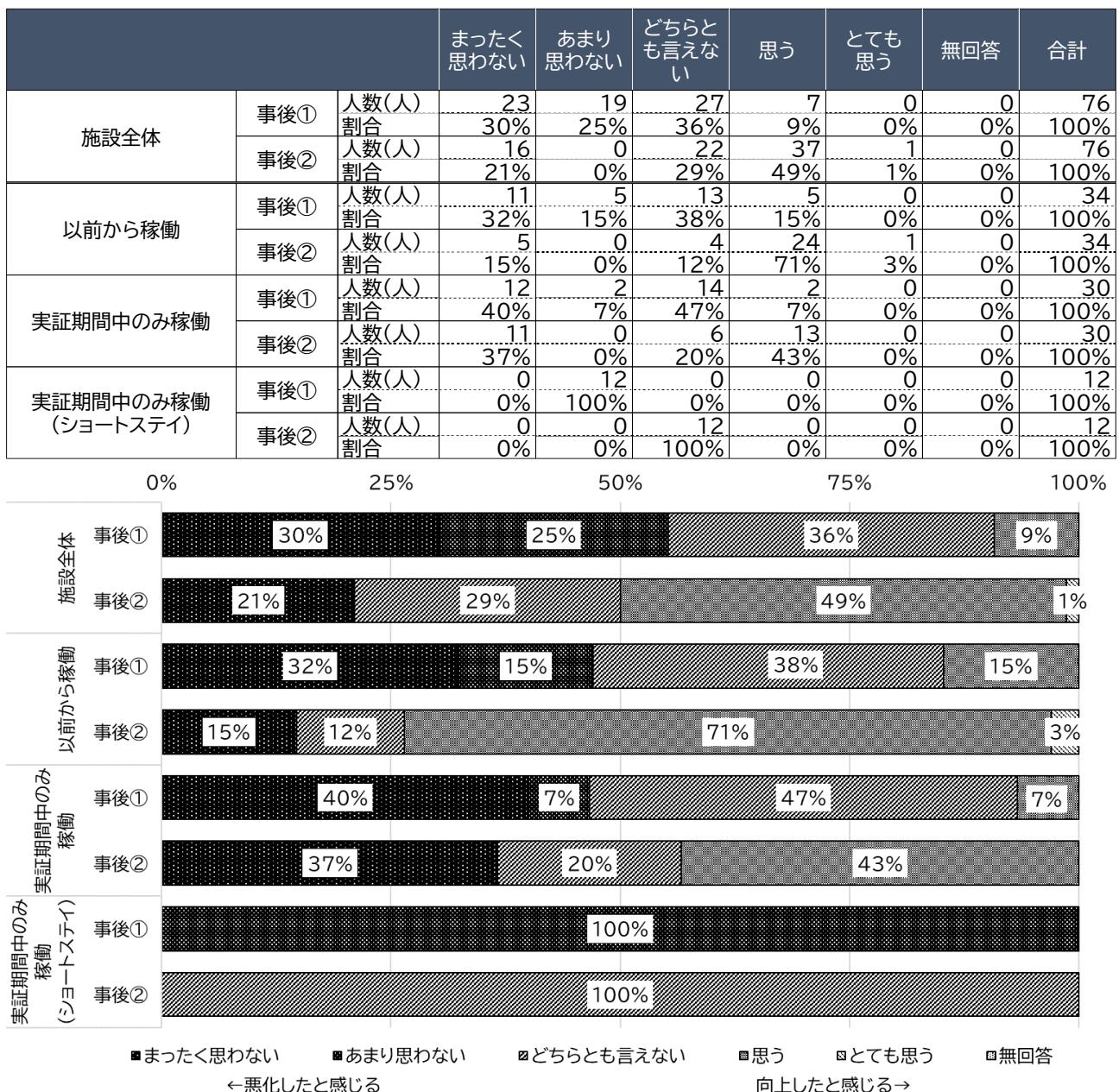
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-303 機器により取得したデータ等を、ケア計画の策定・見直しに活かすことができる



※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-304 機器導入により、日中の生活が充実する



※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

力. ヒアリング調査

実証完了後、実証フィールドへのヒアリング調査を実施した。調査結果の概要は以下の通り。

図表 IX-305 機器導入後の課題・対応

カテゴリ	主な意見
職員について	<ul style="list-style-type: none">本実証で新たに機器稼働したユニット職員からは、ICT 活用への抵抗感が、頻回に聞かれた。従前は把握できていなった動作にセンサーが作動し、訪室回数が増加したことによる負担の声があった。センサーに対し職員の対応がない場合、隣のユニットのアラートが鳴る仕組みになっており、隣のユニットからも心理的負担の声があった。見守り機器の導入により、これまで把握できていなかった事故やヒヤリ・ハットが把握できるようになったため、介護記録等の記録業務が増加した。事後調査2回目では、パート職員も通知への対応をする運用に変更した。パート職員は高齢の方もあり、スマートフォンの活用などが心理的負担につながっている可能性がある。
利用者について	<ul style="list-style-type: none">利用者の日常生活には変化はなく、特に混乱もなかった。事故等が発生した際に、映像を振り返ることでその要因を知ることができ、次のケアに活かせた。また、映像を見て対策を考えるという意識もついた。ご家族への説明にも使用できている。利用者の状況を相互に理解でき、安心感を感じていただけている。お部屋の 90%は映るようになっているためほぼ死角はない状態である。利用者の動きを感知してカメラが作動する仕組みだが、初期動作によっては、カメラが作動しないケースがあった。(例:起居で作動する設定にしたが、転がるように転落した。)居室内での利用者の状況など、従前は把握できていなかった動作が把握できるようになった。
施設として	<ul style="list-style-type: none">ショートステイの入居者に対し、即時的に居室のレイアウトを変更したい場合、カメラの設定の対応が難しいとの声が聞かれた。事後調査2回目の時期には、ショートステイの居室のレイアウトについて、「カメラの設定に合わせて利用者の位置を変えても問題なく運用できる」という声もでてきた。

図表 IX-306 生産性向上に向けた委員会開催の概要

カテゴリ	主な意見
委員会の開催周期	<ul style="list-style-type: none"> 月1回開催
参加職種・役職	<ul style="list-style-type: none"> 各部署の課長、事務課長などの役職者が参加
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> HitomeQ の稼働状況 HitomeQ の不具合や問題点 事故があった場合は、映像の確認やその対策 実証について(タイムスタディの項目、実施時期など)
検討結果の周知	<ul style="list-style-type: none"> 各課長から現場ユニットへ連絡ノート等を活用し情報共有した。 詳細なカメラの設定変更については、口頭やチャットツールで随時連絡をとり、対応していた。

図表 IX-307 実証目的に対する達成状況と今後の課題

カテゴリ	主な意見
職員の観点	<ul style="list-style-type: none"> 夜間巡視の回数を削減できたが、間接業務時間の削減について、著明な効果があった感覚はない。 HitomeQ は全居室設置済だが、従前から稼働していなかったユニットでは実証終了後、以前の状況(未稼働)に戻した。一部の職員からは、再度使用したい、というような声もあった。
利用者の観点	<ul style="list-style-type: none"> 行動把握ができるようになり、利用者の動作に起因して、ケアに活かす、事故を予防することができるようになってきている。(例:車椅子の設置位置に職員間で差異がある、設置位置が数 cm 違うと事故が生じる。ブレーキのかけ忘れに対し、指導を行う、自動ブレーキ付き車いすを導入する。夜間に棚の物を出してしまう場合には、棚の位置をずらすなど) 不要な監視を減らすことができ、プライバシーの保護にもつながっている。
施設の観点	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果として、著明な効果は見えていない。 実証終了後、HitomeQ の稼働は従前のとおりに戻したが(一部のユニットで稼働)、一部の職員からの稼働意向の声もあり、検討中である。稼働数による課金制のため、どの利用者に活用するのが効果的かなども含め、施設として検討していきたい。 実証期間中、転倒転落のヒヤリハットが増加しており、リスク低減の効果があった。一方、転倒転落が発見できるようになり、実証期間中の事故件数は増加している。

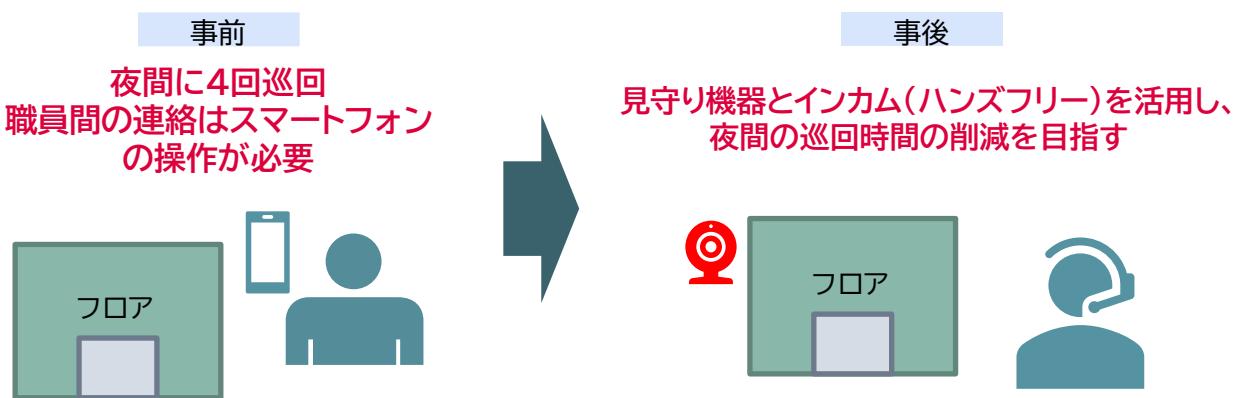
(9) 社会福祉法人こうほうえん「見守り機器、インカムの導入による情報共有の効果測定」

ア. 実証の概要

① 実証目的

見守り機器(眠り SCAN)、インカムの導入により、職員の巡回・訪室時間の削減や職員同士の連携の効率化を図ることで心理的負担の低減を目指すことを目的とした。

図表 IX-308 実証イメージ



② 実証フィールドの概要

本実証では以下の実証フィールドにて効果測定を実施した。

図表 IX-309 実証フィールドの概要

実証 フィールド	法人名	施設名
1	社会福祉法人 こうほうえん	介護老人福祉施設にしまち幸朋苑
2	社会福祉法人 こうほうえん	特定施設入居者生活介護 アザレアコートこうほうえん

③ 実証期間

調査の時期は以下の通りである。

図表 IX-310 調査の時期

調査	時期	補足
事前調査	令和6年9月26日～10月7日	
事後調査①	令和6年10月21日～11月8日	左記のうち、実証フィールド別に各5日間を調査期間として実施した。
事後調査②	令和6年12月2日～12月6日	
ヒアリング調査	令和7年2月7日	

④ 各調査の概要

本調査では、実証の事前と事後(2回)で「タイムスタディ調査」、「職員アンケート調査」を実施し、実証終了後に「ヒアリング調査」を行った。以下に各調査の概要を記載する。

図表 IX-311 各調査の概要

調査名	調査対象者	調査概要
タイムスタディ調査 (全テーマ共通)	調査期間中に実証フィールドで勤務した職員	<ul style="list-style-type: none"> 回答方法:自記式(1分刻みで自身が実施した作業項目を記入) 調査スケジュール:事前(機器導入前)1回、事後(機器導入後)2回の計3回、それぞれ5日間分実施。 調査実施の時間帯:調査対象期間中の全勤務時間
職員向けアンケート調査 (全テーマ共通)	調査期間中に実証フィールドで勤務した職員	<ul style="list-style-type: none"> 回答方法:自記式(WEB回答) 調査スケジュール:事前と事後実証期間中それぞれについて、1名につき1回のみ回答
利用者向けアンケート調査 (全テーマ共通)	機器を導入した利用者 (職員による代理回答)	<ul style="list-style-type: none"> 回答方法:自記式(WEB回答) 調査スケジュール:事前と事後2回、実証期間中それぞれについて、1名につき1回のみ回答
ヒアリング調査 (全テーマ共通)	法人代表 施設管理者 介護職員	<ul style="list-style-type: none"> 調査方法:WEB会議による聞き取り 調査スケジュール:実証終了後に1回実施

イ. 利用者・職員概要

① 利用者概要

本調査において利用者向けアンケート調査に回答があった利用者は29名であった。

図表 IX-312 利用者概要:性別

		男性	女性	無回答	合計
介護老人福祉施設	人数(人)	3	13	0	16
	割合	19%	81%	0%	100%
特定施設入居者生活 介護	人数(人)	4	9	0	13
	割合	31%	69%	0%	100%
総数	人数(人)	7	22	0	29
	割合	24%	76%	0%	100%

図表 IX-313 利用者概要:年齢

		70歳未満	70歳～75歳未満	75歳～80歳未満	80歳～85歳未満	85歳～90歳未満	90歳～95歳未満	95歳以上	無回答	合計
介護老人福祉施設	人数(人)	0	0	3	2	3	4	4	0	16
	割合	0%	0%	19%	13%	19%	25%	25%	0%	100%
特定施設入居者生活介護	人数(人)	0	1	0	1	2	7	2	0	13
	割合	0%	8%	0%	8%	15%	54%	15%	0%	100%
総数	人数(人)	0	1	3	3	5	11	6	0	29
	割合	0%	3%	10%	10%	17%	38%	21%	0%	100%

図表 IX-314 利用者概要:要介護度

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	自立・要支援	その他(区分申請中等)	無回答	合計
介護老人福祉施設	人数(人)	0	0	2	6	8	0	0	0	16
	割合	0%	0%	13%	38%	50%	0%	0%	0%	100%
特定施設入居者生活介護	人数(人)	6	2	1	2	1	1	0	0	13
	割合	46%	15%	8%	15%	8%	8%	0%	0%	100%
総数	人数(人)	6	2	3	8	9	1	0	0	29
	割合	21%	7%	10%	28%	31%	3%	0%	0%	100%

図表 IX-315 利用者概要:障害高齢者の日常生活自立度

		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明・未実施	無回答	合計
介護老人福祉施設	人数(人)	0	0	0	0	0	11	2	3	0	0	16
	割合	0%	0%	0%	0%	0%	69%	13%	19%	0%	0%	100%
特定施設入居者生活介護	人数(人)	1	2	2	3	3	1	1	0	0	0	13
	割合	8%	15%	15%	23%	23%	8%	8%	0%	0%	0%	100%
総数	人数(人)	1	2	2	3	3	12	3	3	0	0	29
	割合	3%	7%	7%	10%	10%	41%	10%	10%	0%	0%	100%

② 職員概要

本調査において職員向けアンケート調査に回答があった職員は 26 名であった。

図表 IX-316 職員概要:性別

		男性	女性	無回答	合計
介護老人福祉施設	人数(人)	7	8	0	15
	割合	47%	53%	0%	100%
特定施設入居者生活介護	人数(人)	8	3	0	11
	割合	73%	27%	0%	100%
総数	人数(人)	15	11	0	26
	割合	58%	42%	0%	100%

図表 IX-317 職員概要:年齢

		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～	無回答	合計
介護老人福祉施設	人数(人)	0	1	5	3	3	3	0	0	15
	割合	0%	7%	33%	20%	20%	20%	0%	0%	100%
特定施設入居者生活介護	人数(人)	0	2	1	6	2	0	0	0	11
	割合	0%	18%	9%	55%	18%	0%	0%	0%	100%
総数	人数(人)	0	3	6	9	5	3	0	0	26
	割合	0%	12%	23%	35%	19%	12%	0%	0%	100%

図表 IX-318 職員概要:職種

		介護福祉士	介護職員 (介護福祉士 以外)	看護職員	リハビリ 職(機能訓練 指導員を含 む)	相談員	事務職員	その他	無回答	合計
介護老人福祉施設	人数(人)	10	2	3	0	0	0	0	0	15
	割合	67%	13%	20%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
特定施設入居者生活介護	人数(人)	11	0	0	0	0	0	0	0	11
	割合	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
総数	人数(人)	21	2	3	0	0	0	0	0	26
	割合	81%	8%	12%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

図表 IX-319 職員概要:役職

		経営層	管理者・ リーダー	一般職	その他	無回答	合計
介護老人福祉施設	人数(人)	0	4	7	4	0	15
	割合	0%	27%	47%	27%	0%	100%
特定施設入居者生活介護	人数(人)	0	3	8	0	0	11
	割合	0%	27%	73%	0%	0%	100%
総数	人数(人)	0	7	15	4	0	26
	割合	0%	27%	58%	15%	0%	100%

ウ. タイムスタディ調査結果

① タイムスタディ調査(職員1人1日(480分)あたり)

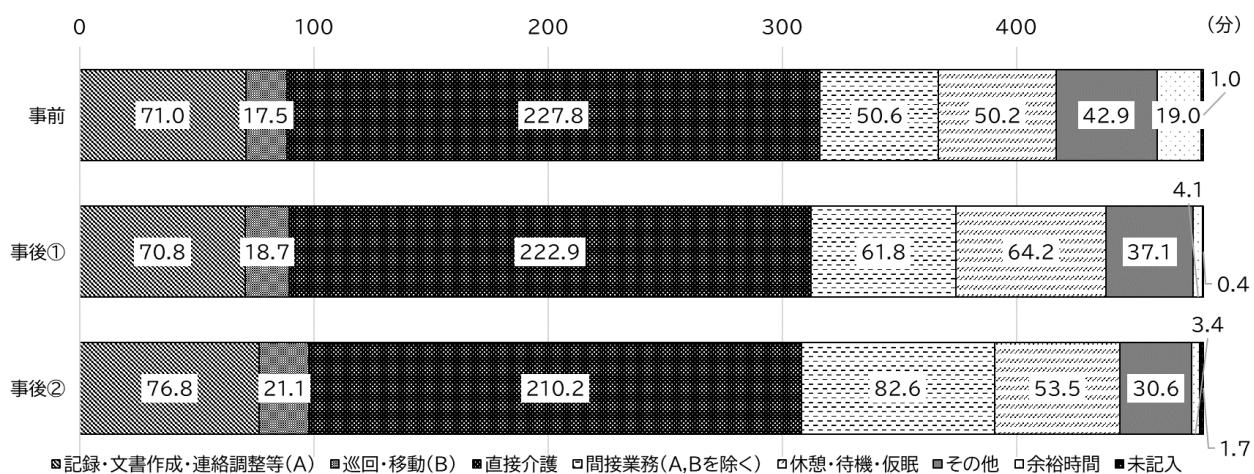
職員1人1日(480分)あたりのタイムスタディ調査の結果は以下の通り。

「記録・文書作成・連絡調整等」の時間は事前と比較し、事後①では0.2分減少し、事後②では5.8分増加した。これは、事後②の時期に事前・事後①と比較して看取り期となった利用者が多く、カンファレンスや記録の時間が増えたことにより時間が増加したと考えられる。

「巡回・移動」の時間は事前と比較し、事後①で0.8分増加し、事後②で3.6分増加した。これは、タイムスタディ調査の際、事前と事後①では移動時間を正確にすべて記録していなかった職員が複数名いて、その職員が事後②から正確に記録するようになったことで記録上の時間が増加したと考えられる。

図表 IX-320 タイムスタディ調査の結果(職員1人1日(480分)あたり)

	直接介護						間接業務						休憩	余裕時間	未記入	合計(分)	
	移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	機能訓練・医療的処置等	その他の直接介護	巡回・移動	記録・文書作成・連絡調整等	利用者の介護計画の作成等	介護の準備・使用・確認	介護ロボット・ICT機	その他の間接業務					
事前	時間(分)	42.1	50.9	18.5	2.3	9.3	104.8	17.5	71.0	13.8	1.3	35.6	50.2	42.9	19.0	1.0	480
	割合	9%	11%	4%	0%	2%	22%	4%	15%	3%	0%	7%	10%	9%	4%	0%	100%
事後①	時間(分)	37.8	52.4	12.8	4.1	7.2	108.5	18.7	70.8	5.8	2.0	54.0	64.2	37.1	4.1	0.4	480
	割合	8%	11%	3%	1%	2%	23%	4%	15%	1%	0%	11%	13%	8%	1%	0%	100%
事後②	時間(分)	30.3	47.4	11.4	5.5	8.9	106.9	21.1	76.8	10.2	1.8	70.6	53.5	30.6	3.4	1.7	480
	割合	6%	10%	2%	1%	2%	22%	4%	16%	2%	0%	15%	11%	6%	1%	0%	100%



事前 n=26、事後① n=24、事後② n=23

※5日間の自記式による職員業務量調査(タイムスタディ)を実施。

※グラフ上の数は、調査結果の和から8時間(480分)換算した値。

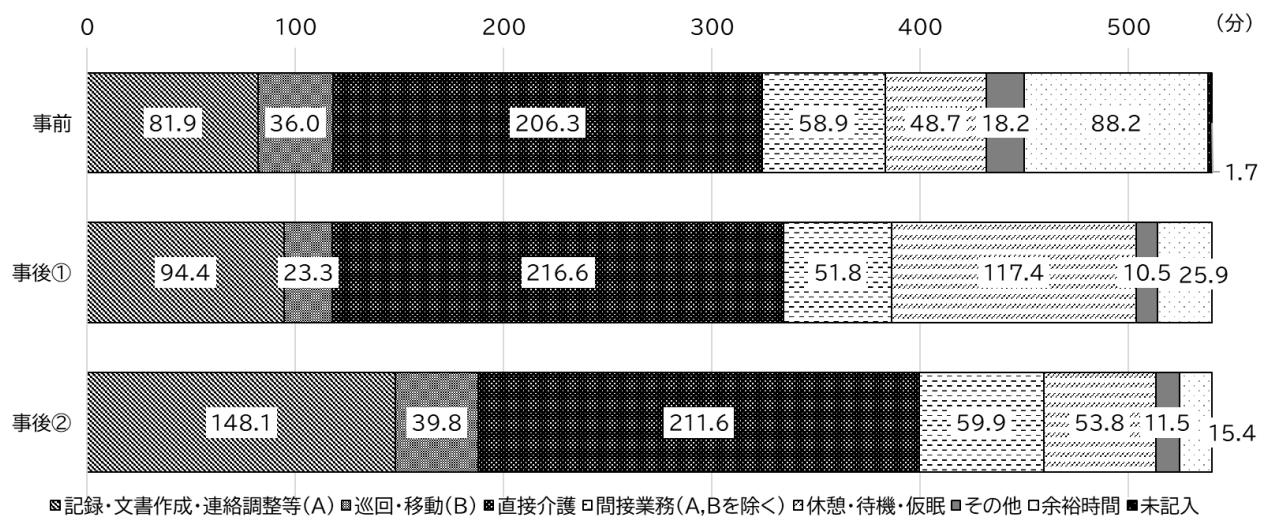
② タイムスタディ調査(夜間)

夜間(22時15分～7時15分)でのタイムスタディ調査の結果は以下の通り。

「記録・文書作成・連絡調整等」の時間は事前と比較し、事後①では12.5分増加し、事後②では66.2分増加した。「巡回・移動」の時間は事前と比較し、事後①で12.7分減少し、事後②で3.8分増加した。

図表 IX-321 タイムスタディ調査の結果(夜間)

		直接介護					間接業務					休憩		余裕時間	未記入	合計(分)	
		移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	機能訓練・医療的処置等	その他の直接介護	巡回・移動	記録・文書作成・連絡調整等	利用者の介護計画の作成等	介護口ボット・ICT機の準備・使用・確認	その他の間接業務	休憩・待機・仮眠	その他			
事前	時間(分)	47.1	113.6	27.2	5.7	0.3	12.4	36.0	81.9	34.6	0.4	23.9	48.7	18.2	88.2	1.7	540
	割合	9%	21%	5%	1%	0%	2%	7%	15%	6%	0%	4%	9%	3%	16%	0%	100%
事後①	時間(分)	39.5	# ##	14.6	8.8	0.1	50.8	23.3	94.4	7.1	1.2	43.5	117.4	10.5	25.9	0.0	540
	割合	7%	19%	3%	2%	0%	9%	4%	17%	1%	0%	8%	22%	2%	5%	0%	100%
事後②	時間(分)	37.3	# ##	9.9	22.8	0.5	36.0	39.8	148.1	14.3	1.9	43.7	53.8	11.5	15.4	0.0	540
	割合	7%	19%	2%	4%	0%	7%	7%	27%	3%	0%	8%	10%	2%	3%	0%	100%



※5日間の自記式による職員業務量調査(タイムスタディ)を実施

※グラフ上の数は、調査結果の和から9時間(540分)換算した値

事前 n=15、事後① n=14、事後② n=13

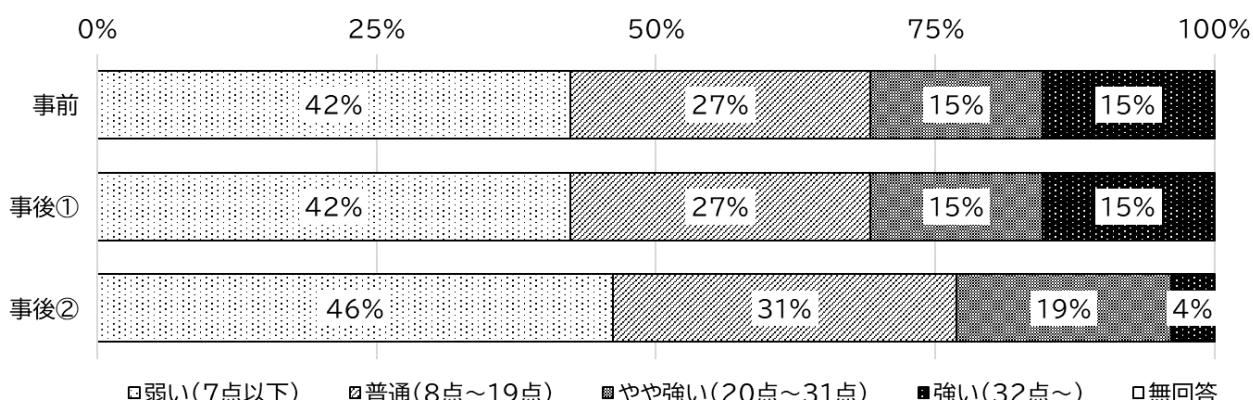
工. 職員向けアンケート調査

① 心理的負担評価

職員の心理的ストレス反応測定尺度合計点について事前と事後2回の結果を比較すると、「強い(32点以上)」と回答した職員の割合が事前及び事後①では15%、事後②では4%であり、11ポイント減少した。

図表 IX-322 職員調査:心理的負担評価

		7点以下	8点～19点	20点～31点	32点～	無回答	合計
事前	人数(人)	11	7	4	4	0	26
	割合	42%	27%	15%	15%	0%	100%
事後①	人数(人)	11	7	4	4	0	26
	割合	42%	27%	15%	15%	0%	100%
事後②	人数(人)	12	8	5	1	0	26
	割合	46%	31%	19%	4%	0%	100%

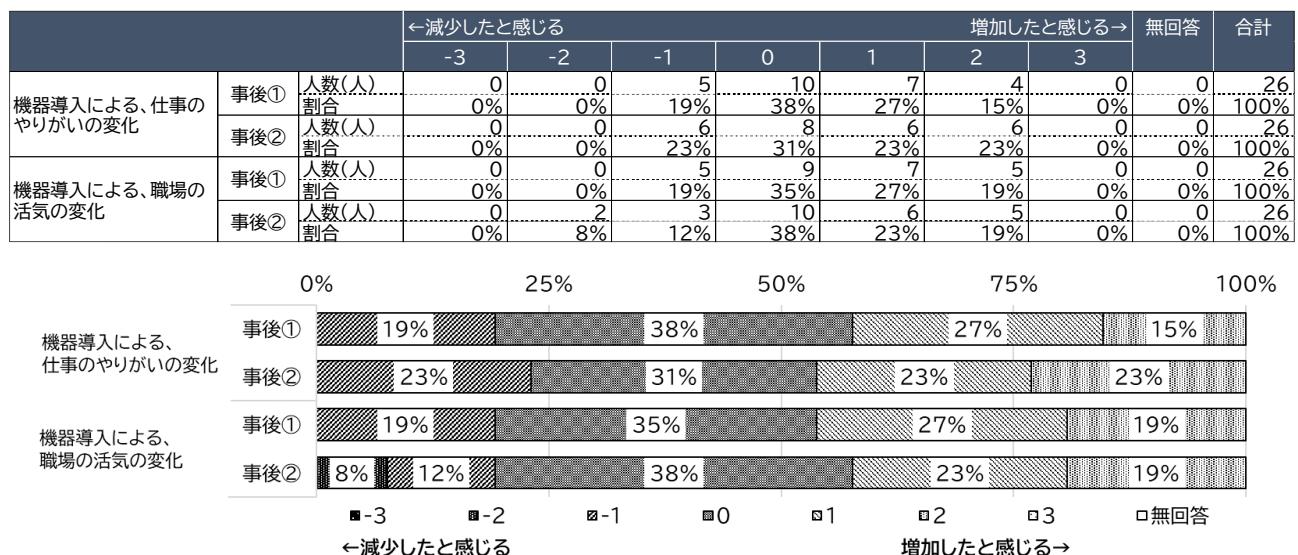


※心理的負担評価(SRS-18)は、18項目からなる個人の心理的ストレス反応を評価する尺度。各項目について「全くちがう(0点)」～「その通りだ(3点)」で評価する。合計点が0～7点を「弱い」、8～19点を「普通」、20～31点を「やや強い」、32点以上を「強い」と評価した。事前調査および事後調査ともに回答のあった職員のみを集計対象とした。事前調査または事後調査①・②で、各18項目のうち1項目でも無回答がある職員はすべて無回答とした。また、各項目の回答が0、1、2、3以外の場合は無回答処理をした。

② 機器導入によるモチベーションの変化

機器導入によるモチベーションの変化は以下の通り。

図表 IX-323 職員調査:機器導入によるモチベーションの変化



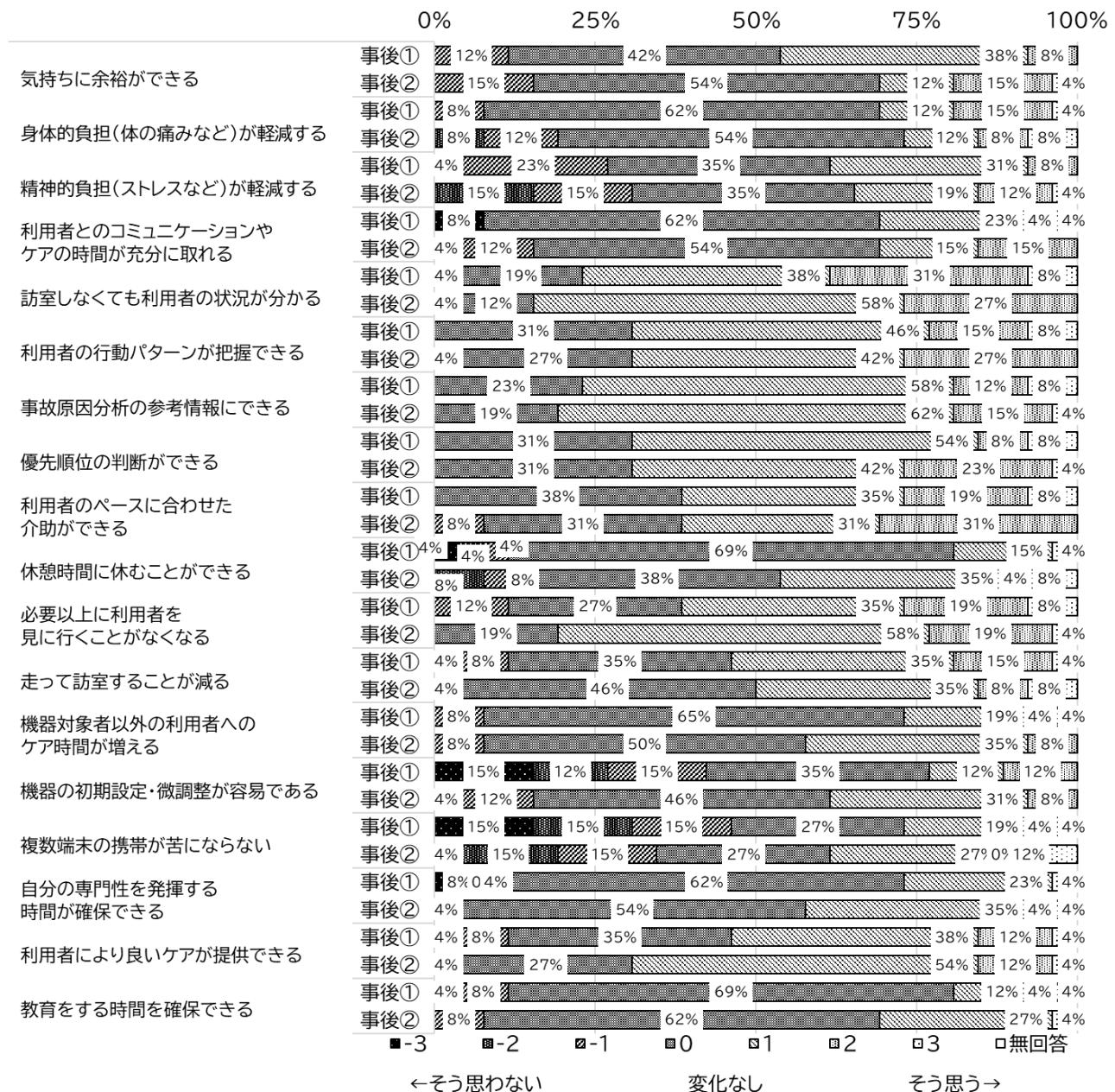
※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の7段階で評価した。

③ 機器導入による職員や施設業務の変化

機器導入による職員や施設業務の変化は以下の通り。

図表 IX-324 職員調査・機器導入による職員や施設業務の変化

		←そう思わない							変化なし		そう思う→		無回答	合計
		-3	-2	-1	0	1	2	3						
気持ちに余裕ができる	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	3 12%	11 42%	10 38%	2 8%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	4 15%	14 54%	3 12%	4 15%	1 4%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
身体的負担(体の痛みなど)が軽減する	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	2 8%	16 62%	3 12%	4 15%	1 4%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	2 8%	3 12%	14 54%	3 12%	2 8%	2 8%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
精神的負担(ストレスなど)が軽減する	事後①	人数(人) 割合	1 4%	0 0%	6 23%	9 35%	8 31%	2 8%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	4 15%	4 15%	9 35%	5 19%	3 12%	1 4%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れる	事後①	人数(人) 割合	2 8%	0 0%	0 0%	16 62%	6 23%	1 4%	1 4%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	1 4%	3 12%	14 54%	4 15%	4 15%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
訪室しなくても利用者の状況が分かる(即時性)	事後①	人数(人) 割合	1 4%	0 0%	0 0%	5 19%	10 38%	8 31%	2 8%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	1 4%	3 12%	15 58%	7 27%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
利用者の行動パターンが把握できる	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	8 31%	12 46%	4 15%	2 8%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	1 4%	7 27%	11 42%	7 27%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
事故原因分析の参考情報にできる	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	6 23%	15 58%	3 12%	2 8%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	5 19%	16 62%	4 15%	1 4%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
優先順位の判断ができる(同時コールの発生、他の利用者の介護中)	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	8 31%	14 54%	2 8%	2 8%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	8 31%	11 42%	6 23%	1 4%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
利用者のベースに合わせた介助ができる	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	10 38%	9 35%	5 19%	2 8%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	2 8%	8 31%	8 31%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
休憩時間に休むことができる	事後①	人数(人) 割合	1 4%	1 4%	1 4%	18 69%	4 15%	0 0%	1 4%	0 0%	1 4%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	2 8%	2 8%	10 38%	9 35%	1 4%	2 8%	0 0%	2 8%	0 0%	0 0%	26
必要以上に利用者を見に行くことがなくなる	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	3 12%	7 27%	9 35%	5 19%	2 8%	0 0%	2 8%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	5 19%	15 58%	5 19%	1 4%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
走って訪室することが減る	事後①	人数(人) 割合	1 4%	0 0%	2 8%	9 35%	9 35%	4 15%	1 4%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	1 4%	12 46%	9 35%	8 31%	2 8%	0 0%	2 8%	0 0%	0 0%	26
機器対象者以外の利用者へのケア時間が増える	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	2 8%	17 65%	5 19%	1 4%	1 4%	0 0%	1 4%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	2 8%	13 50%	9 35%	2 8%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
機器の初期設定・微調整が容易である	事後①	人数(人) 割合	4 15%	3 12%	4 15%	9 35%	3 12%	3 12%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	1 4%	3 12%	12 46%	8 31%	2 8%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
複数端末の携帯が苦にならない	事後①	人数(人) 割合	4 15%	4 15%	4 15%	7 27%	5 19%	4 14%	4 14%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	1 4%	4 15%	4 15%	7 27%	7 27%	0 0%	3 12%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	26
自分の専門性を発揮する時間が確保できる	事後①	人数(人) 割合	2 8%	0 0%	1 4%	16 62%	6 23%	0 0%	4 14%	1 4%	1 4%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	1 4%	0 0%	14 54%	9 35%	1 4%	4 14%	1 4%	1 4%	0 0%	0 0%	26
利用者により良いケアが提供できる	事後①	人数(人) 割合	1 4%	0 0%	2 8%	9 35%	10 38%	3 12%	4 14%	1 4%	1 4%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	1 4%	0 0%	7 27%	14 54%	3 12%	3 12%	1 4%	1 4%	0 0%	0 0%	26
教育をする(教育をうける)時間を確保できる	事後①	人数(人) 割合	1 4%	0 0%	2 8%	18 69%	3 12%	1 4%	1 4%	1 4%	1 4%	0 0%	0 0%	26
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	2 8%	16 62%	7 27%	0 0%	4 14%	0 0%	1 4%	0 0%	0 0%	26

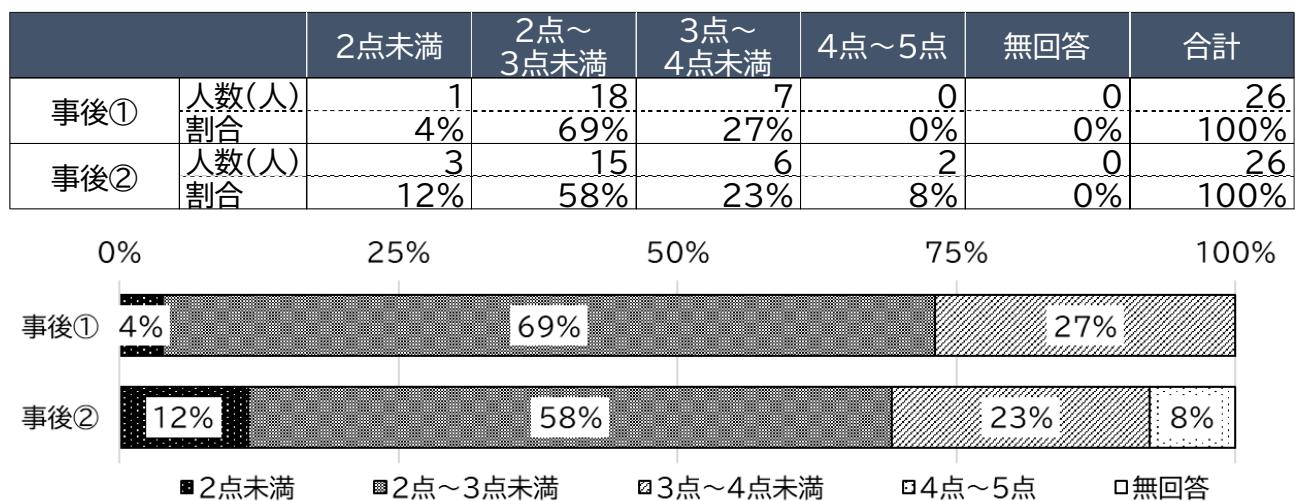


※質問項目に対し、-3(そう思わない)～+3(そう思う)の7段階で評価した。

④ 導入機器の満足度評価 ※出典:QUEST 福祉用具満足度評価

導入機器の満足度については、「2点～3点未満」が最も多く、事後①では 69%、事後②では 58%であった。

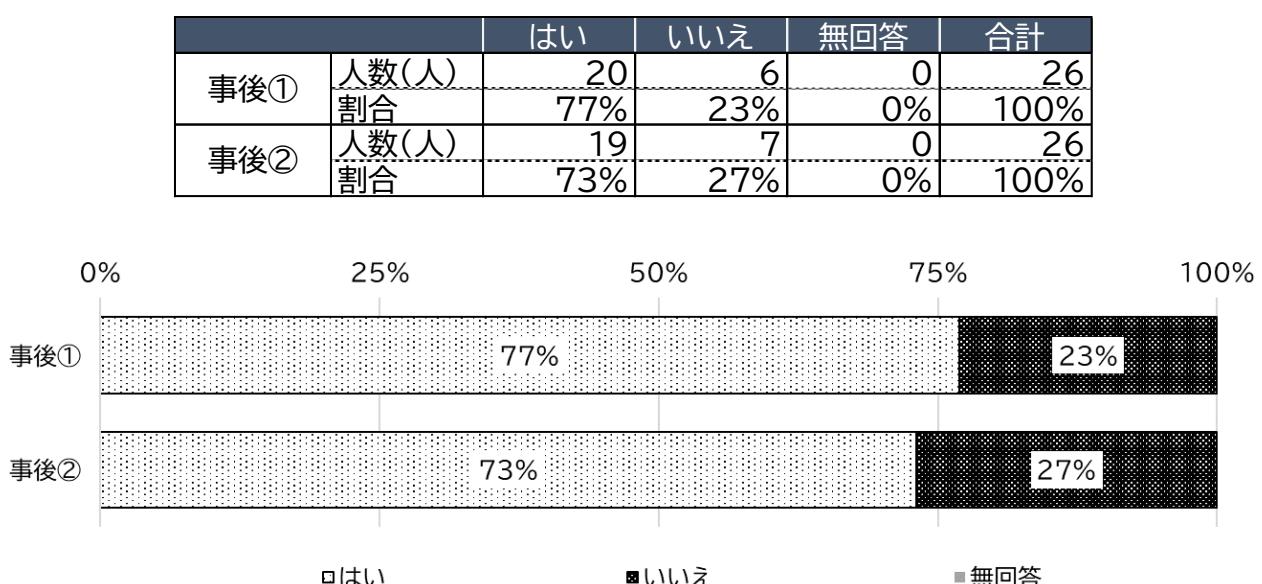
図表 IX-325 職員調査:導入機器の満足度評価(総合評価)



⑤ 導入機器の満足度評価 機器の継続利用意向

導入機器の継続利用意向については「はい」の回答が多く、事後①では 77%、事後②では 73%であった。

図表 IX-326 職員調査:導入機器の満足度評価 機器の継続利用意向

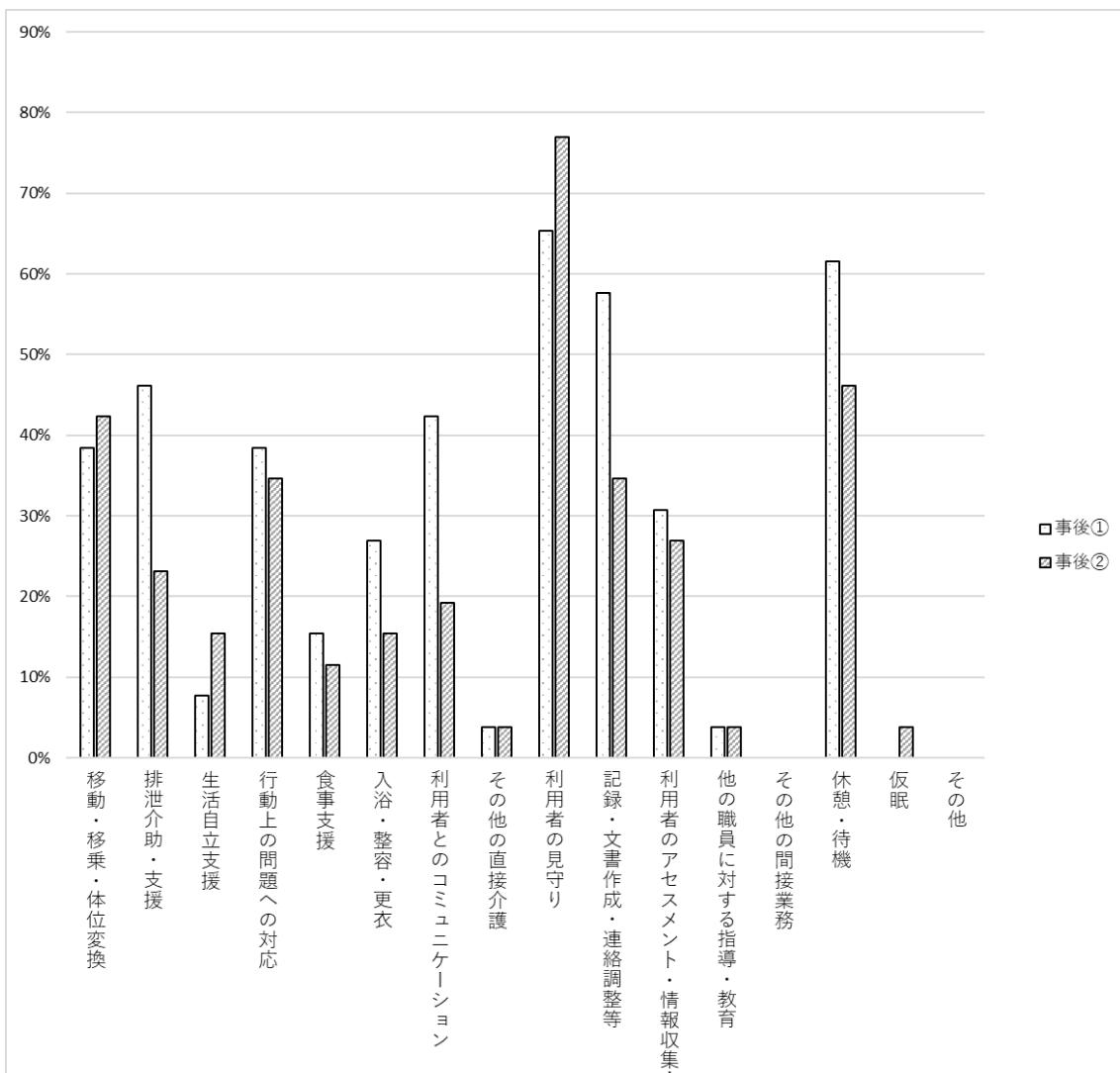


⑥ 職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間

職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間としては、「利用者の見守り」「休憩・待機」「記録・文書作成・連絡調整等」を挙げる職員が多かった。

図表 IX-327 職員調査:職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間

	直接介護							間接業務					休憩		合計（人）		
	移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	食事支援	入浴・整容・更衣	利用者とのコミュニケーション	その他の直接介護	利用者の見守り	記録・文書作成等	報収集・介護計画の作成・情報収集	他の職員に対する指導・教育	その他の間接業務	休憩・待機	仮眠		
事後①	人数(人)	10	12	2	10	4	7	11	1	17	15	8	1	0	16	0	0
	割合	38%	46%	8%	38%	15%	27%	42%	4%	65%	58%	31%	4%	0%	62%	0%	0%
事後②	人数(人)	11	6	4	9	3	4	5	1	20	9	7	1	0	12	1	0
	割合	42%	23%	15%	35%	12%	15%	19%	4%	77%	35%	27%	4%	0%	46%	4%	0%
																	26



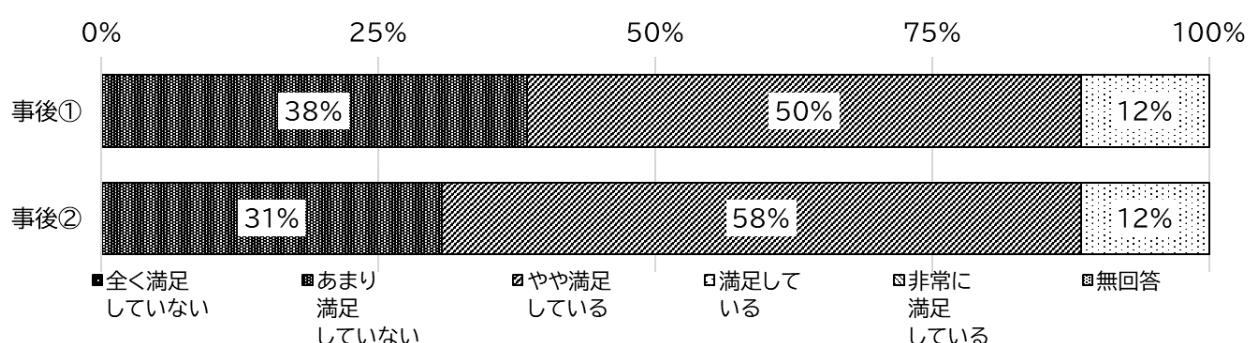
※該当する項目をすべて選択する設問。

⑦ 満足度評価

調査で導入した機器を用いたケアに対する満足度については、「やや満足している」と回答した職員の割合が最も多く、事後①では 50%、事後②では 58% であった。

図表 IX-328 職員調査:満足度評価

			全く満足していない	あまり満足していない	やや満足している	満足している	非常に満足している	無回答	合計
機器・テクノロジー等の導入や機器・テクノロジー等を使ったケアに、どれくらい満足していますか？	事後①	人数(人)	0	10	13	3	0	0	26
	事後②	割合	0%	38%	50%	12%	0%	0%	100%



※質問項目に対し、1(全く満足していない)～5(非常に満足している)の 5 段階で評価した。

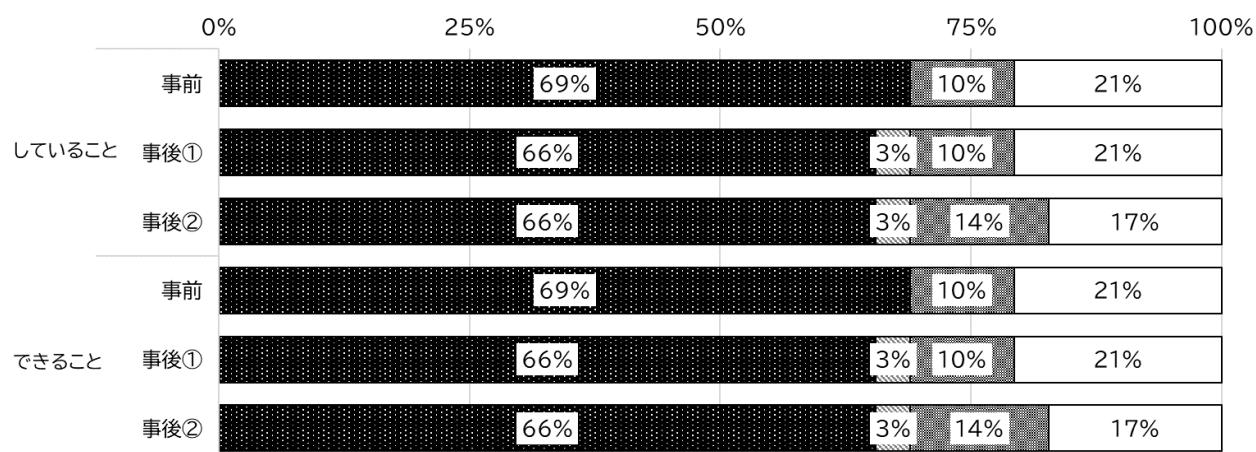
オ. 利用者向けアンケート調査

① ADL の変化

ADL の変化は以下の通り。

図表 IX-329 利用者調査:ADL の変化

			0点～ 20点	25点～ 40点	45点～ 60点	65点～ 100点	無回答	合計
していること	事前	人数(人)	20	0	3	6	0	29
	割合	69%	0%	10%	21%	0%	100%	
できること	事後①	人数(人)	19	1	3	6	0	29
	割合	66%	3%	10%	21%	0%	100%	
	事後②	人数(人)	19	1	4	5	0	29
	割合	66%	3%	14%	17%	0%	100%	



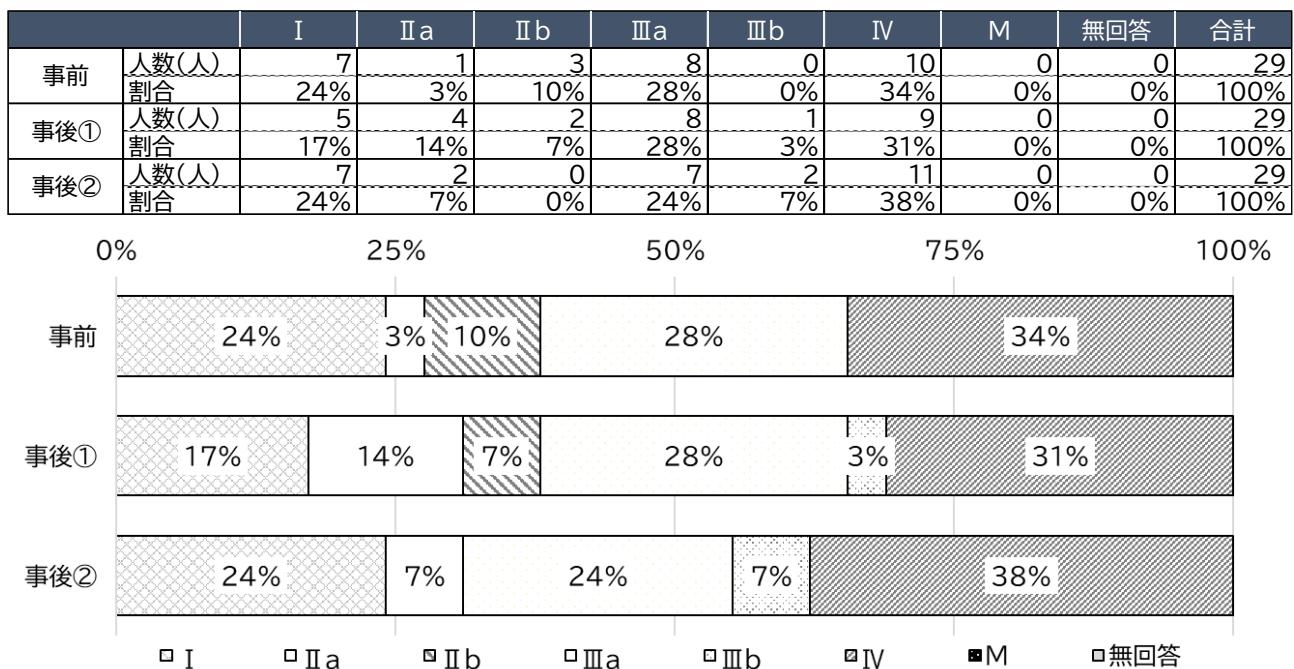
■0～20点(ほぼ全介助) □25～40点(かなりの介助) ▨45～60点(部分介助) □65～100点(ほぼ自立・自立) □無回答

※事前調査または事後調査で、各 10 項目のうち 1 項目でも無回答がある場合は無回答処理をした。

② 認知症高齢者の日常生活自立度の変化

認知症高齢者の日常生活自立度は以下の通り。

図表 IX-330 利用者調査:認知症高齢者の日常生活自立度の変化

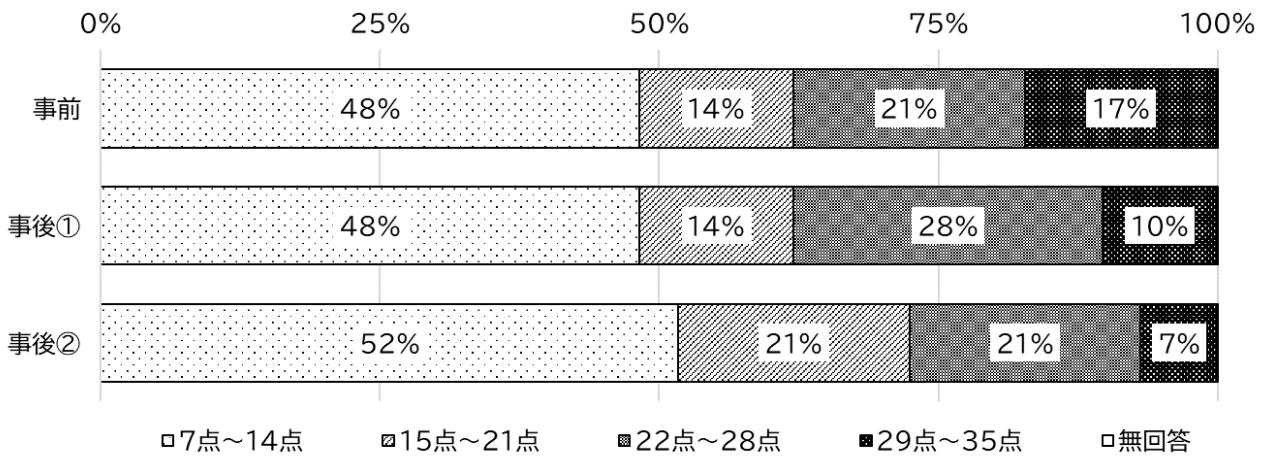


③ 生活・認知機能尺度の変化

生活・認知機能尺度の変化について、「29 点～35 点」の利用者の割合が、事前では 17% であり、事後①では 10%、事後②では 7% となった。

図表 IX-331 利用者調査:生活・認知機能尺度の変化

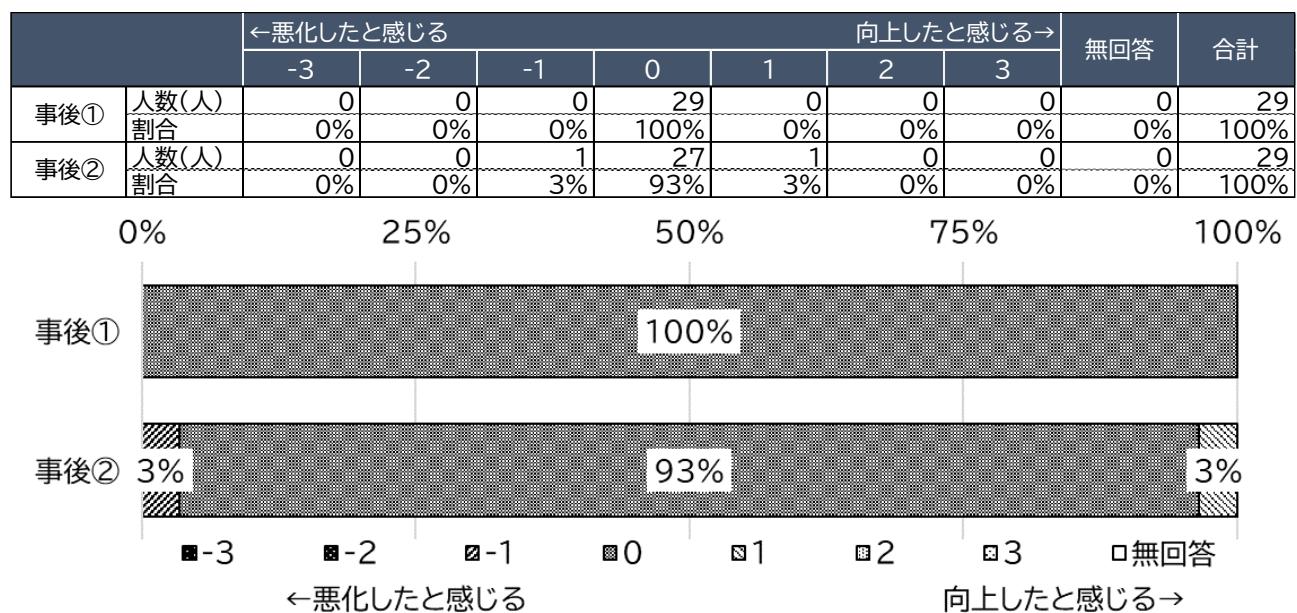
		7点～14点	15点～21点	22点～28点	29点～35点	無回答	合計
事前	人数(人)	14	4	6	5	0	29
	割合	48%	14%	21%	17%	0%	100%
事後①	人数(人)	14	4	8	3	0	29
	割合	48%	14%	28%	10%	0%	100%
事後②	人数(人)	15	6	6	2	0	29
	割合	52%	21%	21%	7%	0%	100%



④ 認知機能変化の総合的な評価

認知機能変化の総合的な評価は、「0(変化なし)」と回答する利用者が最も多く、事後①では 100%、事後②では 93%であった。

図表 IX-332 利用者調査:認知機能変化の総合的な評価



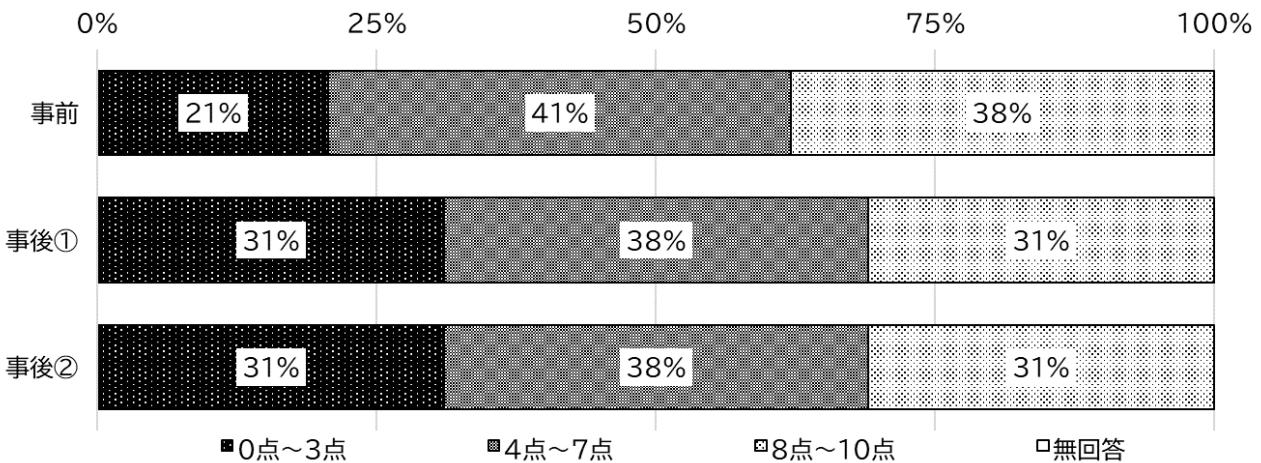
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑤ Vitality Index の変化

Vitality Index の変化は以下の通り。

図表 IX-333 利用者調査:Vitality Index の変化

		0点～ 3点	4点～ 7点	8点～ 10点	無回答	合計
事前	人数(人)	6	12	11	0	29
	割合	21%	41%	38%	0%	100%
事後①	人数(人)	9	11	9	0	29
	割合	31%	38%	31%	0%	100%
事後②	人数(人)	9	11	9	0	29
	割合	31%	38%	31%	0%	100%



※事前調査または事後調査で、各5項目のうち 1 項目でも無回答がある利用者はすべて無回答とし、各項目の回答が0、1、2、以外の場合は無回答処理をした。

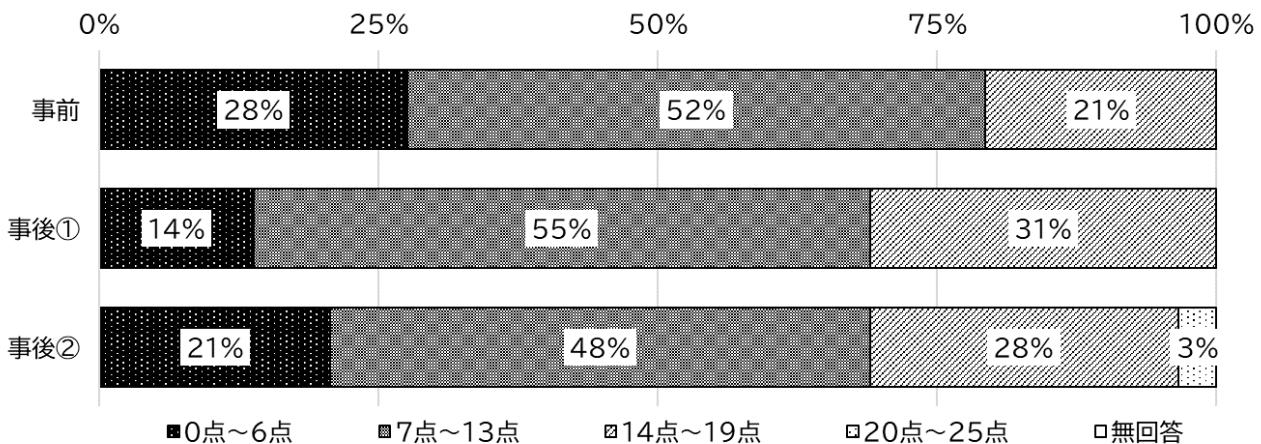
※ Vitality index とは、鳥羽ら(2002)によって開発された、高齢者の日常生活動作「起床」「意志疎通」「食事」「排泄」「活動」の 5 項目から高齢者における日常生活動作に関連した「意欲」を客観的に評価する指標。5 項目それぞれに0～2 点で回答し、それぞれ 2 点が最もよい状態を示す。10 点満点。

⑥ QOL(WHO-5 精神的健康状態表)の変化

QOL の変化は、「14 点以上 19 点以下」と「20 点以上 25 点以下」の合計が、事前では 21%、事後①及び事後②では 31% であった。

図表 IX-334 利用者調査:QOL の変化

		0点～6点	7点～13点	14点～19点	20点～25点	無回答	合計
事前	人数(人)	8	15	6	0	0	29
	割合	28%	52%	21%	0%	0%	100%
事後①	人数(人)	4	16	9	0	0	29
	割合	14%	55%	31%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	6	14	8	1	0	29
	割合	21%	48%	28%	3%	0%	100%



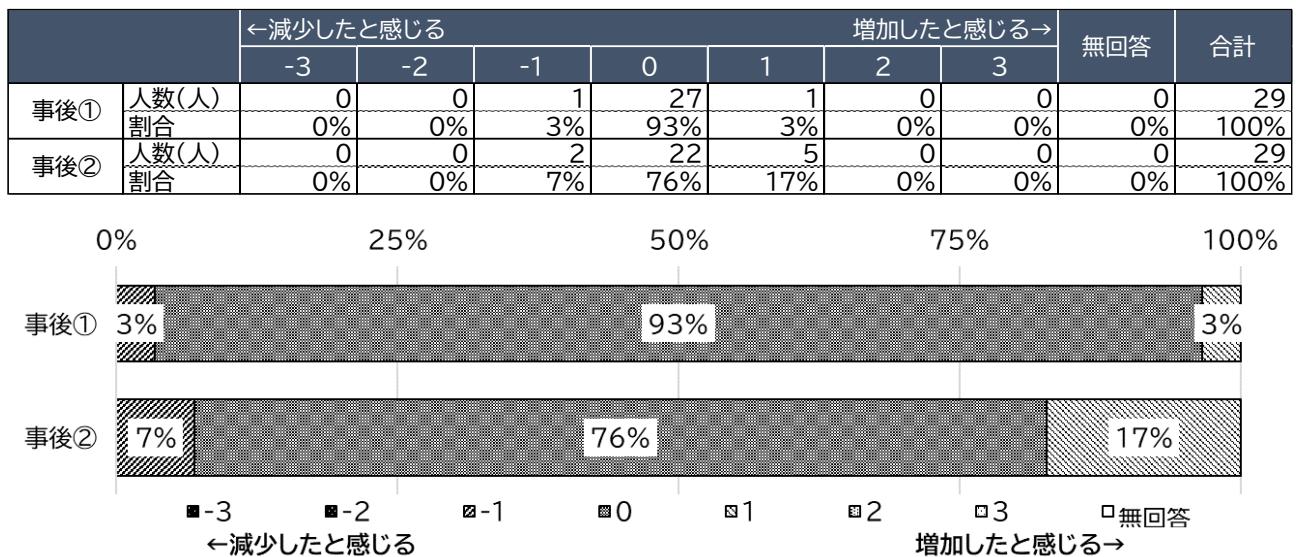
※事前または事後で、各5項目のうち 1 項目でも無回答がある利用者はすべて無回答とし、各項目の回答が0、1、2、3、4、5 以外の場合は無回答処理をした。

※QOL の変化は、WHO-5 精神的健康状態表を用いて実証対象施設の職員が回答した。最近2週間、利用者の状態に最も近いものについて、5項目それぞれに 5(いつも)～0(まったくない)点で回答し、その合計点で評価。25 点満点。

⑦ QOL の変化の総合的な評価

QOL の変化の総合的な評価については、「0(変化なし)」と回答する利用者が最も多く、事後①では 93%、事後②では 76% であった。

図表 IX-335 利用者調査:QOL の変化の総合的な評価



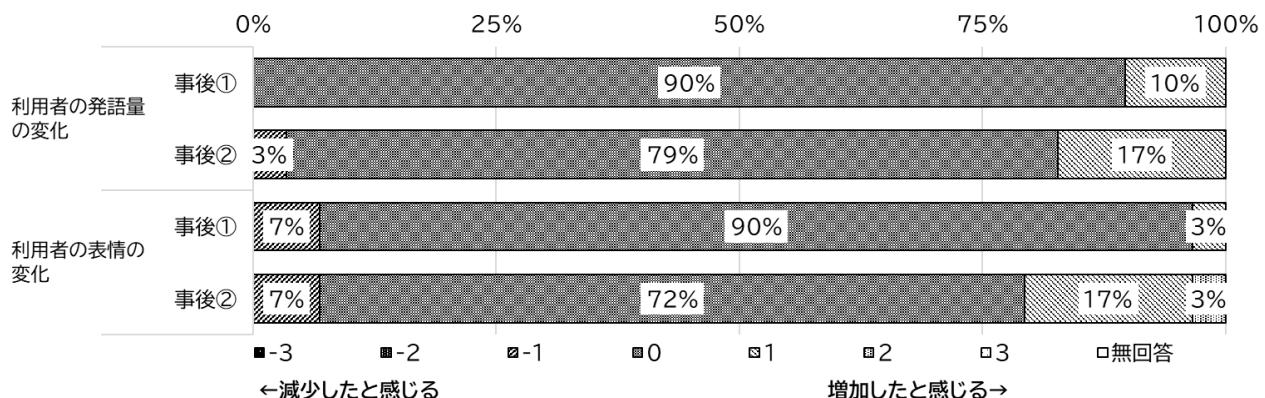
※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑧ 機器導入によるコミュニケーションの変化

機器導入によるコミュニケーションの変化は、「0(変化なし)」と回答する利用者が最も多く、「利用者の発語量の変化」では、事後①で 90%、事後②で 79% であった。「利用者の表情の変化」では、事後①で 90%、事後②で 72% であった。

図表 IX-336 利用者調査:機器導入によるコミュニケーションの変化

		←減少したと感じる							無回答	合計
		-3	-2	-1	0	1	2	3		
利用者の発語量の変化	事後①	0	0	0	26	3	0	0	0	29
	割合	0%	0%	0%	90%	10%	0%	0%	0%	100%
	事後②	0	0	1	23	5	0	0	0	29
	割合	0%	0%	3%	79%	17%	0%	0%	0%	100%
利用者の表情の変化 (笑顔になる頻度等)	事後①	0	0	2	26	1	0	0	0	29
	割合	0%	0%	7%	90%	3%	0%	0%	0%	100%
	事後②	0	0	2	21	5	1	0	0	29
	割合	0%	0%	7%	72%	17%	3%	0%	0%	100%



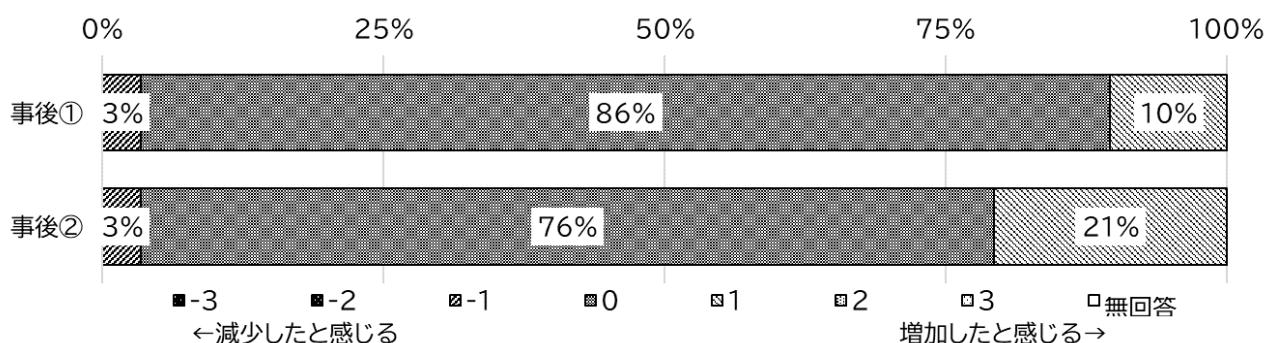
※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑨ 機器導入によるコミュニケーション変化の総合的な評価

機器導入によるコミュニケーション変化の総合的な評価は、「0(変化なし)」と回答する利用者が最も多く、事後①で86%、事後②で76%であった。

図表 IX-337 利用者調査:機器導入によるコミュニケーション変化の総合的な評価

		←減少したと感じる							無回答	合計
		-3	-2	-1	0	1	2	3		
事後①	人数(人)	0	0	1	25	3	0	0	0	29
	割合	0%	0%	3%	86%	10%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	1	22	6	0	0	0	29
	割合	0%	0%	3%	76%	21%	0%	0%	0%	100%

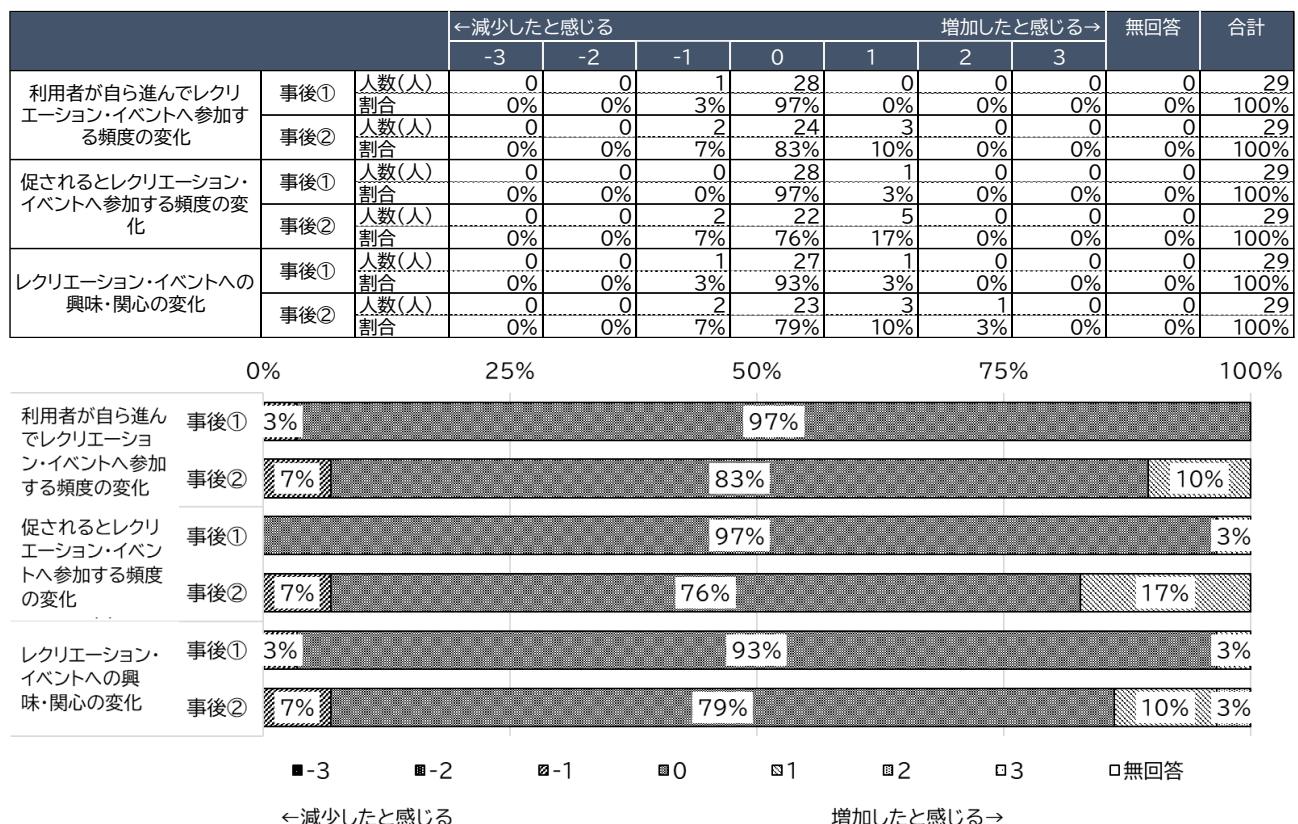


※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑩ 機器導入によるレクリエーション・イベントへの参加状況の変化

機器導入によるレクリエーション・イベントへの参加状況の変化は、いずれも「0(変化なし)」と回答する利用者が最も多かった。

図表 IX-338 利用者調査:機器導入によるレクリエーション・イベントへの参加状況の変化



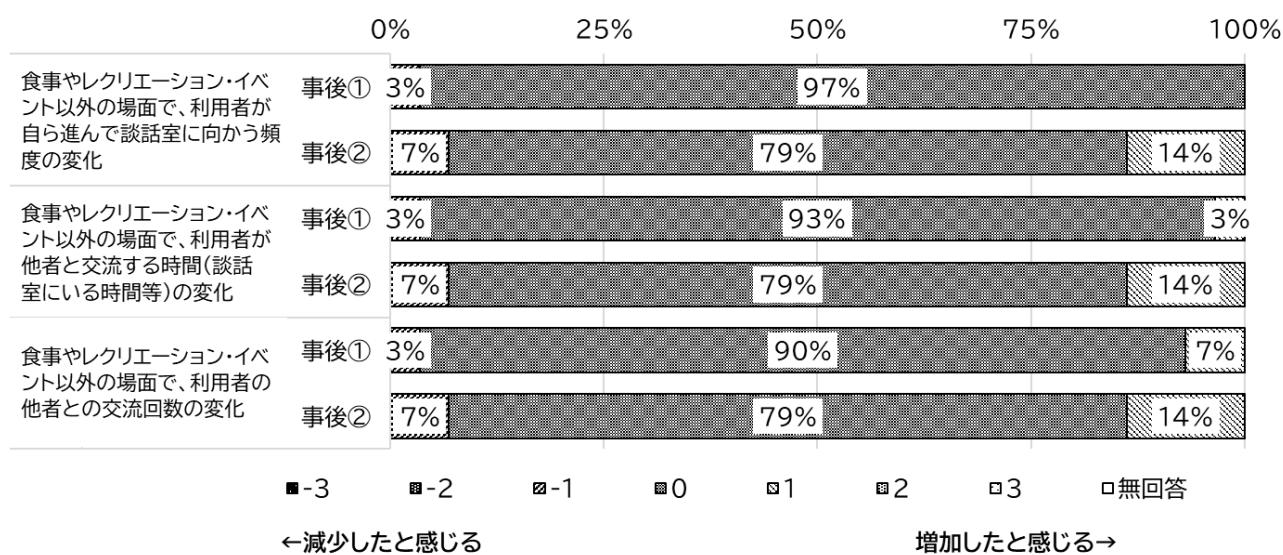
※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑪ 機器導入による、食事やレクリエーション・イベント以外の場面での他者との交流の変化

機器導入による、食事やレクリエーション・イベント以外の場面での他者との交流の変化は、いずれも「0(変化なし)」と回答する利用者が最も多かった。

図表 IX-339 利用者調査:機器導入による、食事やレクリエーション・イベント以外の場面での他者との交流の変化

			<減少したと感じる							無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3		
食事やレクリエーション・イベ ント以外の場面で、利用者が 自ら進んで談話室に向かう頻 度の変化	事後①	人数(人)	0	0	1	28	0	0	0	0	29
		割合	0%	0%	3%	97%	0%	0%	0%	0%	100%
食事やレクリエーション・イベ ント以外の場面で、利用者が他者と交 流する時間(談話室にいる時間等)の 変化	事後①	人数(人)	0	0	2	23	4	0	0	0	29
		割合	0%	0%	7%	79%	14%	0%	0%	0%	100%
食事やレクリエーション・イベ ント以外の場面で、利用者の 他者との交流回数の変化	事後①	人数(人)	0	0	1	27	1	0	0	0	29
		割合	0%	0%	3%	93%	3%	0%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	2	23	4	0	0	0	29
		割合	0%	0%	7%	79%	14%	0%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	0	1	26	2	0	0	0	29
		割合	0%	0%	3%	90%	7%	0%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	2	23	4	0	0	0	29
		割合	0%	0%	7%	79%	14%	0%	0%	0%	100%

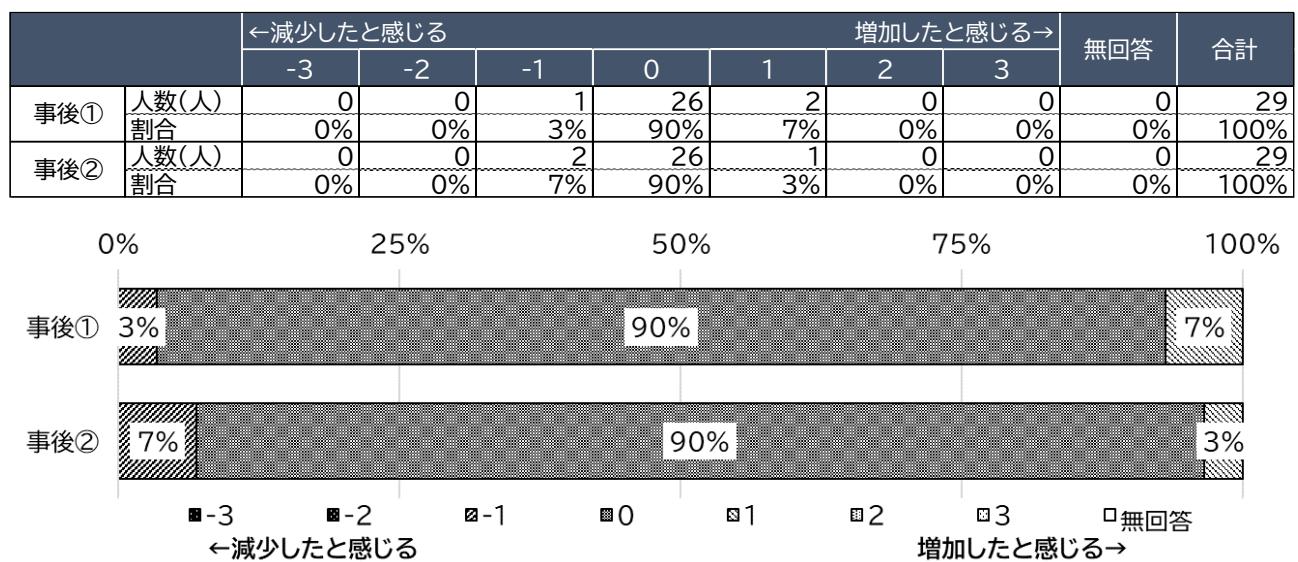


※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑫ 機器導入による社会参加の変化の総合的な評価

機器導入による社会参加の変化の総合的な評価は、「0(変化なし)」と回答する利用者が最も多く、事後①及び事後②で90%であった。

図表 IX-340 利用者調査:機器導入による社会参加の変化の総合的な評価



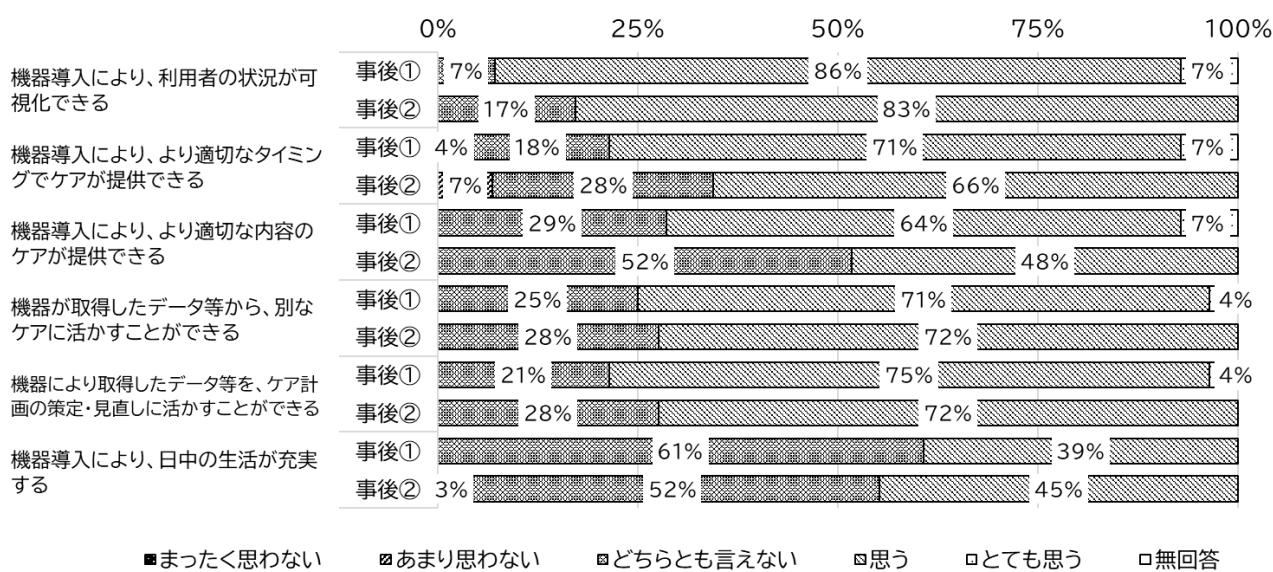
※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑬ 機器導入によるケア内容の変更

機器導入によるケア内容の変更は以下の通り。

図表 IX-341 利用者調査:機器導入によるケア内容の変更

			まったく思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	思う	とても思う	無回答	合計
機器導入により、利用者の状況が可視化できる	事後①	人数(人)	0	0	3	24	2	0	29
	割合		0%	0%	10%	83%	7%	0%	100%
機器導入により、より適切なタイミングでケアが提供できる	事後①	人数(人)	0	1	6	20	2	0	29
	割合		0%	3%	21%	69%	7%	0%	100%
機器導入により、より適切な内容のケアが提供できる	事後①	人数(人)	0	2	8	19	0	0	29
	割合		0%	7%	28%	66%	0%	0%	100%
機器が取得したデータ等から、別なケアに活かすことができる	事後①	人数(人)	0	0	9	18	2	0	29
	割合		0%	0%	31%	62%	7%	0%	100%
機器により取得したデータ等を、ケア計画の策定・見直しに活かすことができる	事後①	人数(人)	0	0	15	14	0	0	29
	割合		0%	0%	52%	48%	0%	0%	100%
機器導入により、日中の生活が充実する	事後①	人数(人)	0	0	8	20	1	0	29
	割合		0%	0%	28%	69%	3%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	8	21	0	0	29
	割合		0%	0%	28%	72%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	0	7	21	1	0	29
	割合		0%	0%	24%	72%	3%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	8	21	0	0	29
	割合		0%	0%	28%	72%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	0	17	12	0	0	29
	割合		0%	0%	59%	41%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	1	15	13	0	0	29
	割合		0%	3%	52%	45%	0%	0%	100%



※質問項目に対し、1(全く思わない)～5(とても思う)の5段階で評価した(回答は職員が実施)。

力. 独自調査

① 独自調査の概要

職員の疲労度・疲労感に着目し、ウェアラブル端末(Garmin)を用いて以下の測定を行った。

- i. 職員の勤務中の総歩数
- ii. ストレス等の測定(それぞれ0点～100点で評価される)
 - (1) ストレスレベル(100点に近いほど高ストレスな状態)
 - (2) 睡眠スコア(100点に近いほど睡眠の質が良い状態)
 - (3) 疲労スコア(100点に近いほど疲労が強い状態)

職員は実証期間中、勤務時間外も端末を身に着けてデータを記録した。

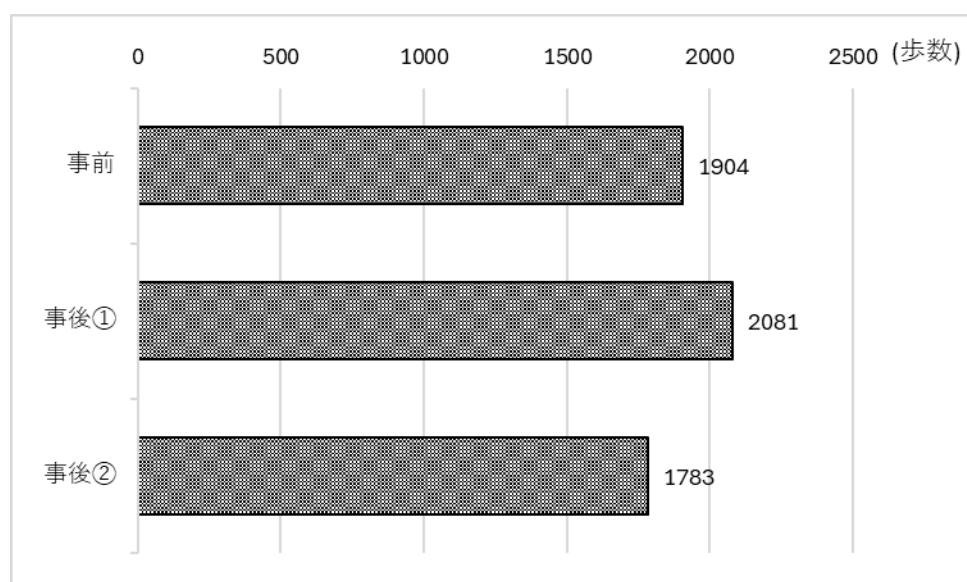
② 独自調査の結果

i. 職員の勤務中の総歩数

実証目的として、夜間の訪室回数の削減があったため、特に夜間勤務(22時15分～翌朝7時15分)の歩数について集計した。各実証期間中の対象職員の夜勤1回あたりの歩数は以下の通りであった。

事前から事後①にかけては、歩数は増加したが、事後②では事前よりも歩数が減少した。

図表 IX-342 独自調査結果:夜間勤務時の職員夜勤1回あたりの歩数



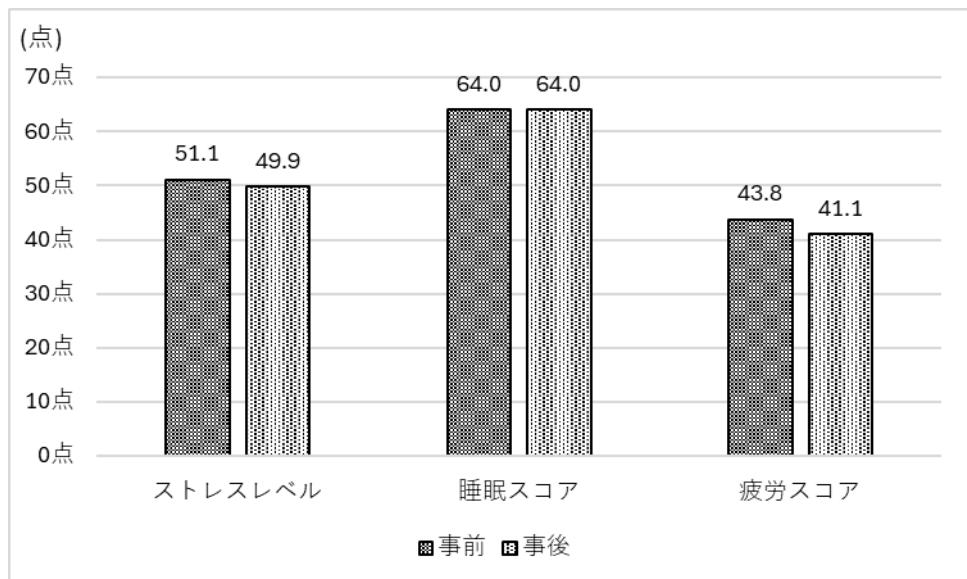
事前 n=15、事後① n=14、事後② n=13

ii. ストレスレベル・睡眠スコア・疲労スコア

各種測定の結果は以下の通り。

睡眠スコアについては事前(機器導入前)と事後(機器導入後)で変化はなかったが、ストレスレベルと疲労スコアについては、事前から事後において改善傾向が見られた。

図表 IX-343 独自調査結果:ストレスレベル・睡眠スコア・疲労スコア



事前 n=26、事後① n=24、事後② n=23

キ. ヒアリング調査

実証完了後、実証施設へのヒアリング調査を実施した。調査結果の概要は以下の通り。

図表 IX-344 機器導入後の課題・対応

カテゴリ	主な意見
職員について	<ul style="list-style-type: none"> 機器導入時、インカムについては、メーカーに説明会を開催してもらい、参加できる職員は参加した。不参加の職員にも周知するため、説明会の録画を確認するよう案内した。また、施設として簡易的な操作方法の説明資料も作成し、周知を図った。話し始める際には自分の名前を名乗るというルールや、受信側の対応の仕方など、インカム使用時のルールを定めたことで、活用しやすくなった。 事後調査2回目の時期には、意識的にインカムを用いて職員間での連絡を実施し、業務効率化を意識することで、利用者と関わる時間を増やした。その結果、関わった際の利用者に関する記録を丁寧に残すようにしたため、記録業務の時間が増加した。 今回の実証にあたり、事後調査1回目の調査時に移動時間を正確に記録できていない職員がいたため、事後調査2回目では正確に記録することを徹底した。その結果、移動時間が事後調査2回目で増加した。また、利用者が看取り期に入ると、約60分のカンファレンスを実施し、その記録を作成する。看取り期の利用者が増加したことで、事後調査2回目での記録業務の時間が増加した。
利用者について	<ul style="list-style-type: none"> 事後調査1回目2回目の時期に体調を崩す利用者がいたことで、利用者アンケートの結果も悪くなってしまうことがあった。

図表 IX-345 生産性向上に向けた委員会開催の概要

設問	主な意見
委員会の開催周期	<ul style="list-style-type: none"> 実証期間中、それぞれの実証フィールドで、2回ずつ委員会を開催した。
参加職種・役職 (実証フィールド別)	<ul style="list-style-type: none"> 1か所では、主に施設長、介護主任、看護主任、チームリーダーが参加 もう1か所では、上記加えて介護副主任、相談員、栄養士が参加
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> 夜間の定期巡回を減らせる利用者を抽出した(ADL の評価が高い利用者を中心を選定)。 見守り機器で取得したデータを基に、定期巡回のオペレーションの見直しを検討した。 定期巡回以外での夜間の訪室ルールについて(見守り機器で30分離床が続いた場合には確認のために訪室する)。
検討結果の周知	<ul style="list-style-type: none"> 検討結果は、チーム会で各職員に共有した。 取組の成果が出た利用者のデータを職員に共有し、職員のモチベーション向上と訪室回数削減に対する安心感の醸成を図った。

図表 IX-346 実証目的に対する達成状況と今後の課題

カテゴリ	主な意見
職員の観点	<ul style="list-style-type: none"> 職員の待機場所から離れたフロアの状況が見守り機器で把握できることで、職員の負担が軽減された。 夜間の巡回時間が減少したこと、記録業務を夜間に実施できるようになり、日中のシフト作成において時間休の導入なども今後可能になるかもしれない。 インカムで会話をすることで、複数名で同時に情報を共有できるようになった。 事後調査1回目の時には、インカムを装着することに抵抗感を持つ職員もいたが、事後調査2回目までには慣れることができていた。 見守り機器の導入により時間に余裕ができていると思う。その分の時間を、直接介護だけでなく連絡調整等に回して情報共有を増やすことで、利用者へのケアの質が上がると考えている。
利用者の観点	<ul style="list-style-type: none"> 訪室回数を減らしたこと、利用者の夜間の覚醒が減少し、日中の活動量が增加了。 夜間の覚醒状況に合わせて排泄支援を行うことで、ナースコールの回数が減少した。
施設の観点	<ul style="list-style-type: none"> 見守り機器で収集したデータを使うことで、利用者・ご家族へ根拠を持った説明ができるようになった。 施設全体の空間はそれほど広くないため、少し歩けばのフロアの職員に声を掛けることができる。しかし、そういう場面でもインカムを効果的に使っていくという意識づけを実施していきたい。 新人職員の教育について、人材不足もあり、なかなか付きっ切りで指導を続けることが難しい、新人職員が1人立ちした後など、業務中に質問したいことを随時インカムで相談できるような運用をしていきたい。

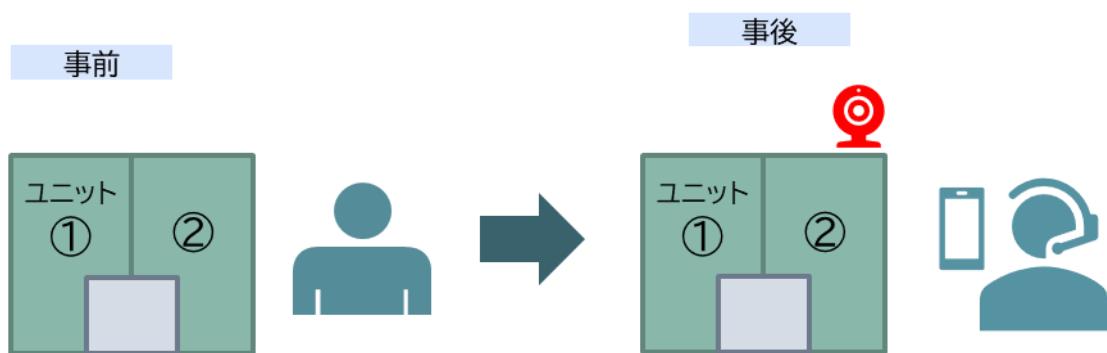
(10) 社会福祉法人あさがお福祉会「見守り機器、介護ソフト、インカムの導入による夜間巡回業務や職員間連携の効果測定」

ア. 実証の概要

① 実証目的

見守り機器(眠り SCAN)、介護ソフト(Notice)、インカム(Buddycom)の導入により、職員の夜間巡回・訪室時間や記録作成時間の削減や職員同士の連携の効率化を図ることで職員の心理的負担を低減することを目的とした。

図表 IX-347 実証イメージ



② 実証フィールドの概要

本実証では以下の実証フィールドにて効果測定を実施した。

図表 IX-348 実証フィールドの概要

実証 フィールド	法人名	施設名	備考
1	社会福祉法人 あさがお福祉会	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 KAGOYA LIFE(あおばユニット)	集計結果では「ユニット1」と表記
2	社会福祉法人 あさがお福祉会	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 KAGOYA LIFE(いぶきユニット)	集計結果では「ユニット2」と表記
3	社会福祉法人 あさがお福祉会	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 KAGOYA LIFE(みのりユニット)	集計結果では「ユニット3」と表記

③ 実証期間

調査の時期は以下の通りである。

図表 IX-349 調査の時期

調査	時期
事前調査	令和6年10月2日～10月8日(5日間)
事後調査①	令和6年10月21日～11月7日(5日間)
事後調査②	令和6年12月11日～12月17日(5日間)
ヒアリング調査	令和7年2月14日

④ 調査項目

本調査では、実証の事前と事後(2回)で「タイムスタディ調査」、「職員アンケート調査」、「利用者アンケート調査」を実施し、実証終了後に「ヒアリング調査」を行った。以下に各調査の概要を記載する。

図表 IX-350 各調査の概要

調査名	調査対象者	調査概要
タイムスタディ調査 (全テーマ共通)	調査期間中に実証フィールドで勤務した職員	<ul style="list-style-type: none"> 回答方法:自記式(1分刻みで自身が実施した作業項目を記入) 調査スケジュール:事前(機器導入前)1回、事後(機器導入後)2回、それぞれ5日間実施 調査実施の時間帯:24 時間
職員向けアンケート調査 (全テーマ共通)	調査期間中に実証フィールドで勤務した職員	<ul style="list-style-type: none"> 回答方法:自記式(WEB回答) 調査スケジュール:事前と事後2回、実証期間中それぞれについて、1名につき1回のみ回答
利用者向けアンケート調査 (全テーマ共通)	機器を導入した利用者 (職員による代理回答)	<ul style="list-style-type: none"> 回答方法:自記式(WEB回答) 調査スケジュール:事前と事後2回、実証期間中それぞれについて、1名につき1回のみ回答
ヒアリング調査 (全テーマ共通)	実証フィールドの管理者、職員	<ul style="list-style-type: none"> 調査方法:WEB会議による聞き取り 調査スケジュール:実証終了後に1回実施

イ. 利用者・職員概要

① 利用者概要

本調査において利用者向けアンケート調査に回答があった利用者は25名であった。

図表 IX-351 利用者概要:性別

		男性	女性	無回答	合計
総数	人数(人)	5	20	0	25
	割合	20%	80%	0%	100%
ユニット1	人数(人)	0	9	0	9
	割合	0%	100%	0%	100%
ユニット2	人数(人)	1	7	0	8
	割合	13%	88%	0%	100%
ユニット3	人数(人)	4	4	0	8
	割合	50%	50%	0%	100%

図表 IX-352 利用者概要:年齢

		70歳未満	70歳～75歳未満	75歳～80歳未満	80歳～85歳未満	85歳～90歳未満	90歳～95歳未満	95歳以上	無回答	合計
総数	人数(人)	0	2	3	5	4	4	3	4	25
	割合	0%	8%	12%	20%	16%	16%	12%	16%	100%
ユニット1	人数(人)	0	1	1	3	0	3	1	0	9
	割合	0%	11%	11%	33%	0%	33%	11%	0%	100%
ユニット2	人数(人)	0	0	0	1	2	1	1	3	8
	割合	0%	0%	0%	13%	25%	13%	13%	38%	100%
ユニット3	人数(人)	0	1	2	1	2	0	1	1	8
	割合	0%	13%	25%	13%	25%	0%	13%	13%	100%

図表 IX-353 利用者概要:要介護度

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	自立・要支援	その他(区分申請中等)	無回答	合計
総数	人数(人)	0	1	9	5	5	0	0	5	25
	割合	0%	4%	36%	20%	20%	0%	0%	20%	100%
ユニット1	人数(人)	0	1	4	1	2	0	0	1	9
	割合	0%	11%	44%	11%	22%	0%	0%	11%	100%
ユニット2	人数(人)	0	0	3	1	2	0	0	2	8
	割合	0%	0%	38%	13%	25%	0%	0%	25%	100%
ユニット3	人数(人)	0	0	2	3	1	0	0	2	8
	割合	0%	0%	25%	38%	13%	0%	0%	25%	100%

図表 IX-354 利用者概要:障害高齢者の日常生活自立度

		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明・未実施	無回答	合計
総数	人数(人)	0	0	0	1	4	11	1	8	0	0	25
	割合	0%	0%	0%	4%	16%	44%	4%	32%	0%	0%	100%
ユニット1	人数(人)	0	0	0	1	3	3	0	2	0	0	9
	割合	0%	0%	0%	11%	33%	33%	0%	22%	0%	0%	100%
ユニット2	人数(人)	0	0	0	0	1	3	0	4	0	0	8
	割合	0%	0%	0%	0%	13%	38%	0%	50%	0%	0%	100%
ユニット3	人数(人)	0	0	0	0	0	5	1	2	0	0	8
	割合	0%	0%	0%	0%	0%	63%	13%	25%	0%	0%	100%

② 職員概要

本調査において職員向けアンケート調査に回答があった職員は 17 名であった。

図表 IX-355 職員概要:性別

		男性	女性	無回答	合計
総数	人数(人)	8	10	0	18
	割合	44%	56%	0%	100%
ユニット1	人数(人)	2	3	0	5
	割合	40%	60%	0%	100%
ユニット2	人数(人)	3	4	0	7
	割合	43%	57%	0%	100%
ユニット3	人数(人)	3	3	0	6
	割合	50%	50%	0%	100%

図表 IX-356 職員概要:年齢

		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～	無回答	合計
総数	人数(人)	0	3	4	5	6	0	0	0	18
	割合	0%	17%	22%	28%	33%	0%	0%	0%	100%
ユニット1	人数(人)	0	1	0	3	1	0	0	0	5
	割合	0%	20%	0%	60%	20%	0%	0%	0%	100%
ユニット2	人数(人)	0	1	3	1	2	0	0	0	7
	割合	0%	14%	43%	14%	29%	0%	0%	0%	100%
ユニット3	人数(人)	0	1	1	1	3	0	0	0	6
	割合	0%	17%	17%	17%	50%	0%	0%	0%	100%

図表 IX-357 職員概要:職種

		介護福祉士	介護職員(介護福祉士以外)	看護職員	リハビリ職(機能訓練指導員を含む)	相談員	事務職員	その他	無回答	合計
総数	人数(人)	11	5	2	0	0	0	0	0	18
	割合	61%	28%	11%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット1	人数(人)	3	2	0	0	0	0	0	0	5
	割合	60%	40%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット2	人数(人)	3	2	2	0	0	0	0	0	7
	割合	43%	29%	29%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット3	人数(人)	5	1	0	0	0	0	0	0	6
	割合	83%	17%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

図表 IX-358 職員概要:役職

		経営層	管理者・リーダー	一般職	その他	無回答	合計
総数	人数(人)	0	2	15	1	0	18
	割合	0%	11%	83%	6%	0%	100%
ユニット1	人数(人)	0	1	4	0	0	5
	割合	0%	20%	80%	0%	0%	100%
ユニット2	人数(人)	0	0	7	0	0	7
	割合	0%	0%	100%	0%	0%	100%
ユニット3	人数(人)	0	1	4	1	0	6
	割合	0%	17%	67%	17%	0%	100%

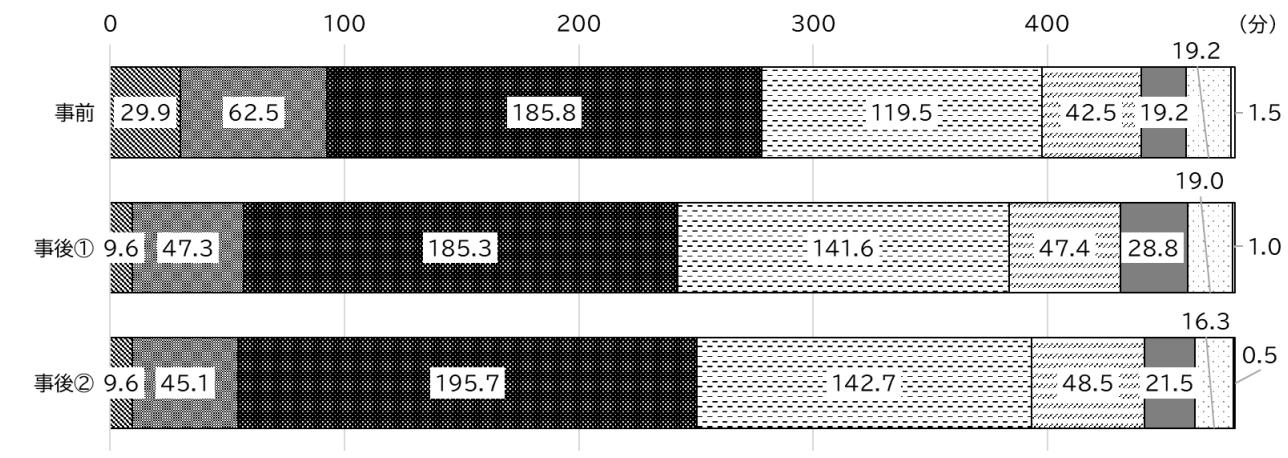
ウ. タイムスタディ調査結果

「巡回・移動」の時間は事前と比較し、事後①及び事後②では 20.3 分減少した。また、「記録・文書作成・連絡調整等」の時間は事前と比較し、事後①では 15.2 分、事後②では 17.4 分減少した。

また、同タイムスタディ調査結果のフィールド別の集計結果では、ユニット1が最も減少幅が大きかった。 「巡回・移動」の時間は事前と比較し、事後①では 21.7 分、事後②では 25.4 分減少した。また、「記録・文書作成・連絡調整等」の時間は事前と比較し、事後①では 39.6 分減少し、事後②では 37.3 分減少した。

図表 IX-359 【実証フィールド全体】タイムスタディ調査の結果(職員1人1日(480分)あたり)

		直接介護						間接業務						休憩	その他	余裕時間	未記入	合計(分)
		移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	機能訓練・医療的処置等	その他の直接介護	巡回・移動	記録・文書作成・連絡調整等	利用者の介護計画の作成等	介護器具の準備・使用	ICT機器の準備・使用	その他の間接業務					
事前	時間(分)	14.4	56.9	86.3	0.8	26.1	1.2	29.9	62.5	0.7	0.7	118.1	42.5	19.2	19.2	1.5	480	
	割合	3%	12%	18%	0%	5%	0%	6%	13%	0%	0%	25%	9%	4%	4%	0%	100%	
事後①	時間(分)	13.7	49.5	88.6	1.0	31.2	1.2	9.6	47.3	0.5	22.0	119.1	47.4	28.8	19.0	1.0	480	
	割合	3%	10%	18%	0%	7%	0%	2%	10%	0%	5%	25%	10%	6%	4%	0%	100%	
事後②	時間(分)	12.3	52.2	86.9	1.2	42.6	0.5	9.6	45.1	0.4	17.3	125.0	48.5	21.5	16.3	0.5	480	
	割合	3%	11%	18%	0%	9%	0%	2%	9%	0%	4%	26%	10%	4%	3%	0%	100%	



■巡回・移動 ■記録・文書作成・連絡調整等 ■直接介護 □間接業務(巡回・記録・文書作成・連絡調整等除く) □休憩・待機・仮眠 □その他 □余裕時間 □未記入

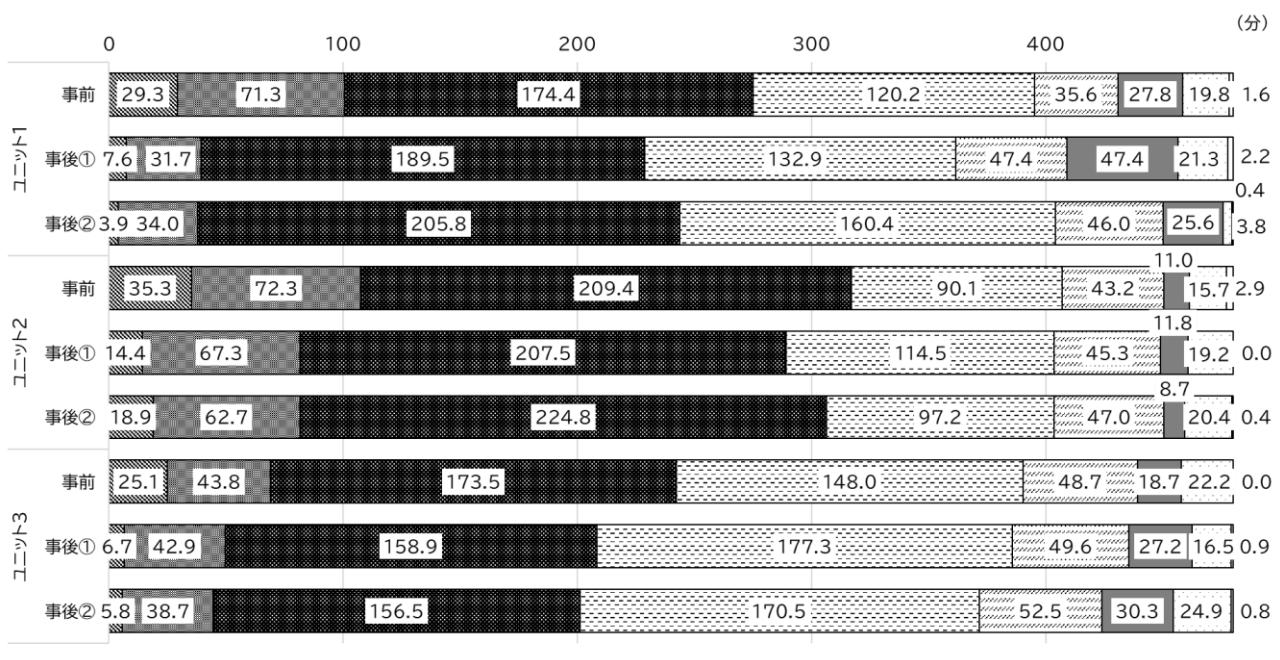
事前 n=18、事後①n=19、事後②n=19

※5日間の自記式による職員業務量調査(タイムスタディ)を実施。

※グラフ上の数は、調査結果の和から 8 時間(480 分)換算した値。

図表 IX-360 【フィールド別】タイムスタディ調査の結果(職員1人1日(480分)あたり)

		直接介護						間接業務					休憩	その他	余裕時間	未記入	合計(分)	
		移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	機能訓練・医療的処置等	その他の直接介護	巡回・移動	記録・文書作成・連絡調整等	介護計画の作成等	利用者のアセスメント・確認機器の準備・使用・ICHT機	その他の間接業務	休憩・待機・仮眠					
ユニット1	事前	時間(分) 割合	13.4 3%	62.6 13%	94.3 20%	0.8 0%	2.2 0%	1.1 0%	29.3 6%	71.3 15%	0.0 0%	1.8 25%	118.4 7%	35.6 7%	27.8 6%	19.8 4%	1.6 0%	480 100%
	事後①	時間(分) 割合	18.4 4%	57.0 12%	109.8 23%	0.9 0%	3.3 1%	0.0 0%	7.6 2%	31.7 7%	0.7 0%	23.6 5%	108.6 23%	47.4 10%	47.4 10%	21.3 4%	2.2 0%	480 100%
	事後②	時間(分) 割合	21.3 4%	60.2 13%	115.5 24%	2.1 0%	6.2 1%	0.4 0%	3.9 1%	34.0 7%	0.2 0%	16.0 3%	144.2 30%	46.0 10%	25.6 5%	3.8 1%	0.4 0%	480 100%
	事前	時間(分) 割合	8.0 2%	58.3 12%	73.1 15%	1.7 0%	67.1 14%	1.3 0%	35.3 7%	72.3 15%	1.1 0%	0.3 0%	88.8 18%	43.2 9%	11.0 2%	15.7 3%	2.9 1%	480 100%
	事後①	時間(分) 割合	11.5 2%	46.4 10%	64.3 13%	1.5 0%	83.1 17%	0.7 0%	14.4 3%	67.3 14%	0.0 0%	24.4 5%	90.1 19%	45.3 9%	11.8 2%	19.2 4%	0.0 0%	480 100%
	事後②	時間(分) 割合	5.0 1%	45.9 10%	61.9 13%	1.4 0%	110.6 23%	0.0 0%	18.9 4%	62.7 13%	0.9 0%	18.8 4%	77.5 16%	47.0 10%	8.7 2%	20.4 4%	0.4 0%	480 100%
ユニット3	事前	時間(分) 割合	21.9 5%	49.9 10%	91.5 19%	0.0 0%	9.0 2%	1.3 0%	25.1 5%	43.8 9%	0.9 0%	0.0 0%	147.1 31%	48.7 10%	18.7 4%	22.2 5%	0.0 0%	480 100%
	事後①	時間(分) 割合	11.3 2%	45.0 9%	91.7 19%	0.7 0%	7.3 2%	2.8 1%	6.7 1%	42.9 9%	0.7 0%	18.0 4%	158.6 33%	49.6 10%	27.2 6%	16.5 3%	0.9 0%	480 100%
	事後②	時間(分) 割合	10.7 2%	50.5 11%	83.2 17%	0.0 0%	10.9 2%	1.1 0%	5.8 1%	38.7 8%	0.0 0%	17.1 4%	153.4 32%	52.5 11%	30.3 6%	24.9 5%	0.8 0%	480 100%



■巡回・移動 ■記録・文書作成・連絡調整等 ■直接介護 □間接業務(巡回・移動・記録・文書作成・連絡調整等除く) □休憩・待機・仮眠 ■その他 □余裕時間 □未記入

ユニット1:事前 n=5、事後①n=7、事後②n=6

ユニット2:事前 n=6、事後①n=7、事後②n=6

ユニット3:事前 n=6、事後①n=7、事後②n=6

※5日間の自記式による職員業務量調査(タイムスタディ)を実施。

※グラフ上の数は、調査結果の和から8時間(480分)換算した値。

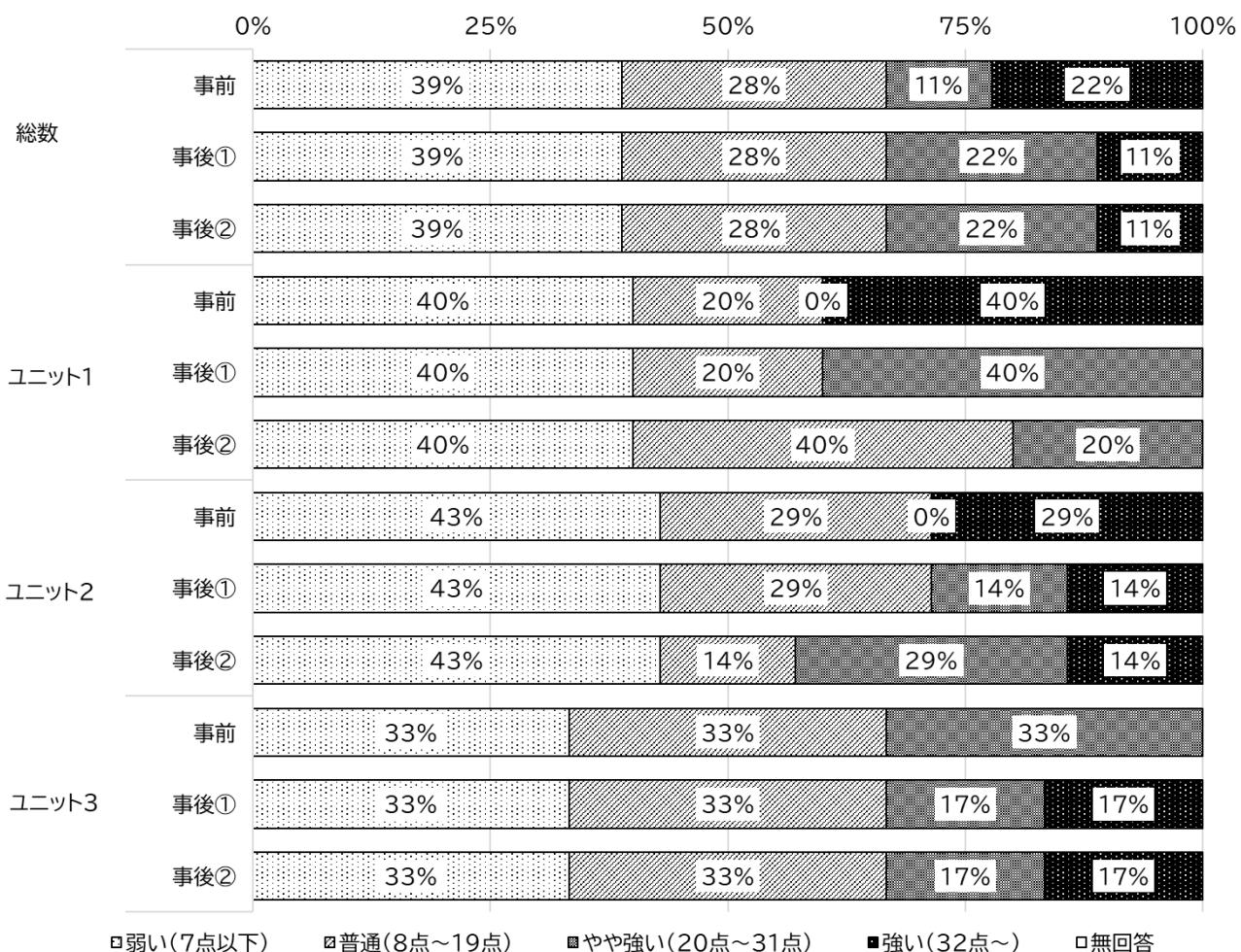
工. 職員向けアンケート調査

① 心理的負担評価

職員の心理的ストレス反応測定尺度合計点について事前と事後2回の結果を比較すると、「強い(32点以上)」と回答した職員の割合が事前では24%、事後①及び事後②では12%であり、機器の導入前後で12ポイント減少した。

図表 IX-361 職員調査:心理的負担評価

			7点以下	8点～19点	20点～31点	32点～	無回答	合計
総数	事前	人数(人)	7	5	2	4	0	18
		割合	39%	28%	11%	22%	0%	100%
	事後①	人数(人)	7	5	4	2	0	18
		割合	39%	28%	22%	11%	0%	100%
	事後②	人数(人)	7	5	4	2	0	18
		割合	39%	28%	22%	11%	0%	100%
ユニット1	事前	人数(人)	2	1	0	2	0	5
		割合	40%	20%	0%	40%	0%	100%
	事後①	人数(人)	2	1	2	0	0	5
		割合	40%	20%	40%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	2	2	1	0	0	5
		割合	40%	40%	20%	0%	0%	100%
ユニット2	事前	人数(人)	3	2	0	2	0	7
		割合	43%	29%	0%	29%	0%	100%
	事後①	人数(人)	3	2	1	1	0	7
		割合	43%	29%	14%	14%	0%	100%
	事後②	人数(人)	3	1	2	1	0	7
		割合	43%	14%	29%	14%	0%	100%
ユニット3	事前	人数(人)	2	2	2	0	0	6
		割合	33%	33%	33%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	2	2	1	1	0	6
		割合	33%	33%	17%	17%	0%	100%
	事後②	人数(人)	2	2	1	1	0	6
		割合	33%	33%	17%	17%	0%	100%



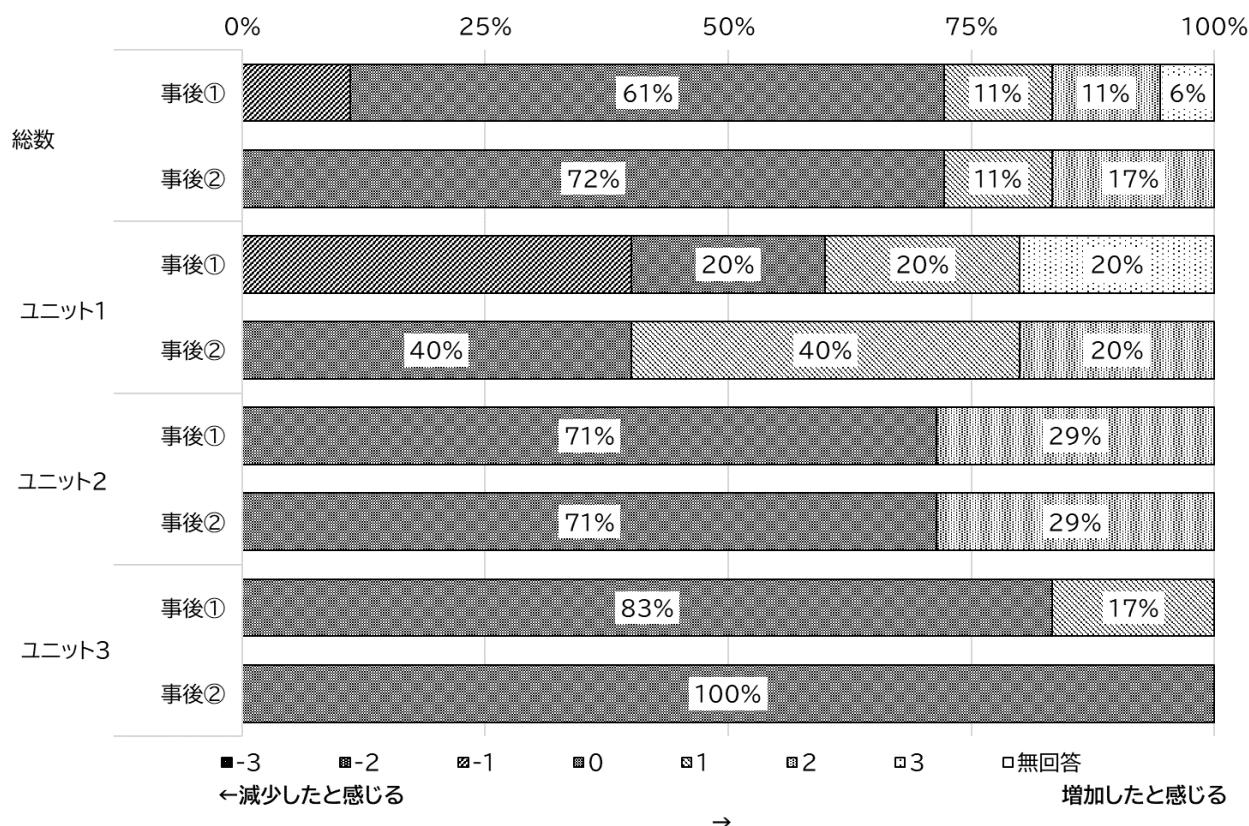
※心理的負担評価(SRS-18)は、18 項目からなる個人の心理的ストレス反応を評価する尺度。各項目について「全くちがう(0点)」～「その通りだ(3点)」で評価する。合計点が0～7点を「弱い」、8～19 点を「普通」、20～31 点を「やや強い」、32 点以上を「強い」と評価した。事前調査および事後調査ともに回答のあった職員のみを集計対象とした。事前調査または事後調査①・②で、各18 項目のうち1 項目でも無回答がある職員はすべて無回答とした。また、各項目の回答が0、1、2、3 以外の場合は無回答処理をした。

② 機器導入による、仕事のやりがいの変化

機器導入による、仕事のやりがいの変化については、総数で「0(変化なし)」の回答が最も多く、事後①で61%、事後②で72%あった。

図表 IX-362 職員調査:機器導入による、仕事のやりがいの変化

			←減少したと感じる							増加したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
総数	事後①	人数(人)	0	0	2	11	2	2	1	0	0	18	
		割合	0%	0%	11%	61%	11%	11%	6%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	13	2	3	0	0	0	0	18	
		割合	0%	0%	0%	72%	11%	17%	0%	0%	0%	100%	
ユニット1	事後①	人数(人)	0	0	2	1	1	0	1	0	0	5	
		割合	0%	0%	40%	20%	20%	0%	20%	0%	0%	100%	
ユニット2	事後①	人数(人)	0	0	0	2	2	1	0	0	0	5	
		割合	0%	0%	0%	40%	40%	20%	0%	0%	0%	100%	
ユニット3	事後①	人数(人)	0	0	0	5	0	2	0	0	0	7	
		割合	0%	0%	0%	71%	0%	29%	0%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	5	0	2	0	0	0	0	6	
		割合	0%	0%	0%	71%	0%	29%	0%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	



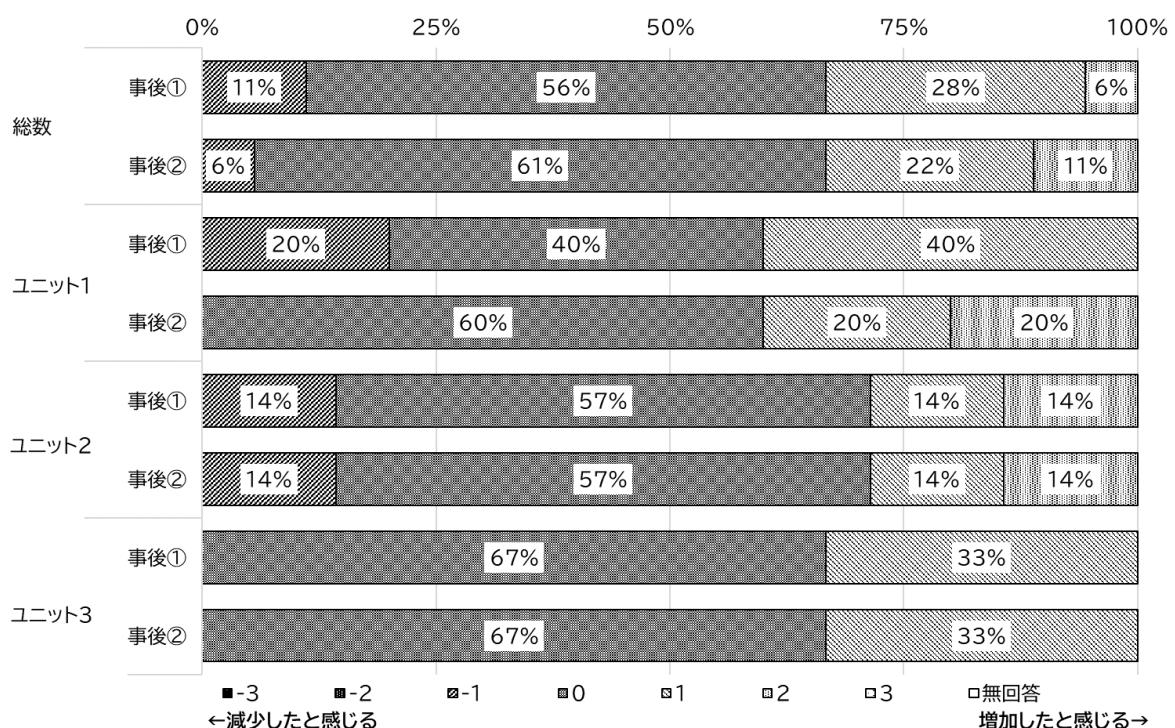
※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の7段階で評価した。

③ 機器導入による、職場の活気の変化

機器導入による、職場の活気の変化については、「0(変化なし)」が最も多く、事後①で 56%、事後②で 61%であった。

図表 IX-363 機器導入による、職場の活気の変化

			←減少したと感じる 増加したと感じる→							無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3		
総数	事後①	人数(人)	0	0	2	10	5	1	0	0	18
		割合	0%	0%	11%	56%	28%	6%	0%	0%	100%
ユニット1	事後①	人数(人)	0	0	1	2	2	0	0	0	5
		割合	0%	0%	20%	40%	40%	0%	0%	0%	100%
ユニット2	事後①	人数(人)	0	0	1	4	1	1	0	0	7
		割合	0%	0%	14%	57%	14%	14%	0%	0%	100%
ユニット3	事後①	人数(人)	0	0	0	4	2	0	0	0	6
		割合	0%	0%	0%	67%	33%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	4	2	0	0	0	0	6
		割合	0%	0%	0%	67%	33%	0%	0%	0%	100%



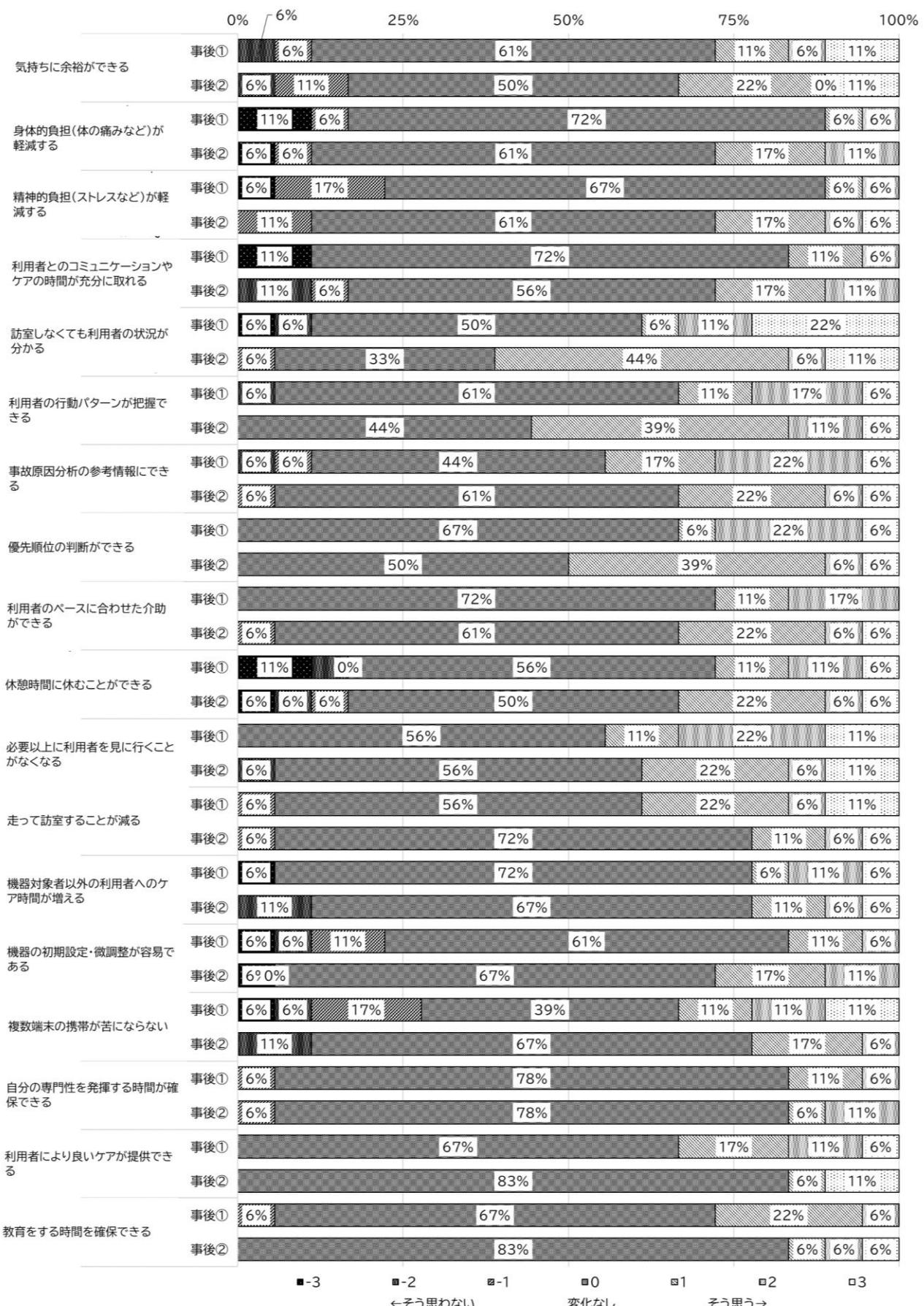
※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の 7 段階で評価した。

④ 機器導入による職員や施設業務の変化

機器導入による職員や施設業務の変化では、事後②で「訪室しなくても利用者の状況がわかる(即時性)」に対して「そう思う」と回答した割合が最も高く、「1～3」の回答の合計が 61% であった。

図表 IX-364 職員調査・機器導入による職員や施設業務の変化

			←そう思わない							変化なし		そう思う→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3						
気持ちに余裕ができる	事後①	人数(人)	0	1	1	11	2	1	2	0	0	0	18		
		割合	0%	6%	6%	61%	11%	6%	11%	0%	0%	0%	100%		
身体的負担(体の痛みなど)が軽減する	事後①	人数(人)	2	0	1	13	1	1	0	0	0	0	18		
		割合	11%	0%	6%	72%	6%	6%	0%	0%	0%	0%	100%		
精神的負担(ストレスなど)が軽減する	事後①	人数(人)	1	0	1	11	3	2	0	0	0	0	18		
		割合	6%	0%	6%	61%	17%	11%	0%	0%	0%	0%	100%		
利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れる	事後①	人数(人)	2	0	0	13	2	1	0	0	0	0	18		
		割合	11%	0%	0%	72%	11%	6%	0%	0%	0%	0%	100%		
訪室しなくとも利用者の状況が分かる(即時性)	事後①	人数(人)	1	1	0	9	1	2	4	0	0	0	18		
		割合	6%	6%	0%	50%	6%	11%	22%	0%	0%	0%	100%		
利用者の行動パターンが把握できる	事後①	人数(人)	0	0	1	6	8	1	2	0	0	0	18		
		割合	0%	0%	6%	33%	44%	6%	11%	0%	0%	0%	100%		
事故原因分析の参考情報にできる	事後①	人数(人)	0	1	1	8	3	4	1	0	0	0	18		
		割合	0%	6%	6%	44%	17%	22%	6%	0%	0%	0%	100%		
優先順位の判断ができる(同時コールの発生、他の利用者の介護中)	事後①	人数(人)	0	0	0	12	1	4	1	0	0	0	18		
		割合	0%	0%	0%	67%	6%	22%	6%	0%	0%	0%	100%		
休憩時間に休むことができる	事後①	人数(人)	2	1	0	10	2	2	1	0	0	0	18		
		割合	11%	6%	0%	56%	11%	11%	6%	0%	0%	0%	100%		
必要以上に利用者を見に行くことがなくなる	事後①	人数(人)	0	0	1	11	4	1	1	0	0	0	18		
		割合	0%	0%	6%	61%	22%	6%	6%	0%	0%	0%	100%		
走って訪室することが減る	事後①	人数(人)	2	1	0	10	2	2	1	0	0	0	18		
		割合	11%	6%	0%	56%	11%	11%	6%	0%	0%	0%	100%		
機器対象者以外の利用者へのケア時間が増える	事後①	人数(人)	1	0	0	13	1	2	1	0	0	0	18		
		割合	6%	0%	0%	72%	6%	11%	6%	0%	0%	0%	100%		
機器の初期設定・微調整が容易である	事後②	人数(人)	0	2	0	12	2	1	1	0	0	0	18		
		割合	0%	11%	0%	67%	11%	6%	6%	0%	0%	0%	100%		
複数端末の携帯が苦にならない	事後①	人数(人)	1	1	2	11	2	1	0	0	0	0	18		
		割合	6%	6%	11%	61%	11%	6%	0%	0%	0%	0%	100%		
自分の専門性を發揮する時間が確保できる	事後②	人数(人)	1	0	0	12	3	2	0	0	0	0	18		
		割合	6%	0%	0%	67%	17%	11%	0%	0%	0%	0%	100%		
利用者により良いケアが提供できる	事後①	人数(人)	0	0	1	14	2	1	0	0	0	0	18		
		割合	0%	0%	6%	78%	11%	6%	0%	0%	0%	0%	100%		
教育をする(教育をうける)時間を確保できる	事後②	人数(人)	0	0	1	12	3	2	1	0	0	0	18		
		割合	0%	0%	6%	78%	6%	11%	0%	0%	0%	0%	100%		
	事後①	人数(人)	0	0	0	15	1	0	2	0	0	0	18		
		割合	0%	0%	0%	83%	6%	0%	11%	0%	0%	0%	100%		
	事後②	人数(人)	0	0	1	12	4	1	0	0	0	0	18		
		割合	0%	0%	6%	67%	22%	6%	0%	0%	0%	0%	100%		
	事後②	人数(人)	0	0	0	15	1	1	1	0	0	0	18		
		割合	0%	0%	0%	83%	6%	6%	6%	0%	0%	0%	100%		



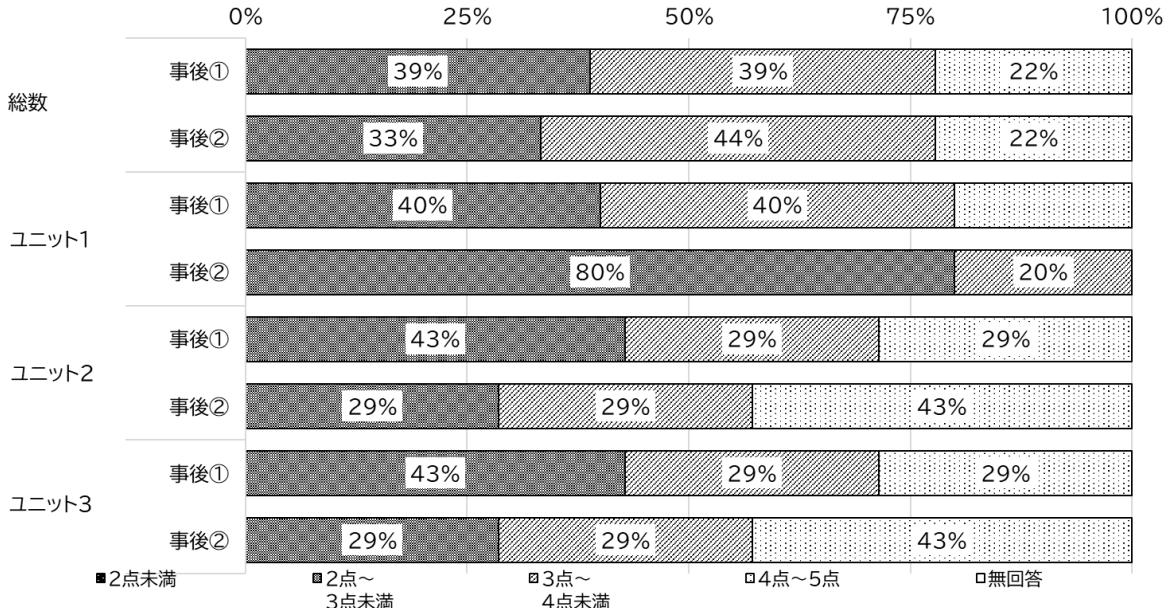
※質問項目に対し、-3(そう思わない)～+3(そう思う)の7段階で評価した。

⑤ 導入機器の満足度評価 ※出典:QUEST 福祉用具満足度評価

導入機器の満足度については、事後①では「2点～3点未満」が最も多く 39%、事後②では「3点～4 点未満」が最も多く 44%であった。

図表 IX-365 職員調査:導入機器の満足度評価

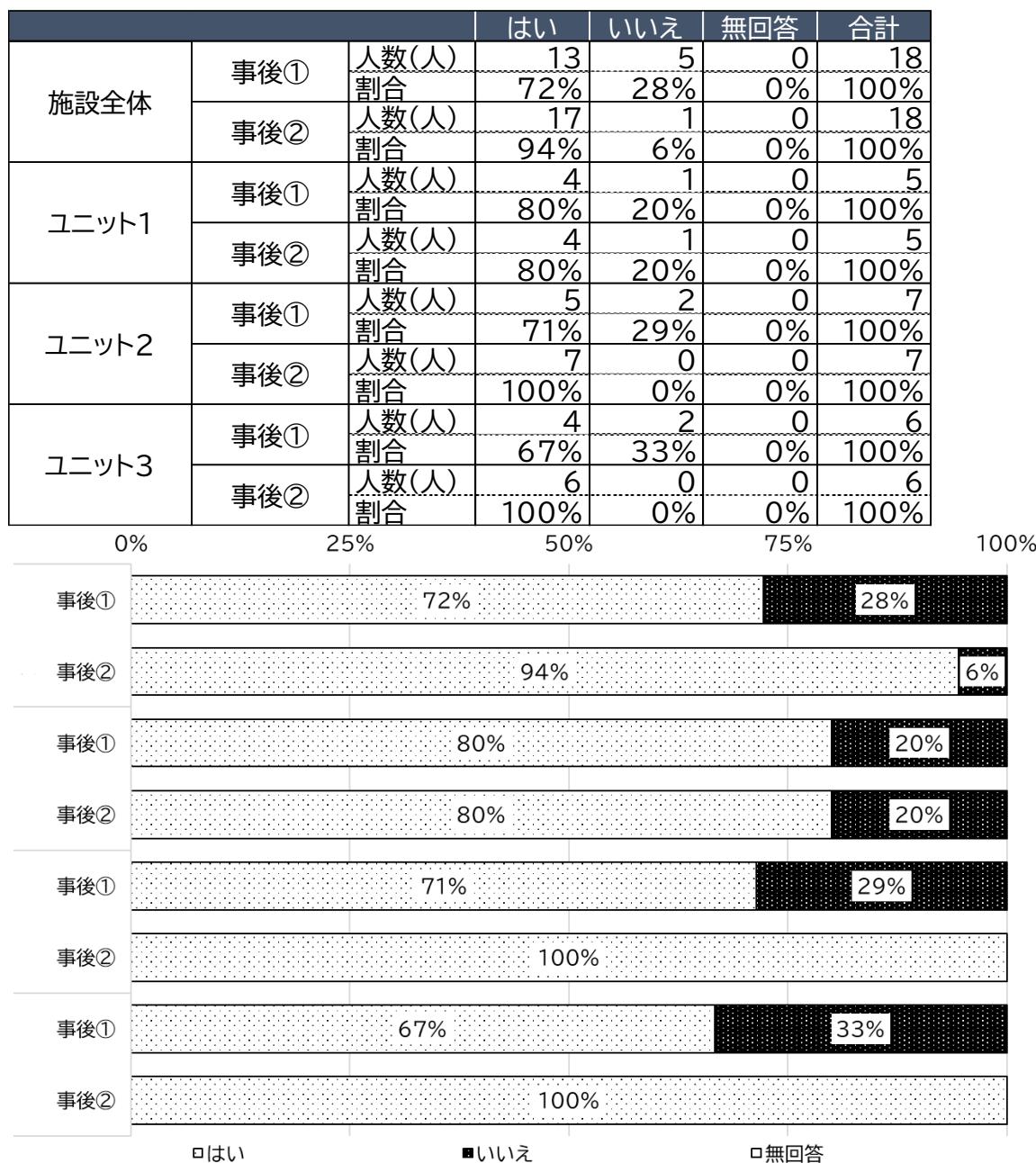
			2点未満	2点～3点未満	3点～4点未満	4点～5点	無回答	合計
総数	事後①	人数(人)	0	7	7	4	0	18
	事後①	割合	0%	39%	39%	22%	0%	100%
ユニット1	事後②	人数(人)	0	6	8	4	0	18
	事後②	割合	0%	33%	44%	22%	0%	100%
ユニット2	事後①	人数(人)	0	2	2	1	0	5
	事後①	割合	0%	40%	40%	20%	0%	100%
ユニット2	事後②	人数(人)	0	4	1	0	0	5
	事後②	割合	0%	80%	20%	0%	0%	100%
ユニット3	事後①	人数(人)	0	3	2	2	0	7
	事後①	割合	0%	43%	29%	29%	0%	100%
ユニット3	事後②	人数(人)	0	2	2	3	0	7
	事後②	割合	0%	29%	29%	43%	0%	100%



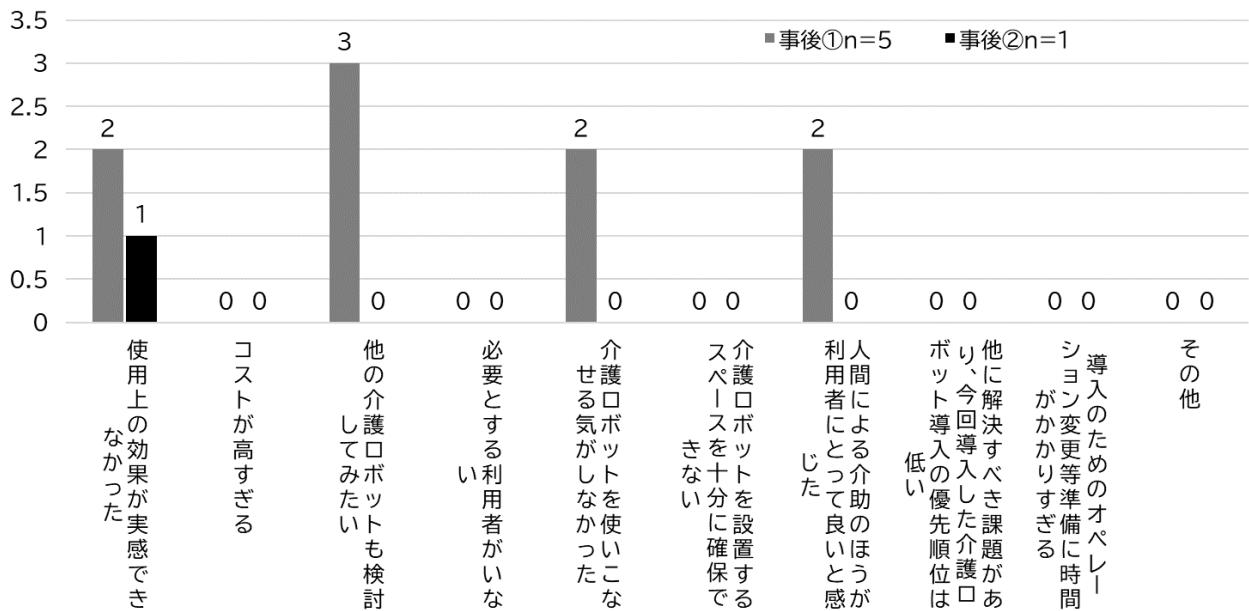
⑥ 導入機器の満足度評価 機器の継続利用意向

導入機器の継続利用意向については「はい」の回答が多く、事後①では 72%、事後②では 94%であった。

図表 IX-366 職員調査:導入機器の満足度評価 機器の継続利用意向



図表 IX-367 職員調査:継続して利用したいと思わない理由
(機器の継続利用意向で「いいえ」と回答した場合のみ)

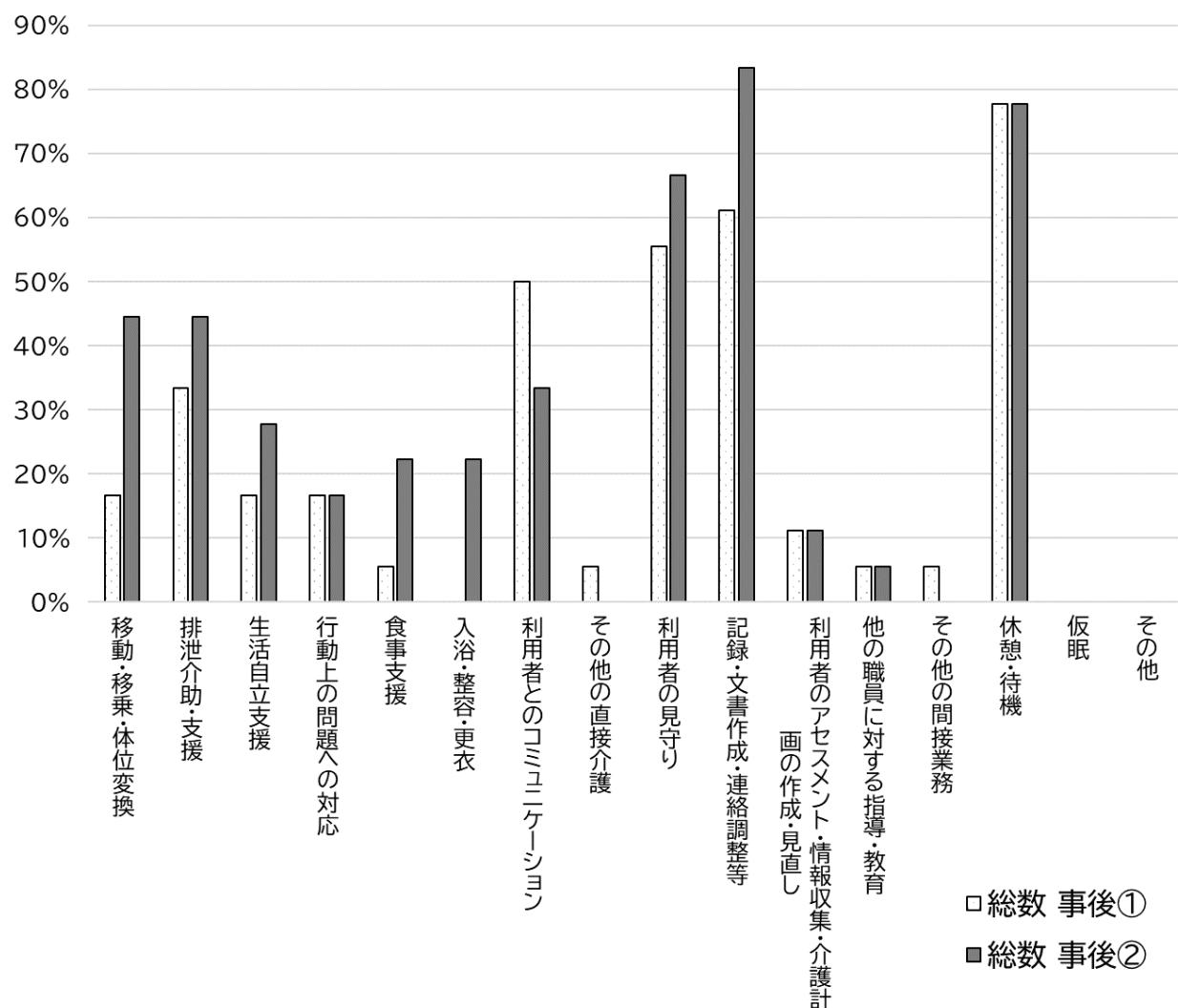


⑦ 職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間

職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間としては「記録・文書作成・連絡調整等」「休憩・待機」「利用者の見守り」と回答した割合が事後①、事後②ともに半数以上であった。

図表 IX-368 職員調査:職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間

			直接介護							間接業務					休憩		合計（人）			
			移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	食事支援	入浴・整容・更衣	利用者とのシヨン・コミュニケーション	その他の直接介護	利用者の見守り	記録・文書作成・連絡調整等	報収用集者の介護セシメント・情	他の職員に対する指導・育	その他間接業務	休憩・待機	仮眠			
総数	事後①	人数(人)	3	6	3	3	1	0	9	1	10	11	2	1	1	14	0	0	18	
	割合	17%	33%	17%	17%	6%	0%	50%	6%	56%	61%	11%	6%	6%	78%	0%	0%	-		
ユニット1	事後②	人数(人)	8	8	5	3	4	4	6	0	12	15	2	1	0	14	0	0	18	
	割合	44%	44%	28%	17%	22%	22%	33%	0%	67%	83%	11%	6%	0%	78%	0%	0%	-		
ユニット2	事後①	人数(人)	1	3	0	1	1	0	1	0	3	3	0	0	0	0	5	0	0	5
	割合	20%	60%	0%	20%	20%	0%	20%	0%	60%	60%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	-		
ユニット3	事後②	人数(人)	1	4	1	0	1	1	1	0	5	3	0	0	0	5	0	0	7	
	割合	14%	57%	14%	0%	14%	14%	14%	0%	71%	43%	0%	0%	0%	71%	0%	0%	-		
事後①	人数(人)	1	1	2	1	0	0	0	5	1	5	6	1	0	1	5	0	0	7	
	割合	14%	14%	29%	14%	0%	0%	71%	14%	71%	86%	14%	0%	14%	71%	0%	0%	-		
事後②	人数(人)	3	3	3	3	1	2	3	0	5	6	1	1	0	5	0	0	7		
	割合	43%	43%	43%	43%	14%	29%	43%	0%	71%	86%	14%	14%	0%	71%	0%	0%	-		
事後①	人数(人)	1	2	1	1	0	0	0	3	0	2	2	1	1	0	4	0	0	6	
	割合	17%	33%	17%	17%	0%	0%	50%	0%	33%	33%	17%	17%	0%	67%	0%	0%	-		
事後②	人数(人)	4	1	1	0	2	1	2	0	2	6	1	0	0	4	0	0	6		
	割合	67%	17%	17%	0%	33%	17%	33%	0%	33%	100%	17%	0%	0%	67%	0%	0%	-		



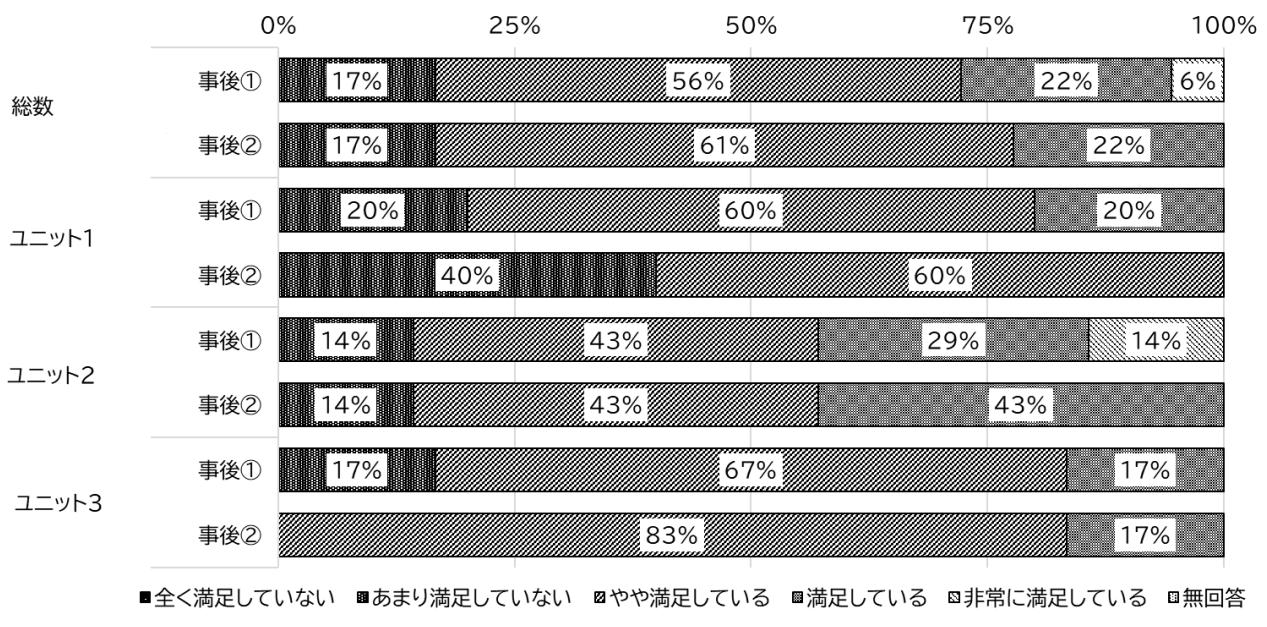
※該当する項目をすべて選択する設問。

⑧ 満足度評価

本調査で導入した機器を用いたケアに対する満足度については、「やや満足している」と回答した職員の割合が最も多く、事後①では 56%、事後②では 61% であった。

図表 IX-369 職員調査:満足度評価

			全く満足していない	あまり満足していない	やや満足している	満足している	非常に満足している	無回答	合計
総数	事後①	人数(人)	0	3	10	4	1	0	18
		割合	0%	17%	56%	22%	6%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	3	11	4	0	0	18
		割合	0%	17%	61%	22%	0%	0%	100%
ユニット1	事後①	人数(人)	0	1	3	1	0	0	5
		割合	0%	20%	60%	20%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	2	3	0	0	0	5
		割合	0%	40%	60%	0%	0%	0%	100%
ユニット2	事後①	人数(人)	0	1	3	2	1	0	7
		割合	0%	14%	43%	29%	14%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	1	3	3	0	0	7
		割合	0%	14%	43%	43%	0%	0%	100%
ユニット3	事後①	人数(人)	0	1	4	1	0	0	6
		割合	0%	17%	67%	17%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	5	1	0	0	6
		割合	0%	0%	83%	17%	0%	0%	100%



※質問項目に対し、1(全く満足していない)～5(非常に満足している)の5段階で評価した。

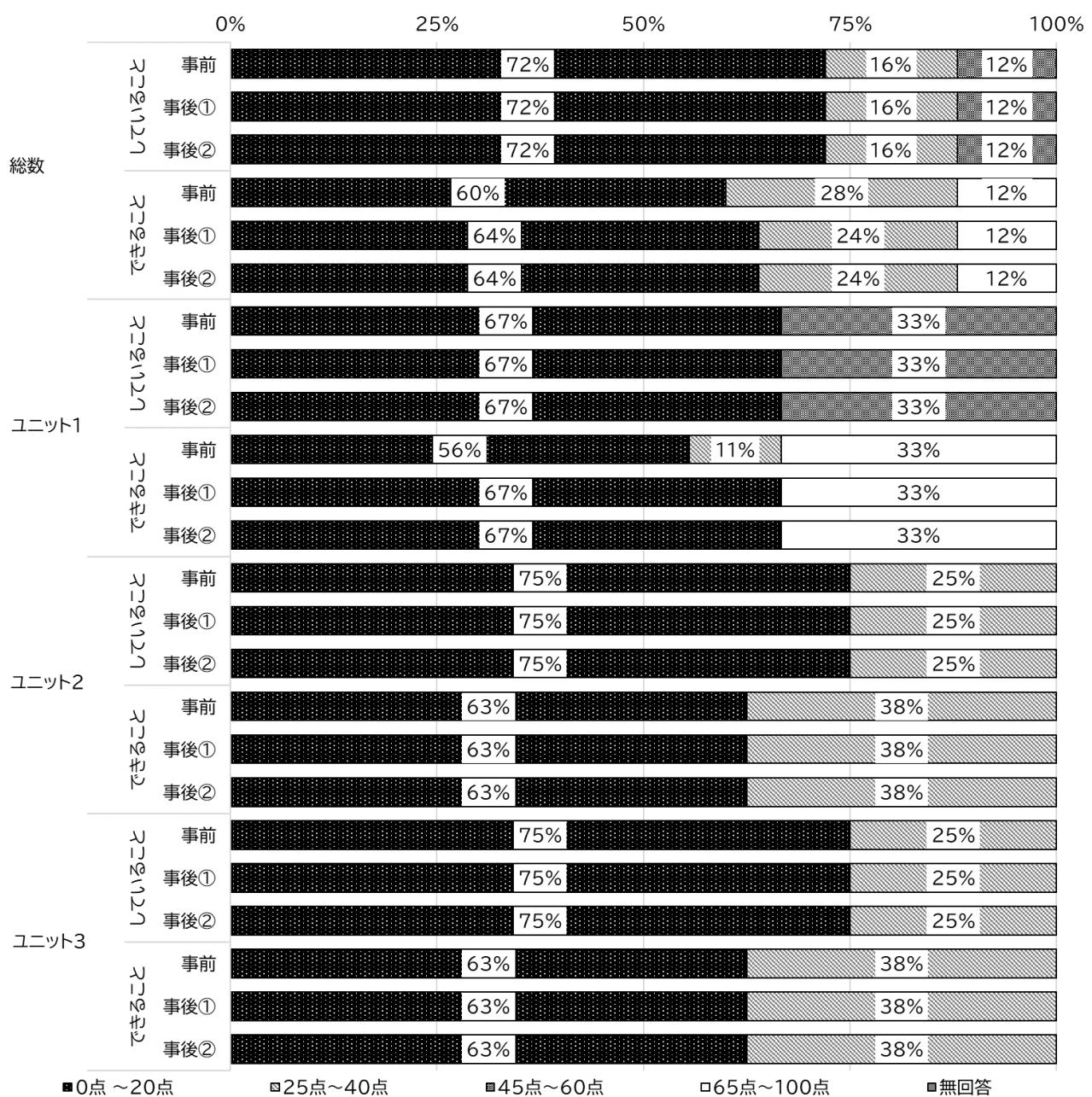
オ. 利用者向けアンケート調査

① ADL の変化

利用者の ADL の変化について、「していること」「できること」それぞれ事前と事後①、事後②を比較したところ、大きな変化は見られなかった。

図表 IX-370 利用者調査:ADL の変化

			0点～20点	25点～40点	45点～60点	65点～100点	無回答	合計	
総数	していること	事前	人数(人) 割合	18 72%	4 16%	3 12%	0 0%	0 0%	25 100%
		事後①	人数(人) 割合	18 72%	4 16%	3 12%	0 0%	0 0%	25 100%
		事後②	人数(人) 割合	18 72%	4 16%	3 12%	0 0%	0 0%	25 100%
	できること	事前	人数(人) 割合	15 60%	7 28%	0 0%	3 12%	0 0%	25 100%
		事後①	人数(人) 割合	16 64%	6 24%	0 0%	3 12%	0 0%	25 100%
		事後②	人数(人) 割合	16 64%	6 24%	0 0%	3 12%	0 0%	25 100%
ユニット1	していること	事前	人数(人) 割合	6 67%	0 0%	3 33%	0 0%	0 0%	9 100%
		事後①	人数(人) 割合	6 67%	0 0%	3 33%	0 0%	0 0%	9 100%
		事後②	人数(人) 割合	6 67%	0 0%	3 33%	0 0%	0 0%	9 100%
	できること	事前	人数(人) 割合	5 56%	1 11%	0 0%	3 33%	0 0%	9 100%
		事後①	人数(人) 割合	6 67%	0 0%	0 0%	3 33%	0 0%	9 100%
		事後②	人数(人) 割合	6 67%	0 0%	0 0%	3 33%	0 0%	9 100%
ユニット2	していること	事前	人数(人) 割合	6 75%	2 25%	0 0%	0 0%	0 0%	8 100%
		事後①	人数(人) 割合	6 75%	2 25%	0 0%	0 0%	0 0%	8 100%
		事後②	人数(人) 割合	6 75%	2 25%	0 0%	0 0%	0 0%	8 100%
	できること	事前	人数(人) 割合	5 63%	3 38%	0 0%	0 0%	0 0%	8 100%
		事後①	人数(人) 割合	5 63%	3 38%	0 0%	0 0%	0 0%	8 100%
		事後②	人数(人) 割合	5 63%	3 38%	0 0%	0 0%	0 0%	8 100%
ユニット3	していること	事前	人数(人) 割合	6 75%	2 25%	0 0%	0 0%	0 0%	8 100%
		事後①	人数(人) 割合	6 75%	2 25%	0 0%	0 0%	0 0%	8 100%
		事後②	人数(人) 割合	6 75%	2 25%	0 0%	0 0%	0 0%	8 100%
	できること	事前	人数(人) 割合	5 63%	3 38%	0 0%	0 0%	0 0%	8 100%
		事後①	人数(人) 割合	5 63%	3 38%	0 0%	0 0%	0 0%	8 100%
		事後②	人数(人) 割合	5 63%	3 38%	0 0%	0 0%	0 0%	8 100%



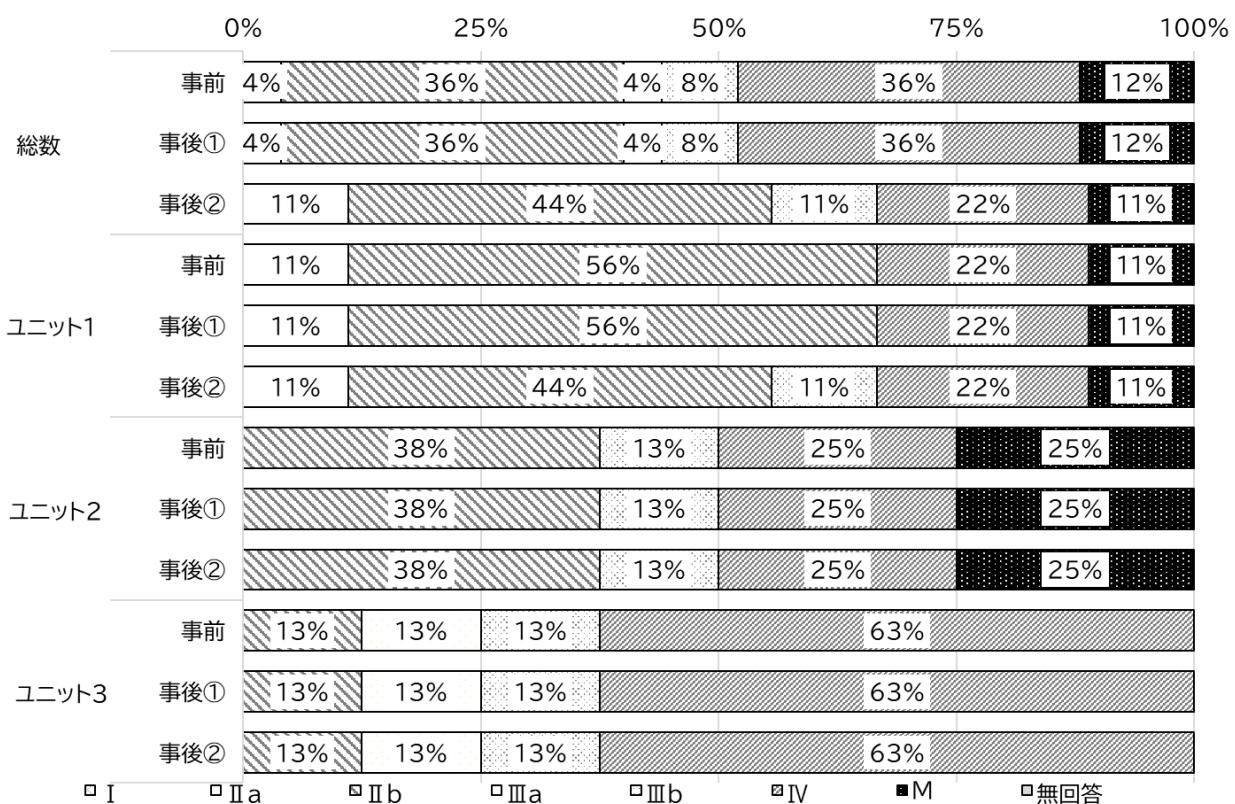
※事前調査または事後調査で、各 10 項目のうち 1 項目でも無回答がある場合は無回答処理をした。

② 認知症高齢者の日常生活自立度の変化

認知症高齢者の日常生活自立度について「総数」で事前と事後①、事後②を比較したところ、いずれの調査期間においても「Ⅱb」及び「Ⅳ」が約3割ずつで最も多く、大きな変化は見られなかった。

図表 IX-371 利用者調査:認知症高齢者の日常生活自立度の変化

			I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	無回答	合計
総数	事前	人数(人)	0	1	9	1	2	9	3	0	25
		割合	0%	4%	36%	4%	8%	36%	12%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	1	9	1	2	9	3	0	25
		割合	0%	4%	36%	4%	8%	36%	12%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	1	8	1	3	9	3	0	25
		割合	0%	4%	32%	4%	12%	36%	12%	0%	100%
ユニット1	事前	人数(人)	0	1	5	0	0	2	1	0	9
		割合	0%	11%	56%	0%	0%	22%	11%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	1	5	0	0	2	1	0	9
		割合	0%	11%	56%	0%	0%	22%	11%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	1	4	0	1	2	1	0	9
		割合	0%	11%	44%	0%	11%	22%	11%	0%	100%
ユニット2	事前	人数(人)	0	0	3	0	1	2	2	0	8
		割合	0%	0%	38%	0%	13%	25%	25%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	0	3	0	1	2	2	0	8
		割合	0%	0%	38%	0%	13%	25%	25%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	3	0	1	2	2	0	8
		割合	0%	0%	38%	0%	13%	25%	25%	0%	100%
ユニット3	事前	人数(人)	0	0	1	1	1	5	0	0	8
		割合	0%	0%	13%	13%	13%	63%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	0	1	1	1	5	0	0	8
		割合	0%	0%	13%	13%	13%	63%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	1	1	1	5	0	0	8
		割合	0%	0%	13%	13%	13%	63%	0%	0%	100%

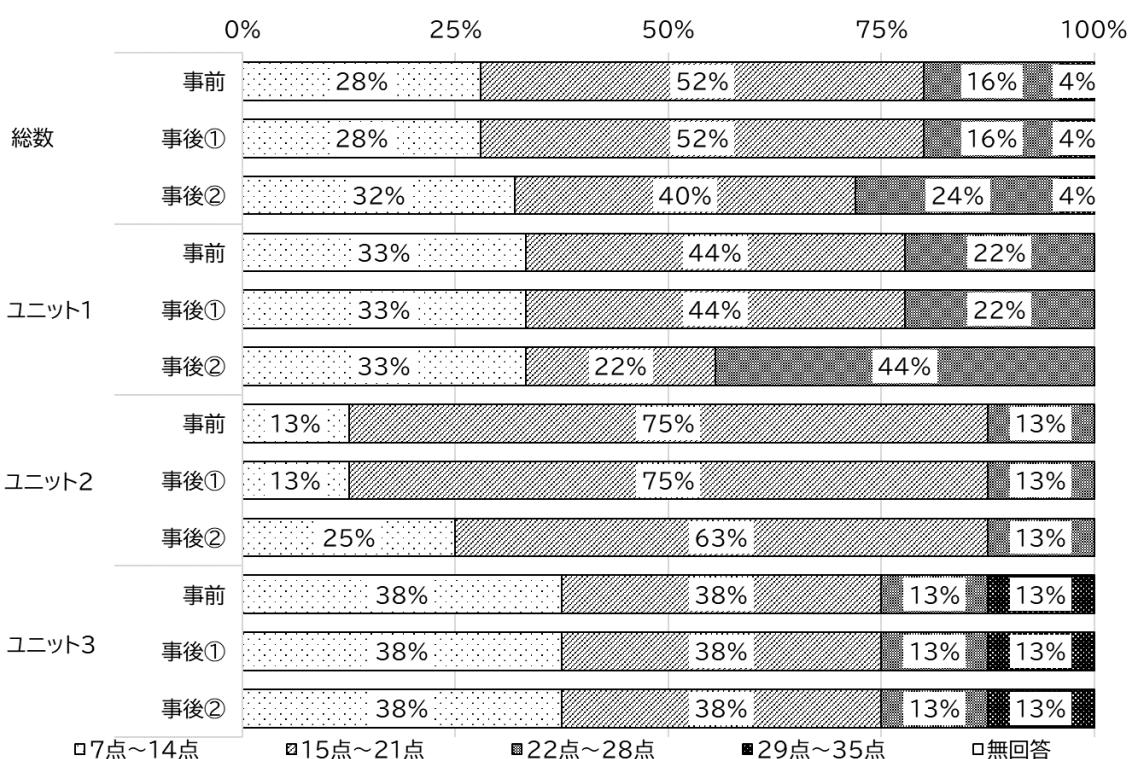


③ 生活・認知機能尺度の変化

生活・認知機能尺度については総数で事前と比較し、事後①では変化がなかったが、事後②では「15点～21点」の割合12ポイント減少し、「22点～28点」の割合が8ポイント増加した。

図表 IX-372 利用者調査:生活・認知機能尺度の変化

			7点～14点	15点～21点	22点～28点	29点～35点	無回答	合計
総数	事前	人数(人)	7	13	4	1	0	25
	事前	割合	28%	52%	16%	4%	0%	100%
	事後①	人数(人)	7	13	4	1	0	25
	事後①	割合	28%	52%	16%	4%	0%	100%
	事後②	人数(人)	8	10	6	1	0	25
	事後②	割合	32%	40%	24%	4%	0%	100%
ユニット1	事前	人数(人)	3	4	2	0	0	9
	事前	割合	33%	44%	22%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	3	4	2	0	0	9
	事後①	割合	33%	44%	22%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	3	2	4	0	0	9
	事後②	割合	33%	22%	44%	0%	0%	100%
ユニット2	事前	人数(人)	1	6	1	0	0	8
	事前	割合	13%	75%	13%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	1	6	1	0	0	8
	事後①	割合	13%	75%	13%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	2	5	1	0	0	8
	事後②	割合	25%	63%	13%	0%	0%	100%
ユニット3	事前	人数(人)	3	3	1	1	0	8
	事前	割合	38%	38%	13%	13%	0%	100%
	事後①	人数(人)	3	3	1	1	0	8
	事後①	割合	38%	38%	13%	13%	0%	100%
	事後②	人数(人)	3	3	1	1	0	8
	事後②	割合	38%	38%	13%	13%	0%	100%

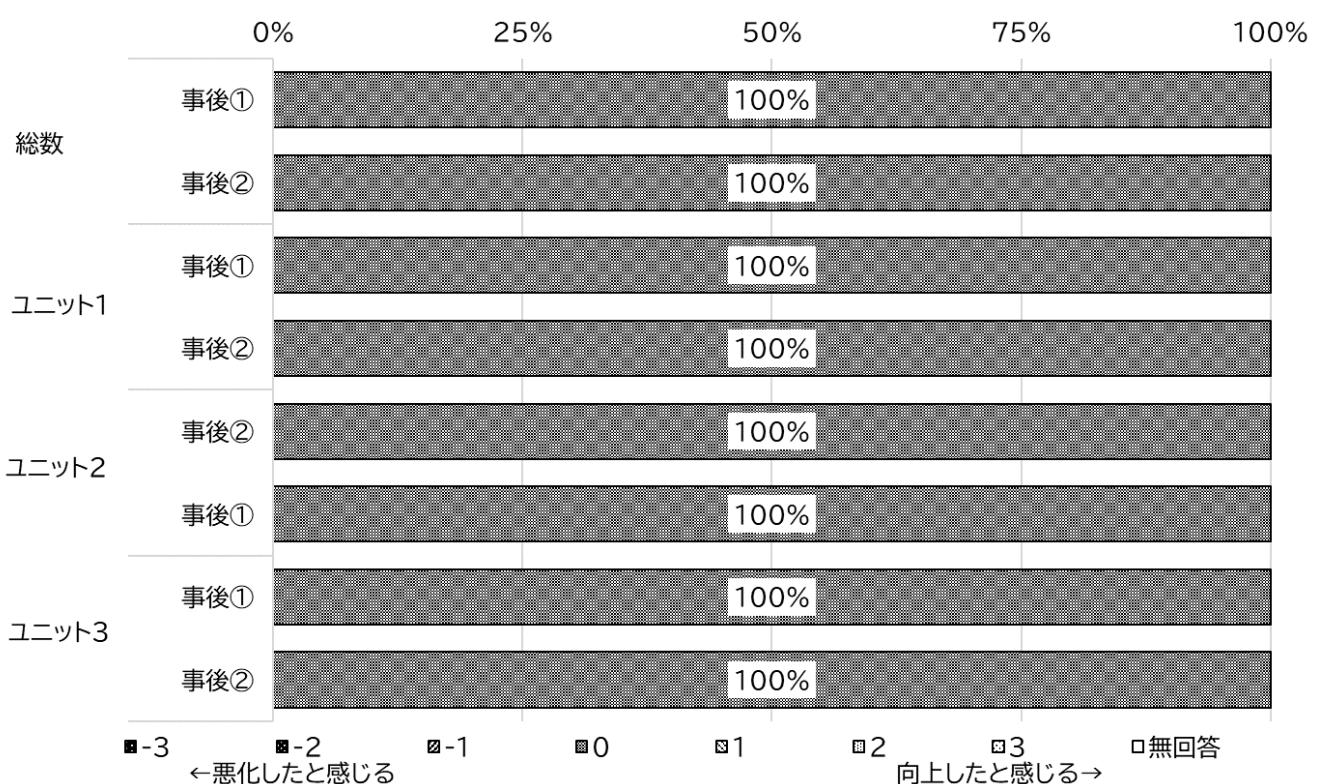


④ 認知機能変化の総合的な評価

認知機能変化の総合的な評価について、事後①、事後②のいずれの時点でも全利用者について「0(変化なし)」であった。

図表 IX-373 利用者調査:認知機能変化の総合的な評価

			←悪化したと感じる							↑向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
総数	事後①	人数(人)	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	25
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
総数	事後②	人数(人)	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	25
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット1	事後①	人数(人)	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	9
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット1	事後②	人数(人)	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	9
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット2	事後①	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット2	事後②	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット3	事後①	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット3	事後②	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%



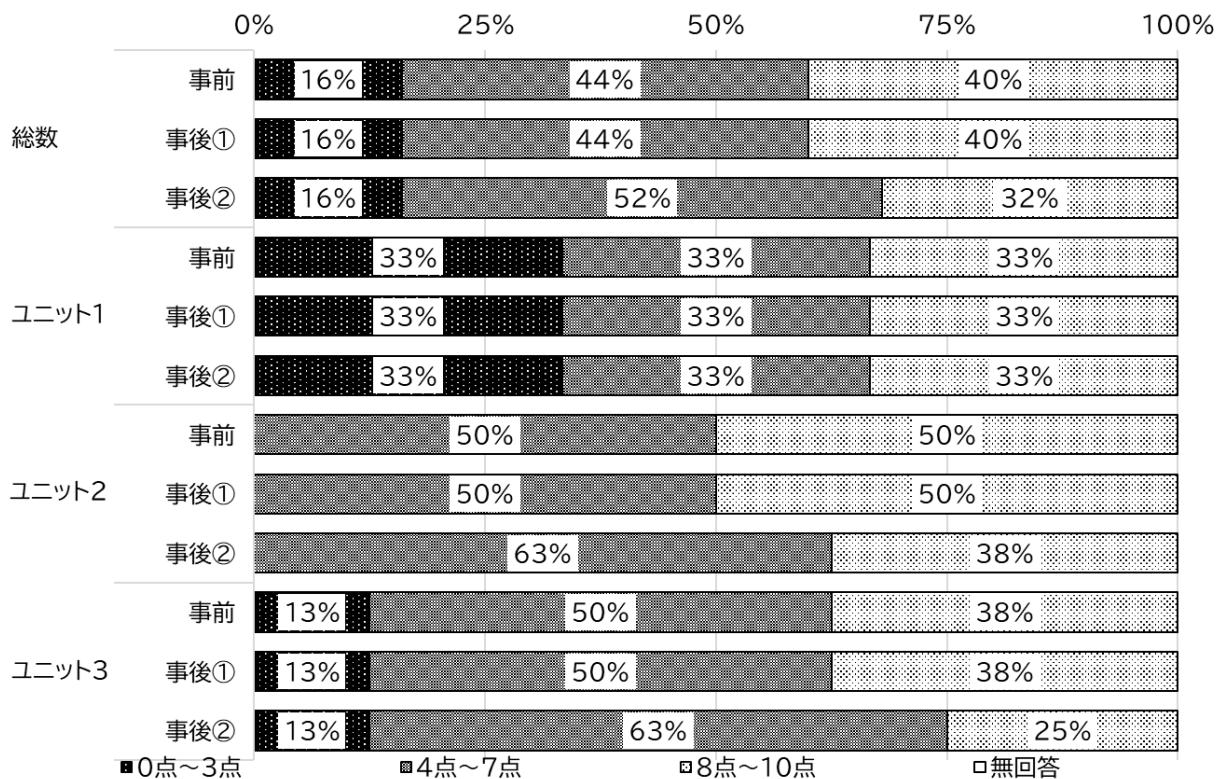
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑤ Vitality Index の変化

Vitality Index について事前と事後①、事後②を比較したところ、大きな変化は見られなかった。

図表 IX-374 利用者調査:Vitality Index の変化

			0点～ 3点	4点～ 7点	8点～ 10点	無回答	合計
施設全体	事前	人数(人)	4	11	10	0	25
		割合	16%	44%	40%	0%	100%
	事後①	人数(人)	4	11	10	0	25
		割合	16%	44%	40%	0%	100%
	事後②	人数(人)	4	13	8	0	25
		割合	16%	52%	32%	0%	100%
ユニット1	事前	人数(人)	3	3	3	0	9
		割合	33%	33%	33%	0%	100%
	事後①	人数(人)	3	3	3	0	9
		割合	33%	33%	33%	0%	100%
	事後②	人数(人)	3	3	3	0	9
		割合	33%	33%	33%	0%	100%
ユニット2	事前	人数(人)	0	4	4	0	8
		割合	0%	50%	50%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	4	4	0	8
		割合	0%	50%	50%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	5	3	0	8
		割合	0%	63%	38%	0%	100%
ユニット3	事前	人数(人)	1	4	3	0	8
		割合	13%	50%	38%	0%	100%
	事後①	人数(人)	1	4	3	0	8
		割合	13%	50%	38%	0%	100%
	事後②	人数(人)	1	5	2	0	8
		割合	13%	63%	25%	0%	100%



※事前調査または事後調査で、各5項目のうち 1 項目でも無回答がある利用者はすべて無回答とし、各項目の回答が0、1、2、以外の場合は無回答処理をした。

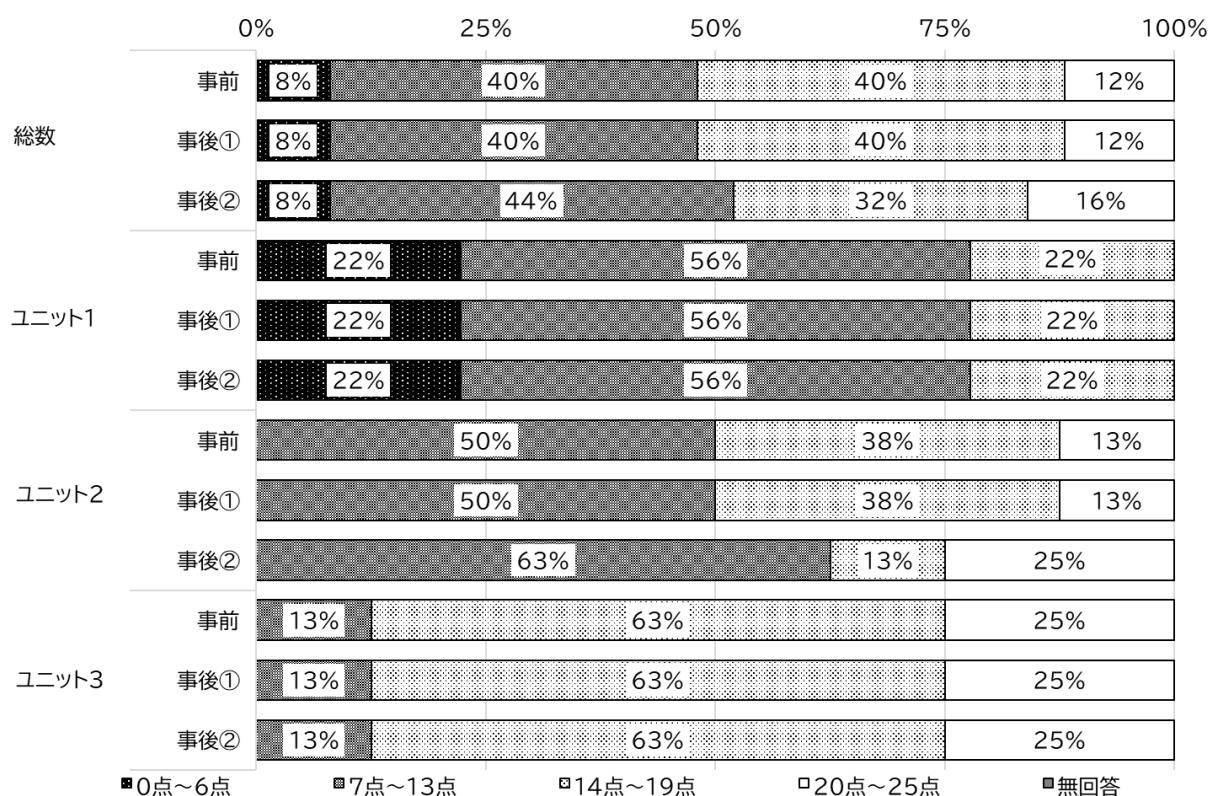
※ Vitality index とは、鳥羽ら(2002)によって開発された、高齢者の日常生活動作「起床」「意志疎通」「食事」「排泄」「活動」の 5 項目から高齢者における日常生活動作に関連した「意欲」を客観的に評価する指標。5 項目それぞれに0～2 点で回答し、それぞれ 2 点が最もよい状態を示す。10 点満点。

⑥ QOL(WHO-5 精神的健康状態表)の変化

QOL については総数で事前と比較し、事後①では変化がなかったが、事後②では「14点～19点」の割合が8ポイント減少し、「14点～19点」及び「20点～25点」の割合が4ポイントずつ増加した。

図表 IX-375 利用者調査:QOL の変化

			0点～6点	7点～13点	14点～19点	20点～25点	無回答	合計
総数	事前	人数(人)	2	10	10	3	0	25
		割合	8%	40%	40%	12%	0%	100%
	事後①	人数(人)	2	10	10	3	0	25
		割合	8%	40%	40%	12%	0%	100%
	事後②	人数(人)	2	11	8	4	0	25
		割合	8%	44%	32%	16%	0%	100%
ユニット1	事前	人数(人)	2	5	2	0	0	9
		割合	22%	56%	22%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	2	5	2	0	0	9
		割合	22%	56%	22%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	2	5	2	0	0	9
		割合	22%	56%	22%	0%	0%	100%
ユニット2	事前	人数(人)	0	4	3	1	0	8
		割合	0%	50%	38%	13%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	4	3	1	0	8
		割合	0%	50%	38%	13%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	5	1	2	0	8
		割合	0%	63%	13%	25%	0%	100%
ユニット3	事前	人数(人)	0	1	5	2	0	8
		割合	0%	13%	63%	25%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	1	5	2	0	8
		割合	0%	13%	63%	25%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	1	5	2	0	8
		割合	0%	13%	63%	25%	0%	100%



※事前または事後で、各5項目のうち 1 項目でも無回答がある利用者はすべて無回答とし、各項目の回答が0、1、2、3、4、5 以外の場合は無回答処理をした。

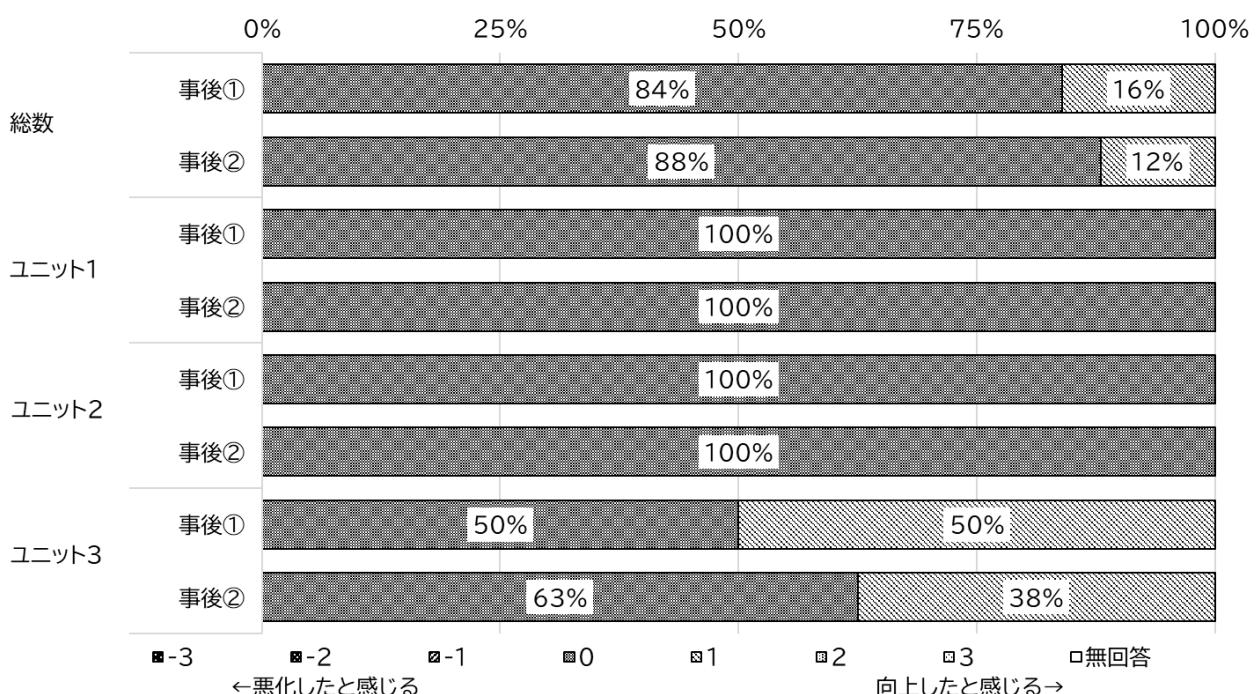
※QOL の変化は、WHO-5 精神的健康状態表を用いて実証対象施設の職員が回答した。最近2週間、利用者の状態に最も近いものについて、5 項目それぞれに 5(いつも)～0(まったくない)点で回答し、その合計点で評価。25 点満点。

⑦ QOL の変化の総合的な評価

QOL の変化の総合的な評価としては、総数で事後①、事後②ともに「0(変化なし)」の割合が多く、事後①では 84%、事後②では 88% であった。

図表 IX-376 利用者調査:QOL の変化の総合的な評価

			←悪化したと感じる							向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
総数	事後①	人数(人)	0	0	0	21	4	0	0	0	0	0	25
		割合	0%	0%	0%	84%	16%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット1	事後①	人数(人)	0	0	0	22	3	0	0	0	0	0	25
		割合	0%	0%	0%	88%	12%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット2	事後①	人数(人)	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	9
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット3	事後①	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%



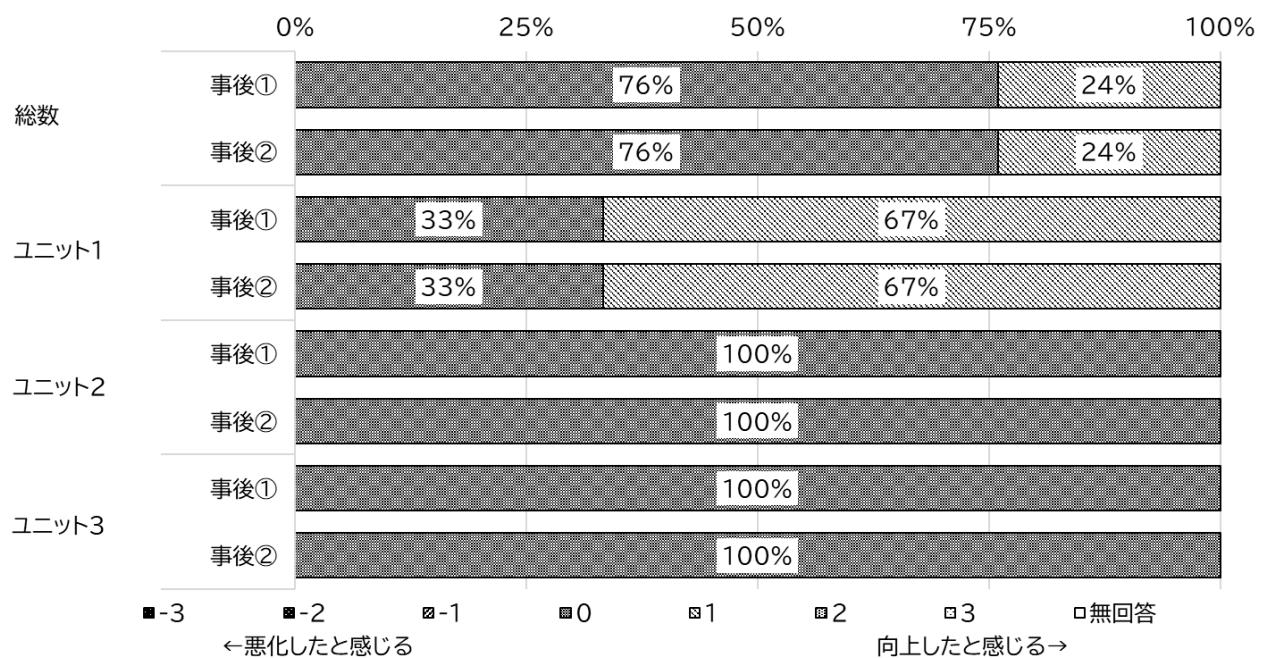
※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑧ 機器導入によるコミュニケーションの変化

利用者の発語量および表情については、総数で事後①・事後②ともに「0(変化なし)」の割合が多かった。

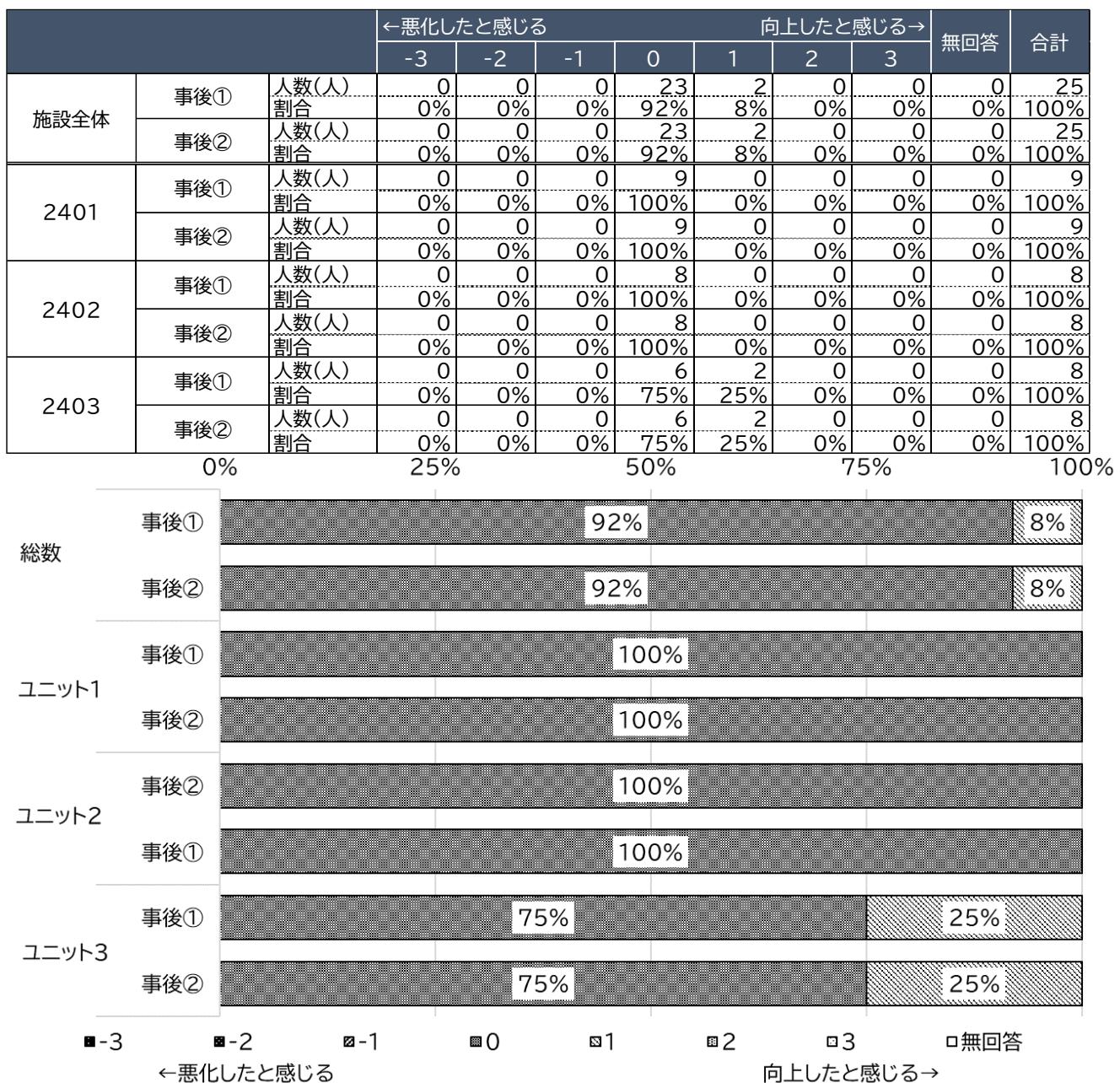
図表 IX-377 利用者調査:機器導入によるコミュニケーションの変化

			←悪化したと感じる							↑向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
総数	事後①	人数(人)	0	0	0	19	6	0	0	0	0	0	25
		割合	0%	0%	0%	76%	24%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	19	6	0	0	0	0	0	0	25
		割合	0%	0%	0%	76%	24%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット1	事後①	人数(人)	0	0	0	3	6	0	0	0	0	0	9
		割合	0%	0%	0%	33%	67%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット2	事後②	人数(人)	0	0	0	3	6	0	0	0	0	0	9
		割合	0%	0%	0%	33%	67%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット3	事後①	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%



※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-378 利用者調査:利用者の表情の変化



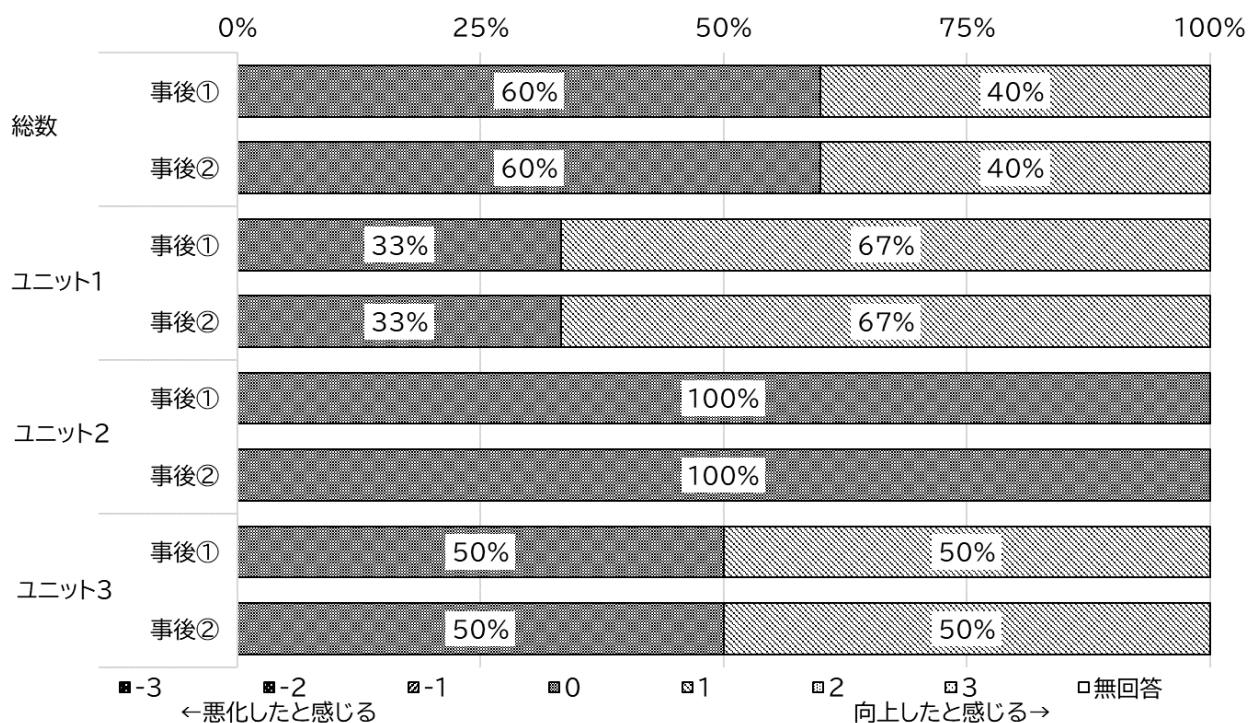
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑨ 機器導入によるコミュニケーション変化の総合的な評価

機器導入によるコミュニケーション変化の総合的な評価については、総数で事後①、事後②のいずれにおいても、「0(変化なし)」が60%、「1(増加したと感じる)」が40%であった。

図表 IX-379 利用者調査:機器導入によるコミュニケーション変化の総合的な評価

			←悪化したと感じる							無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3		
総数	事後①	人数(人)	0	0	0	15	10	0	0	0	25
		割合	0%	0%	0%	60%	40%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	15	10	0	0	0	0	25
		割合	0%	0%	0%	60%	40%	0%	0%	0%	100%
ユニット1	事後①	人数(人)	0	0	0	3	6	0	0	0	9
		割合	0%	0%	0%	33%	67%	0%	0%	0%	100%
ユニット2	事後①	人数(人)	0	0	0	3	6	0	0	0	9
		割合	0%	0%	0%	33%	67%	0%	0%	0%	100%
ユニット3	事後①	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%



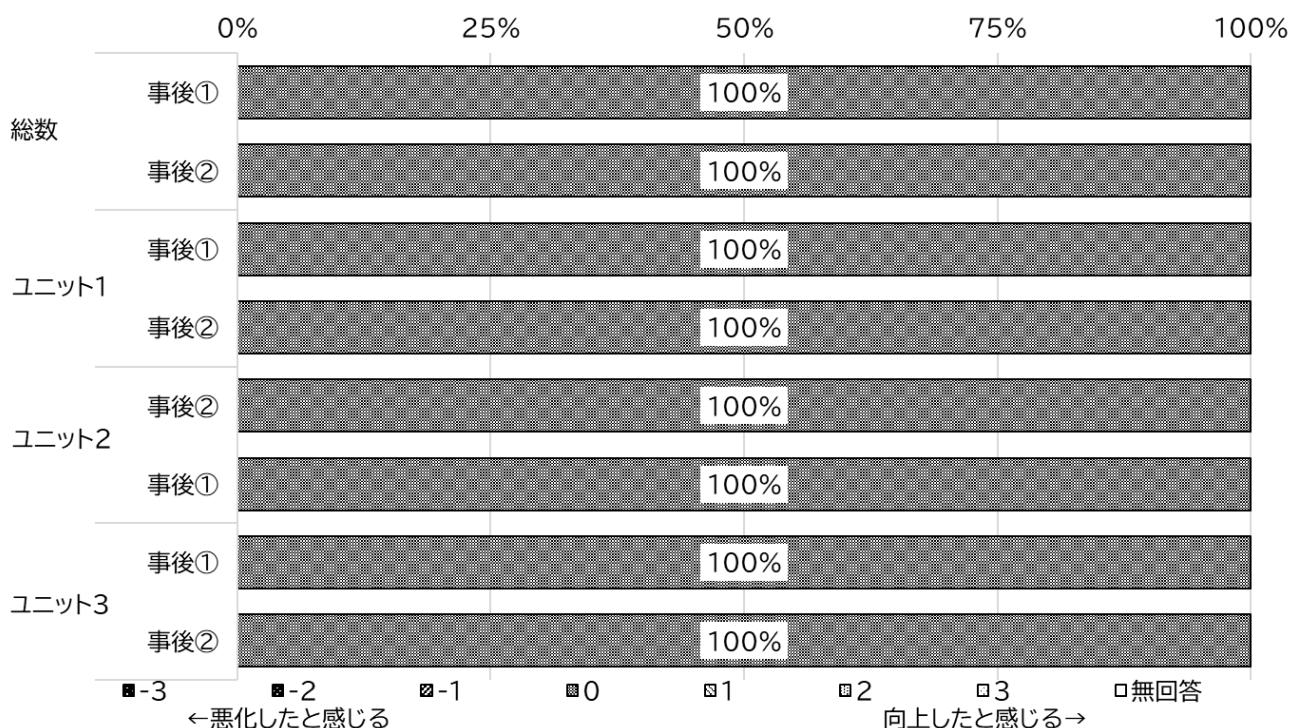
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑩ 機器導入によるレクリエーション・イベントへの参加状況の変化

機器導入によるレクリエーション・イベントの参加状況の変化については、いずれも総数において、「0(変化なし)」の回答が多く8割以上であった。

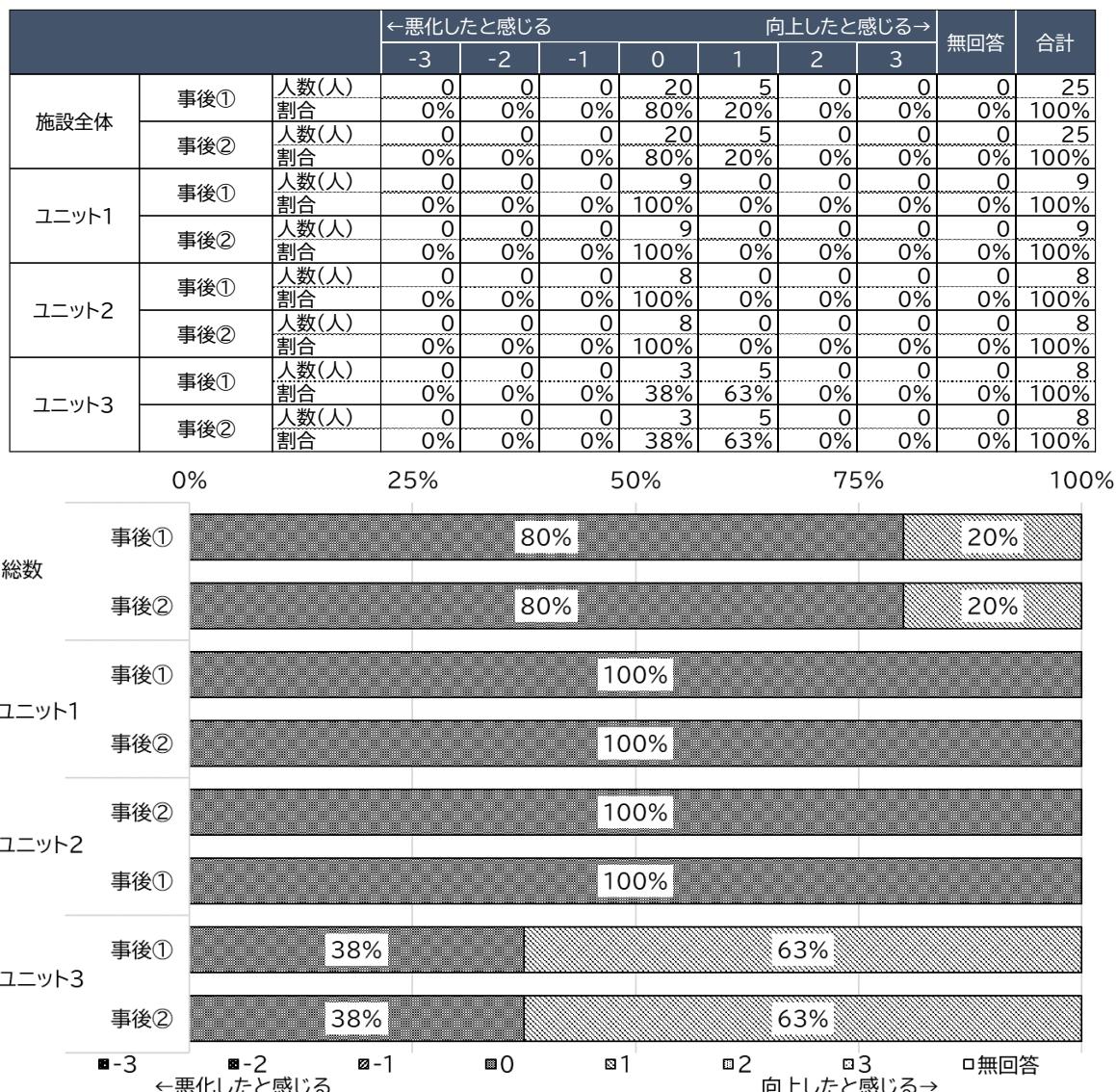
図表 IX-380 利用者調査:利用者が自ら進んでレクリエーション・イベントへ参加する頻度の変化

			←悪化したと感じる							向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
総数	事後①	人数(人)	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	25
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	25
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット1	事後①	人数(人)	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	9
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット2	事後①	人数(人)	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	9
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット3	事後①	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

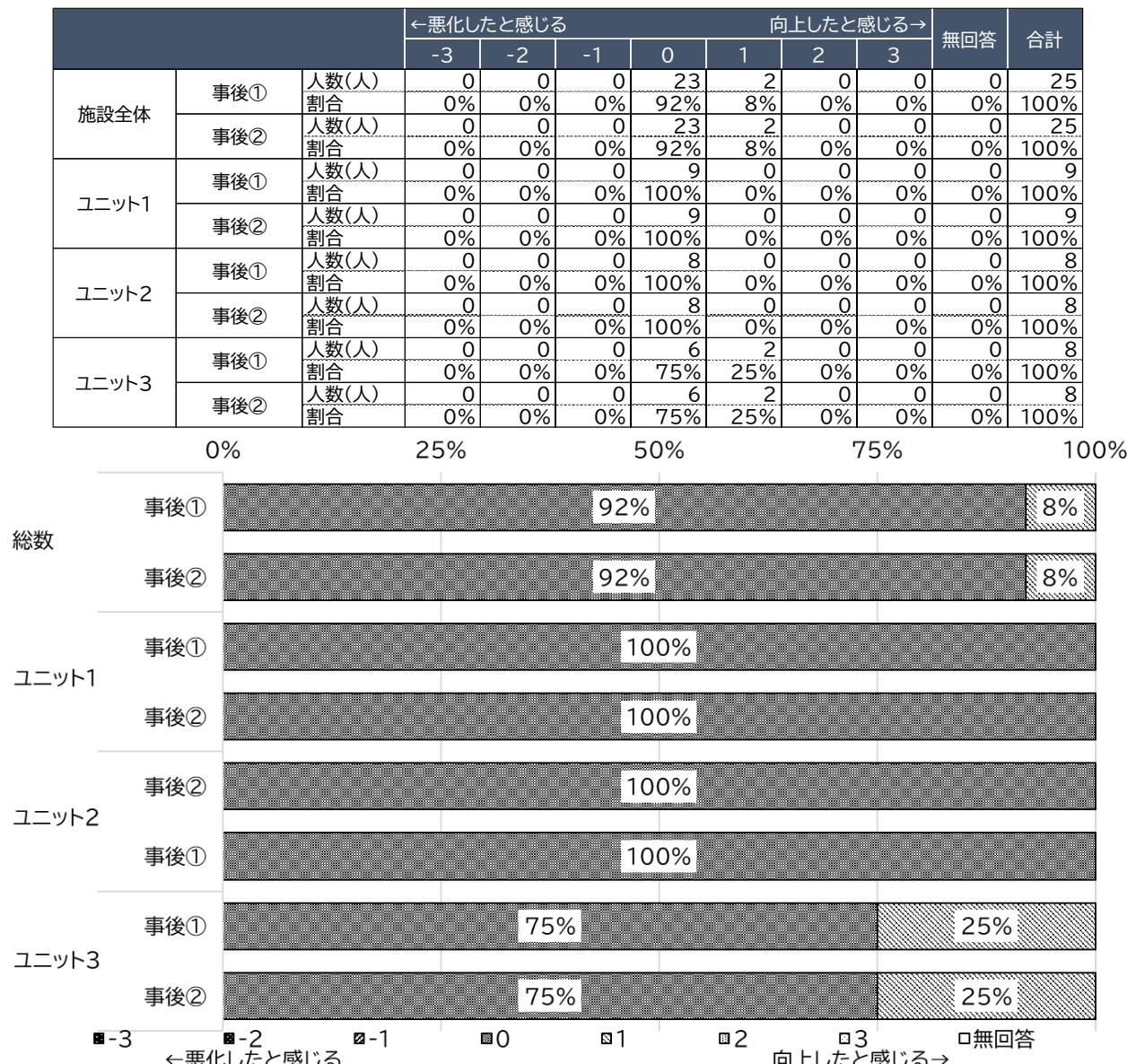


※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-381 利用者調査:促されるとレクリエーション・イベントへ参加する頻度の変化



図表 IX-382 レクリエーション・イベントへの興味・関心の変化



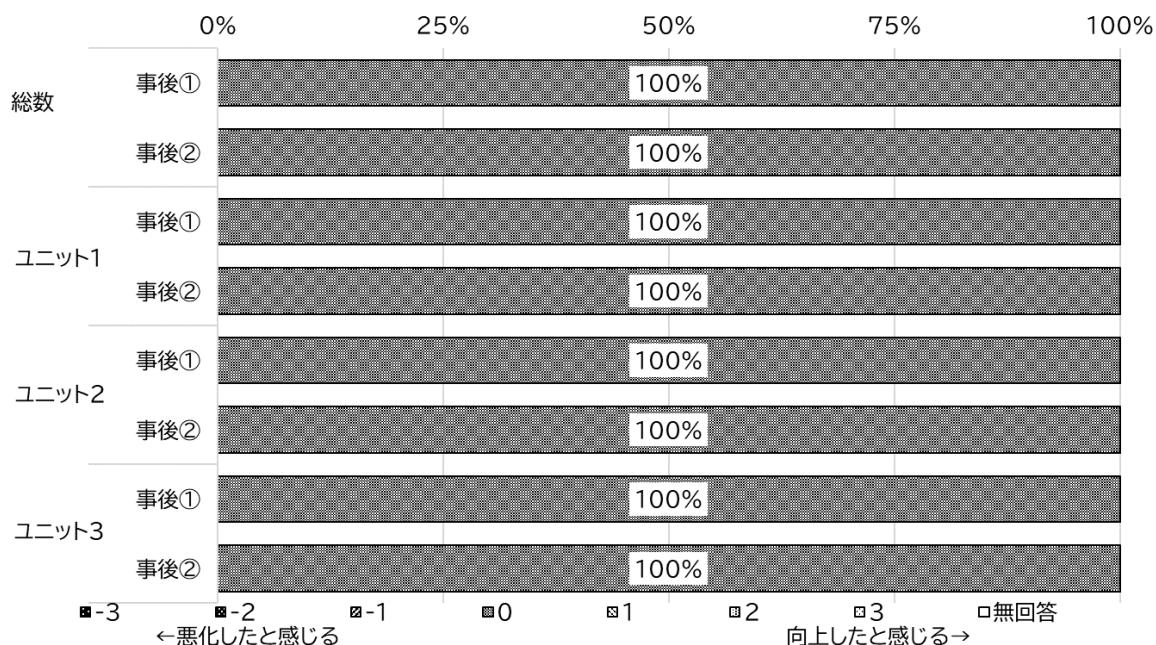
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑪ 機器導入による、食事やレクリエーション・イベント以外の場面での他者との交流の変化

機器導入による、食事やレクリエーション・イベント以外の場面での他社との交流の変化については、いずれも総数において、「0(変化なし)」が100%であった。

図表 IX-383 利用者調査:食事やレクリエーション・イベント以外の場面で、利用者が自ら進んで談話室に向かう頻度の変化

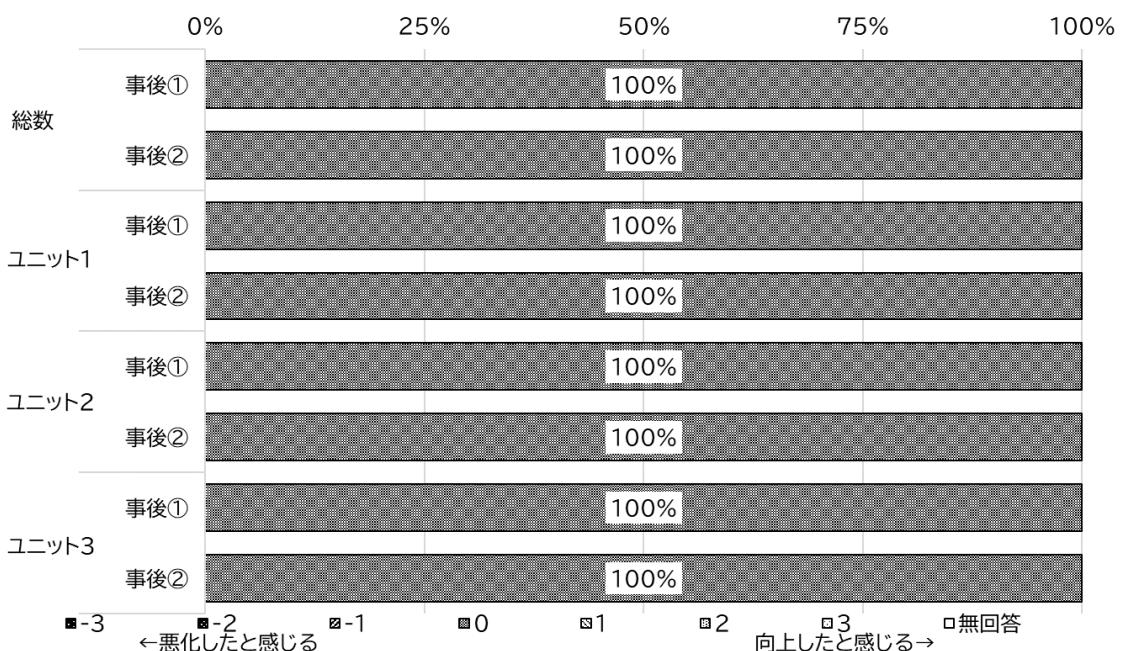
			←悪化したと感じる							無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3		
総数	事後①	人数(人)	0	0	0	25	0	0	0	0	25
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	25	0	0	0	0	0	25
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット1	事後①	人数(人)	0	0	0	9	0	0	0	0	9
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット2	事後②	人数(人)	0	0	0	9	0	0	0	0	9
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット3	事後①	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%



※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-384 利用者調査:食事やレクリエーション・イベント以外の場面で、利用者が他者と交流する時間(談話室にいる時間等)の変化

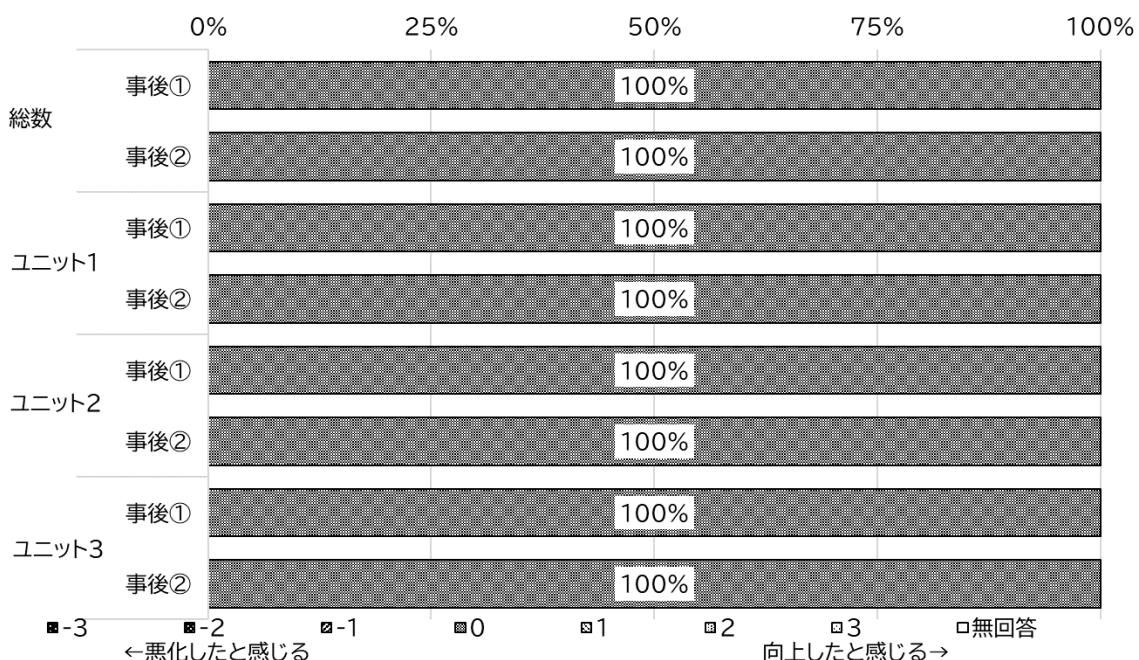
			←悪化したと感じる 向上したと感じる→							無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3		
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	0	25	0	0	0	0	25
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②		人数(人)	0	0	0	25	0	0	0	0	25
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット1	事後①	人数(人)	0	0	0	9	0	0	0	0	9
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②		人数(人)	0	0	0	9	0	0	0	0	9
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット2	事後①	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②		人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
ユニット3	事後①	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②		人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%



※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-385 利用者調査:食事やレクリエーション・イベント以外の場面で、利用者の他者との交流回数の変化

			<悪化したと感じる							向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	0	25	0	0	0	0	0	25	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
施設全体	事後②	人数(人)	0	0	0	25	0	0	0	0	0	25	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
ユニット1	事後①	人数(人)	0	0	0	9	0	0	0	0	0	9	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
ユニット1	事後②	人数(人)	0	0	0	9	0	0	0	0	0	9	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
ユニット2	事後①	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
ユニット2	事後②	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
ユニット3	事後①	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
ユニット3	事後②	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	

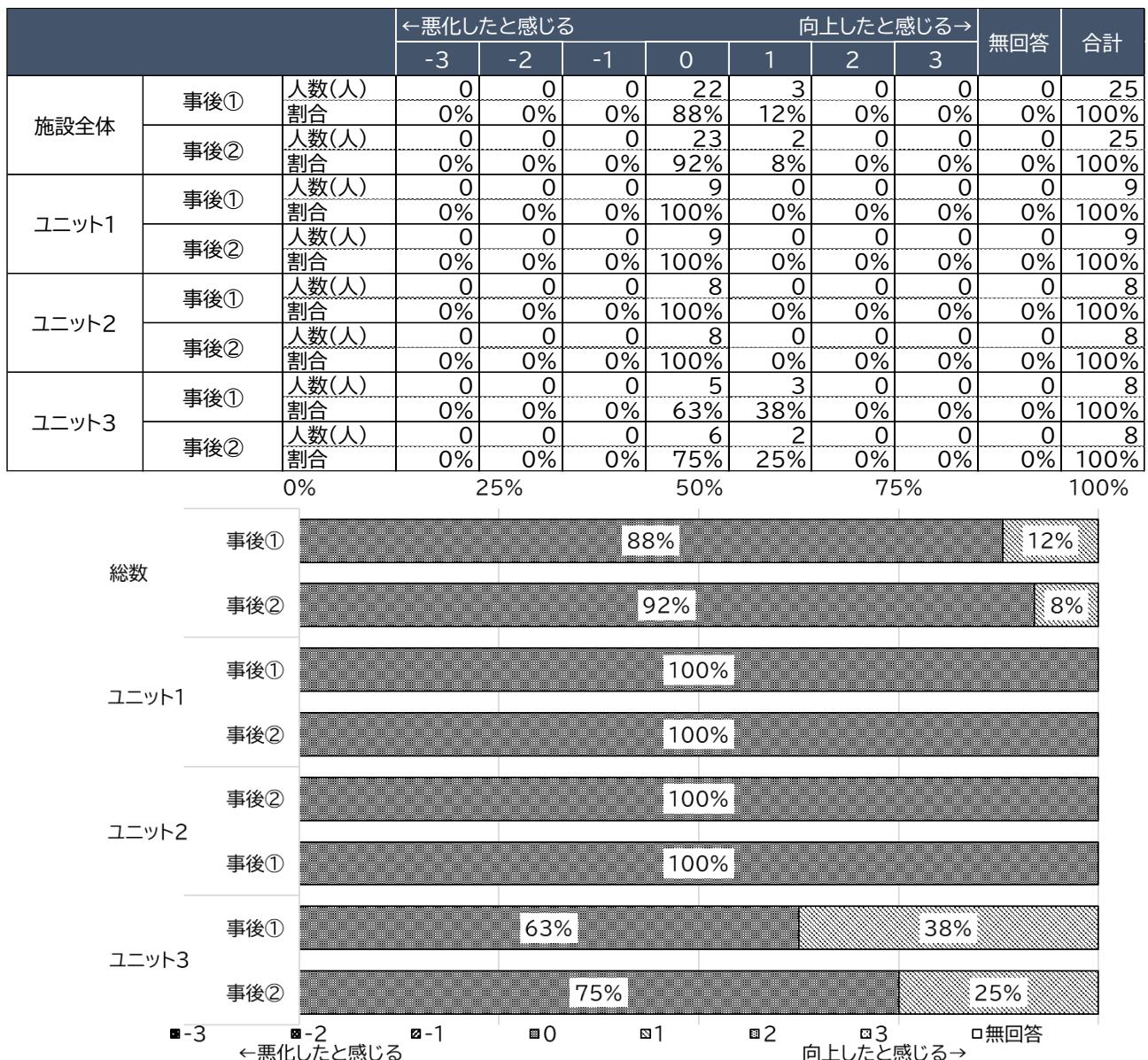


※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑫ 機器導入による社会参加の変化の総合的な評価

機器導入による社会参加の変化の総合的な評価については、総数において、「0(変化なし)」と回答した割合が多く、事後①では88%、事後②では92%であった。

図表 IX-386 利用者調査:機器導入による社会参加の変化の総合的な評価

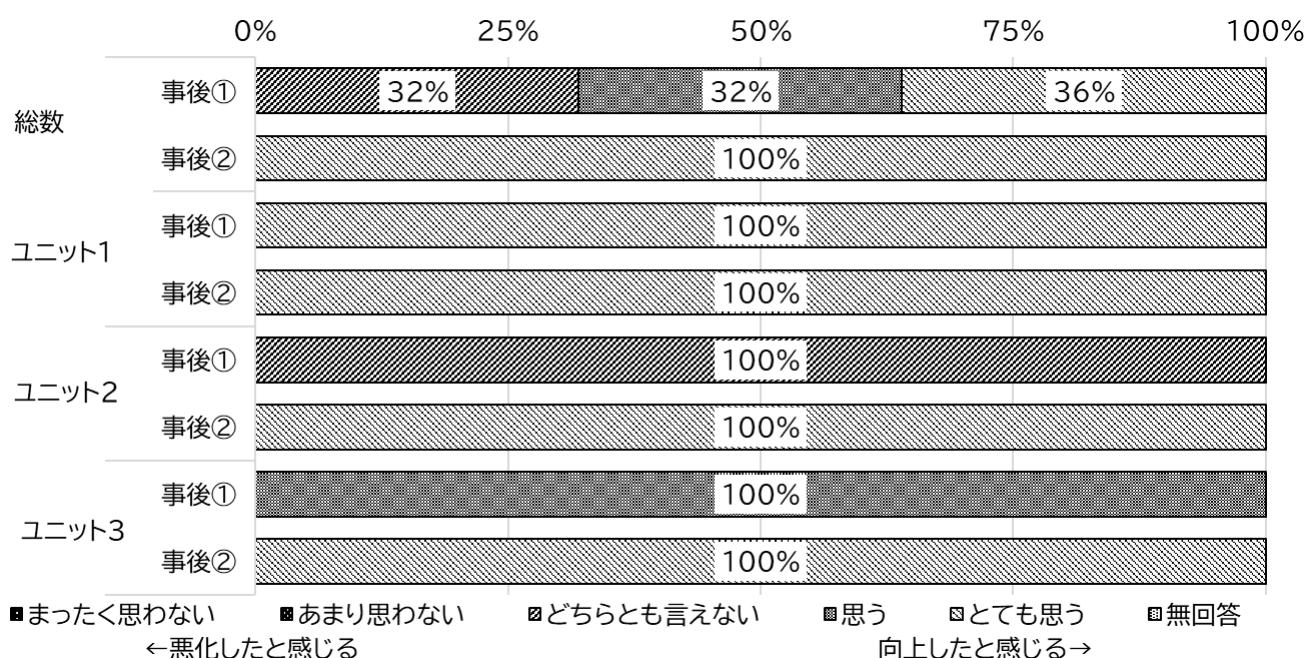


⑬ 機器導入によるケア内容の変更

機器導入によるケア内容の変更については、総数で見ると、事後②において「機器導入により、利用者の状況が可視化できる」「機器導入により、より適切なタイミングでケアが提供できる」「機器導入により、より適切な内容のケアが提供できる」「機器が取得したデータ等から、別なケアに活かすことができる」「機器により取得したデータ等を、ケア計画の策定、見直しに活かすことができる」で「とても思う」と回答した割合が100%であった。

図表 IX-387 利用者調査:機器導入により、利用者の状況が可視化できる

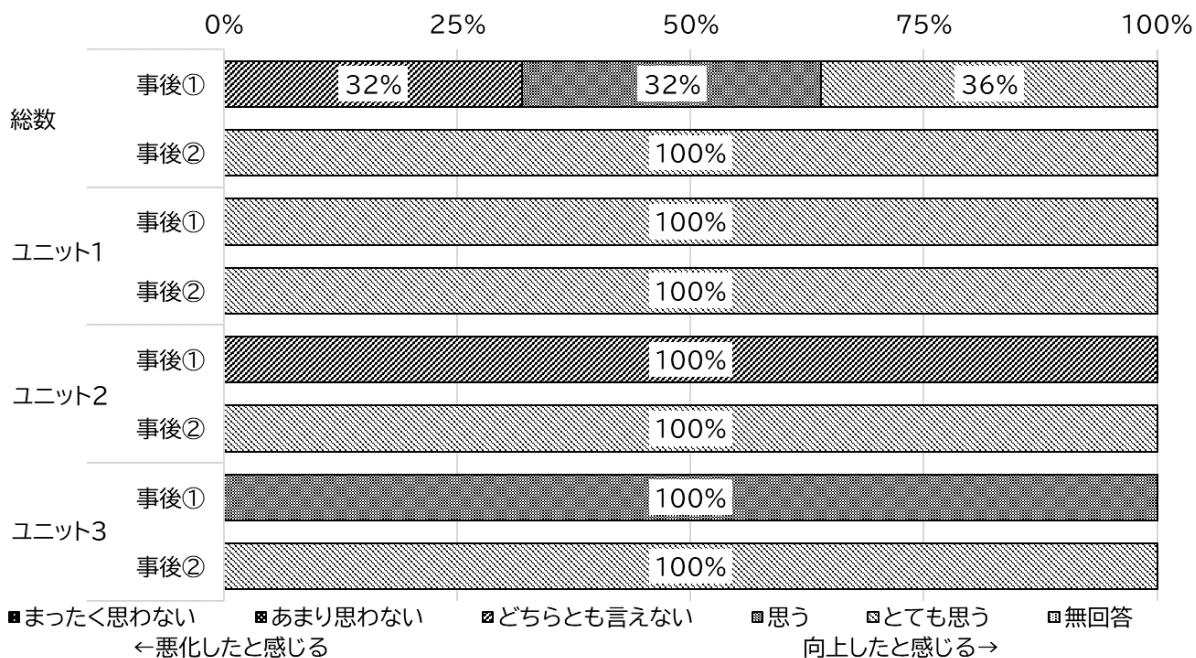
			まったく思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	思う	とても思う	無回答	合計
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	8	8	9	0	25
		割合	0%	0%	32%	32%	36%	0%	100%
ユニット1	事後②	人数(人)	0	0	0	0	25	0	25
		割合	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%
ユニット2	事後①	人数(人)	0	0	0	0	9	0	9
		割合	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%
ユニット3	事後①	人数(人)	0	0	8	0	0	0	8
		割合	0%	0%	100%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	0	8	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%



※質問項目に対し、1(全く思わない)～5(とても思う)の5段階で評価した(回答は職員が実施)。

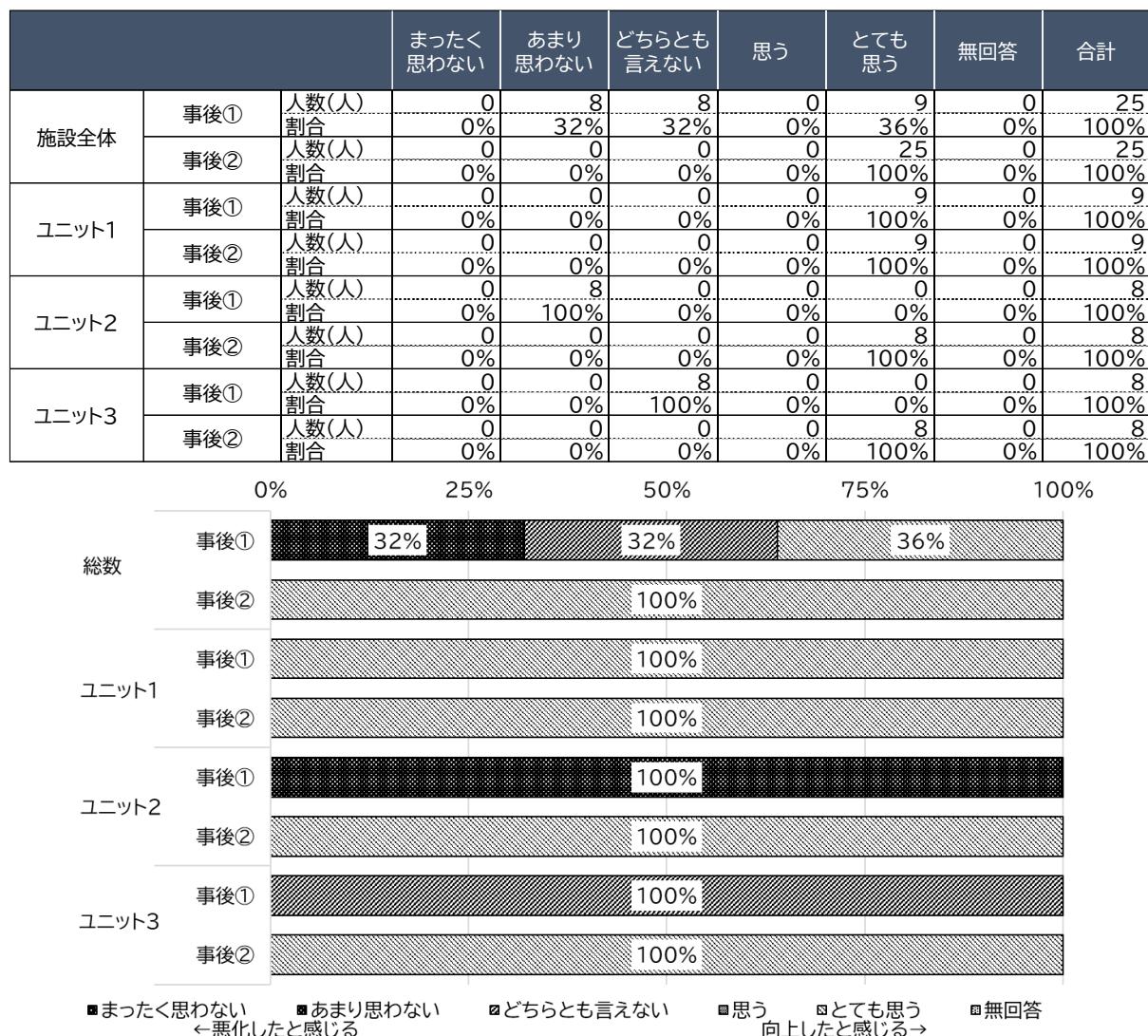
図表 IX-388 利用者調査:機器導入により、より適切なタイミングでケアが提供できる

			まったく思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	思う	とても思う	無回答	合計
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	8	8	9	0	25
		割合	0%	0%	32%	32%	36%	0%	100%
ユニット1	事後②	人数(人)	0	0	0	0	25	0	25
		割合	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%
ユニット2	事後①	人数(人)	0	0	0	0	9	0	9
		割合	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%
ユニット3	事後①	人数(人)	0	0	8	0	0	0	8
		割合	0%	0%	100%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	0	8	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%



※質問項目に対し、1(全く思わない)～5(とても思う)の5段階で評価した(回答は職員が実施)。

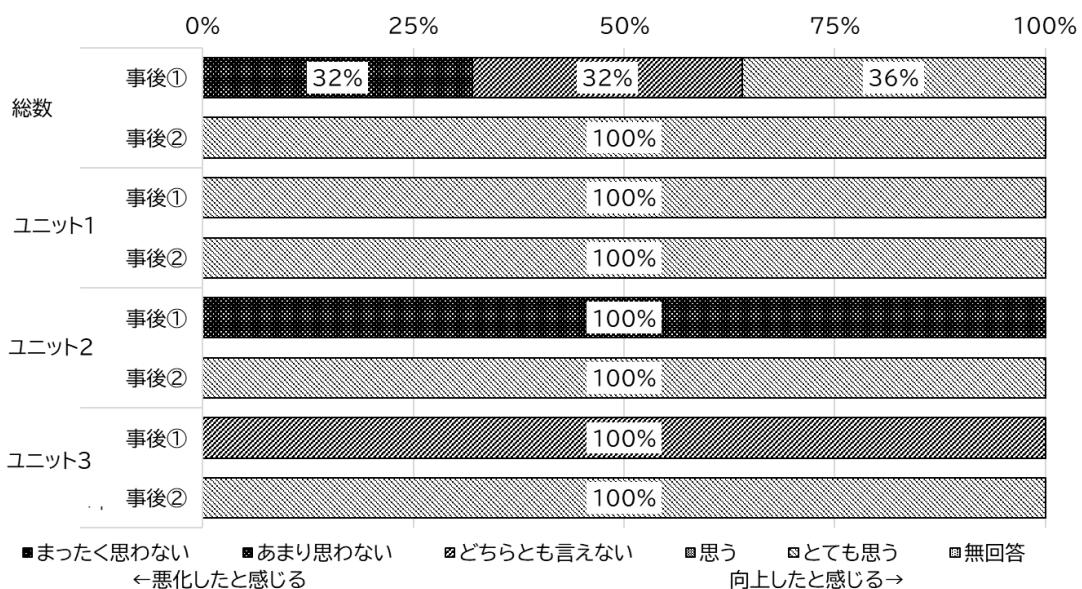
図表 IX-389 利用者調査:機器導入により、より適切な内容のケアが提供できる



※質問項目に対し、1(全く思わない)～5(とても思う)の5段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-390 利用者調査:機器が取得したデータ等から、別なケアに活かすことができる

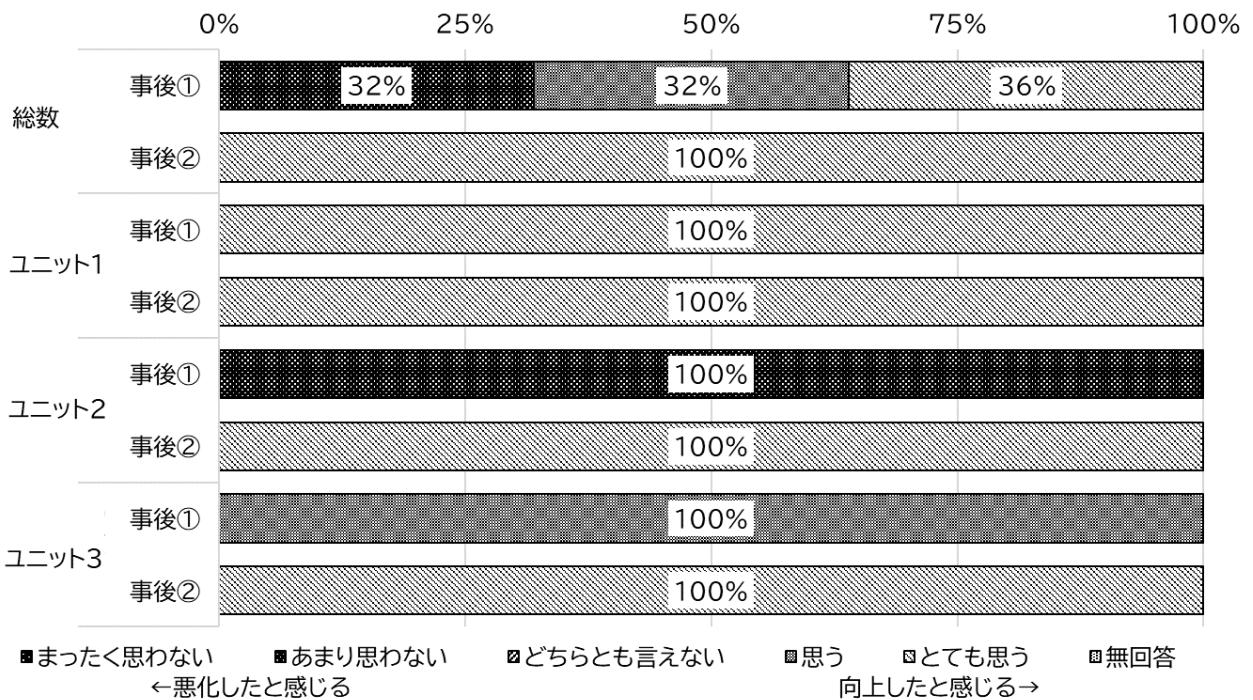
			まったく思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	思う	とても思う	無回答	合計
施設全体	事後①	人数(人)	0	8	8	0	9	0	25
		割合	0%	32%	32%	0%	36%	0%	100%
ユニット1	事後②	人数(人)	0	0	0	0	25	0	25
		割合	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%
ユニット2	事後①	人数(人)	0	0	0	0	9	0	9
		割合	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%
ユニット3	事後①	人数(人)	0	8	0	0	0	0	8
		割合	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	0	0	8	0	8
		割合	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%



※質問項目に対し、1(全く思わない)～5(とても思う)の5段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-391 利用者調査:機器により取得したデータ等を、ケア計画の策定・見直しに活かすことができる

			まったく思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	思う	とても思う	無回答	合計
施設全体	事後①	人数(人)	0	8	0	8	9	0	25
		割合	0%	32%	0%	32%	36%	0%	100%
ユニット1	事後①	人数(人)	0	0	0	0	25	0	25
		割合	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%
ユニット2	事後①	人数(人)	0	0	0	0	9	0	9
		割合	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%
ユニット3	事後①	人数(人)	0	8	0	0	0	0	8
		割合	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	0	8	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%
事後①	人数(人)	0	0	0	8	0	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	0	8	0	0	8
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%



※質問項目に対し、1(全く思わない)～5(とても思う)の5段階で評価した(回答は職員が実施)。

力. ヒアリング調査

実証完了後、実証施設へのヒアリング調査を実施した。調査結果の概要は以下の通り。

図表 IX-392 機器導入後の課題・対応

カテゴリ	主な意見
職員について	<ul style="list-style-type: none"> 見守り機器の導入により、夜間巡回を頻回に実施しなくても落ち着いて夜勤業務を実施できた。 介護ソフトやインカムに対する抵抗感に職員間で差があり、ユニット1の所属職員は抵抗感が低かったが、ユニット2では抵抗感が高い職員がいた。 介護ソフト導入時、記録項目を全て介護ソフトへの入力に切り替えることは難しく、介護ソフト上の記録と手書きを併用していた。 事後調査2回目の調査時には、機器の使用に関して慣れてはきたものの、事後調査1回目とそれほど大きな状況変化はなかった。 記録については事後調査1回目に引き続き、介護ソフト上の記録と手書きを併用していた。介護ソフト上の記録項目を少しずつ増やしたが、事後調査1回目で3割程度、事後調査2回目で5割程度であった。 事後調査2回目の時期でもインカムを全職員が装着することができず、各ユニットのリーダーや管理者、事務職員のみが使用していた。
施設として	<ul style="list-style-type: none"> 従前より介護ソフト導入に向けてマニュアル作成を進めていたため、導入そのものは円滑に実施できた。 介護ソフト導入後、システムや端末の不具合があった。インターネット環境への依存度が高いため、業者対応が難しい土日等に不具合が起こると対応が難しかった。 介護ソフトの使用のためのインターネット環境を整備するため、事業所をブロック分けして Wi-Fi の配置やレイアウトを変更した。事後調査2回目以降、現在も試運転を実施している状況である。

図表 IX-393 生産性向上に向けた委員会開催の概要

カテゴリ	主な意見
委員会の開催周期	<ul style="list-style-type: none"> 1か月に1回開催 機器の使用について相談がある際は短時間(15分程度)で隨時実施
参加職種・役職	<ul style="list-style-type: none"> 管理者、各ユニットの ICT 担当者1名ずつ(介護職員)、ICT 活用のリーダー(介護職員)
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> 機器を使用する中で生じたエラー等の課題への対策を検討し、マニュアルを更新している。
検討結果の周知	<ul style="list-style-type: none"> 新しいマニュアルを業務日誌に挟み込むことで、全職員へ周知した。

図表 IX-394 実証目的に対する達成状況と今後の課題

カテゴリ	主な意見
職員の観点	<ul style="list-style-type: none"> 見守り機器の導入前は、夜間は1時間に1回程度の巡回を実施していたが、導入後は3~4時間に1回程度に削減でき、夜勤職員の心理的負担も減少した。 介護ソフトの導入前は1ユニット1日1枚のフォーマットで記録を作成していたが、1人の利用者についての経時的な状態変化を確認しにくかった。介護ソフト上ではボタン1つで経時的変化を確認できるため、特に看護職員にとって利便性が上がったと感じる。 手書きの記録では字の綺麗さ、読み間違え等の課題があったが、介護ソフトの導入により改善し、情報連携がしやすくなった。 インカムは全職員での使用に至らず、各ユニットのリーダーや役職者のみの使用に留まつた。現場職員にとっては何か問題が生じた際に自分が所属するユニットのリーダーに声をかければ施設全体での連携ができるようになったことで施設中を歩き回って担当者を探す必要がなくなり、ユニットリーダーにとっては現場を離れずに現場職員をサポートできるようになったため、負担軽減につながつた。
利用者の観点	<ul style="list-style-type: none"> ユニット1では特に職員の介護ソフト導入に対する抵抗感が低かったため、記録したデータを活用して利用者に対するケアを検討できるのではないかと考える雰囲気が醸成された。利用者と接する際の職員の意識が変わったと感じる。
施設の観点	<ul style="list-style-type: none"> 見守り機器は導入コストが高いが、当施設のサービス内容やニーズと合っているため費用対効果は高いと感じている。 介護ソフト上の記録と手書きの記録を併用し、介護ソフト上の記録項目を少しずつ増やしながら導入したが、全項目の介護ソフト上の入力を定着させるには導入開始から半年程度かかると感じた。 インカム導入により、持ち場を離れずに他の職員を呼べるようになったことでリスク低減につながつた。 今回導入したインカムの使用には通信用端末の携帯が必要であり、職員が複数端末を持ち歩くことにストレスを感じていたため、全職員による活用に至らなかつた。今後は機器選定の段階から見直す予定である。

(11) 社会福祉法人京都社会事業財団「見守り機器、インカムの導入による情報共有及び介護助手の業務範囲拡充の効果測定」

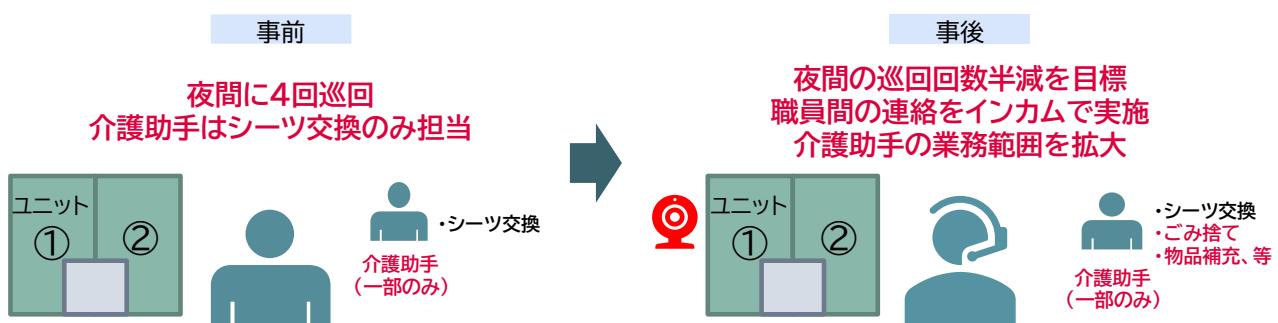
ア. 実証の概要

① 実証目的

見守り機器(眠り SCAN)、インカムの導入により、職員の巡回・訪室時間の削減や職員同士の連携の効率化を図ることで心理的負担の低減を目指すと共に、介護助手の業務範囲を拡充することで、職員の間接業務時間を削減することを目的とした。

※本実証における「介護助手」の定義は、食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ごみ捨て等、利用者の身体的な介助を伴わない業務を行う者とし、介護助手の年齢・資格は問わないこととした。

図表 IX-395 実証イメージ



② 実証フィールドの概要

本実証では以下の実証フィールドにて効果測定を実施した。

図表 IX-396 実証フィールドの概要

実証 フィールド	法人名	施設名	備考
1	社会福祉法人 京都社会事業財団	介護老人福祉施設 にしがも舟山庵	見守り機器、インカムを導入 施設内の特定のユニットを対象 に実証を実施
2	社会福祉法人 京都社会事業財団	介護老人福祉施設 にしがも舟山庵	見守り機器、インカムを導入 介護助手を配置
3	社会福祉法人 京都社会事業財団	介護老人福祉施設 にしがも舟山庵	施設内の特定のユニットを対象 に実証を実施
4	社会福祉法人 京都社会事業財団	介護老人福祉施設 にしがも舟山庵	

③ 実証期間

調査の時期は以下の通りである。

図表 IX-397 調査の時期

調査	時期
事前調査	令和6年9月30日～10月4日
事後調査①	令和6年11月5日～11月11日
事後調査②	令和6年12月16日～12月20日
ヒアリング調査	令和7年2月18日

④ 各調査の概要

本調査では、実証の事前と事後(2回)で「タイムスタディ調査」、「職員アンケート調査」、「利用者アンケート調査」を実施し、実証終了後に「ヒアリング調査」を行った。以下に各調査の概要を記載する。

図表 IX-398 各調査の概要

調査名	調査対象者	調査概要
タイムスタディ調査 (全テーマ共通)	調査期間中に実証フィールドで勤務した職員	<ul style="list-style-type: none">回答方法:自記式(1分刻みで自身が実施した作業項目を記入)調査スケジュール:事前(機器導入前)1回、事後(機器導入後)2回の計3回、それぞれ5日間実施。調査実施の時間帯:調査対象期間中の全勤務時間
職員向けアンケート調査 (全テーマ共通)	調査期間中に実証フィールドで勤務した職員	<ul style="list-style-type: none">回答方法:自記式(WEB回答)調査スケジュール:事前と事後2回、実証期間中それぞれについて、1名につき1回のみ回答
利用者向けアンケート調査 (全テーマ共通)	機器を導入した利用者 (職員による代理回答)	<ul style="list-style-type: none">回答方法:自記式(WEB回答)調査スケジュール:事前と事後2回、実証期間中それぞれについて、1名につき1回のみ回答
ヒアリング調査 (全テーマ共通)	事業所の管理者 介護主任	<ul style="list-style-type: none">調査方法:WEB会議による聞き取り調査スケジュール:実証終了後に1回実施

イ. 利用者・職員概要

① 利用者概要

本調査において利用者向けアンケート調査に回答があった利用者は、テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドで 11 名、テクノロジー導入のみを行った実証フィールドで 10 名であった。

図表 IX-399 利用者概要:性別

		男性	女性	無回答	合計
テクノロジー導入 + 介護助手配置	人数(人)	2	9	0	11
	割合	18%	82%	0%	100%
テクノロジー導入のみ	人数(人)	2	8	0	10
	割合	20%	80%	0%	100%
総数	人数(人)	4	17	0	21
	割合	19%	81%	0%	100%

図表 IX-400 利用者概要:年齢

		70歳未満	70歳～ 75歳未満	75歳～ 80歳未満	80歳～ 85歳未満	85歳～ 90歳未満	90歳～ 95歳未満	95歳以上	無回答	合計
テクノロジー導入 + 介護助手配置	人数(人)	0	0	1	2	2	3	3	0	11
	割合	0%	0%	9%	18%	18%	27%	27%	0%	100%
テクノロジー導入のみ	人数(人)	1	0	0	2	3	2	2	0	10
	割合	10%	0%	0%	20%	30%	20%	20%	0%	100%
総数	人数(人)	1	0	1	4	5	5	5	0	21
	割合	5%	0%	5%	19%	24%	24%	24%	0%	100%

図表 IX-401 利用者概要:要介護度

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	自立・要支 援	その他(区 分申請中等)	無回答	合計
テクノロジー導入 + 介護助手配置	人数(人)	0	0	3	6	2	0	0	0	11
	割合	0%	0%	27%	55%	18%	0%	0%	0%	100%
テクノロジー導入のみ	人数(人)	0	0	4	6	0	0	0	0	10
	割合	0%	0%	40%	60%	0%	0%	0%	0%	100%
総数	人数(人)	0	0	7	12	2	0	0	0	21
	割合	0%	0%	33%	57%	10%	0%	0%	0%	100%

図表 IX-402 利用者概要:障害高齢者の日常生活自立度

		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明・未実 施	無回答	合計
テクノロジー導入 + 介護助手配置	人数(人)	0	0	1	1	3	6	0	0	0	0	11
	割合	0%	0%	9%	9%	27%	55%	0%	0%	0%	0%	100%
テクノロジー導入のみ	人数(人)	0	0	0	3	5	2	0	0	0	0	10
	割合	0%	0%	0%	30%	50%	20%	0%	0%	0%	0%	100%
総数	人数(人)	0	0	1	4	8	8	0	0	0	0	21
	割合	0%	0%	5%	19%	38%	38%	0%	0%	0%	0%	100%

② 職員概要

本調査において職員向けアンケート調査に回答があった職員はテクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドで 25 名、テクノロジー導入のみを行った実証フィールドで 24 名であった。

図表 IX-403 職員概要・性別

		男性	女性	無回答	合計
テクノロジー導入 + 介護助手配置	人数(人)	9	16	0	25
	割合	36%	64%	0%	100%
テクノロジー導入のみ	人数(人)	7	17	0	24
	割合	29%	71%	0%	100%
総数	人数(人)	16	33	0	49
	割合	33%	67%	0%	100%

図表 IX-404 職員概要:年齢

		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	無回答	合計
テクノロジー導入 + 介護助手配置	人数(人)	0	1	3	14	3	2	2	0	25
	割合	0%	4%	12%	56%	12%	8%	8%	0%	100%
テクノロジー導入のみ	人数(人)	1	1	7	6	5	3	1	0	24
	割合	4%	4%	29%	25%	21%	13%	4%	0%	100%
総数	人数(人)	1	2	10	20	8	5	3	0	49
	割合	2%	4%	20%	41%	16%	10%	6%	0%	100%

図表 IX-405 職員概要:職種

		介護福祉士	介護職員 (介護福祉士 以外)	看護職員	リハビリ 職(機能訓練 指導員を含 む)	相談員	事務職員	その他	無回答	合計
テクノロジー導入 + 介護助手配置	人数(人)	18	7	0	0	0	0	0	0	25
	割合	72%	28%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
テクノロジー導入のみ	人数(人)	16	8	0	0	0	0	0	0	24
	割合	67%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
総数	人数(人)	34	15	0	0	0	0	0	0	49
	割合	69%	31%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

図表 IX-406 職員概要:役職

		経営層	管理者・ リーダー	一般職	その他	無回答	合計
テクノロジー導入 + 介護助手配置	人数(人)	0	6	18	1	0	25
	割合	0%	24%	72%	4%	0%	100%
テクノロジー導入のみ	人数(人)	0	4	20	0	0	24
	割合	0%	17%	83%	0%	0%	100%
総数	人数(人)	0	10	38	1	0	49
	割合	0%	20%	78%	2%	0%	100%

ウ. タイムスタディ調査結果

テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは、「記録・文書作成・連絡調整等」の時間は事前と比較し、事後①では 7.9 分減少し、事後②では 6.1 分減少した。「巡回・移動」の時間は事前と比較し、事後①で 1.3 分減少し、事後②で 1.2 分減少した。

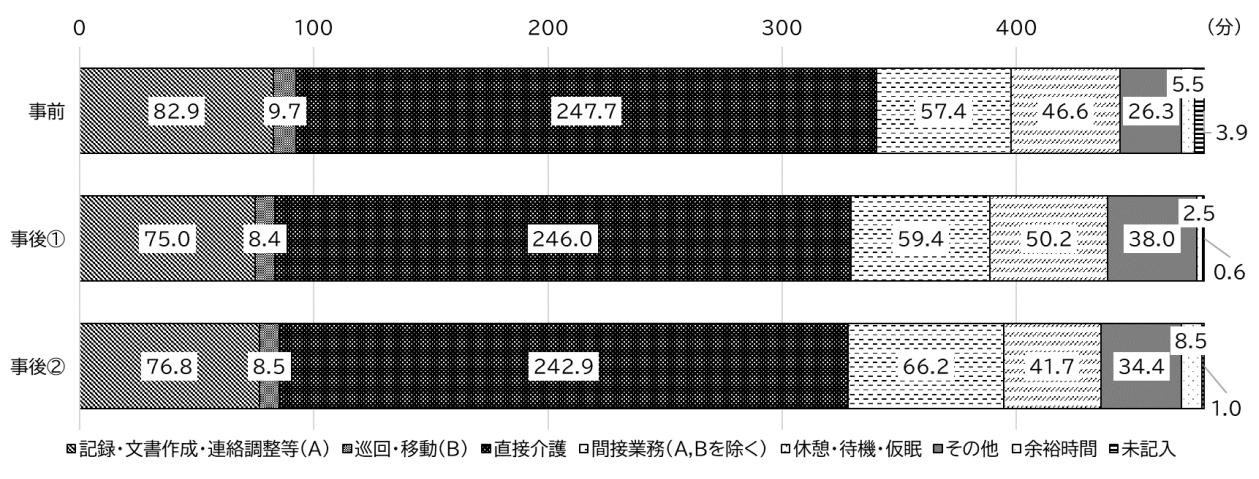
「記録・文書作成・連絡調整等」と「巡回・移動」を除く「間接業務」の時間は事前と比較し、事後①では 2.0 分増加し、事後②では 8.8 分増加した。

テクノロジー導入のみを行った実証フィールドでは、「記録・文書作成・連絡調整等」の時間は事前と比較し、事後①では 5.1 分増加し、事後②では 1.5 分減少した。「巡回・移動」の時間は事前と比較し、事後①で 1.6 分減少し、事後②で 0.4 分増加した。

「記録・文書作成・連絡調整等」と「巡回・移動」を除く「間接業務」の時間は事前と比較し、事後①では 10.7 分増加し、事後②では 5.1 分増加した。

図表 IX-407 タイムスタディ調査の結果(テクノロジー導入 + 介護助手配置)

		直接介護						間接業務					休憩	その他	余裕時間	未記入	合計(分)
		移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	機能訓練・医療的処置等	その他の直接介護	巡回・移動	記録・文書作成・連絡調整等	利用者のアセスメント・連絡調整	介護ロボット・ICT機器の準備・使用・確認	その他の間接業務					
事前	時間(分)	20.1	52.9	156.1	8.0	3.7	6.9	9.7	82.9	6.0	5.6	45.9	46.6	26.3	5.5	3.9	480
	割合	4%	11%	33%	2%	1%	1%	2%	17%	1%	1%	10%	10%	5%	1%	1%	100%
事後①	時間(分)	23.0	56.8	139.0	4.2	1.0	21.9	8.4	75.0	5.0	5.5	48.9	50.2	38.0	2.5	0.6	480
	割合	5%	12%	29%	1%	0%	5%	2%	16%	1%	1%	10%	10%	8%	1%	0%	100%
事後②	時間(分)	18.3	55.1	154.5	2.1	2.1	10.8	8.5	76.8	6.6	9.6	50.1	41.7	34.4	8.5	1.0	480
	割合	4%	11%	32%	0%	0%	2%	2%	16%	1%	2%	10%	9%	7%	2%	0%	100%

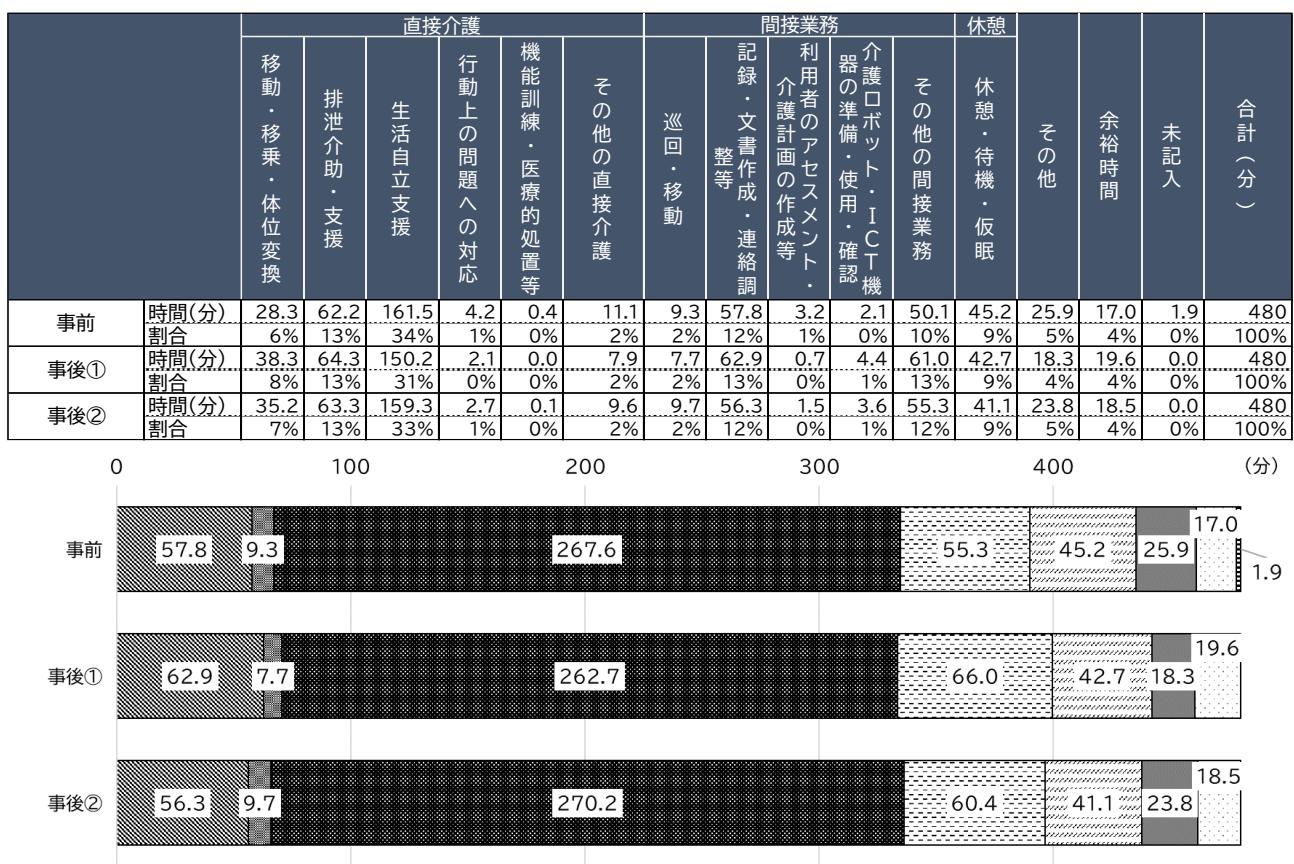


事前 n=29、事後①n=32、事後②n=29

※5日間の自記式による職員業務量調査(タイムスタディ)を実施。

※グラフ上の数は、調査結果の和から 8 時間(480 分)換算した値。

図表 IX-408 タイムスタディ調査の結果(テクノロジー導入のみ)



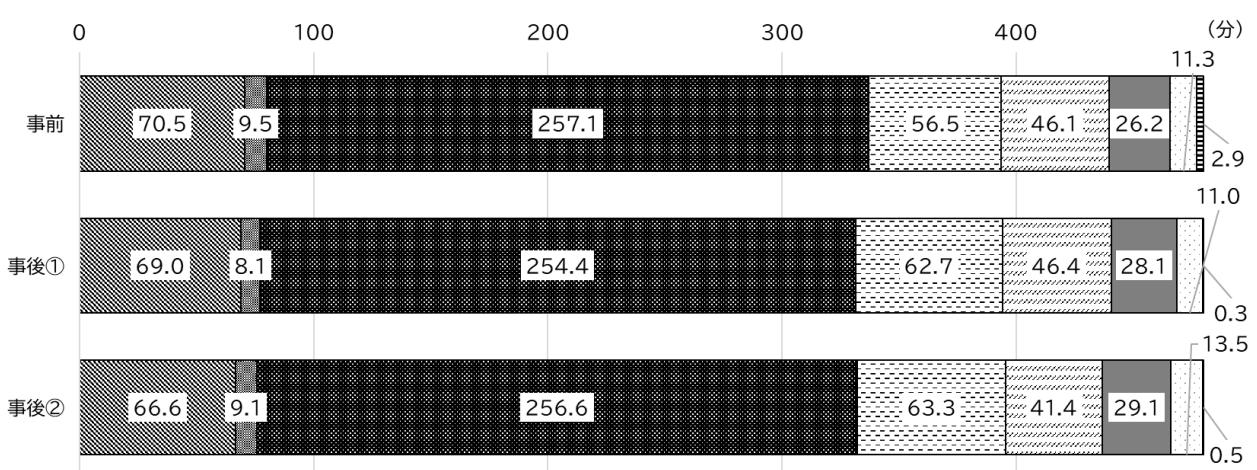
事前 n=29、事後①n=27、事後②n=27

※5日間の自記式による職員業務量調査(タイムスタディ)を実施。

※グラフ上の数は、調査結果の和から8時間(480分)換算した値。

図表 IX-409 (参考)タイムスタディ調査の結果(施設全体)

	直接介護						間接業務					休憩	余裕時間	未記入	合計(分)		
	移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	機能訓練・医療的処置等	その他の直接介護	巡回・移動	記録・文書作成・連絡調整等	利用者介護計画の作成等	介護器の準備・使用・ICＴ機	その他の間接業務	休憩・待機・仮眠					
事前	時間(分)	24.2	57.5	158.2	6.1	2.0	9.0	9.5	70.5	4.6	3.8	48.0	46.1	26.2	11.3	2.9	480
	割合	5%	12%	33%	1%	0%	2%	2%	15%	1%	1%	10%	10%	5%	2%	1%	100%
事後①	時間(分)	30.7	60.5	144.6	3.1	0.5	14.9	8.1	69.0	2.8	4.9	54.9	46.4	28.1	11.0	0.3	480
	割合	6%	13%	30%	1%	0%	3%	2%	14%	1%	1%	11%	10%	6%	2%	0%	100%
事後②	時間(分)	26.8	59.2	156.9	2.4	1.1	10.2	9.1	66.6	4.1	6.6	52.7	41.4	29.1	13.5	0.5	480
	割合	6%	12%	33%	0%	0%	2%	2%	14%	1%	1%	11%	9%	6%	3%	0%	100%



■記録・文書作成・連絡調整等(A) ■巡回・移動(B) ■直接介護 □間接業務(A,Bを除く) □休憩・待機・仮眠 □その他 □余裕時間 □未記入

事前 n=58、事後①n=59、事後②n=56

※5日間の自記式による職員業務量調査(タイムスタディ)を実施。

※グラフ上の数は、調査結果の和から 8 時間(480 分)換算した値。

工. 職員向けアンケート調査

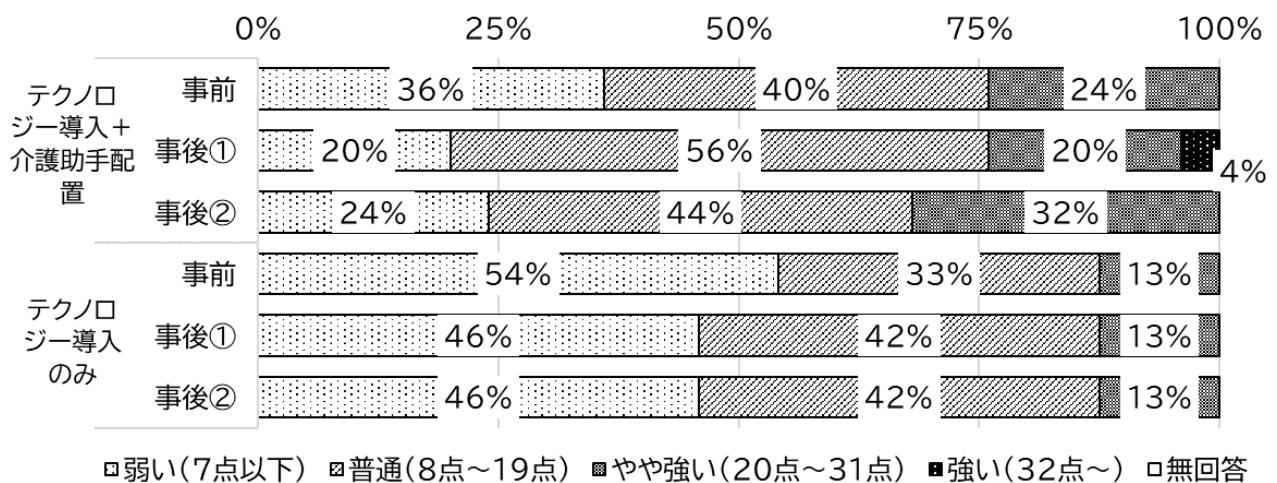
① 心理的負担評価

職員の心理的ストレス反応測定尺度合計点について事前と事後2回の結果を比較すると、テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは、「やや強い(20点以上31点以下)」と回答した職員の割合が事前では24%、事後①では20%、事後②では32%であり、事前から事後②にかけて8ポイント増加した。

テクノロジー導入のみを行った実証フィールドでは、「弱い(7点以下)」と回答した職員の割合が事前では54%、事後①及び事後②では46%であり、8ポイント減少した。

図表 IX-410 職員調査:心理的負担評価

		7点以下	8点～19点	20点～31点	32点～	無回答	合計	
テクノロジー導入+介護助手配置	事前	人数(人)	9	10	6	0	0	25
	割合	36%	40%	24%	0%	0%	100%	
テクノロジー導入のみ	事後①	人数(人)	5	14	5	1	0	25
	割合	20%	56%	20%	4%	0%	100%	
	事後②	人数(人)	6	11	8	0	0	25
	割合	24%	44%	32%	0%	0%	100%	



※心理的負担評価(SRS-18)は、18項目からなる個人の心理的ストレス反応を評価する尺度。各項目について「全くがう(0点)」～「その通りだ(3点)」で評価する。合計点が0～7点を「弱い」、8～19点を「普通」、20～31点を「やや強い」、32点以上を「強い」と評価した。事前調査および事後調査ともに回答のあった職員のみを集計対象とした。事前調査または事後調査①・②で、各18項目のうち1項目でも無回答がある職員はすべて無回答とした。また、各項目の回答が0、1、2、3以外の場合は無回答処理をした。

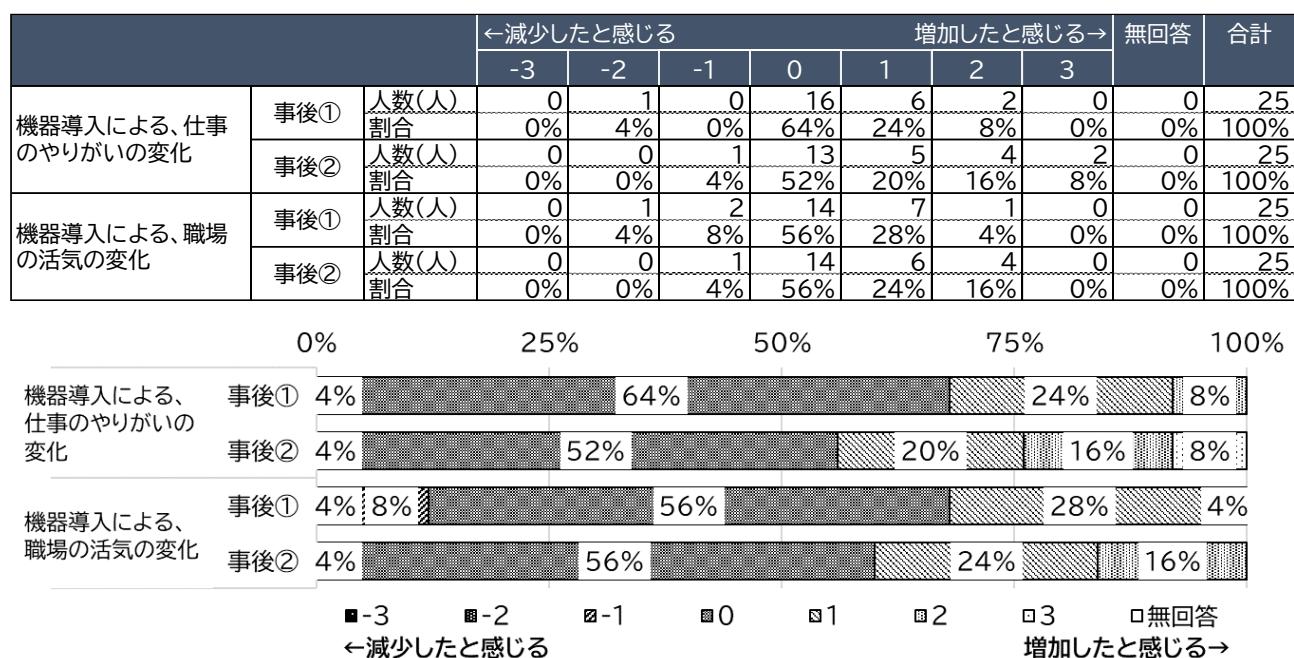
② 機器導入によるモチベーションの変化

機器導入によるモチベーションの変化は以下の通り。

テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは「0(変化なし)」が約6割で最も多かった。それ以外の回答の多くは「増加したと感じている(1以上)」であった。

テクノロジー導入のみを行った実証フィールドでは「0(変化なし)」が最も多かったが、割合はテクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドと比べて低くなる傾向があった。

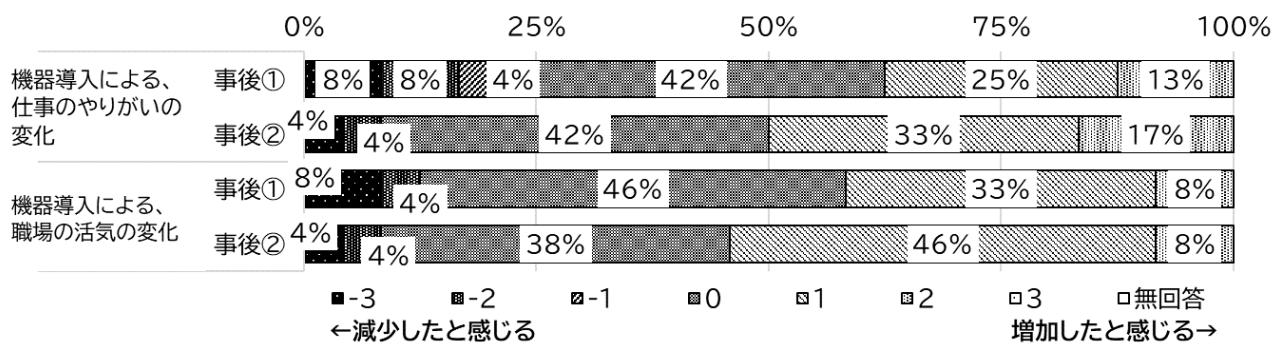
図表 IX-411 職員調査:機器導入によるモチベーションの変化(テクノロジー導入+介護助手配置)



※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の7段階で評価した。

図表 IX-412 職員調査:機器導入によるモチベーションの変化(テクノロジー導入のみ)

			←減少したと感じる 増加したと感じる→							無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3		
機器導入による、仕事のやりがいの変化	事後①	人数(人)	2	2	1	10	6	3	0	0	24
		割合	8%	8%	4%	42%	25%	13%	0%	0%	100%
機器導入による、職場の活気の変化	事後②	人数(人)	1	1	0	10	8	4	0	0	24
		割合	4%	4%	0%	42%	33%	17%	0%	0%	100%



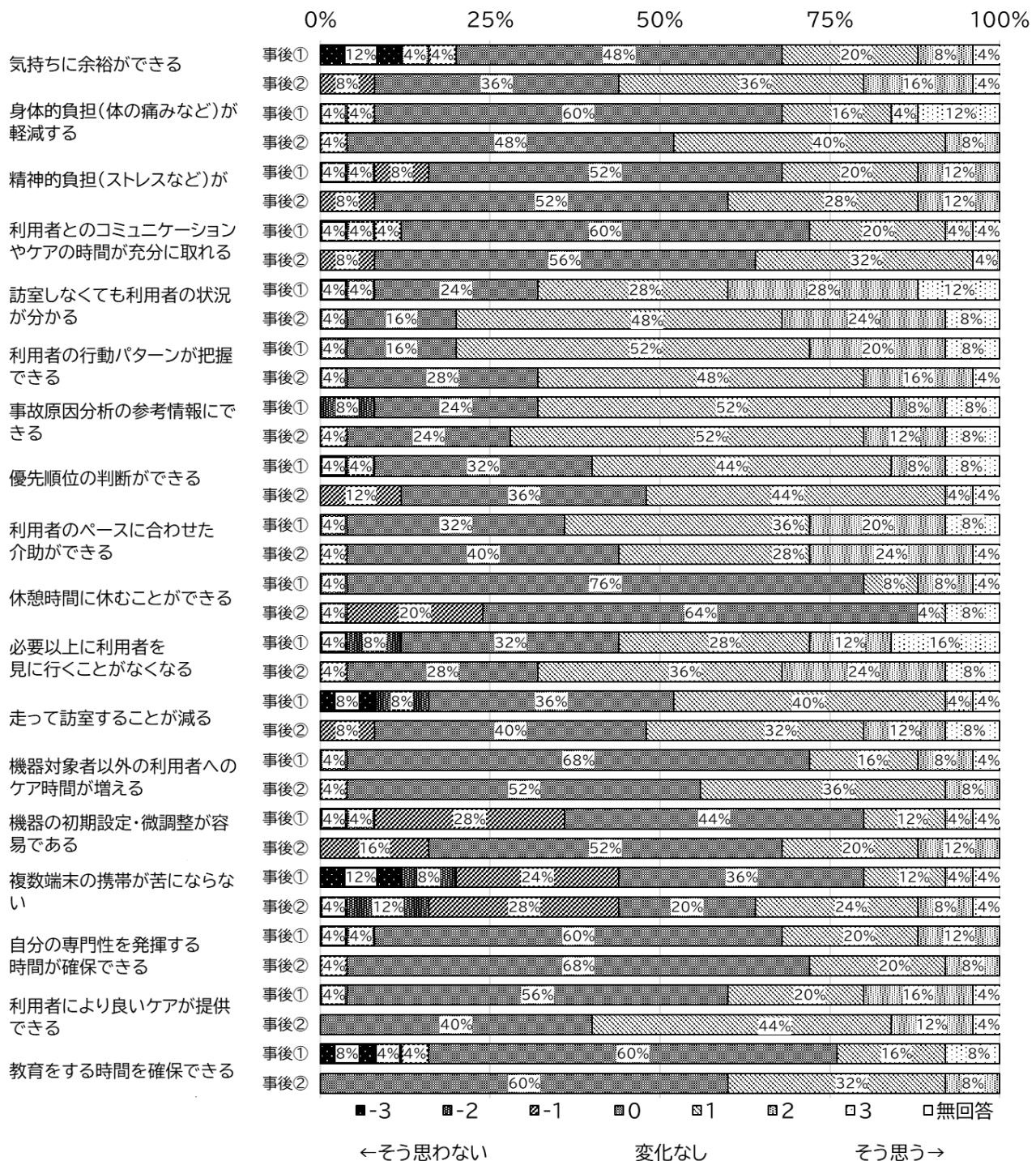
※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の7段階で評価した。

③ 機器導入による職員や施設業務の変化

機器導入による職員や施設業務の変化は以下の通り。

図表 IX-413 職員調査:機器導入による職員や施設業務の変化(テクノロジー導入+介護助手配置)

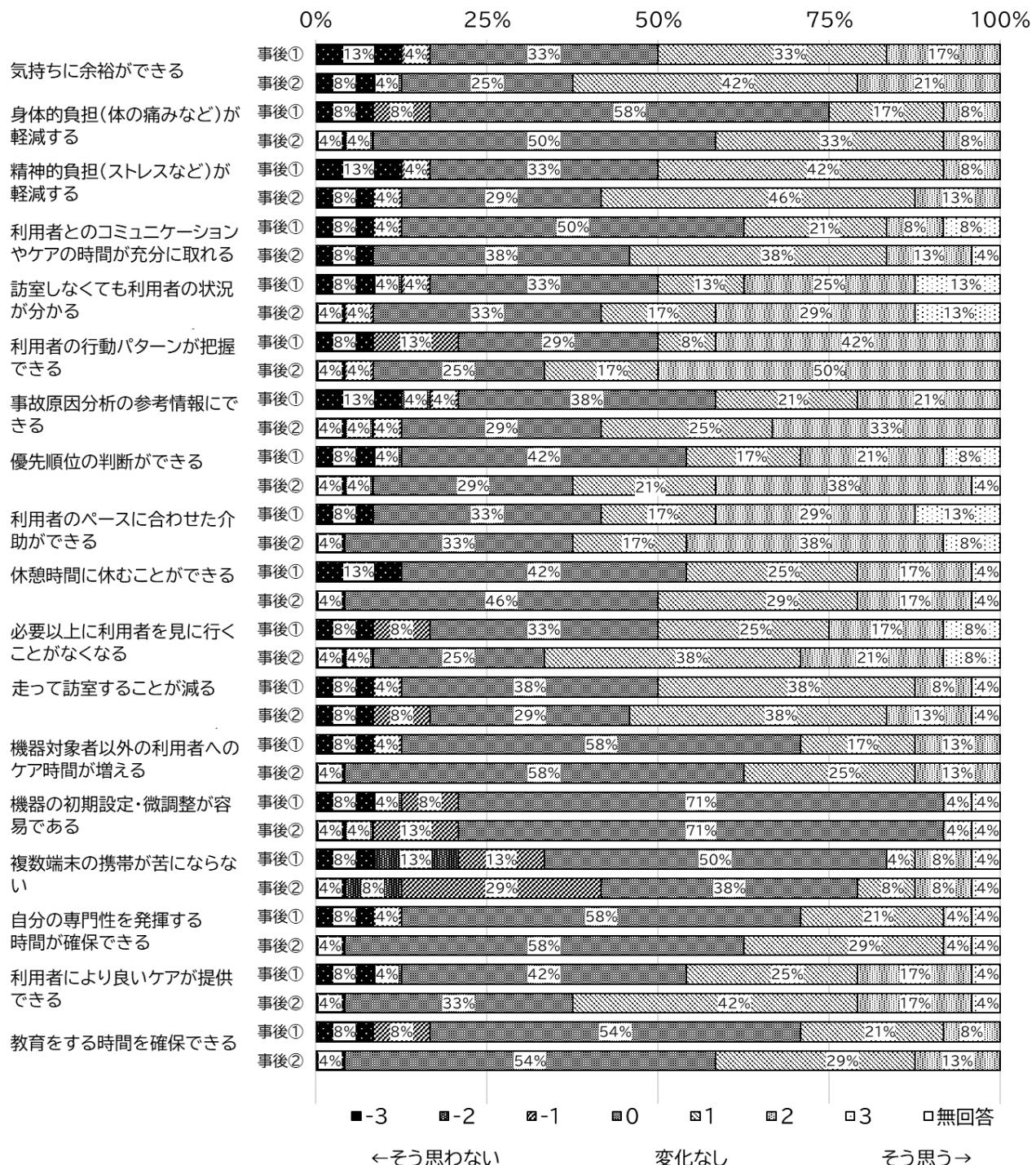
		←そう思わない	変化なし				そう思う→	無回答	合計	
			-3	-2	-1	0				
気持ちに余裕ができる	事後①	人数(人)	3	1	1	12	5	2	1	0 25
		割合	12%	4%	4%	48%	20%	8%	4%	0% 100%
身体的負担(体の痛みなど)が軽減する	事後①	人数(人)	0	0	2	9	9	4	1	0 25
		割合	0%	0%	8%	36%	36%	16%	4%	0% 100%
精神的負担(ストレスなど)が軽減する	事後①	人数(人)	0	1	1	15	4	1	3	0 25
		割合	0%	4%	4%	60%	16%	4%	12%	0% 100%
利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れる	事後①	人数(人)	1	1	2	13	5	3	0	0 25
		割合	4%	4%	4%	52%	20%	12%	0%	0% 100%
訪室しなくても利用者の状況が分かる(即時性)	事後①	人数(人)	1	1	0	6	7	7	3	0 25
		割合	4%	4%	0%	24%	28%	28%	12%	0% 100%
利用者の行動パターンが把握できる	事後①	人数(人)	0	1	0	4	13	5	2	0 25
		割合	0%	4%	0%	16%	52%	20%	8%	0% 100%
事故原因分析の参考情報にできる	事後①	人数(人)	0	2	0	6	13	2	2	0 25
		割合	0%	8%	0%	24%	52%	8%	8%	0% 100%
優先順位の判断ができる(同時コールの発生、他の利用者の介護中)	事後①	人数(人)	1	1	0	8	11	2	2	0 25
		割合	4%	4%	0%	32%	44%	8%	8%	0% 100%
利用者のベースに合わせた介助ができる	事後①	人数(人)	0	0	3	9	11	1	1	0 25
		割合	0%	0%	12%	36%	44%	4%	4%	0% 100%
休憩時間に休むことができる	事後①	人数(人)	0	1	0	8	9	5	2	0 25
		割合	0%	4%	0%	32%	36%	20%	8%	0% 100%
必要以上に利用者を見に行くことがなくなる	事後②	人数(人)	0	0	1	10	7	6	1	0 25
		割合	0%	0%	4%	40%	28%	24%	4%	0% 100%
走って訪室することが減る	事後①	人数(人)	0	1	0	19	2	2	1	0 25
		割合	0%	4%	0%	76%	8%	8%	4%	0% 100%
機器対象者以外の利用者へのケア時間が増える	事後②	人数(人)	0	1	5	16	1	0	2	0 25
		割合	0%	4%	20%	64%	4%	0%	8%	0% 100%
機器の初期設定・微調整が容易である	事後①	人数(人)	1	2	0	8	7	3	4	0 25
		割合	4%	8%	0%	32%	28%	12%	16%	0% 100%
複数端末の携帯が苦にならない	事後②	人数(人)	0	0	1	7	9	6	2	0 25
		割合	0%	0%	4%	28%	36%	24%	8%	0% 100%
自分の専門性を發揮する時間が確保できる	事後①	人数(人)	1	1	7	11	3	1	1	0 25
		割合	4%	4%	28%	44%	12%	4%	4%	0% 100%
利用者により良いケアが提供できる	事後②	人数(人)	0	0	4	13	5	3	0	0 25
		割合	0%	0%	16%	52%	20%	12%	0%	0% 100%
教育をする(教育をうける)時間を確保できる	事後①	人数(人)	3	2	6	9	3	1	1	0 25
		割合	12%	8%	24%	36%	12%	4%	4%	0% 100%
	事後②	人数(人)	1	3	7	5	6	2	1	0 25
		割合	4%	12%	28%	20%	24%	8%	4%	0% 100%
	事後①	人数(人)	1	1	0	15	5	3	0	0 25
		割合	4%	4%	0%	60%	20%	12%	0%	0% 100%
	事後②	人数(人)	0	0	1	17	5	2	0	0 25
		割合	0%	0%	4%	68%	20%	8%	0%	0% 100%
	事後①	人数(人)	0	1	0	14	5	4	1	0 25
		割合	0%	4%	0%	56%	20%	16%	4%	0% 100%
	事後②	人数(人)	0	0	0	10	11	3	1	0 25
		割合	0%	0%	0%	40%	44%	12%	4%	0% 100%
	事後①	人数(人)	2	1	1	15	4	0	2	0 25
		割合	8%	4%	4%	60%	16%	0%	8%	0% 100%
	事後②	人数(人)	0	0	0	15	8	2	0	0 25
		割合	0%	0%	0%	60%	32%	8%	0%	0% 100%



※質問項目に対し、-3(そう思わない)～+3(そう思う)の7段階で評価した。

図表 IX-414 職員調査:機器導入による職員や施設業務の変化(テクノロジー導入のみ)

		←そう思わない	変化なし				そう思う→	無回答	合計		
			-3	-2	-1	0					
気持ちに余裕ができる	事後①	人数(人)	3	0	1	8	8	4	0	24	
		割合	13%	0%	4%	33%	33%	17%	0%	100%	
身体的負担(体の痛みなど)が軽減する	事後①	人数(人)	2	1	0	6	10	5	0	24	
		割合	8%	4%	0%	25%	42%	21%	0%	100%	
精神的負担(ストレスなど)が軽減する	事後①	人数(人)	2	0	2	14	4	2	0	24	
		割合	8%	0%	8%	58%	17%	8%	0%	100%	
利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れる	事後①	人数(人)	1	1	0	12	8	2	0	24	
		割合	4%	4%	0%	50%	33%	8%	0%	100%	
訪室しなくても利用者の状況が分かる(即時性)	事後①	人数(人)	2	1	1	8	10	2	0	24	
		割合	8%	4%	4%	50%	21%	8%	0%	100%	
利用者の行動パターンが把握できる	事後①	人数(人)	1	0	1	7	11	3	1	24	
		割合	4%	0%	4%	38%	38%	13%	4%	100%	
事故原因分析の参考情報にできる	事後①	人数(人)	3	1	1	9	3	6	3	0	24
		割合	13%	4%	4%	33%	13%	25%	13%	0%	100%
優先順位の判断ができる(同時コールの発生、他の利用者の介護中)	事後①	人数(人)	2	1	0	10	4	5	2	0	24
		割合	8%	4%	0%	42%	17%	21%	8%	0%	100%
利用者のペースに合わせた介助ができる	事後①	人数(人)	1	1	0	7	5	9	1	0	24
		割合	4%	4%	0%	29%	21%	38%	4%	0%	100%
休憩時間に休むことができる	事後①	人数(人)	2	0	0	8	4	7	3	0	24
		割合	8%	0%	0%	33%	17%	29%	13%	0%	100%
必要以上に利用者を見に行くことがなくなる	事後②	人数(人)	1	0	0	8	4	9	2	0	24
		割合	4%	0%	0%	33%	17%	38%	8%	0%	100%
走って訪室することが減る	事後①	人数(人)	2	0	1	9	9	2	1	0	24
		割合	8%	0%	4%	38%	38%	8%	4%	0%	100%
機器対象者以外の利用者へのケア時間が増える	事後②	人数(人)	2	0	1	14	4	3	0	0	24
		割合	8%	0%	4%	58%	17%	13%	0%	0%	100%
機器の初期設定・微調整が容易である	事後①	人数(人)	1	0	0	14	6	3	0	0	24
		割合	4%	0%	0%	58%	25%	13%	0%	0%	100%
複数端末の携帯が苦にならない	事後①	人数(人)	2	3	3	12	1	2	1	0	24
		割合	8%	13%	13%	50%	4%	8%	4%	0%	100%
自分の専門性を発揮する時間が確保できる	事後②	人数(人)	1	2	7	9	2	1	0	24	
		割合	4%	8%	29%	38%	8%	8%	4%	0%	100%
利用者により良いケアが提供できる	事後①	人数(人)	2	1	0	10	6	4	1	0	24
		割合	8%	4%	0%	42%	25%	17%	4%	0%	100%
教育をする(教育をうける)時間を確保できる	事後②	人数(人)	1	0	0	8	10	4	1	0	24
		割合	4%	0%	0%	33%	42%	17%	4%	0%	100%



※質問項目に対し、-3(そう思わない)～+3(そう思う)の7段階で評価した。

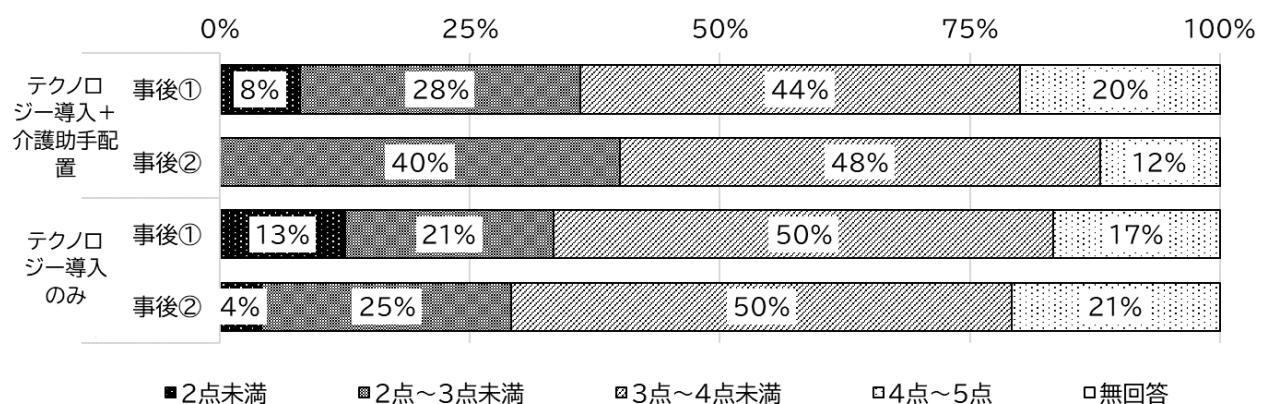
④ 導入機器の満足度評価 ※出典:QUEST 福祉用具満足度評価

導入機器の満足度は、テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは「3点～4点未満」が最も多く、事後①では44%、事後②では48%であった。

テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでも「3点～4点未満」が最も多く、事後①及び事後②で50%であった。

図表 IX-415 職員調査:導入機器の満足度評価(総合評価)

			2点未満	2点～3点未満	3点～4点未満	4点～5点	無回答	合計
テクノロジー導入+介護助手配置	事後①	人数(人)	2	7	11	5	0	25
		割合	8%	28%	44%	20%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	10	12	3	0	25
		割合	0%	40%	48%	12%	0%	100%
テクノロジー導入のみ	事後①	人数(人)	3	5	12	4	0	24
		割合	13%	21%	50%	17%	0%	100%
	事後②	人数(人)	1	6	12	5	0	24
		割合	4%	25%	50%	21%	0%	100%



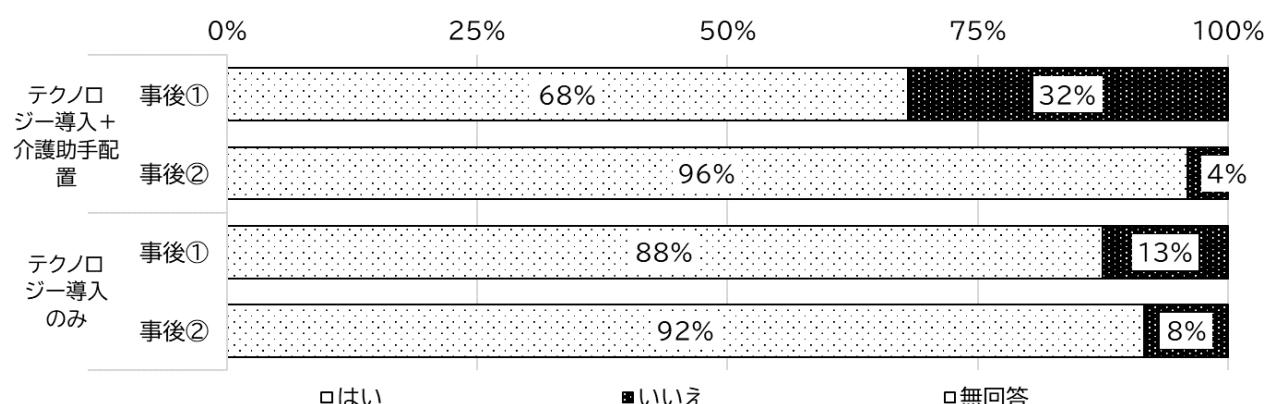
⑤ 導入機器の満足度評価 機器の継続利用意向

導入機器の継続利用意向は、テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは「はい」の回答が多く、事後①では 68%、事後②では 96%であった。

テクノロジー導入のみを行った実証フィールドでも「はい」の回答が多く、事後①では 88%、事後②では 92%であった。

図表 IX-416 職員調査:機器の継続利用意向(テクノロジー導入 + 介護助手配置)

			はい	いいえ	無回答	合計
テクノロジー導入 + 介護助手配置	事後①	人数(人)	17	8	0	25
		割合	68%	32%	0%	100%
	事後②	人数(人)	24	1	0	25
		割合	96%	4%	0%	100%
テクノロジー導入のみ	事後①	人数(人)	21	3	0	24
		割合	88%	13%	0%	100%
	事後②	人数(人)	22	2	0	24
		割合	92%	8%	0%	100%



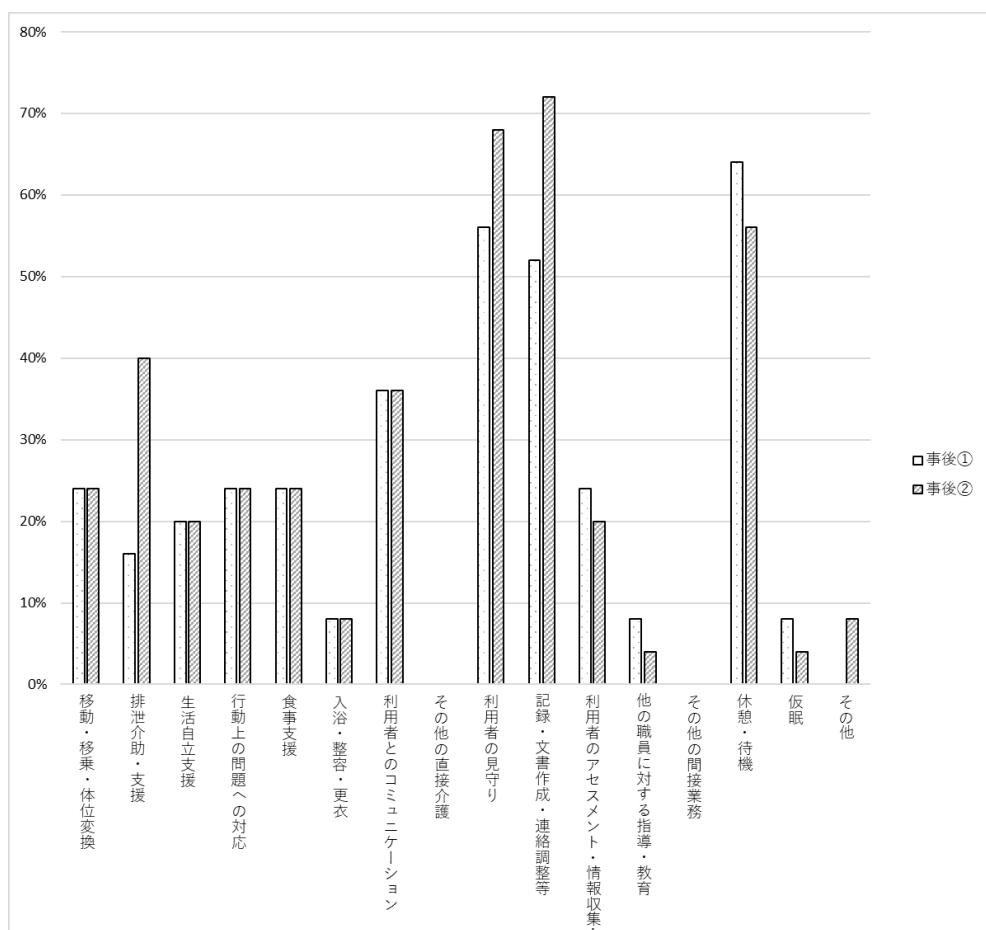
⑥ 職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間

職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間は、テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは、「記録・文書作成・連絡調整等」「利用者の見守り」「休憩・待機」を挙げる職員が多かった。

テクノロジー導入のみを行った実証フィールドでは、「休憩・待機」「利用者の見守り」「利用者とのコミュニケーション」「記録・文書作成・連絡調整等」を挙げる職員が多かった。

図表 IX-417 職員調査:職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間(テクノロジー導入+介護助手配置)

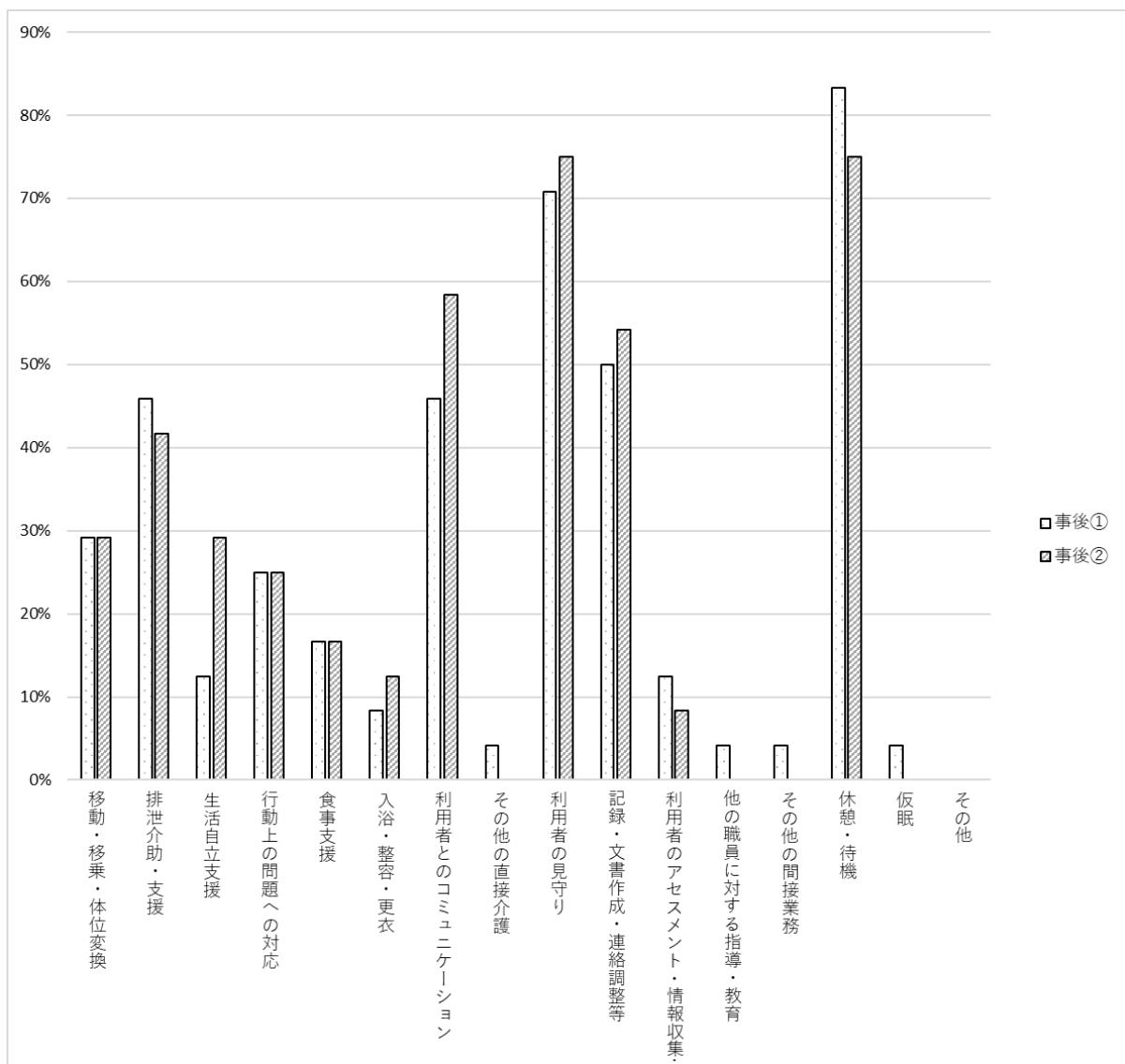
	直接介護								間接業務					休憩		合計（人）		
	移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	食事支援	入浴・整容・更衣	利用者とのコミュニケーション	その他の直接介護	利用者の見守り	等	記録・文書作成・連絡調整等	報収集・介護計画の作成・情報収集	他の職員に対する指導・教育	その他の間接業務	休憩・待機	仮眠		
事後①	人數(人)	6	4	5	6	6	2	9	0	14	13	6	2	0	16	2	0	25
	割合	24%	16%	20%	24%	24%	8%	36%	0%	56%	52%	24%	8%	0%	64%	8%	0%	-
事後②	人數(人)	6	10	5	6	6	2	9	0	17	18	5	1	0	14	1	2	25
	割合	24%	40%	20%	24%	24%	8%	36%	0%	68%	72%	20%	4%	0%	56%	4%	8%	-



※該当する項目をすべて選択する設問。

図表 IX-418 職員調査:職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間(テクノロジー導入のみ)

	直接介護										間接業務				休憩			合計（人）
	移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	食事支援	入浴・整容・更衣	利用者とのコミュニケーション	その他の直接介護	利用者の見守り	記録・文書作成等	報収集・介護計画の作成・情報収集	他の職員に対する指導・教育	その他の間接業務	休憩・待機	仮眠	その他		
	人数(人)	11	3	6	4	2	11	1	17	12	3	1	1	20	1	0	24	
事後①	割合	29%	46%	13%	25%	17%	8%	46%	71%	50%	13%	4%	4%	83%	4%	0%	-	
事後②	人数(人)	7	10	7	6	4	3	14	0	18	13	2	0	0	18	0	0	
	割合	29%	42%	29%	25%	17%	13%	58%	0%	75%	54%	8%	0%	75%	0%	0%	-	



※該当する項目をすべて選択する設問。

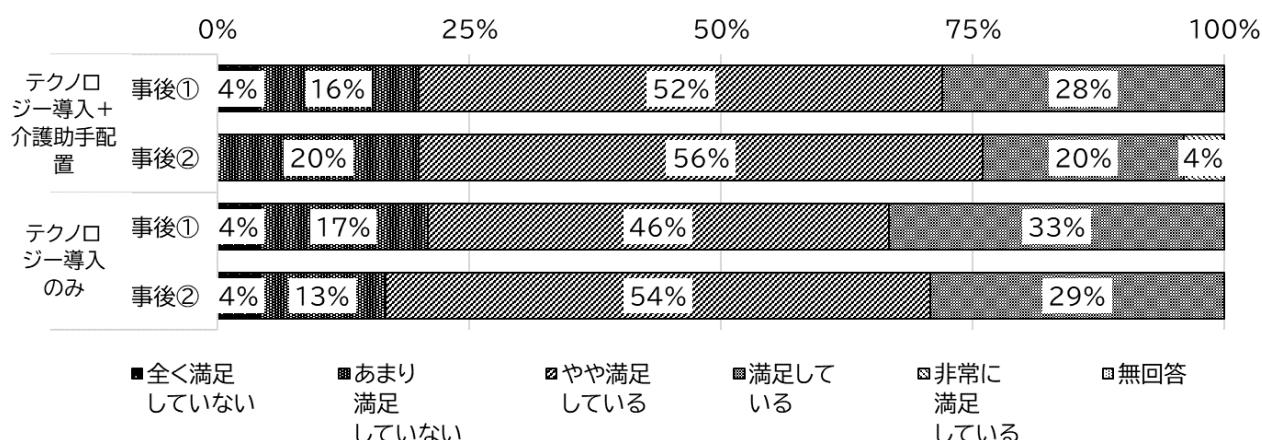
⑦ 満足度評価

調査で導入した機器を用いたケアに対する満足度については、テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは「やや満足している」と回答した職員の割合が最も多く、事後①では 52%、事後②では 56% であった。

テクノロジー導入のみを行った実証フィールドでも「やや満足している」と回答した職員の割合が最も多く、事後①では 46%、事後②では 54% であった。

図表 IX-419 職員調査:満足度評価

			全く満足していない	あまり満足していない	やや満足している	満足している	非常に満足している	無回答	合計	
機器・テクノロジー等の導入や機器・テクノロジー等を使ったケアに、どれくらい満足していますか？	テクノロジー導入+介護助手配置	事後①	人数(人)	1	4	13	7	0	0	25
		割合		4%	16%	52%	28%	0%	0%	100%
	テクノロジー導入のみ	事後①	人数(人)	0	5	14	5	1	0	25
		割合		0%	20%	56%	20%	4%	0%	100%



※質問項目に対し、1(全く満足していない)～5(非常に満足している)の 5 段階で評価した。

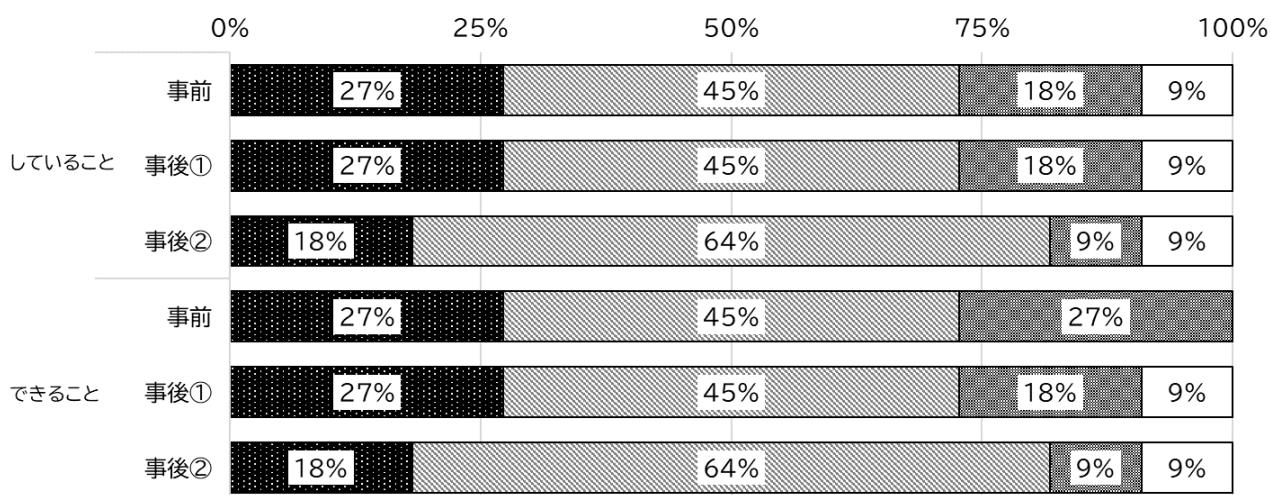
オ. 利用者向けアンケート調査

① ADL の変化

ADL の変化は以下の通り。

図表 IX-420 利用者調査:ADL の変化(テクノロジー導入 + 介護助手配置)

			0点～ 20点	25点～ 40点	45点～ 60点	65点～ 100点	無回答	合計
していること	事前	人数(人)	3	5	2	1	0	11
		割合	27%	45%	18%	9%	0%	100%
	事後①	人数(人)	3	5	2	1	0	11
		割合	27%	45%	18%	9%	0%	100%
	事後②	人数(人)	2	7	1	1	0	11
		割合	18%	64%	9%	9%	0%	100%
できること	事前	人数(人)	3	5	3	0	0	11
		割合	27%	45%	27%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	3	5	2	1	0	11
		割合	27%	45%	18%	9%	0%	100%
	事後②	人数(人)	2	7	1	1	0	11
		割合	18%	64%	9%	9%	0%	100%

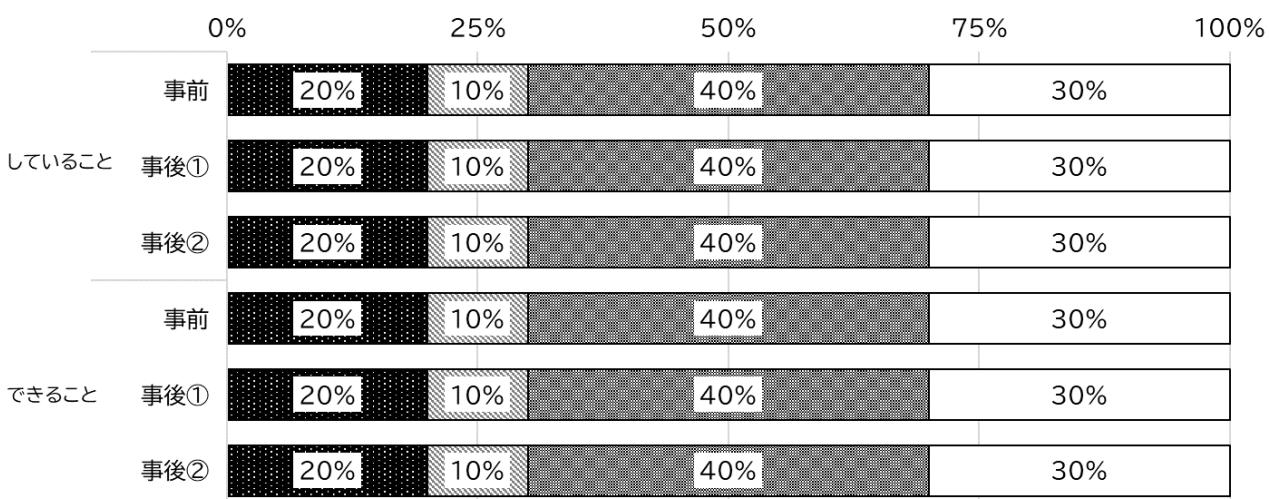


■0～20点(ほぼ全介助) □25～40点(かなりの介助) ▨45～60点(部分介助) □65～100点(ほぼ自立・自立) □無回答

※事前調査または事後調査で、各 10 項目のうち 1 項目でも無回答がある場合は無回答処理をした。

図表 IX-421 利用者調査:ADL の変化(テクノロジー導入のみ)

			0点～ 20点	25点～ 40点	45点～ 60点	65点～ 100点	無回答	合計
していること	事前	人数(人)	2	1	4	3	0	10
		割合	20%	10%	40%	30%	0%	100%
	事後①	人数(人)	2	1	4	3	0	10
		割合	20%	10%	40%	30%	0%	100%
	事後②	人数(人)	2	1	4	3	0	10
		割合	20%	10%	40%	30%	0%	100%
できること	事前	人数(人)	2	1	4	3	0	10
		割合	20%	10%	40%	30%	0%	100%
	事後①	人数(人)	2	1	4	3	0	10
		割合	20%	10%	40%	30%	0%	100%
	事後②	人数(人)	2	1	4	3	0	10
		割合	20%	10%	40%	30%	0%	100%



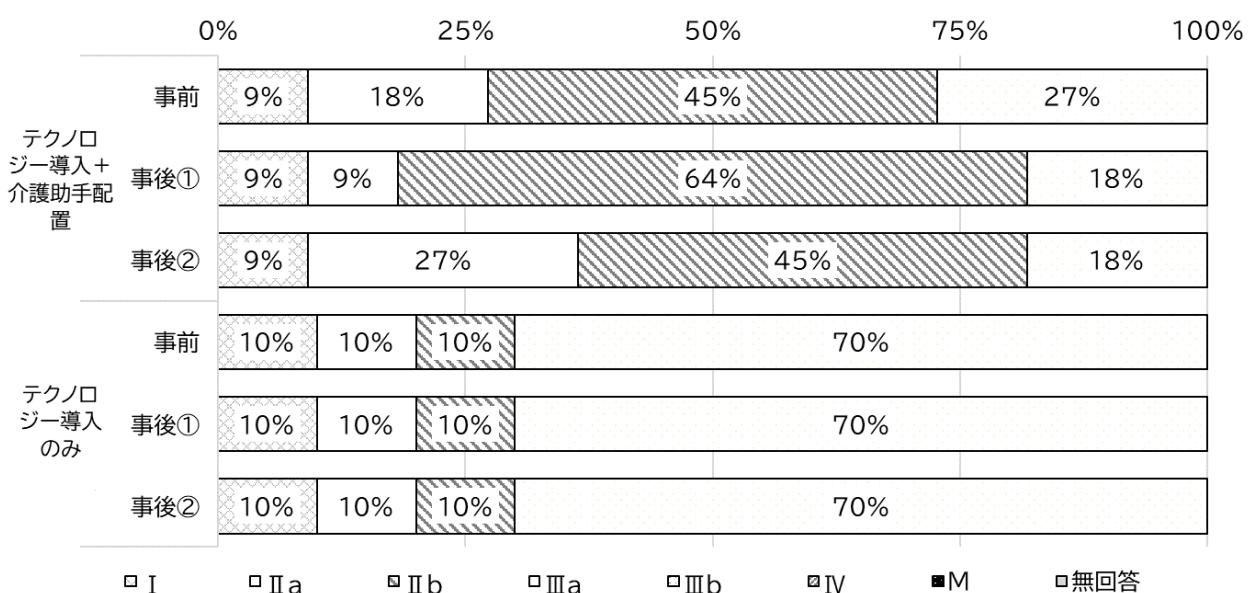
■0～20点(ほぼ全介助) □25～40点(かなりの介助) ▨45～60点(部分介助) □65～100点(ほぼ自立・自立) □無回答

② 認知症高齢者の日常生活自立度の変化

認知症高齢者の日常生活自立度の変化は以下の通り。

図表 IX-422 利用者調査:認知症高齢者の日常生活自立度の変化

			I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	無回答	合計
テクノロジー導入+介護助手配置	事前	人数(人)	1	2	5	3	0	0	0	0	11
	割合	9%	18%	45%	27%	0%	0%	0%	0%	100%	
テクノロジー導入のみ	事後①	人数(人)	1	1	7	2	0	0	0	0	11
	割合	9%	9%	64%	18%	0%	0%	0%	0%	100%	
	事後②	人数(人)	1	3	5	2	0	0	0	0	11
	割合	9%	27%	45%	18%	0%	0%	0%	0%	100%	



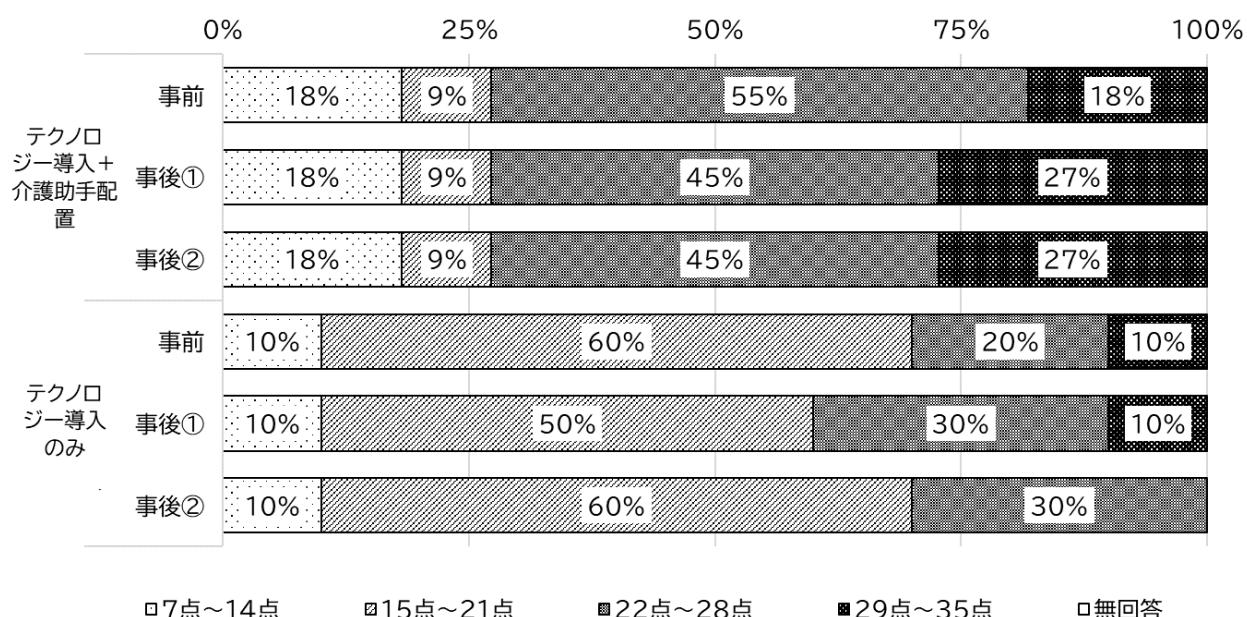
③ 生活・認知機能尺度の変化

生活・認知機能尺度の変化について、テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは「22点～28点」の利用者の割合が最も多く、事前では55%、事後①及び事後②では45%であった。

テクノロジー導入のみを行った実証フィールドでは「15点～21点」の利用者の割合が最も多く、事前では60%、事後①では50%、事後②では60%であった。

図表 IX-423 利用者調査:生活・認知機能尺度の変化

		7点～14点	15点～21点	22点～28点	29点～35点	無回答	合計	
テクノロジー導入+介護助手配置	事前	人数(人)	2	1	6	2	0	11
		割合	18%	9%	55%	18%	0%	100%
	事後①	人数(人)	2	1	5	3	0	11
		割合	18%	9%	45%	27%	0%	100%
	事後②	人数(人)	2	1	5	3	0	11
		割合	18%	9%	45%	27%	0%	100%
テクノロジー導入のみ	事前	人数(人)	1	6	2	1	0	10
		割合	10%	60%	20%	10%	0%	100%
	事後①	人数(人)	1	5	3	1	0	10
		割合	10%	50%	30%	10%	0%	100%
	事後②	人数(人)	1	6	3	0	0	10
		割合	10%	60%	30%	0%	0%	100%



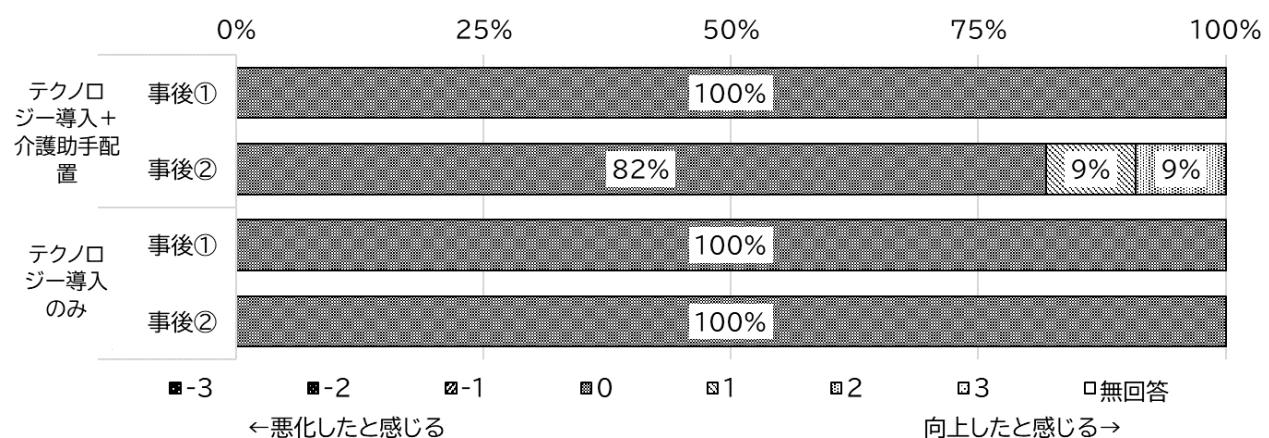
④ 認知機能変化の総合的な評価

認知機能変化の総合的な評価は、テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは「0(変化なし)」と回答する利用者が最も多く、事後①では100%、事後②では82%であった。

テクノロジー導入のみを行った実証フィールドでも「0(変化なし)」と回答する利用者が最も多く、事後①及び事後②で100%であった。

図表 IX-424 利用者調査・認知機能変化の総合的な評価

			←悪化したと感じる							向上したと感じる→		無回答	合計	
			-3	-2	-1	0	1	2	3					
テクノロジー導入+介護助手配置	事後①	人数(人)	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	11
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
テクノロジー導入のみ	事後①	人数(人)	0	0	0	9	1	1	0	0	0	0	0	11
		割合	0%	0%	0%	82%	9%	9%	0%	0%	0%	0%	100%	



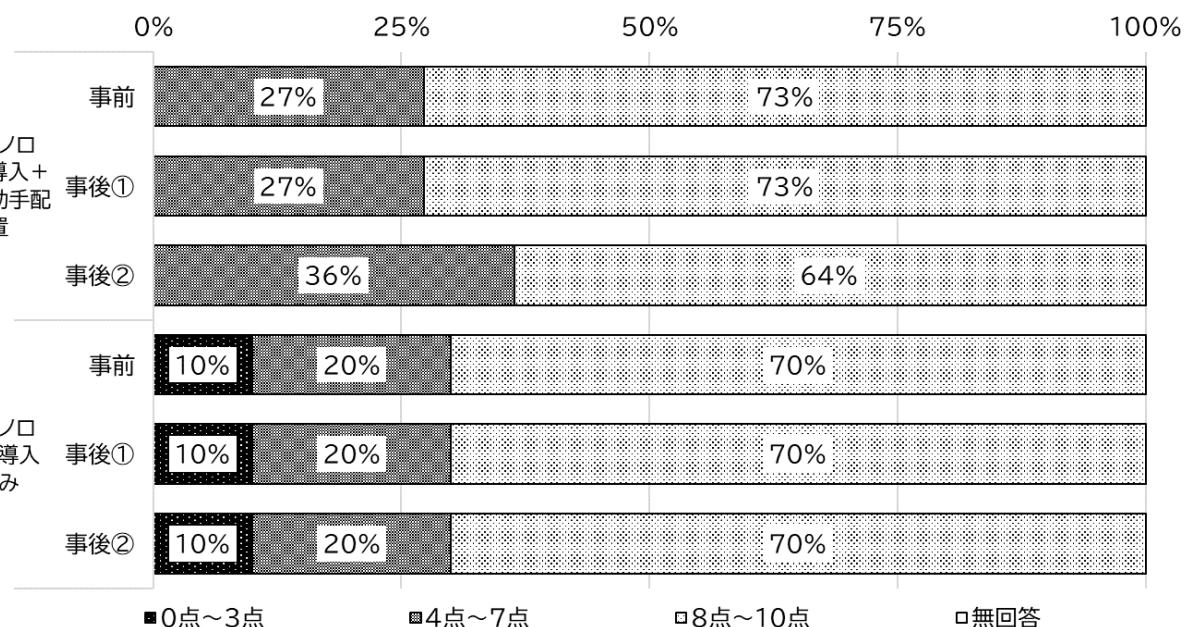
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑤ Vitality Index の変化

Vitality Index の変化は以下の通り。

図表 IX-425 利用者調査:Vitality Index の変化

		0点～3点	4点～7点	8点～10点	無回答	合計	
テクノロジー導入 + 介護助手配置	事前	人数(人)	0	3	8	0	11
	割合	0%	27%	73%	0%	100%	
テクノロジー導入のみ	事後①	人数(人)	0	3	8	0	11
	割合	0%	27%	73%	0%	100%	
テクノロジー導入のみ	事後②	人数(人)	0	4	7	0	11
	割合	0%	36%	64%	0%	100%	



※事前調査または事後調査で、各5項目のうち 1 項目でも無回答がある利用者はすべて無回答とし、各項目の回答が0、1、2、以外の場合は無回答処理をした。

※ Vitality index とは、鳥羽ら(2002)によって開発された、高齢者の日常生活動作「起床」「意志疎通」「食事」「排泄」「活動」の 5 項目から高齢者における日常生活動作に関連した「意欲」を客観的に評価する指標。5 項目それぞれに0～2 点で回答し、それぞれ 2 点が最もよい状態を示す。10 点満点。

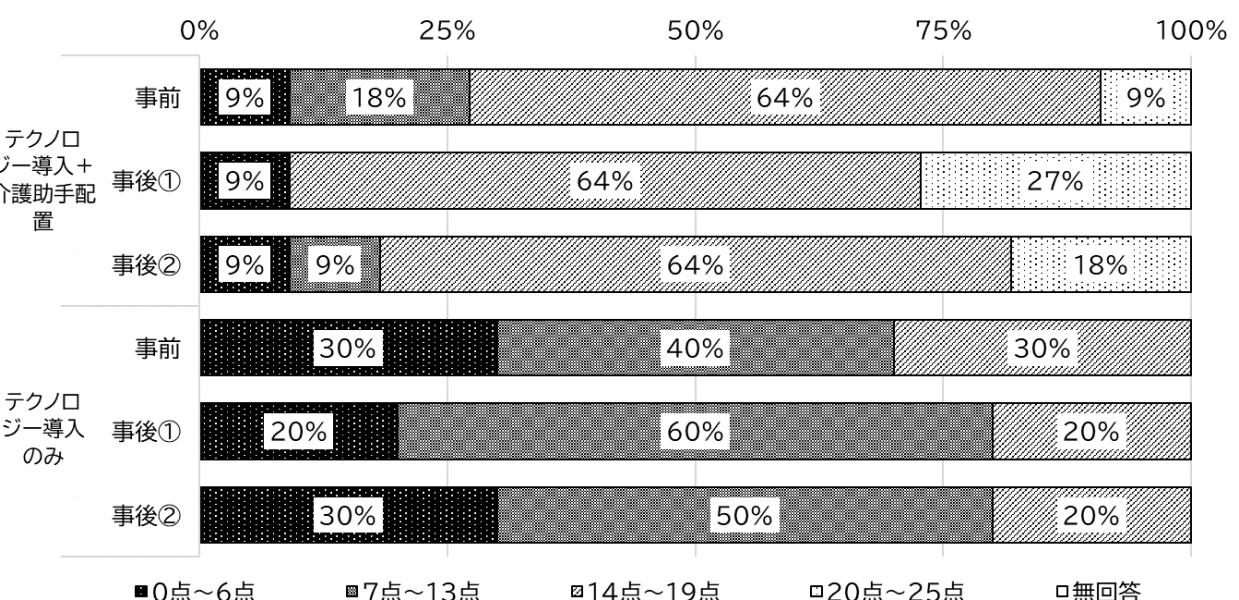
⑥ QOL(WHO-5 精神的健康状態表)の変化

QOL の変化は、テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは「20 点以上 25 点以下」が、事前では9%、事後①では 27%、事後②では 18%となつた。

テクノロジー導入のみを行つた実証フィールドでは「20 点以上 25 点以下」は、事前、事後①、事後②において0%であった。

図表 IX-426 利用者調査:QOL の変化

			0点～6点	7点～13点	14点～19点	20点～25点	無回答	合計
テクノロジー導入 + 介護助手配置	事前	人数(人)	1	2	7	1	0	11
		割合	9%	18%	64%	9%	0%	100%
	事後①	人数(人)	1	0	7	3	0	11
		割合	9%	0%	64%	27%	0%	100%
	事後②	人数(人)	1	1	7	2	0	11
		割合	9%	9%	64%	18%	0%	100%
テクノロジー導入のみ	事前	人数(人)	3	4	3	0	0	10
		割合	30%	40%	30%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	2	6	2	0	0	10
		割合	20%	60%	20%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	3	5	2	0	0	10
		割合	30%	50%	20%	0%	0%	100%



※事前または事後で、各5項目のうち 1 項目でも無回答がある利用者はすべて無回答とし、各項目の回答が0、1、2、3、4、5 以外の場合は無回答処理をした。

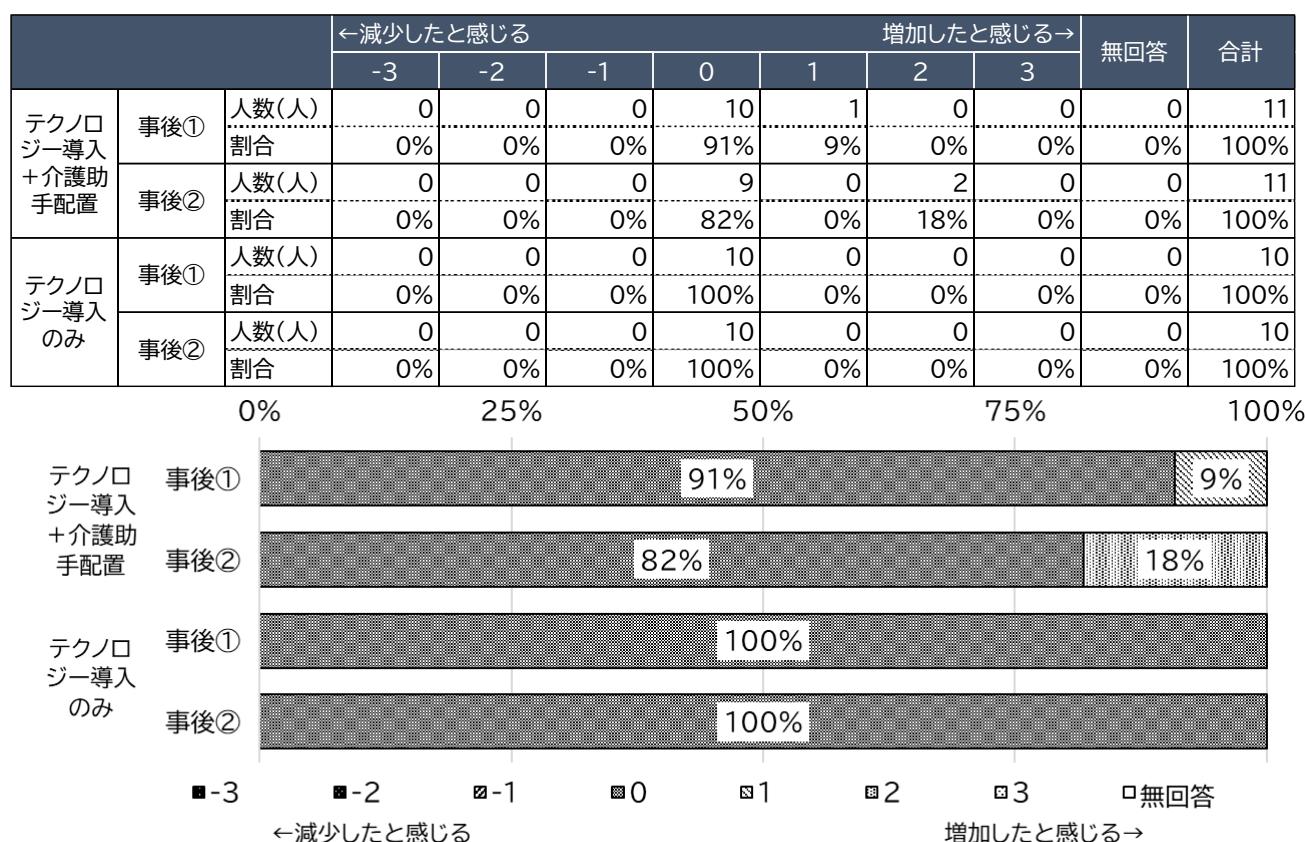
※QOL の変化は、WHO-5 精神的健康状態表を用いて実証対象施設の職員が回答した。最近2週間、利用者の状態に最も近いものについて、5項目それぞれに 5(いつも)～0(まったくない)点で回答し、その合計点で評価。25 点満点。

⑦ QOL の変化の総合的な評価

QOL の変化の総合的な評価は、いずれのフィールドにおいても「0(変化なし)」と回答する利用者が最も多かった。

テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは、テクノロジー導入のみを行った実証フィールドに比べ、「増加したと感じる(1 以上)」の回答割合が高かった。

図表 IX-427 利用者調査:QOL の変化の総合的な評価

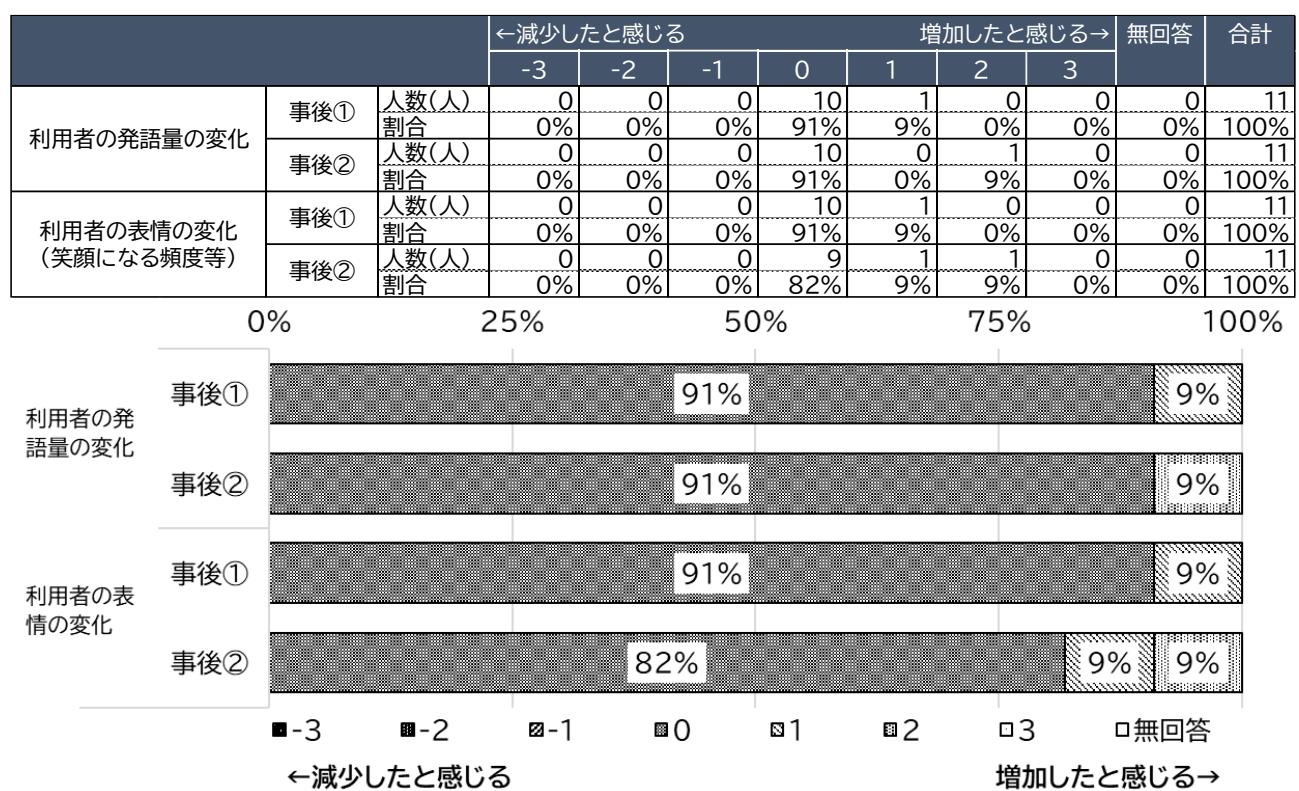


※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑧ 機器導入によるコミュニケーションの変化

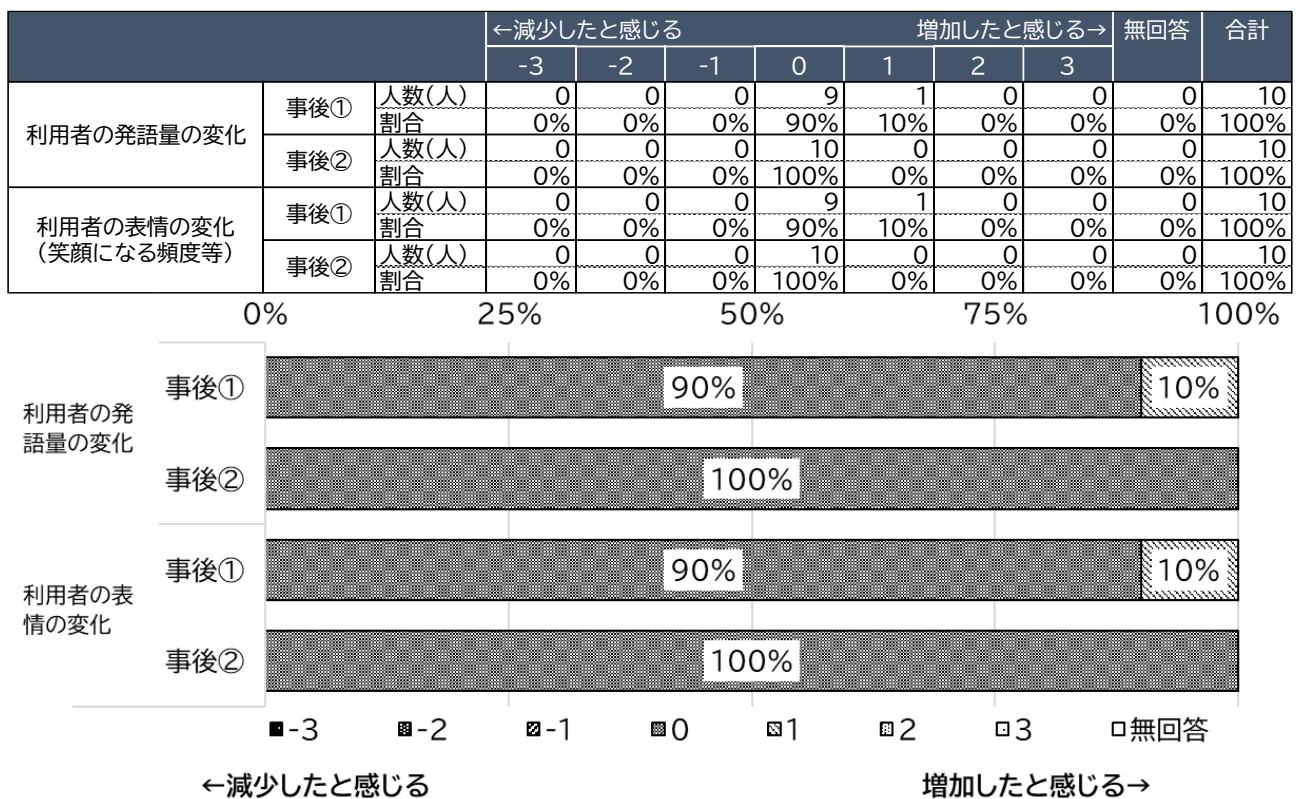
機器導入によるコミュニケーションの変化は、いずれのフィールドにおいても「0(変化なし)」と回答する利用者が最も多かった。

図表 IX-428 利用者調査:機器導入によるコミュニケーションの変化
(テクノロジー導入+介護助手配置)



※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-429 利用者調査:機器導入によるコミュニケーションの変化(テクノロジー導入のみ)



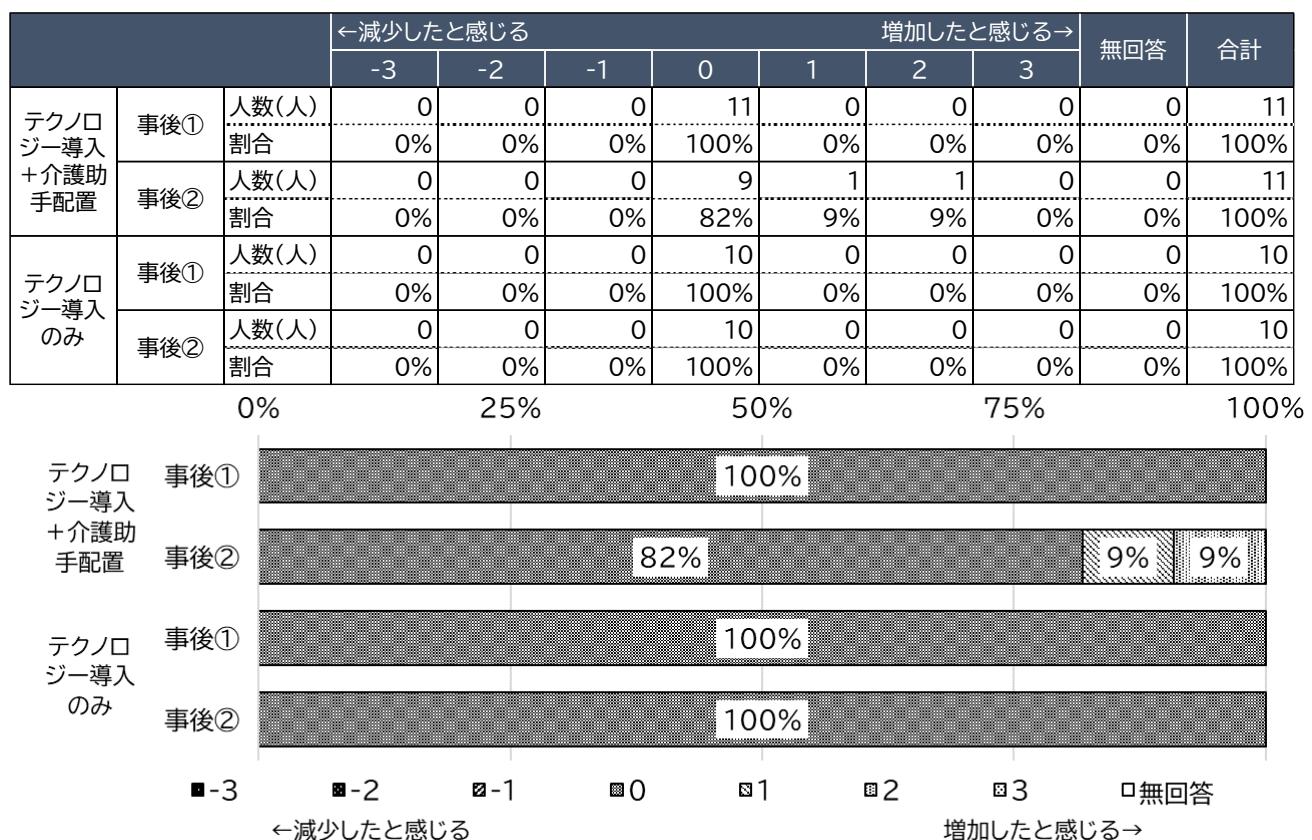
※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑨ 機器導入によるコミュニケーション変化の総合的な評価

機器導入によるコミュニケーション変化の総合的な評価は、いずれのフィールドにおいても「0(変化なし)」と回答する利用者が最も多かった。

テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは、テクノロジー導入のみを行った実証フィールドに比べ、「増加したと感じる(1以上)」の回答割合が高かった。

図表 IX-430 利用者調査:機器導入によるコミュニケーション変化の総合的な評価



※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

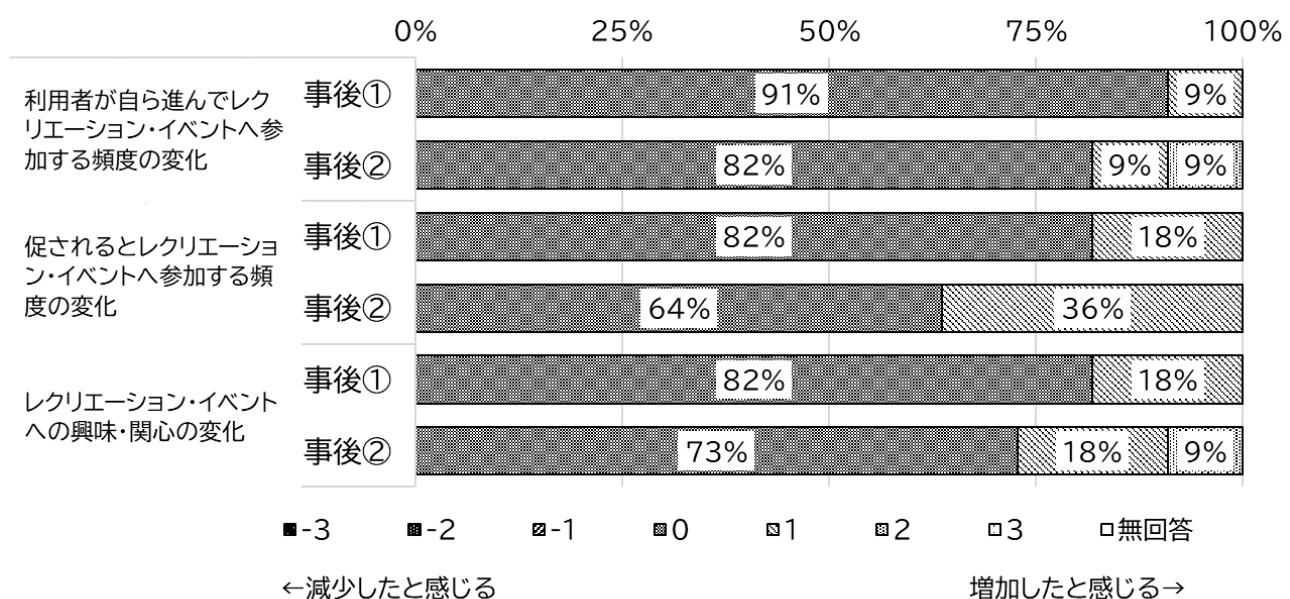
⑩ 機器導入によるレクリエーション・イベントへの参加状況の変化

機器導入によるレクリエーション・イベントへの参加状況の変化は、いずれのフィールドにおいても「0(変化なし)」と回答する利用者が最も多かった。

テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは、テクノロジー導入のみを行った実証フィールドに比べ、「増加したと感じる(1以上)」の回答割合が高かった。

図表 IX-431 利用者調査:機器導入によるレクリエーション・イベントへの参加状況の変化
(テクノロジー導入+介護助手配置)

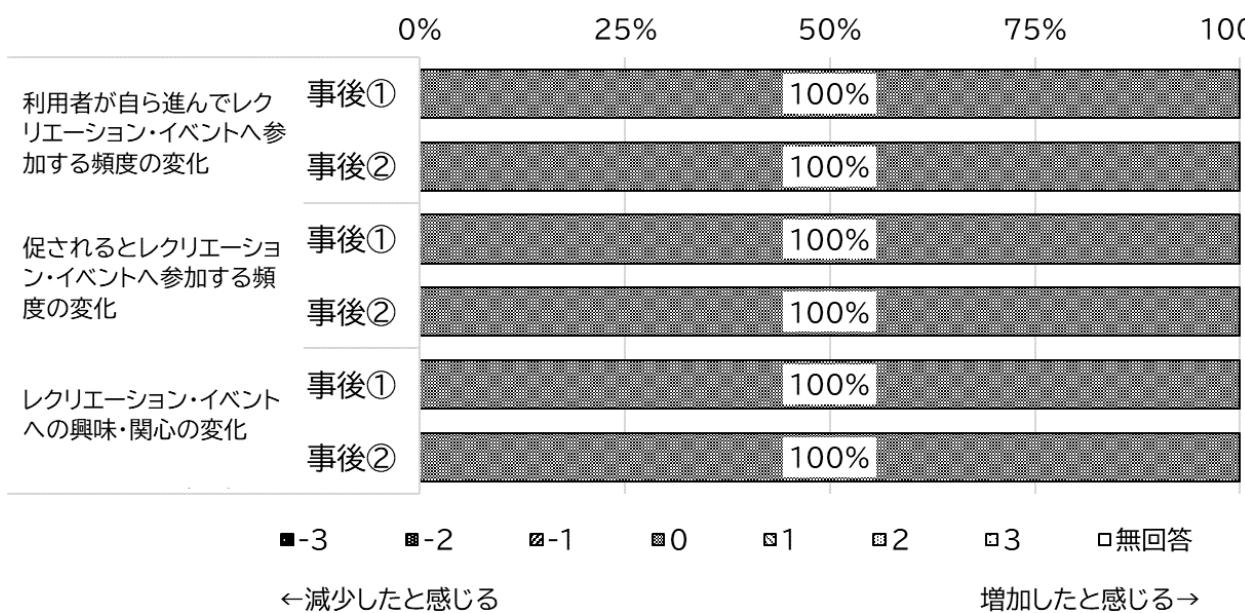
			<減少したと感じる							無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3		
利用者が自ら進んでレクリエーション・イベントへ参加する頻度の変化	事後①	人数(人)	0	0	0	10	1	0	0	0	11
	事後②	人数(人)	0	0	0	9	1	1	0	0	11
促されるとレクリエーション・イベントへ参加する頻度の変化	事後①	人数(人)	0	0	0	9	2	0	0	0	11
	事後②	人数(人)	0	0	0	7	4	0	0	0	11
レクリエーション・イベントへの興味・関心の変化	事後①	人数(人)	0	0	0	9	2	0	0	0	11
	事後②	人数(人)	0	0	0	8	2	1	0	0	11



※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-432 利用者調査:機器導入によるレクリエーション・イベントへの参加状況の変化
(テクノロジー導入のみ)

			←減少したと感じる 増加したと感じる→							無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3		
利用者が自ら進んでレクリエーション・イベントへ参加する頻度の変化	事後①	人数(人)	0	0	0	10	0	0	0	0	10
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
促されるとレクリエーション・イベントへ参加する頻度の変化	事後①	人数(人)	0	0	0	10	0	0	0	0	10
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
レクリエーション・イベントへの興味・関心の変化	事後①	人数(人)	0	0	0	10	0	0	0	0	10
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
			0%	25%	50%	75%	100%				



※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の 7 段階で評価した(回答は職員が実施)。

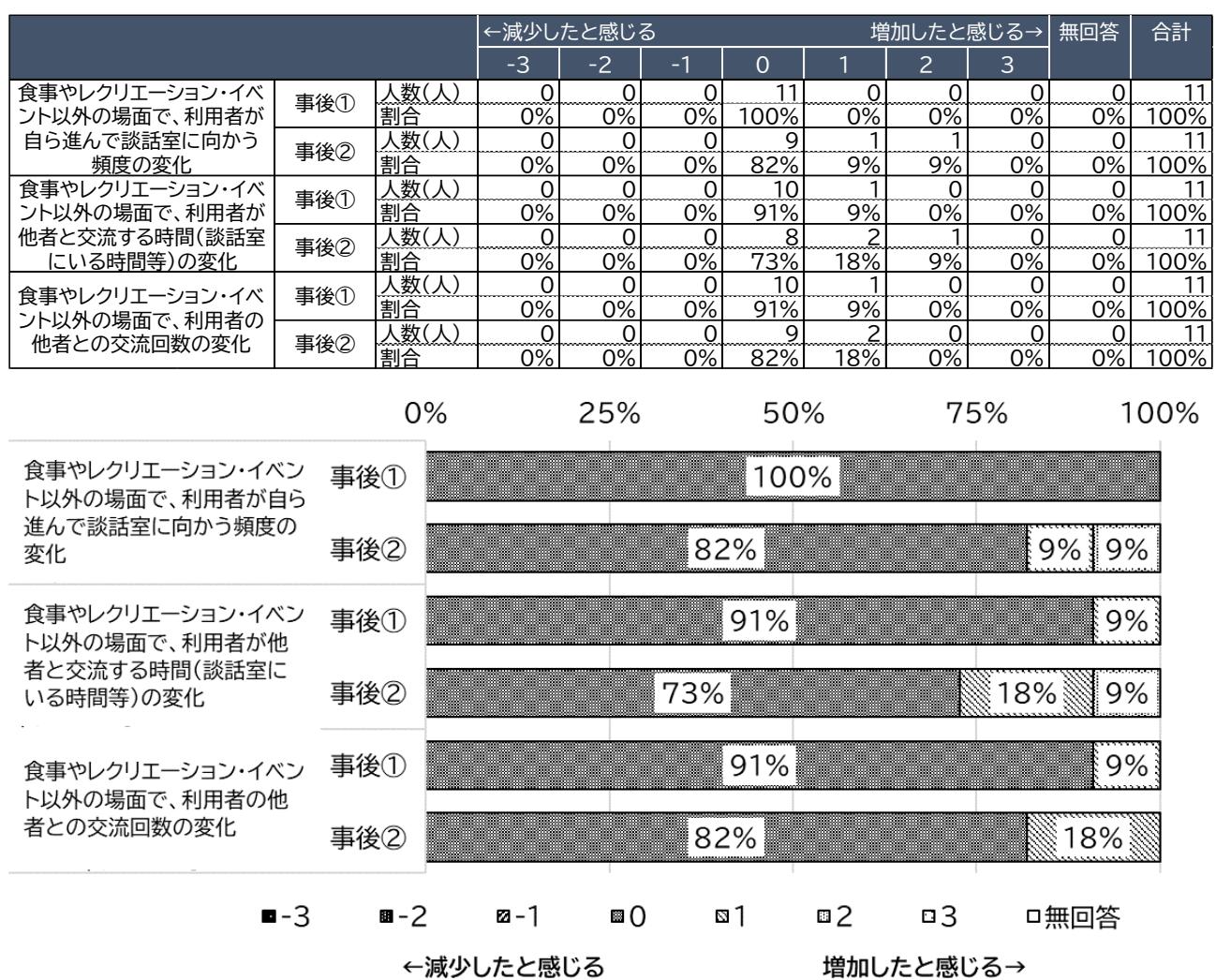
⑪ 機器導入による、食事やレクリエーション・イベント以外の場面での他者との交流の変化

機器導入による、食事やレクリエーション・イベント以外の場面での他者との交流の変化は、いずれのフィールドにおいても「0(変化なし)」と回答する利用者が最も多いかった。

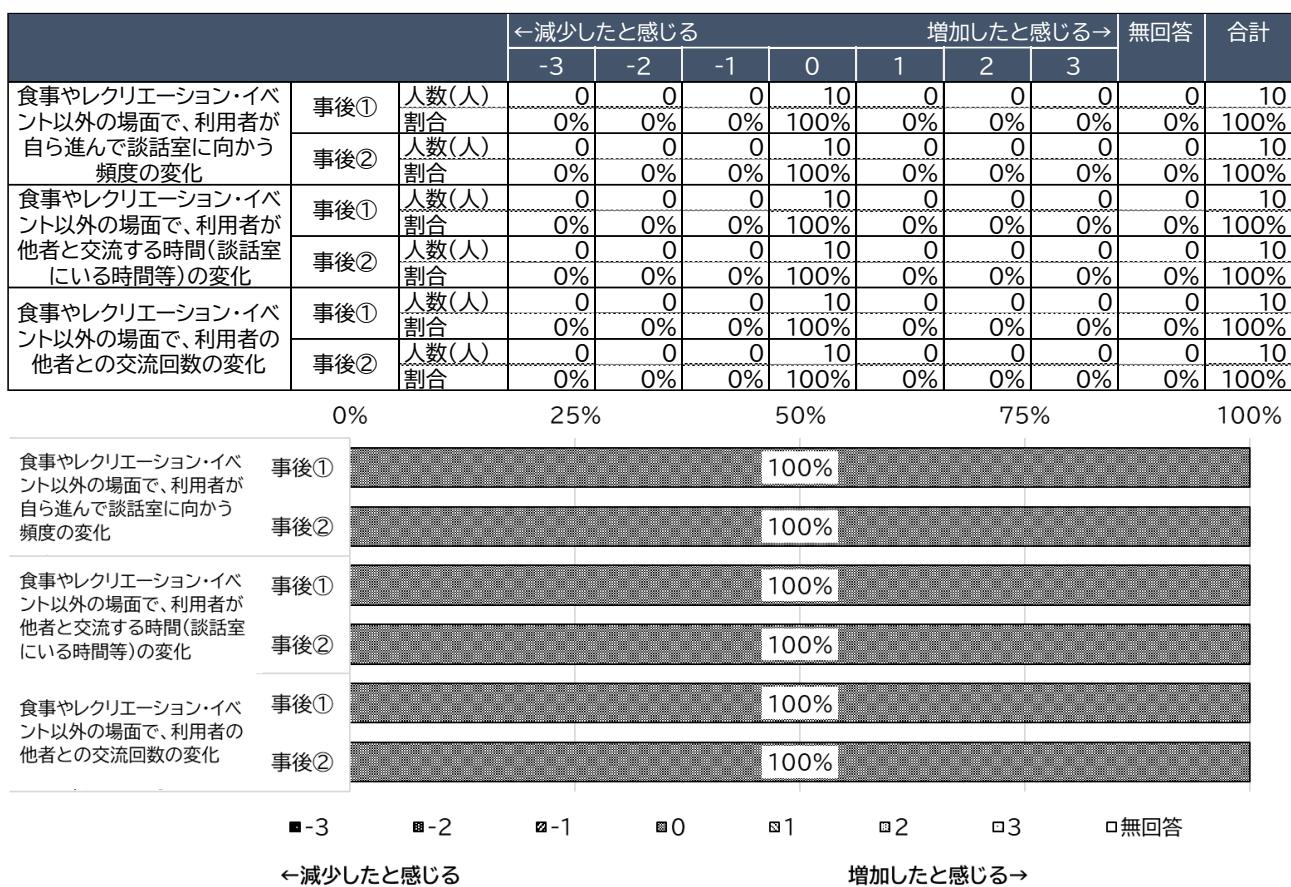
テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは、テクノロジー導入のみを行った実証フィールドに比べ、「増加したと感じる(1以上)」の回答割合が高かった。

テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは、事後①よりも事後②の方が「増加したと感じる(1以上)」の回答割合が高かった。

図表 IX-433 利用者調査:機器導入による、食事やレクリエーション・イベント以外の場面での他者との交流の変化(テクノロジー導入+介護助手配置)



図表 IX-434 利用者調査:機器導入による、食事やレクリエーション・イベント以外の場面での他者との交流の変化(テクノロジー導入のみ)



※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

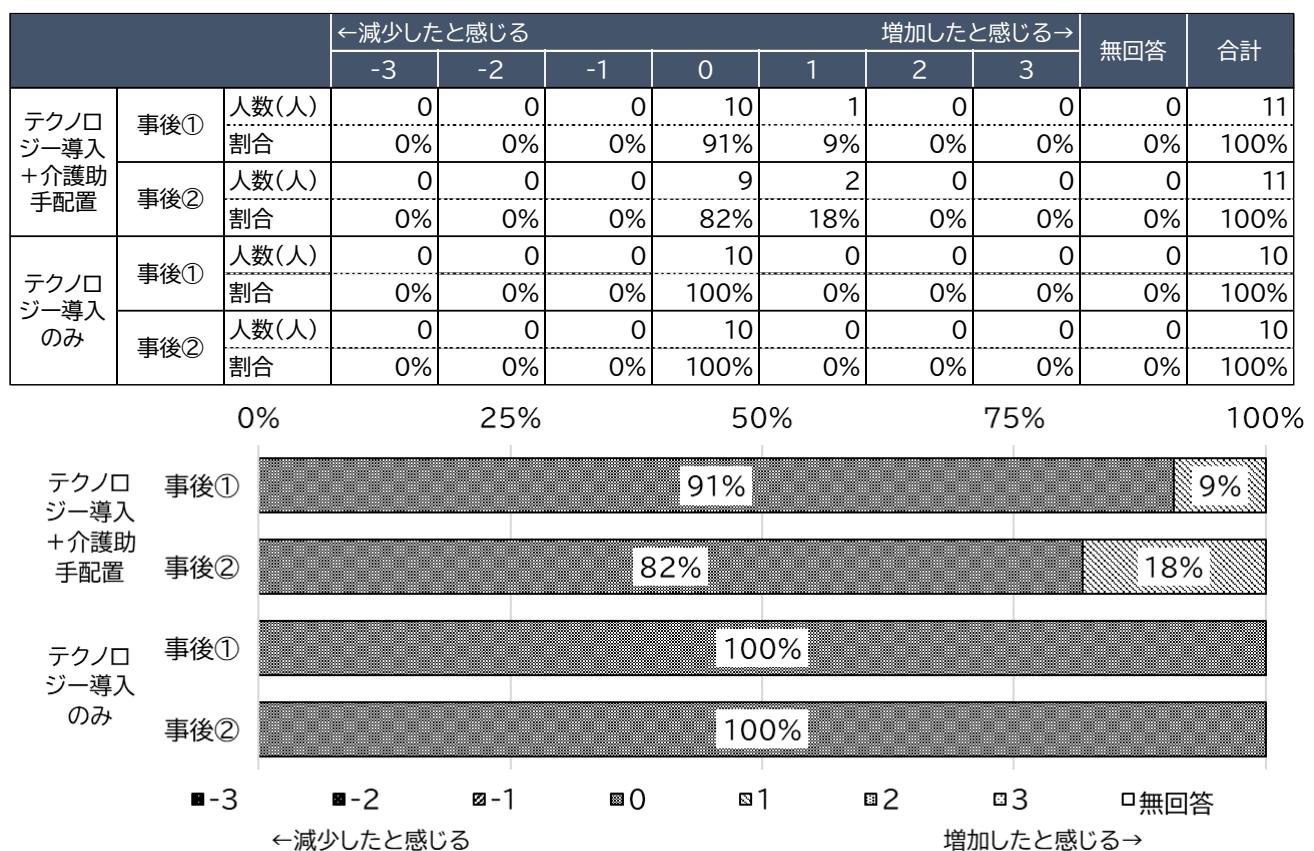
⑫ 機器導入による社会参加の変化の総合的な評価

機器導入による社会参加の変化の総合的な評価は、いずれのフィールドにおいても「0(変化なし)」と回答する利用者が最も多かった。

テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは、テクノロジー導入のみを行った実証フィールドに比べ、「増加したと感じる(1以上)」の回答割合が高かった。

テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールドでは、事後①よりも事後②の方が「増加したと感じる(1以上)」の回答割合が高かった。

図表 IX-435 利用者調査:機器導入による社会参加の変化の総合的な評価



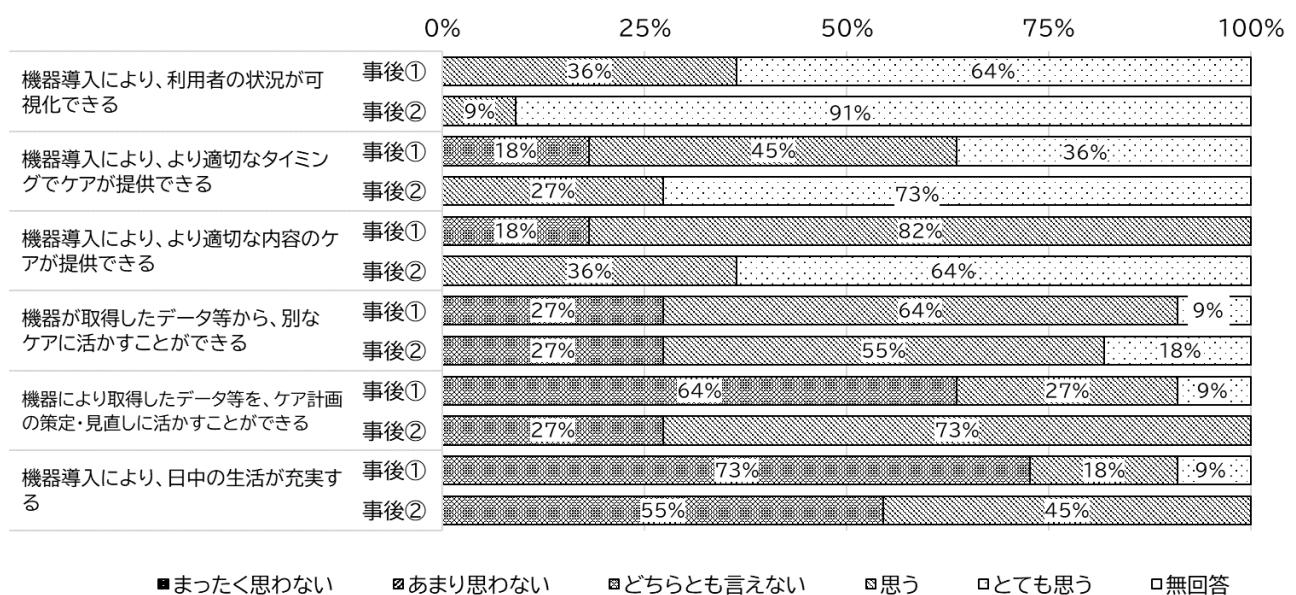
※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の7段階で評価した(回答は職員が実施)。

⑬ 機器導入によるケア内容の変更

機器導入によるケア内容の変更は以下のとおり。

図表 IX-436 利用者調査:機器導入によるケア内容の変更(テクノロジー導入+介護助手配置)

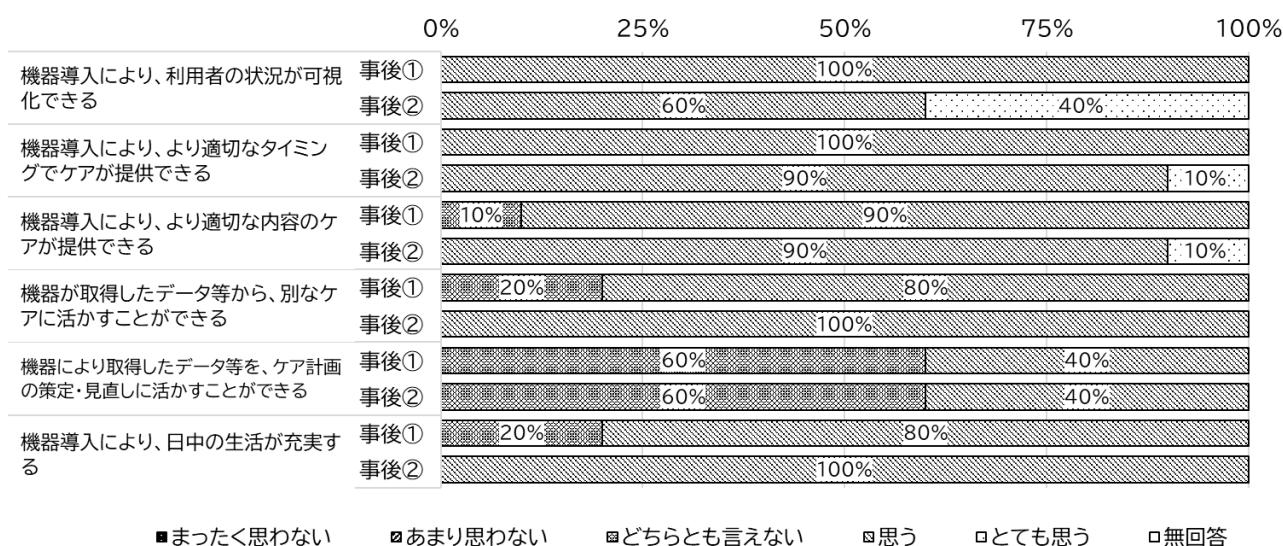
			まったく思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	思う	とても思う	無回答	合計
機器導入により、利用者の状況が可視化できる	事後①	人数(人)	0	0	0	4	7	0	11
	割合	0%	0%	0%	36%	64%	0%	100%	
機器導入により、より適切なタイミングでケアが提供できる	事後①	人数(人)	0	0	2	5	4	0	11
	割合	0%	0%	18%	45%	36%	0%	100%	
機器導入により、より適切な内容のケアが提供できる	事後②	人数(人)	0	0	0	3	8	0	11
	割合	0%	0%	0%	27%	73%	0%	100%	
機器が取得したデータ等から、別なケアに活かすことができる	事後①	人数(人)	0	0	2	9	0	0	11
	割合	0%	0%	18%	82%	0%	0%	100%	
機器により取得したデータ等を、ケア計画の策定・見直しに活かすことができる	事後②	人数(人)	0	0	0	4	7	0	11
	割合	0%	0%	0%	36%	64%	0%	100%	
機器導入により、日中の生活が充実する	事後①	人数(人)	0	0	3	7	1	0	11
	割合	0%	0%	27%	64%	9%	0%	100%	
機器導入により、日中の生活が充実する	事後②	人数(人)	0	0	3	8	0	0	11
	割合	0%	0%	27%	73%	0%	0%	100%	
機器導入により、日中の生活が充実する	事後①	人数(人)	0	0	8	2	1	0	11
	割合	0%	0%	73%	18%	9%	0%	100%	
機器導入により、日中の生活が充実する	事後②	人数(人)	0	0	6	5	0	0	11
	割合	0%	0%	55%	45%	0%	0%	100%	



※質問項目に対し、1(全く思わない)～5(とても思う)の5段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-437 利用者調査:機器導入によるケア内容の変更(テクノロジー導入のみ)

			まったく思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	思う	とても思う	無回答	合計
機器導入により、利用者の状況が可視化できる	事後①	人数(人)	0	0	0	10	0	0	10
	割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%	
機器導入により、より適切なタイミングでケアが提供できる	事後①	人数(人)	0	0	0	6	4	0	10
	割合	0%	0%	0%	60%	40%	0%	100%	
機器導入により、より適切な内容のケアが提供できる	事後①	人数(人)	0	0	1	9	0	0	10
	割合	0%	0%	10%	90%	0%	0%	100%	
機器が取得したデータ等から、別なケアに活かすことができる	事後①	人数(人)	0	0	2	8	0	0	10
	割合	0%	0%	20%	80%	0%	0%	100%	
機器により取得したデータ等を、ケア計画の策定・見直しに活かすことができる	事後①	人数(人)	0	0	0	10	0	0	10
	割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%	
機器導入により、日中の生活が充実する	事後①	人数(人)	0	0	2	8	0	0	10
	割合	0%	0%	20%	80%	0%	0%	100%	
	事後②	人数(人)	0	0	0	10	0	0	10
	割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%	



※質問項目に対し、1(全く思わない)～5(とても思う)の5段階で評価した(回答は職員が実施)。

力. ヒアリング調査

実証完了後、実証施設へのヒアリング調査を実施した。調査結果の概要は以下の通り。

図表 IX-438 機器導入後の課題・対応

カテゴリ	主な意見
職員について	<ul style="list-style-type: none"> 事後調査1回目の時期に、従前から職員数が少なかったユニット(テクノロジー導入と介護助手の配置を行った実証フィールド)で職員1名が病気休暇に入り、ヘルプに入った周辺メンバーやユニットリーダーの負荷が増加した。また、間接業務が想定よりも増加した。 機器導入直後は、インカムの連絡機能はほぼ使わず、主に音声入力機能の活用であった。 新しい機器の使用に抵抗感をもつ職員もいたが、介護主任が職員の気質を考慮して、新しい機器の導入ペースをコントロールした。
利用者について	<ul style="list-style-type: none"> QOLに敏感な利用者が看取り期に入ったことで、職員アンケート調査、利用者アンケート調査の結果(数値)に影響した可能性がある。
施設として	<ul style="list-style-type: none"> 人材不足の状況が続いている、職員の負担が増加傾向にある。 11~12ヶ月にかけて入退去が多かった。看取り期の利用者や状態が変化した利用者が多く、職員の心理的負担やタイムスタディ調査にも影響していた可能性がある。

図表 IX-439 生産性向上に向けたの委員会開催の概要

カテゴリ	主な意見
委員会の開催周期	<ul style="list-style-type: none"> 毎月第4月曜日に開催し、事後調査期間中は計2回開催した。
参加職種・役職	<ul style="list-style-type: none"> 施設長、全部署の責任者、リーダー、管理栄養士、相談員が参加した。
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> インカムの音声入力や、眠りスキャンの使用状況について確認した。 眠りスキャンの使用説明会のコンテンツについて検討した。また、職員への使用方法の周知方法の検討と、周知状況を確認した。
検討結果の周知	<ul style="list-style-type: none"> 月1回開催されるユニット会議や部署会議で情報を共有した。 会議まで間隔がある場合は、議事録回覧により情報を共有した。

図表 IX-440 実証目的に対する達成状況と今後の課題

カテゴリ	主な意見
職員の観点	<ul style="list-style-type: none"> インカムによる音声入力機能で記録できるようになり、紙の記録からの転記作業が不要になった。 記録業務への対応に消極的だったユニットで、記録業務の改善が見られた。 夜間定期巡回の回数が、4~5回から2~3回へ削減できた。 今後は、インカムの連絡機能を活用し、PHSの電話対応を減らしたい。
利用者の観点	<ul style="list-style-type: none"> 「介護業界の人材不足」と「職員の負担」を懸念していた利用者が、これらの課題の解決に繋がりうる本実証(ICT機器導入の取組)への参入を高く評価していた。取組自体が、利用者の安心感につながっている様子だった。 眠り SCAN により、安否確認等のための訪室回数が減り、利用者にとっても心

カテゴリ	主な意見
	<p>理的負担が軽減された可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜間の排泄ケアや朝のケア介入のタイミングを、利用者の覚醒状態に応じて調整できるようになり、利用者にとっても負担が軽減されているようだった。
施設の観点	<ul style="list-style-type: none"> 今回の実施においては、補助金が得られず自己資金で機器を導入し、運用を開始したが、費用対効果は高く、今後の人手不足解消への糸口になっている実感があり、職場の雰囲気もよくなつた。 1ユニット1名で対応することも多く、特に新人職員の負担感が強い。連絡機能を充実させることができれば、密なコミュニケーションが可能となり、心理的負担の軽減に繋がる可能性があると感じた。

(12) 社会福祉法人暁谷福祉会「見守り機器、インカム等の組み合わせによる効果測定」

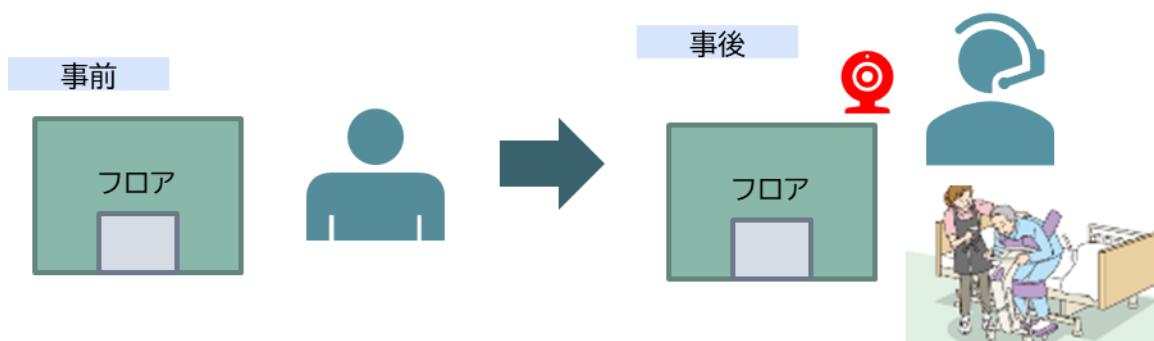
※社会福祉法人暁谷福祉会では、2つのテーマで1提案だったため、(12)(13)の2章に渡り実証結果を記載する。

ア. 実証の概要

① 実証目的

見守り機器(眠り SCAN/眠り SCANeye)、インカム(ハンスト)、移乗支援機器(Hug)の導入により、巡回・移動時間の削減や情報連携の円滑化による職員の心理的負担の軽減を目的とした。

図表 IX-441 実証イメージ_見守り機器、インカム等の組み合わせによる効果測定



② 実証フィールドの概要

本実証では以下の実証フィールドにて効果測定を実施した。

図表 IX-442 実証フィールドの概要

実証 フィールド	法人名	施設名	本実証の対象機器
1	社会福祉法人 暁谷福祉会	特別養護老人ホーム 暁谷苑(新館3階)	・見守り機器(眠り SCAN) ・インカム(ハンスト) ・移乗支援機器(Hug)
2	社会福祉法人 暁谷福祉会	特別養護老人ホーム 暁谷苑(新館4階)	・見守り機器(眠り SCANeye) ・インカム(ハンスト) ・移乗支援機器(Hug)
3	社会福祉法人 暁谷福祉会	暁谷苑ショートステイ サービス	・見守り機器(眠り SCAN) ・インカム(ハンスト) ・移乗支援機器(Hug)
4	社会福祉法人 暁谷福祉会	デイサービスセンター ぬくもりの里	・インカム(ハンスト)

③ 実証期間

調査の時期は以下の通りである。

図表 IX-443 調査の時期_見守り機器、インカム等の組み合わせによる効果測定

調査	時期
事前調査	令和6年9月 30日～10月4日(5日間)
事後調査①	令和6年12月9日～12月13日(5日間)
事後調査②	令和7年1月 20日～1月 24日(5日間)
ヒアリング調査	令和7年2月 27日

④ 調査項目

見守り機器、インカム等の組み合わせによる効果測定の調査では、実証の事前と事後(2回)で「タイムスタディ調査」、「職員アンケート調査」、「利用者アンケート調査」を実施し、実証終了後に「ヒアリング調査」を行った。

図表 IX-444 各調査の概要_見守り機器、インカム等の組み合わせによる効果測定

調査名	調査対象者	調査概要
タイムスタディ調査 (全テーマ共通)	調査期間中に実証フィールドで勤務した職員	<ul style="list-style-type: none">回答方法:自記式(1分刻みで自身が実施した作業項目を記入)調査スケジュール:事前(機器導入前)1回、事後(機器導入後)2回、それぞれ5日間実施調査実施の時間帯:24時間
職員向けアンケート調査 (全テーマ共通)	調査期間中に実証フィールドで勤務した職員	<ul style="list-style-type: none">回答方法:自記式(WEB回答)調査スケジュール:事前と事後2回、実証期間中それぞれについて、1名につき1回のみ回答
利用者向けアンケート調査 (全テーマ共通)	機器を導入した利用者(職員による代理回答)	<ul style="list-style-type: none">回答方法:自記式(WEB回答)調査スケジュール:事前と事後2回、実証期間中それぞれについて、1名につき1回のみ回答
ヒアリング調査 (全テーマ共通)	実証フィールドの管理者、職員	<ul style="list-style-type: none">調査方法:WEB会議による聞き取り調査スケジュール:実証終了後に1回実施

イ. 利用者・職員概要

① 利用者概要

本調査において利用者向けアンケート調査に回答があった利用者は104名であった。

図表 IX-445 利用者概要:性別

		男性	女性	無回答	合計
総数	人数(人)	19	85	0	104
	割合	18%	82%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	人数(人)	4	17	0	21
	割合	19%	81%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	人数(人)	0	16	0	16
	割合	0%	100%	0%	100%
陽谷苑ショートステイサービス	人数(人)	4	2	0	6
	割合	67%	33%	0%	100%
デイサービスセンターぬくもりの里	人数(人)	11	50	0	61
	割合	18%	82%	0%	100%

図表 IX-446 利用者概要:年齢

		70歳未満	70歳～75歳未満	75歳～80歳未満	80歳～85歳未満	85歳～90歳未満	90歳～95歳未満	95歳以上	無回答	合計
総数	人数(人)	3	2	6	7	28	31	27	0	104
	割合	3%	2%	6%	7%	27%	30%	26%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	人数(人)	0	0	1	0	7	7	6	0	21
	割合	0%	0%	5%	0%	33%	33%	29%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	人数(人)	0	0	3	1	4	3	5	0	16
	割合	0%	0%	19%	6%	25%	19%	31%	0%	100%
陽谷苑ショートステイサービス	人数(人)	0	1	0	1	2	2	0	0	6
	割合	0%	17%	0%	17%	33%	33%	0%	0%	100%
デイサービスセンターぬくもりの里	人数(人)	3	1	2	5	15	19	16	0	61
	割合	5%	2%	3%	8%	25%	31%	26%	0%	100%

図表 IX-447 利用者概要:要介護度

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	自立・要支援	その他(区分申請中等)	無回答	合計
総数	人数(人)	32	18	15	21	10	8	0	0	104
	割合	31%	17%	14%	20%	10%	8%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	人数(人)	0	4	4	10	3	0	0	0	21
	割合	0%	19%	19%	48%	14%	0%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	人数(人)	0	0	3	9	4	0	0	0	16
	割合	0%	0%	19%	56%	25%	0%	0%	0%	100%
陽谷苑ショートステイサービス	人数(人)	2	2	2	0	0	0	0	0	6
	割合	33%	33%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
デイサービスセンターぬくもりの里	人数(人)	30	12	6	2	3	8	0	0	61
	割合	49%	20%	10%	3%	5%	13%	0%	0%	100%

図表 IX-448 利用者概要:障害高齢者の日常生活自立度

		J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明・未実施	無回答	合計
総数	人数(人)	4	15	17	24	14	11	11	5	3	0	104
	割合	4%	14%	16%	23%	13%	11%	11%	5%	3%	0%	100%
特別養護老人ホーム	人数(人)	0	0	0	4	6	3	3	5	0	0	21
暁谷苑(新館3階)	割合	0%	0%	0%	19%	29%	14%	14%	24%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム	人数(人)	0	0	0	1	3	6	6	0	0	0	16
暁谷苑(新館3階)	割合	0%	0%	0%	6%	19%	38%	38%	0%	0%	0%	100%
ショートステイサービス	人数(人)	0	0	0	2	2	1	0	0	1	0	6
暁谷苑	割合	0%	0%	0%	33%	33%	17%	0%	0%	17%	0%	100%
デイサービスセンター	人数(人)	4	15	17	17	3	1	2	0	2	0	61
ぬくもりの里	割合	7%	25%	28%	28%	5%	2%	3%	0%	3%	0%	100%

② 職員概要

本調査において職員向けアンケート調査に回答があった職員は 29 名であった。

図表 IX-449 職員概要:性別

		男性	女性	無回答	合計
総数	人数(人)	12	17	0	29
	割合	41%	59%	0%	100%
特別養護老人ホーム	人数(人)	1	5	0	6
暁谷苑(新館3階)	割合	17%	83%	0%	100%
特別養護老人ホーム	人数(人)	3	3	0	6
暁谷苑(新館4階)	割合	50%	50%	0%	100%
ショートステイサービス	人数(人)	3	4	0	7
暁谷苑	割合	43%	57%	0%	100%
デイサービスセンター	人数(人)	5	5	0	10
ぬくもりの里	割合	50%	50%	0%	100%

図表 IX-450 職員概要:年齢

		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代～	無回答	合計
総数	人数(人)	2	7	7	7	3	2	1	0	29
	割合	7%	24%	24%	24%	10%	7%	3%	0%	100%
特別養護老人ホーム	人数(人)	1	1	1	2	1	0	0	0	6
暁谷苑(新館3階)	割合	17%	17%	17%	33%	17%	0%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム	人数(人)	1	2	3	0	0	0	0	0	6
暁谷苑(新館4階)	割合	17%	33%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ショートステイサービス	人数(人)	0	3	2	2	0	0	0	0	7
暁谷苑	割合	0%	43%	29%	29%	0%	0%	0%	0%	100%
デイサービスセンター	人数(人)	0	1	1	3	2	2	1	0	10
ぬくもりの里	割合	0%	10%	10%	30%	20%	20%	10%	0%	100%

図表 IX-451 職員概要:職種

		介護福祉士	介護職員 (介護福祉士以外)	看護職員	リハビリ職 (機能訓練指導員を含む)	相談員	事務職員	その他	無回答	合計
総数	人数(人)	16	10	1	1	1	0	0	0	29
	割合	55%	34%	3%	3%	3%	0%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム 暁谷苑(新館3階)	人数(人)	5	1	0	0	0	0	0	0	6
	割合	83%	17%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム 暁谷苑(新館4階)	人数(人)	4	2	0	0	0	0	0	0	6
	割合	67%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
暁谷苑ショートステイサービス	人数(人)	4	3	0	0	0	0	0	0	7
	割合	57%	43%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
デイサービスセンター ぬくもりの里	人数(人)	3	4	1	1	1	0	0	0	10
	割合	30%	40%	10%	10%	10%	0%	0%	0%	100%

図表 IX-452 職員概要:役職

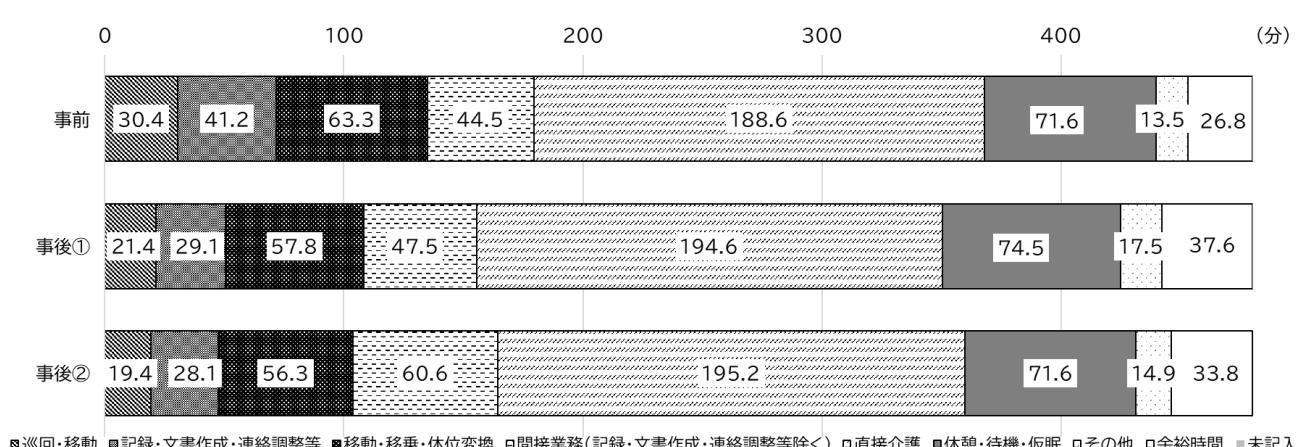
		経営層	管理者・リーダー	一般職	その他	無回答	合計
総数	人数(人)	0	7	21	1	0	29
	割合	0%	24%	72%	3%	0%	100%
特別養護老人ホーム 暁谷苑(新館3階)	人数(人)	0	2	4	0	0	6
	割合	0%	33%	67%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム 暁谷苑(新館4階)	人数(人)	0	2	4	0	0	6
	割合	0%	33%	67%	0%	0%	100%
暁谷苑ショートステイサービス	人数(人)	0	2	5	0	0	7
	割合	0%	29%	71%	0%	0%	100%
デイサービスセンター ぬくもりの里	人数(人)	0	1	8	1	0	10
	割合	0%	10%	80%	10%	0%	100%

ウ. タイムスタディ調査結果

「巡回・移動」の時間は事前と比較し、事後①では9分、事後②では11分減少した。「記録・文書作成・連絡調整等」の時間は事前と比較し、事後①では12.1分、事後②では13.1分減少した。

図表 IX-453 【実証フィールド全体】タイムスタディ調査の結果(職員1人1日(480分)あたり)

	直接介護						間接業務					休憩	余裕時間	未記入	合計(分)	
	移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	機能訓練・医療的処置等	その他の直接介護	巡回・移動	記録・文書作成・連絡調整等	利用者のアセスメント・介護計画の作成等	介護ロボット・ICT機器の準備・使用・確認	その他の間接業務	休憩・待機・仮眠				
事前	時間(分)	63.3	41.1	39.0	5.2	11.0	92.3	30.4	41.2	9.7	11.2	23.6	71.6	13.5	26.8	0.1 480
	割合	13%	9%	8%	1%	2%	19%	6%	9%	2%	2%	5%	15%	3%	6%	0% 100%
事後①	時間(分)	57.8	43.1	50.0	11.8	17.0	72.7	21.4	29.1	8.4	17.4	21.7	74.5	17.5	37.6	0.1 480
	割合	12%	9%	10%	2%	4%	15%	4%	6%	2%	4%	5%	16%	4%	8%	0% 100%
事後②	時間(分)	56.3	46.5	45.7	12.5	18.7	71.7	19.4	28.1	12.7	17.1	30.8	71.6	14.9	33.8	0.0 480
	割合	12%	10%	10%	3%	4%	15%	4%	6%	3%	4%	6%	15%	3%	7%	0% 100%



■巡回・移動 ■記録・文書作成・連絡調整等 ■移動・移乗・体位変換 □間接業務(記録・文書作成・連絡調整等除く) □直接介護 □休憩・待機・仮眠 □その他 □余裕時間 □未記入

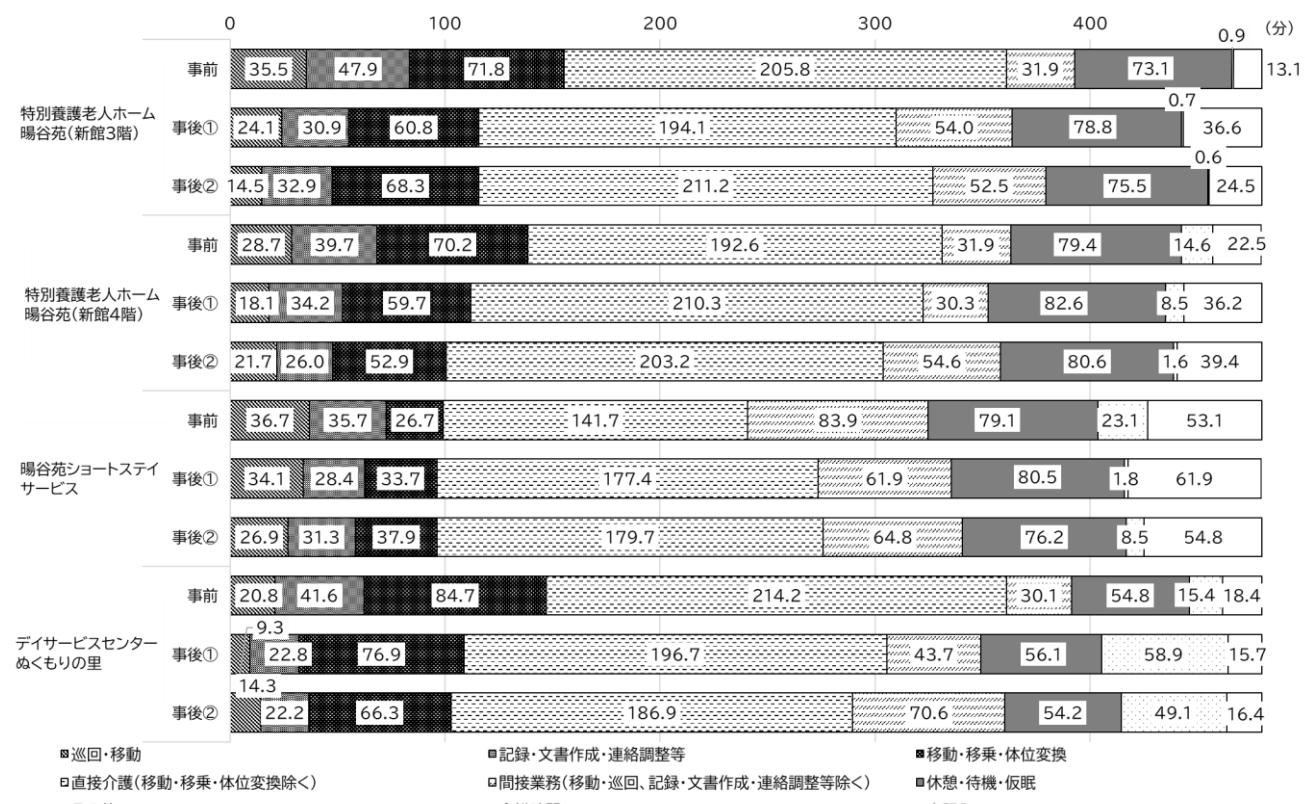
事前 n=36、事後①n=39、事後②n=36

※5日間の自記式による職員業務量調査(タイムスタディ)を実施。

※グラフ上の数は、調査結果の和から8時間(480分)換算した値。

図表 IX-454 【実証フィールド別】タイムスタディ調査の結果(職員1人1日(480分)あたり)

			直接介護						間接業務				休憩	余裕時間	未記入	合計(分)	
			移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	機能訓練・医療的処置等	その他の直接介護	巡回・移動	記録・文書作成等	利用者のアセスメント・連絡調整等	介護ロボット・ICT機器の準備・使用確認	その他の間接業務	休憩・待機・仮眠			
特別養護老人ホーム 賀谷苑(新館3階)	事前	時間(分)	71.8	59.3	7.6	1.9	1.6	135.4	35.5	47.9	7.1	21.7	3.1	73.1	0.9	13.1	0.0
		割合	15%	12%	2%	0%	0%	28%	7%	10%	1%	5%	1%	15%	0%	3%	0%
	事後①	時間(分)	60.8	57.6	21.4	10.8	4.8	99.5	24.1	30.9	3.2	38.3	12.5	78.8	0.7	36.6	0.0
特別養護老人ホーム 賀谷苑(新館4階)	事前	時間(分)	68.3	60.4	29.5	15.9	7.3	98.1	14.5	32.9	7.5	30.8	14.2	75.5	0.6	24.5	0.0
		割合	14%	13%	6%	3%	2%	20%	3%	7%	6%	6%	3%	16%	0%	5%	0%
	事後②	時間(分)	52.9	62.1	24.4	13.6	7.2	95.7	21.7	26.0	10.2	13.5	30.9	80.6	1.6	39.4	0.0
賀谷苑ショートステイ サービス	事前	時間(分)	26.7	32.2	35.9	10.1	5.6	58.0	36.7	35.7	9.8	11.6	62.6	79.1	23.1	53.1	0.0
		割合	6%	7%	7%	2%	1%	12%	8%	7%	2%	2%	13%	16%	5%	11%	0%
	事後①	時間(分)	33.7	48.3	66.5	19.8	2.6	40.2	34.1	28.4	6.5	15.1	40.3	80.5	1.8	61.9	0.3
デイサービスセンター ぬくもりの里	事前	時間(分)	84.7	15.1	10.4	6.9	33.3	148.5	20.8	41.6	16.1	3.6	10.4	54.8	15.4	18.4	0.0
		割合	18%	3%	2%	1%	7%	31%	4%	9%	3%	1%	2%	11%	3%	4%	0%
	事後①	時間(分)	76.9	11.2	60.0	11.1	56.6	57.8	9.3	22.3	14.9	7.8	21.0	56.1	58.9	15.7	0.0
		割合	16%	2%	13%	2%	12%	12%	2%	5%	3%	2%	12%	12%	3%	0%	100%
	事後②	時間(分)	66.3	11.1	65.7	11.4	54.4	44.3	14.3	22.2	28.7	12.2	29.8	54.2	49.1	16.4	0.0
		割合	14%	2%	14%	2%	11%	9%	3%	5%	6%	3%	6%	11%	10%	3%	0%



特別養護老人ホーム賀谷苑(新館3階):事前 n=9、事後①n=10、事後②n=9

特別養護老人ホーム賀谷苑(新館4階):事前 n=9、事後①n=10、事後②n=8

賀谷苑ショートステイサービス:事前 n=9、事後①n=9、事後②n=8

デイサービスセンターぬくもりの里:事前 n=9、事後①n=10、事後②n=11

※5日間の自記式による職員業務量調査(タイムスタディ)を実施。

※グラフ上の数は、調査結果の和から8時間(480分)換算した値。

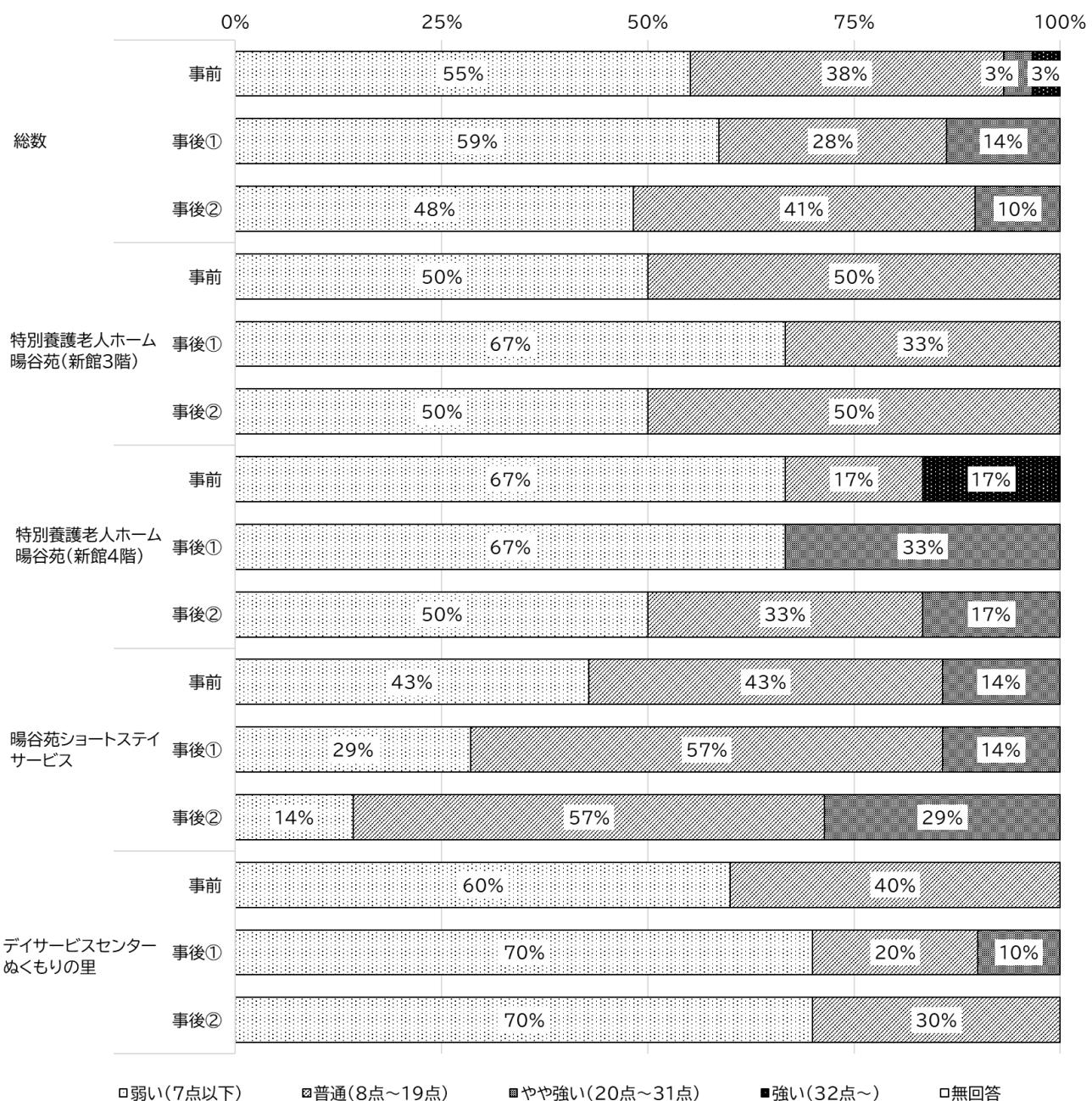
工. 職員向けアンケート調査

① 心理的負担評価

職員の心理的ストレス反応測定尺度合計点について事前と事後①を比較すると、総数では「強い(32点以上)」の割合が事前で3%から事後①・事後②で0%に減少した。

図表 IX-455 職員調査:心理的負担評価

			7点以下	8点～19点	20点～31点	32点～	無回答	合計
施設全体	事前	人数(人) 割合	16 55%	11 38%	1 3%	1 3%	0 0%	29 100%
	事後①	人数(人) 割合	17 59%	8 28%	4 14%	0 0%	0 0%	29 100%
	事後②	人数(人) 割合	14 48%	12 41%	3 10%	0 0%	0 0%	29 100%
	事前	人数(人) 割合	3 50%	3 50%	0 0%	0 0%	0 0%	6 100%
	事後①	人数(人) 割合	4 67%	2 33%	0 0%	0 0%	0 0%	6 100%
	事後②	人数(人) 割合	3 50%	3 50%	0 0%	0 0%	0 0%	6 100%
特別養護老人ホーム 陽谷苑(新館3階)	事前	人数(人) 割合	4 67%	1 17%	0 0%	1 17%	0 0%	6 100%
	事後①	人数(人) 割合	4 67%	0 0%	2 33%	0 0%	0 0%	6 100%
	事後②	人数(人) 割合	3 50%	2 33%	1 17%	0 0%	0 0%	6 100%
	事前	人数(人) 割合	3 43%	3 43%	1 14%	0 0%	0 0%	7 100%
	事後①	人数(人) 割合	2 29%	4 57%	1 14%	0 0%	0 0%	7 100%
	事後②	人数(人) 割合	1 14%	4 57%	2 29%	0 0%	0 0%	7 100%
陽谷苑ショートステイサービス	事前	人数(人) 割合	6 60%	4 40%	0 0%	0 0%	0 0%	10 100%
	事後①	人数(人) 割合	7 70%	2 20%	1 10%	0 0%	0 0%	10 100%
	事後②	人数(人) 割合	7 70%	3 30%	0 0%	0 0%	0 0%	10 100%
	事前	人数(人) 割合	6 60%	4 40%	0 0%	0 0%	0 0%	10 100%
	事後①	人数(人) 割合	7 70%	2 20%	1 10%	0 0%	0 0%	10 100%
	事後②	人数(人) 割合	7 70%	3 30%	0 0%	0 0%	0 0%	10 100%
デイサービスセンター ぬくもりの里	事前	人数(人) 割合	6 60%	4 40%	0 0%	0 0%	0 0%	10 100%
	事後①	人数(人) 割合	7 70%	2 20%	1 10%	0 0%	0 0%	10 100%
	事後②	人数(人) 割合	7 70%	3 30%	0 0%	0 0%	0 0%	10 100%



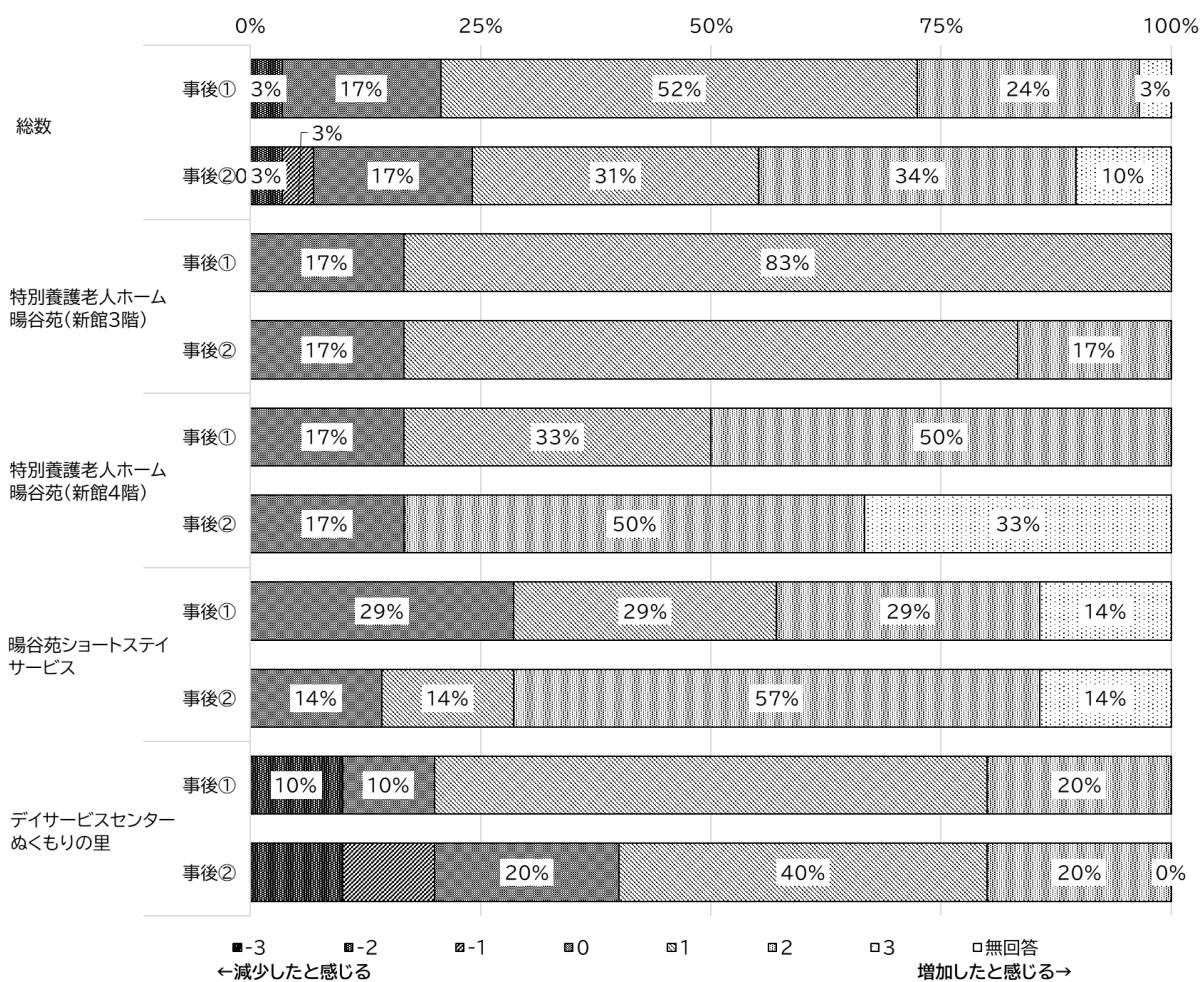
※心理的負担評価(SRS-18)は、18項目からなる個人の心理的ストレス反応を評価する尺度。各項目について「全くちがう(0点)」~「その通りだ(3点)」で評価する。合計点が0~7点を「弱い」、8~19点を「普通」、20~31点を「やや強い」、32点以上を「強い」と評価した。事前調査および事後調査ともに回答のあった職員のみを集計対象とした。事前調査または事後調査①・②で、各18項目のうち1項目でも無回答がある職員はすべて無回答とした。また、各項目の回答が0、1、2、3以外の場合は無回答処理をした。

② 機器導入による、仕事のやりがいの変化

機器導入による、仕事のやりがいの変化については、総数で「増加したと感じる」と回答した割合が高く、「1~3」の回答が事後①・事後②ともに約8割であった。

図表 IX-456 職員調査:機器導入による、仕事のやりがいの変化の変化

			←減少したと感じる							増加したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
総数	事後①	人数(人)	0	1	0	5	15	7	1	0	29	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	1	1	5	9	10	3	0	29	0%	100%
特別養護老人ホーム 賀谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	0	0	0	1	5	0	0	0	6	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	0	1	4	1	0	0	6	0%	100%
特別養護老人ホーム 賀谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	1	2	3	0	0	6	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	0	1	0	3	2	0	6	0%	100%
賀谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人)	0	0	0	2	2	2	1	0	7	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	0	1	1	4	1	0	7	0%	100%
デイサービスセンター ぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	1	0	1	6	2	0	0	10	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	1	1	2	4	2	0	0	10	0%	100%



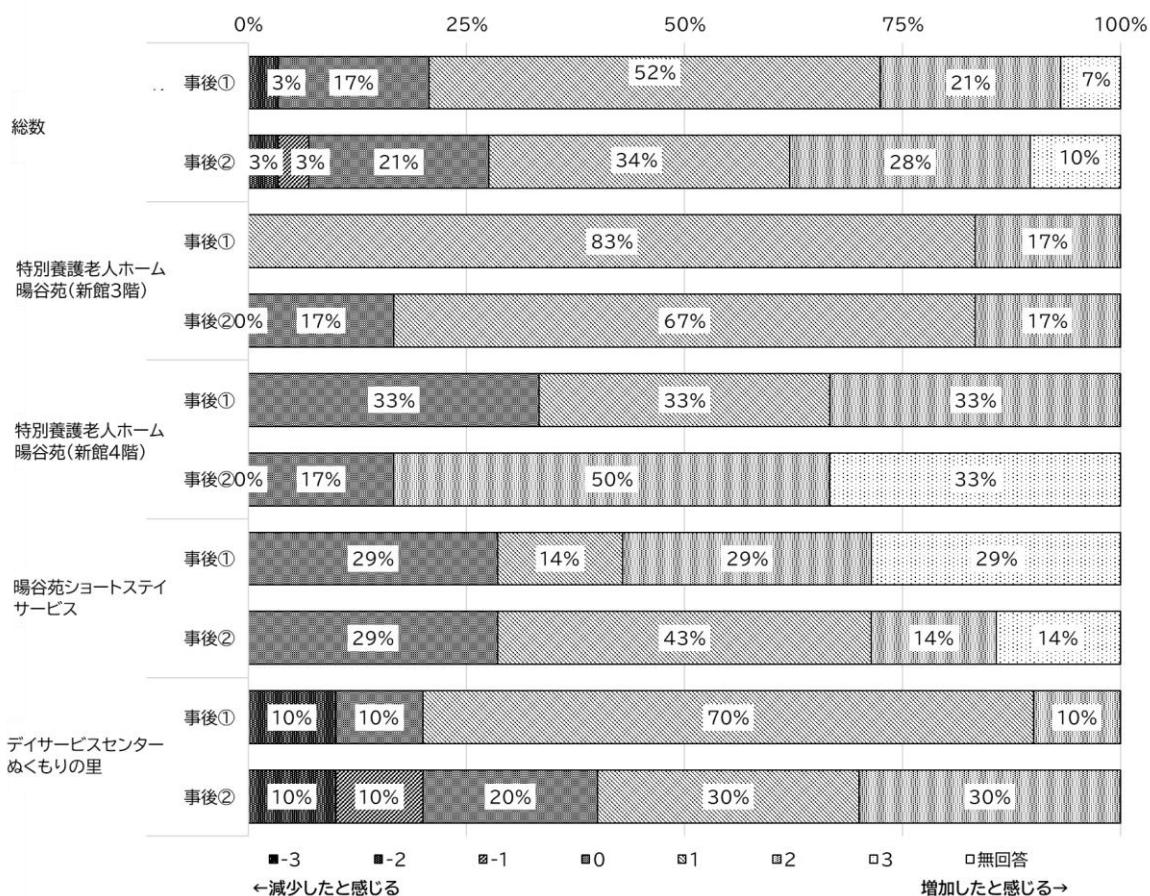
※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の7段階で評価した。

③ 機器導入による、職場の活気の変化

機器導入による、職場の活気の変化については、総数で「増加したと感じる」と回答した割合が高く「1～3」の回答が事後①において8割、事後②では約7割であった。

図表 IX-457 職員調査:機器導入による、職場の活気の変化

			←減少したと感じる							増加したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
総数	事後①	人数(人)	0	1	0	5	15	6	2	0	29		
		割合	0%	3%	0%	17%	52%	21%	7%	0%	100%		
特別養護老人ホーム 陽谷苑(新館3階)	事後②	人数(人)	0	1	1	6	10	8	3	0	29		
		割合	0%	3%	3%	21%	34%	28%	10%	0%	100%		
特別養護老人ホーム 陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	0	5	1	0	0	6		
		割合	0%	0%	0%	0%	83%	17%	0%	0%	100%		
陽谷苑ショートステイサービス	事後②	人数(人)	0	0	0	1	4	1	0	0	6		
		割合	0%	0%	0%	17%	67%	17%	0%	0%	100%		
デイサービスセンター ぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	0	2	2	2	0	0	6		
		割合	0%	0%	0%	33%	33%	33%	0%	0%	100%		
	事後②	人数(人)	0	0	0	1	0	3	2	0	6		
		割合	0%	0%	0%	17%	0%	50%	33%	0%	100%		



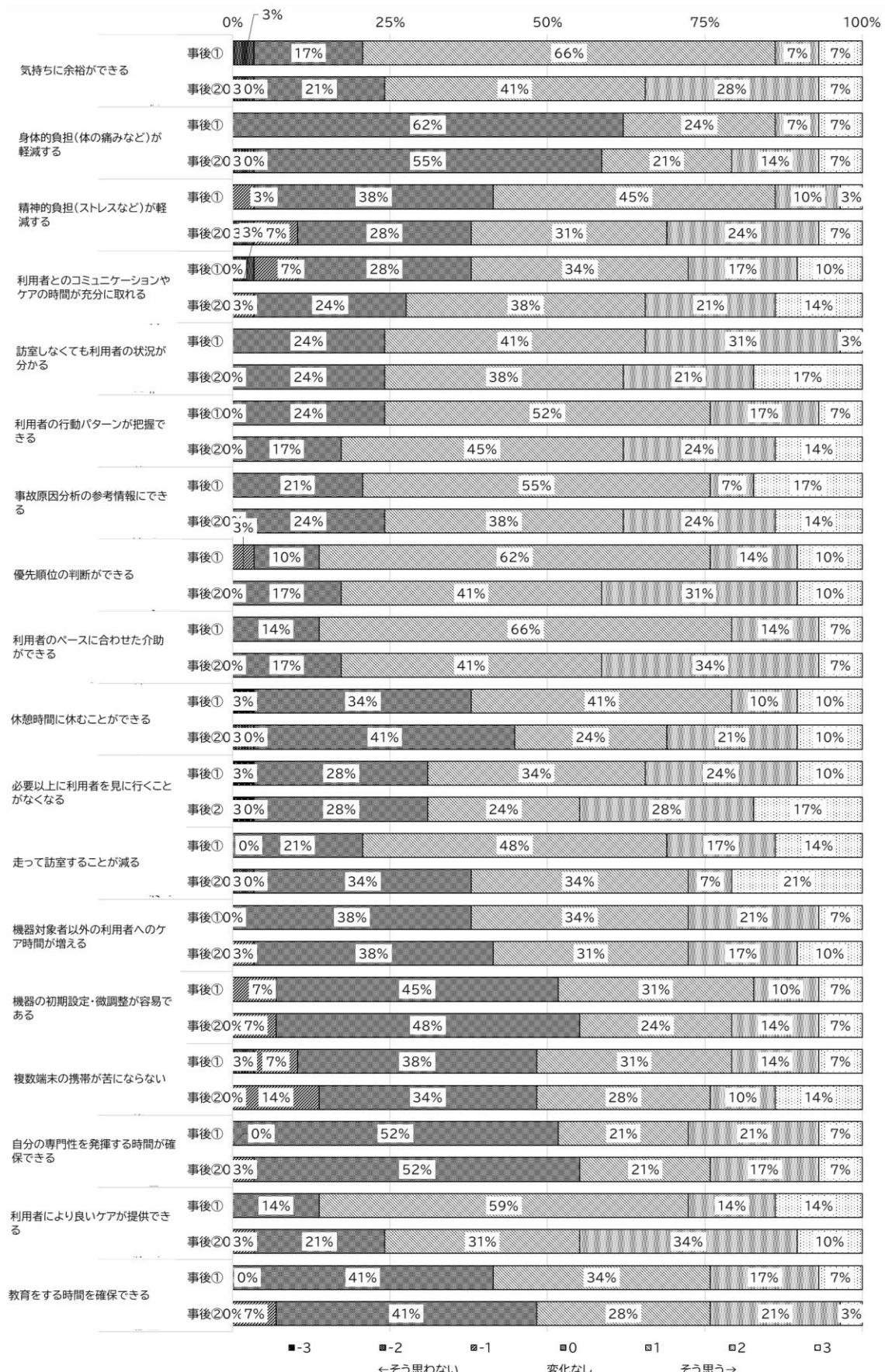
※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の7段階で評価した。

④ 機器導入による職員や施設業務の変化

機器導入による職員や施設業務の変化では、「利用者のペースに合わせた介助ができる」に対して「そう思う」と回答した割合が最も高く、「1～3」の回答が合計で事後①で87%、事後②で82%であった。

図表 IX-458 職員調査:機器導入による職員や施設業務の変化

			←そう思わない							変化なし		そう思う→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3						
気持ちに余裕ができる	事後①	人数(人)	0	1	0	5	19	2	2	0	0	29			
		割合	0%	3%	0%	17%	66%	7%	7%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	1	0	6	12	8	2	0	0	29			
		割合	0%	3%	0%	21%	41%	28%	7%	0%	100%				
身体的負担(体の痛みなど)が軽減する	事後①	人数(人)	0	0	0	18	7	2	2	0	0	29			
		割合	0%	0%	0%	62%	24%	7%	7%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	1	0	16	6	4	2	0	0	29			
		割合	0%	3%	0%	55%	21%	14%	7%	0%	100%				
精神的負担(ストレスなど)が軽減する	事後①	人数(人)	0	0	1	11	13	3	1	0	0	29			
		割合	0%	0%	3%	38%	45%	10%	3%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	1	2	8	9	7	2	0	0	29			
		割合	0%	3%	7%	28%	31%	24%	7%	0%	100%				
利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れる	事後①	人数(人)	0	1	2	8	10	5	3	0	0	29			
		割合	0%	3%	7%	28%	34%	17%	10%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	0	1	7	11	6	4	0	0	29			
		割合	0%	0%	3%	24%	38%	21%	14%	0%	100%				
訪室しなくても利用者の状況が分かる(即時性)	事後①	人数(人)	0	0	0	7	12	9	1	0	0	29			
		割合	0%	0%	0%	24%	41%	31%	3%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	0	0	7	11	6	5	0	0	29			
		割合	0%	0%	0%	24%	38%	21%	17%	0%	100%				
利用者の行動パターンが把握できる	事後①	人数(人)	0	0	0	7	15	5	2	0	0	29			
		割合	0%	0%	0%	24%	52%	17%	7%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	0	0	5	13	7	4	0	0	29			
		割合	0%	0%	0%	17%	45%	24%	14%	0%	100%				
事故原因分析の参考情報にできる	事後①	人数(人)	0	0	0	6	16	2	5	0	0	29			
		割合	0%	0%	0%	21%	55%	7%	17%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	0	0	7	11	7	4	0	0	29			
		割合	0%	0%	0%	24%	38%	24%	14%	0%	100%				
優先順位の判断ができる(同時コールの発生、他の利用者の介護中)	事後①	人数(人)	0	0	1	3	18	4	3	0	0	29			
		割合	0%	0%	3%	10%	62%	14%	10%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	0	0	5	12	9	3	0	0	29			
		割合	0%	0%	0%	17%	41%	31%	10%	0%	100%				
利用者のペースに合わせた介助ができる	事後①	人数(人)	0	0	0	4	19	4	2	0	0	29			
		割合	0%	0%	0%	14%	66%	14%	7%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	0	0	5	12	10	2	0	0	29			
		割合	0%	0%	0%	17%	41%	34%	7%	0%	100%				
休憩時間に休むことができる	事後①	人数(人)	1	0	0	10	12	3	3	0	0	29			
		割合	3%	0%	0%	34%	41%	10%	10%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	1	0	12	7	6	3	0	0	29			
		割合	0%	3%	0%	41%	24%	21%	10%	0%	100%				
必要以上に利用者を見に行くことがなくなる	事後①	人数(人)	1	0	0	8	10	7	3	0	0	29			
		割合	3%	0%	0%	28%	34%	24%	10%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	1	0	0	8	7	8	5	0	0	29			
		割合	3%	0%	0%	28%	24%	28%	17%	0%	100%				
走って訪室することが減る	事後①	人数(人)	0	0	0	6	14	5	4	0	0	29			
		割合	0%	0%	0%	21%	48%	17%	14%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	1	0	10	10	2	6	0	0	29			
		割合	0%	3%	0%	34%	34%	7%	21%	0%	100%				
機器対象者以外の利用者へのケア時間が増える	事後①	人数(人)	0	0	0	11	10	6	2	0	0	29			
		割合	0%	0%	0%	38%	34%	21%	7%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	0	1	11	9	5	3	0	0	29			
		割合	0%	0%	3%	38%	31%	17%	10%	0%	100%				
機器の初期設定・微調整が容易である	事後①	人数(人)	0	0	2	13	9	3	2	0	0	29			
		割合	0%	0%	7%	45%	31%	10%	7%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	0	2	14	7	4	2	0	0	29			
		割合	0%	0%	7%	48%	24%	14%	7%	0%	100%				
複数端末の携帯が苦にならない	事後①	人数(人)	0	1	2	11	9	4	2	0	0	29			
		割合	0%	3%	7%	38%	31%	14%	7%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	0	4	10	8	3	4	0	0	29			
		割合	0%	0%	14%	34%	28%	10%	14%	0%	100%				
自分の専門性を発揮する時間が確保できる	事後①	人数(人)	0	0	0	15	6	6	2	0	0	29			
		割合	0%	0%	0%	52%	21%	21%	7%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	0	1	15	6	5	2	0	0	29			
		割合	0%	0%	3%	52%	21%	17%	7%	0%	100%				
利用者により良いケアが提供できる	事後①	人数(人)	0	0	0	4	17	4	4	0	0	29			
		割合	0%	0%	0%	14%	59%	14%	14%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	0	1	6	9	10	3	0	0	29			
		割合	0%	0%	3%	21%	31%	34%	10%	0%	100%				
教育をする(教育をうける)時間を確保できる	事後①	人数(人)	0	0	0	12	10	5	2	0	0	29			
		割合	0%	0%	0%	41%	34%	17%	7%	0%	100%				
	事後②	人数(人)	0	0	2	12	8	6	1	0	0	29			
		割合	0%	0%	7%	41%	28%	21%	3%	0%	100%				



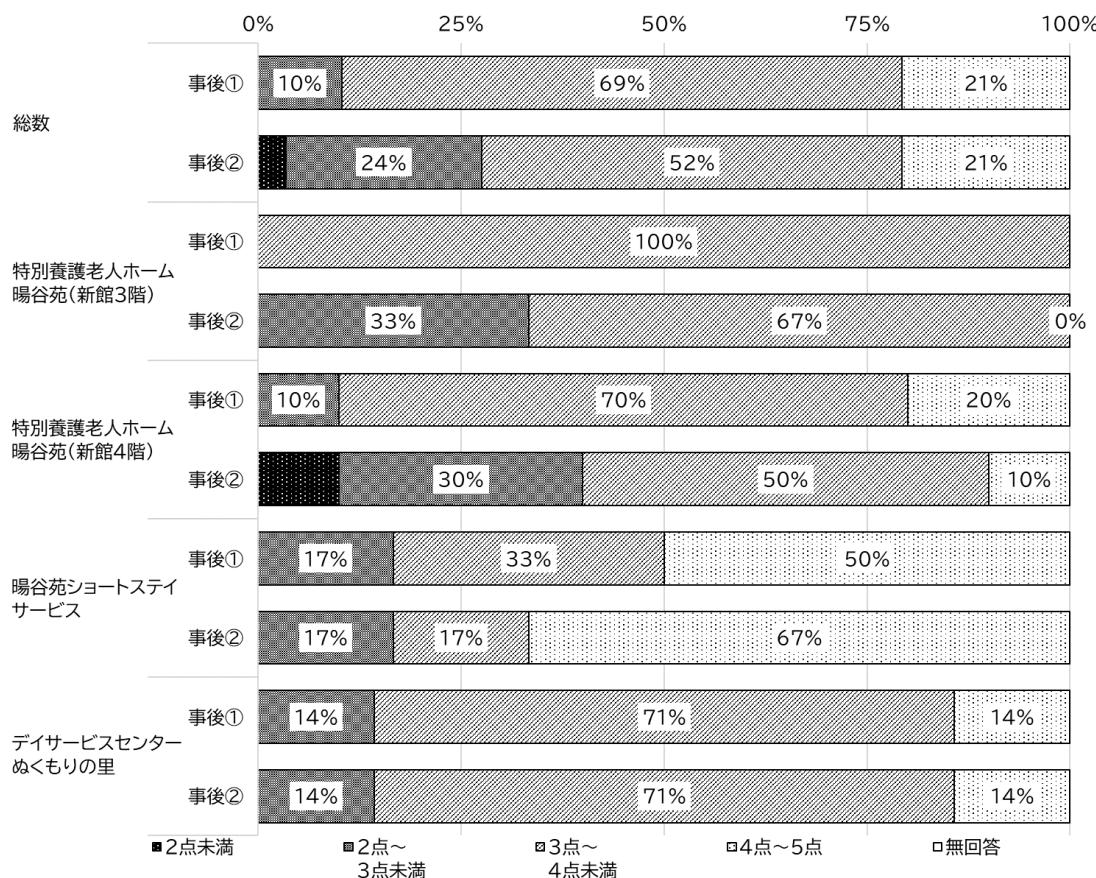
※質問項目に対し、-3(そう思わない)～+3(そう思う)の7段階で評価した。

⑤ 導入機器の満足度評価 ※出典:QUEST 福祉用具満足度評価

導入機器の満足度については、「3点～4点未満」が最も多く、総数で事後①において69%であった。

図表 IX-459 職員調査:導入機器の満足度評価(総合評価)

			2点未満	2点～3点未満	3点～4点未満	4点～5点	無回答	合計
総数	事後①	人数(人)	0	3	20	6	0	29
	割合	0%	10%	69%	21%	0%	100%	
特別養護老人ホーム暁谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	0	0	6	0	0	6
	割合	0%	0%	100%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム暁谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	1	2	3	0	6
	割合	0%	17%	33%	50%	0%	100%	
暁谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人)	0	1	5	1	0	7
	割合	0%	14%	71%	14%	0%	100%	
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	1	7	2	0	10
	割合	0%	10%	70%	20%	0%	100%	
事後②	人数(人)	1	3	5	1	0	10	
	割合	10%	30%	50%	10%	0%	100%	

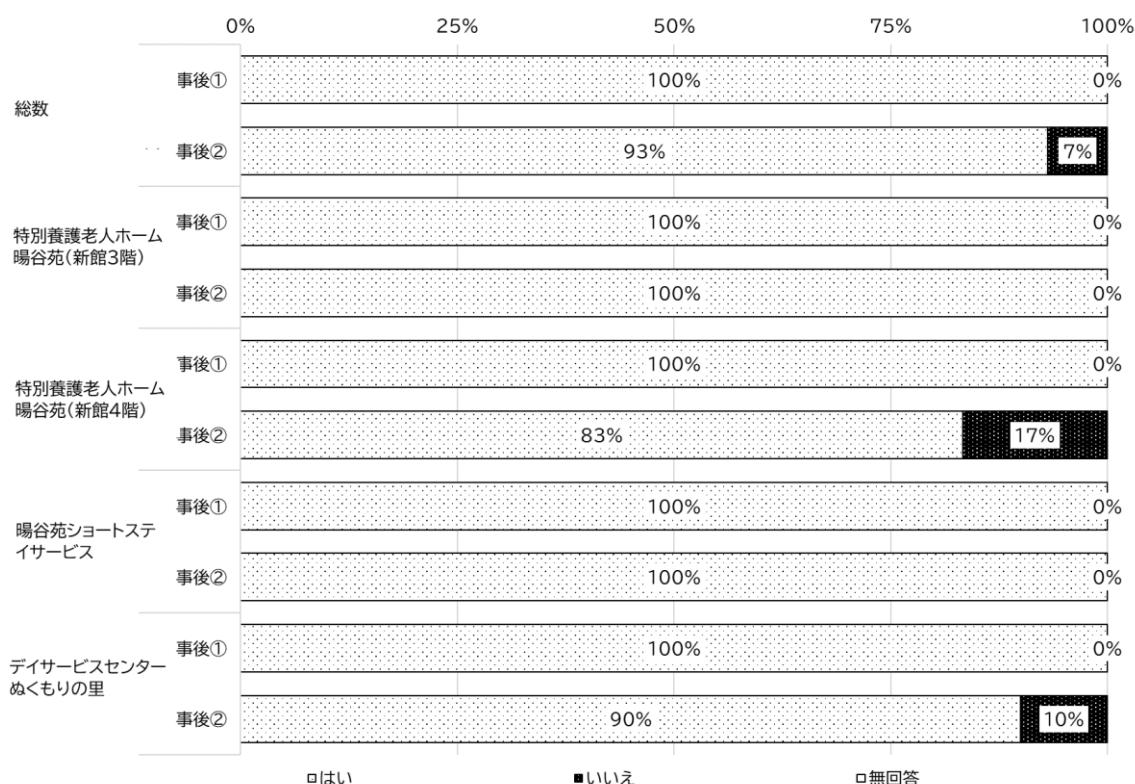


⑥ 導入機器の満足度評価 機器の継続利用意向

導入機器の継続利用意向について、総数では「はい」の回答が事後①において 100%であった。なお、事後②で「いいえ」(2人)の継続して利用したいと思わない理由は、「使用上の効果が実感できなかった」「必要とする利用者がいない」「介護ロボットを使いこなせる気がしなかった」であった。

図表 IX-460 職員調査:導入機器の満足度評価 機器の継続利用意向

			はい	いいえ	無回答	合計
施設全体	事後①	人数(人)	29	0	0	29
	割合	100%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム 暁谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	6	0	0	6
	割合	100%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム 暁谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	6	0	0	6
	割合	100%	0%	0%	100%	
暁谷苑 ショートステイサービス	事後①	人数(人)	7	0	0	7
	割合	100%	0%	0%	100%	
デイサービスセンター ぬくもりの里	事後①	人数(人)	7	0	0	7
	割合	100%	0%	0%	100%	
デイサービスセンター ぬくもりの里	事後②	人数(人)	10	0	0	10
	割合	100%	0%	0%	100%	
デイサービスセンター ぬくもりの里	事後②	人数(人)	9	1	0	10
	割合	90%	10%	0%	100%	

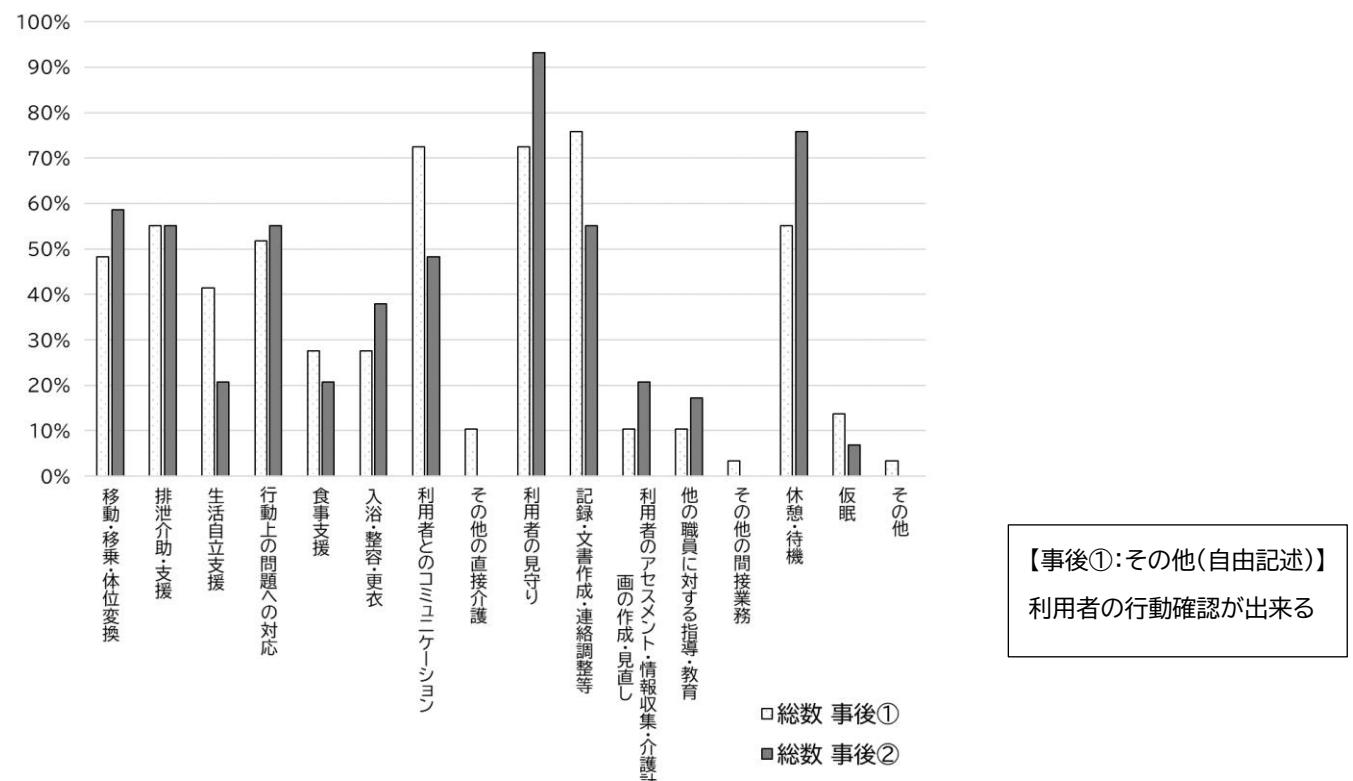


⑦ 職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間

職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間としては「利用者の見守り」「記録・文書作成・連絡調整等」「利用者とのコミュニケーション」「休憩・待機」と回答した割合が、総数において事後①・事後②を通じて最も多かった。

図表 IX-461 職員調査:職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間

			直接介護							間接業務				休憩		合計 (人)			
			移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	食事支援	入浴・整容・更衣	利用者とのコミュニケーション	その他の直接介護	利用者の見守り	記録・文書作成・連絡調整等	報利用者・介護計画の作成・見直し	他の職員に対する指導・教育	その他の間接業務	休憩・待機			
総数	事後①	人数(人)	14	16	12	15	8	8	21	3	21	22	3	3	1	16	4	1	29
	割合	48%	55%	41%	52%	28%	28%	72%	10%	72%	76%	10%	10%	3%	55%	14%	3%	-	
事後②	人数(人)	17	16	6	16	6	11	14	0	27	16	6	5	0	22	2	0	29	
	割合	59%	55%	21%	55%	21%	38%	48%	0%	93%	55%	21%	17%	0%	76%	7%	0%	-	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	1	1	2	5	1	1	6	0	5	4	1	1	0	2	3	0	6
	割合	17%	17%	33%	83%	17%	17%	100%	0%	83%	67%	17%	17%	0%	33%	50%	0%	-	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後②	人数(人)	5	5	1	3	2	3	4	0	5	6	2	1	0	4	1	0	6
	割合	83%	83%	17%	50%	33%	50%	67%	0%	83%	100%	33%	17%	0%	67%	17%	0%	-	
陽谷苑ショートステイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	4	4	3	2	4	2	5	1	4	5	2	1	0	5	0	0	6
	割合	67%	67%	50%	33%	67%	33%	83%	17%	67%	83%	33%	17%	0%	83%	0%	0%	-	
事後②	人数(人)	4	2	1	1	3	2	2	2	0	5	3	0	0	0	5	0	0	6
	割合	67%	33%	17%	17%	50%	33%	33%	0%	83%	50%	0%	0%	0%	83%	0%	0%	-	
事後①	人数(人)	5	3	2	2	1	0	4	0	6	6	0	0	0	0	3	0	0	7
	割合	71%	43%	29%	29%	14%	0%	57%	0%	86%	86%	0%	0%	0%	43%	0%	0%	-	
事後②	人数(人)	3	3	1	5	0	0	3	0	7	2	1	2	0	5	0	0	7	
	割合	43%	43%	14%	71%	0%	0%	43%	0%	100%	29%	14%	29%	0%	71%	0%	0%	-	
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	4	8	5	6	2	5	6	2	6	7	0	1	1	6	1	1	10
	割合	40%	80%	50%	60%	20%	50%	60%	20%	60%	70%	0%	10%	10%	60%	10%	10%	-	
事後②	人数(人)	5	6	3	7	1	6	5	0	10	5	3	2	0	8	1	0	10	
	割合	50%	60%	30%	70%	10%	60%	50%	0%	100%	50%	30%	20%	0%	80%	10%	0%	-	



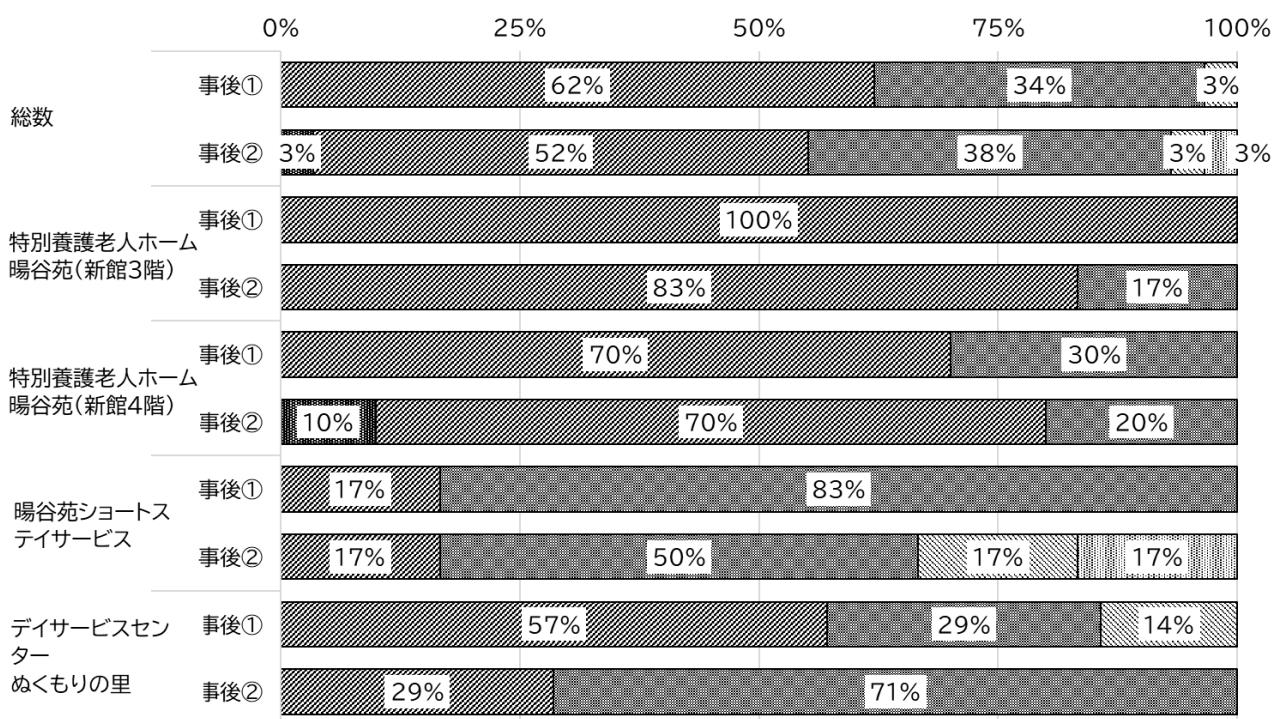
※該当する項目をすべて選択する設問。

⑧ 満足度評価

本調査で導入した機器を用いたケアに対する満足度については、「やや満足している」と回答した職員の割合が総数では最も多く、事後①で62%、事後②で52%であった。

図表 IX-462 職員調査:満足度評価

			全く満足していない	あまり満足していない	やや満足している	満足している	非常に満足している	無回答	合計
総数	事後①	人数(人)	0	0	18	10	1	0	29
	割合		0%	0%	62%	34%	3%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	1	15	11	1	1	1	29
	割合		0%	3%	52%	38%	3%	3%	100%
特別養護老人ホーム 暁谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	0	0	6	0	0	0	6
	割合		0%	0%	100%	0%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム 暁谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	5	1	0	0	6
	割合		0%	0%	83%	17%	0%	0%	100%
暁谷苑 ショートステイサービス	事後①	人数(人)	0	0	1	5	0	0	6
	割合		0%	0%	17%	83%	0%	0%	100%
デイサービスセンター ぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	1	3	1	1	6
	割合		0%	0%	17%	50%	17%	17%	100%
事後②	人数(人)	0	0	4	2	1	0	0	7
	割合		0%	0%	57%	29%	14%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	2	5	0	0	0	7
	割合		0%	0%	29%	71%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	7	3	0	0	0	10
	割合		0%	0%	70%	30%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	1	7	2	0	0	0	10
	割合		0%	10%	70%	20%	0%	0%	100%



■全く満足していない ■あまり満足していない ■やや満足している ■満足している ■非常に満足している □無回答

※質問項目に対し、1(全く満足していない)～5(非常に満足している)の5段階で評価した。

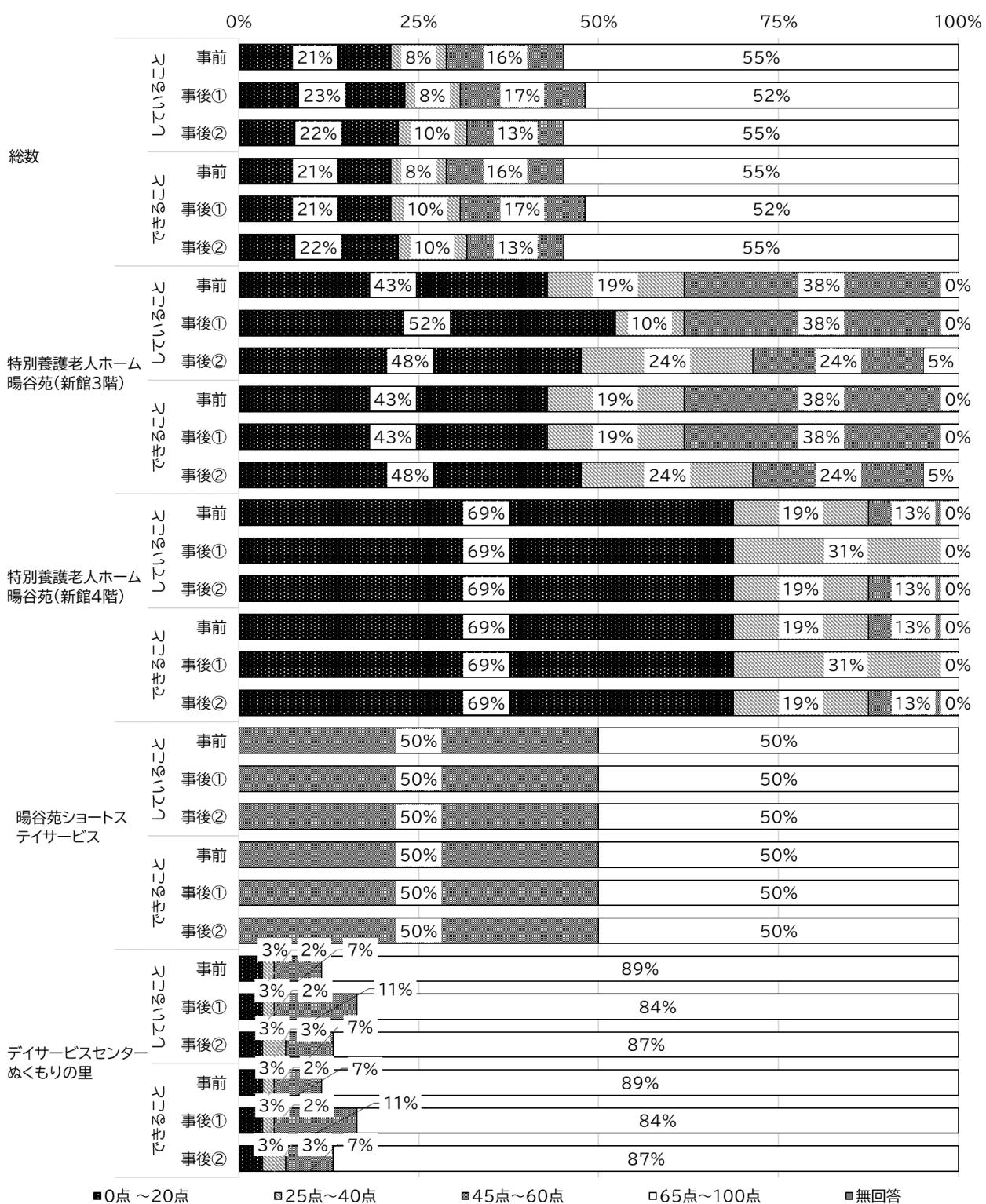
オ. 利用者向けアンケート調査

① ADL の変化

利用者の ADL の変化について、「していること」「できること」それぞれ事前と事後①、事後②を比較したところ、大きな変化は見られなかった。

図表 IX-463 利用者調査:ADL の変化

			0点～ 20点	25点～ 40点	45点～ 60点	65点～ 100点	無回答	合計	
総数	していること	事前	人数(人) 割合	22 21%	8 8%	17 16%	57 55%	0 0%	104 100%
		事後①	人数(人) 割合	24 23%	8 8%	18 17%	54 52%	0 0%	104 100%
		事後②	人数(人) 割合	44 31%	18 13%	22 15%	59 41%	0 0%	142 100%
	できること	事前	人数(人) 割合	22 21%	8 8%	17 16%	57 55%	0 0%	104 100%
		事後①	人数(人) 割合	22 21%	10 10%	18 17%	54 52%	0 0%	104 100%
		事後②	人数(人) 割合	44 31%	18 13%	21 15%	58 41%	0 0%	141 100%
特別養護老人ホーム暁谷苑(新館3階)	していること	事前	人数(人) 割合	9 43%	4 19%	8 38%	0 0%	0 0%	21 100%
		事後①	人数(人) 割合	11 52%	2 10%	8 38%	0 0%	0 0%	21 100%
		事後②	人数(人) 割合	46 22%	20 10%	28 13%	114 55%	0 0%	208 100%
	できること	事前	人数(人) 割合	9 43%	4 19%	8 38%	0 0%	0 0%	21 100%
		事後①	人数(人) 割合	9 43%	4 19%	8 38%	0 0%	0 0%	21 100%
		事後②	人数(人) 割合	46 22%	20 10%	28 13%	114 55%	0 0%	208 100%
特別養護老人ホーム暁谷苑(新館4階)	していること	事前	人数(人) 割合	11 69%	3 19%	2 13%	0 0%	0 0%	16 100%
		事後①	人数(人) 割合	11 69%	5 31%	0 0%	0 0%	0 0%	16 100%
		事後②	人数(人) 割合	11 69%	3 19%	2 13%	0 0%	0 0%	16 100%
	できること	事前	人数(人) 割合	11 69%	3 19%	2 13%	0 0%	0 0%	16 100%
		事後①	人数(人) 割合	11 69%	5 31%	0 0%	0 0%	0 0%	16 100%
		事後②	人数(人) 割合	11 69%	3 19%	2 13%	0 0%	0 0%	16 100%
暁谷苑ショートステイサービス	していること	事前	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	3 50%	3 50%	0 0%	6 100%
		事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	3 50%	3 50%	0 0%	6 100%
		事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	3 50%	3 50%	0 0%	6 100%
	できること	事前	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	3 50%	3 50%	0 0%	6 100%
		事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	3 50%	3 50%	0 0%	6 100%
		事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	3 50%	3 50%	0 0%	6 100%
デイサービスセンター ぬくもりの里	していること	事前	人数(人) 割合	2 3%	1 2%	4 7%	54 89%	0 0%	61 100%
		事後①	人数(人) 割合	2 3%	1 2%	7 11%	51 84%	0 0%	61 100%
		事後②	人数(人) 割合	2 3%	2 3%	4 7%	53 87%	0 0%	61 100%
	できること	事前	人数(人) 割合	2 3%	1 2%	4 7%	54 89%	0 0%	61 100%
		事後①	人数(人) 割合	2 3%	1 2%	7 11%	51 84%	0 0%	61 100%
		事後②	人数(人) 割合	2 3%	2 3%	4 7%	53 87%	0 0%	61 100%



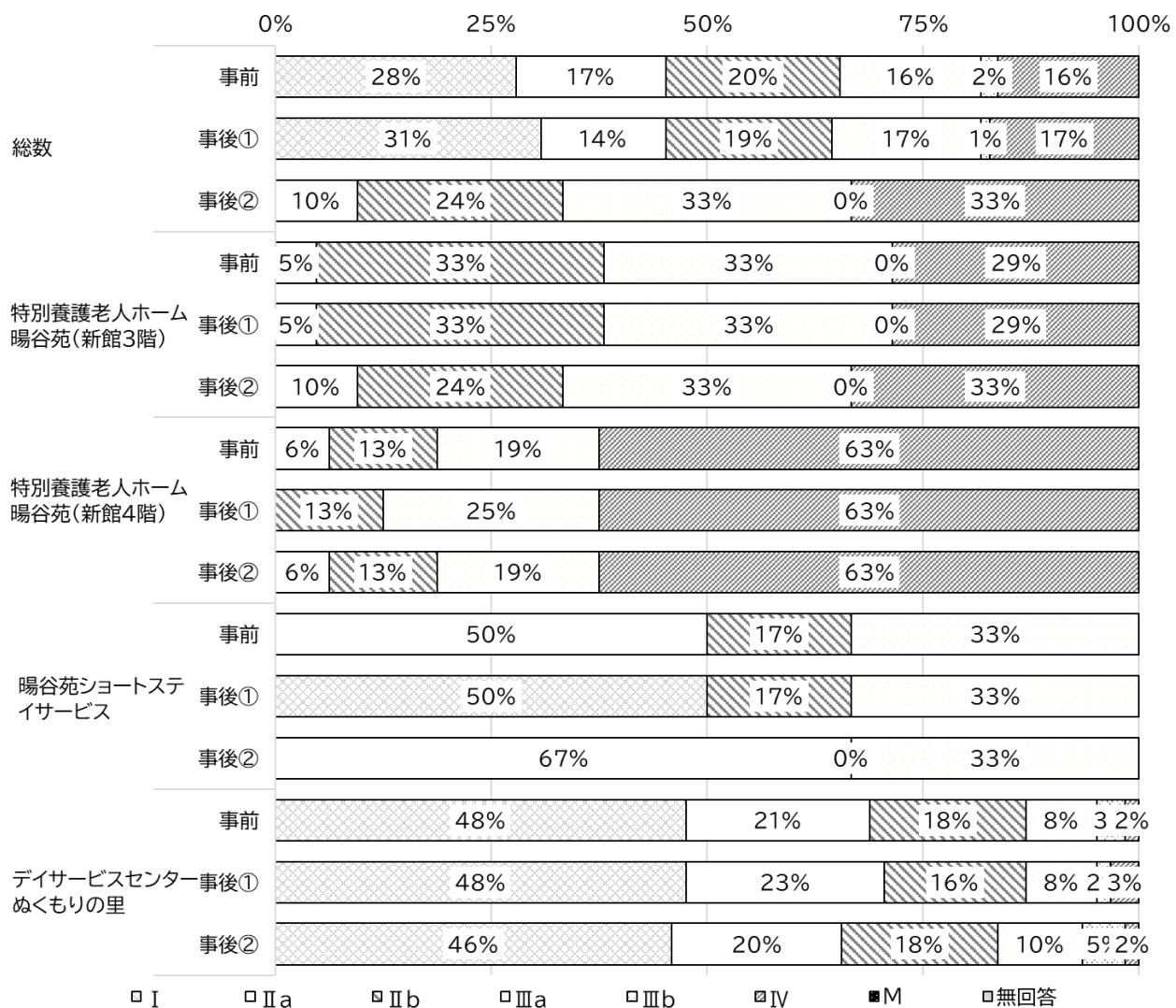
※事前調査または事後調査で、各 10 項目のうち 1 項目でも無回答がある場合は無回答処理をした。

② 認知症高齢者の日常生活自立度の変化

認知症高齢者の日常生活自立度について事前と事後①、事後②を比較したところ、大きな変化は見られなかった。

図表 IX-464 利用者調査:認知症高齢者の日常生活自立度の変化

			I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	無回答	合計
総数	事前	人数(人)	29	18	21	17	2	17	0	0	104
		割合	28%	17%	20%	16%	2%	16%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	32	15	20	18	1	18	0	0	104
		割合	31%	14%	19%	17%	1%	17%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	28	19	18	18	3	18	0	0	104
		割合	27%	18%	17%	17%	3%	17%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム暁谷苑(新館3階)	事前	人数(人)	0	1	7	7	0	6	0	0	21
		割合	0%	5%	33%	33%	0%	29%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	1	7	7	0	6	0	0	21
		割合	0%	5%	33%	33%	0%	29%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	2	5	7	0	7	0	0	21
		割合	0%	10%	24%	33%	0%	33%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム暁谷苑(新館4階)	事前	人数(人)	0	1	2	3	0	10	0	0	16
		割合	0%	6%	13%	19%	0%	63%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	0	2	4	0	10	0	0	16
		割合	0%	0%	13%	25%	0%	63%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	1	2	3	0	10	0	0	16
		割合	0%	6%	13%	19%	0%	63%	0%	0%	100%
暁谷苑ショートステイサービス	事前	人数(人)	0	3	1	2	0	0	0	0	6
		割合	0%	50%	17%	33%	0%	0%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	3	0	1	2	0	0	0	0	6
		割合	50%	0%	17%	33%	0%	0%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	4	0	2	0	0	0	0	6
		割合	0%	67%	0%	33%	0%	0%	0%	0%	100%
デイサービスセンターぬくもりの里	事前	人数(人)	29	13	11	5	2	1	0	0	61
		割合	48%	21%	18%	8%	3%	2%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	29	14	10	5	1	2	0	0	61
		割合	48%	23%	16%	8%	2%	3%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	28	12	11	6	3	1	0	0	61
		割合	46%	20%	18%	10%	5%	2%	0%	0%	100%

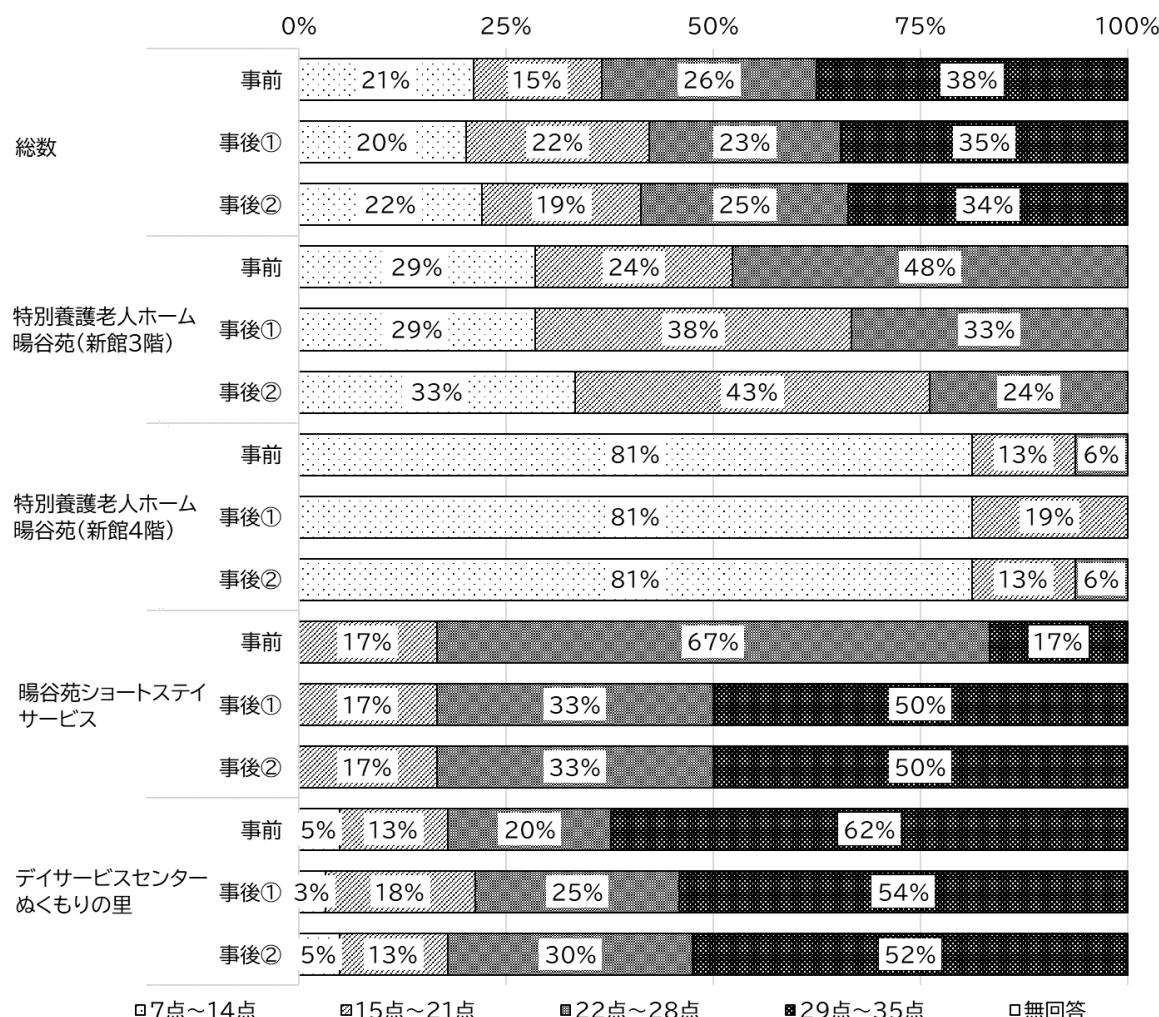


③ 生活・認知機能尺度の変化

生活・認知機能尺度について、事前と事後①、事後②を比較したところ、大きな変化は見られなかった。

図表 IX-465 利用者調査:生活・認知機能尺度の変化

			←悪化したと感じる							向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
総数	事後①	人数(人)	0	0	0	82	0	0	0	22	0	21	104
		割合	0%	0%	0%	79%	0%	0%	0%	21%	0%	100%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	0	58	44	2	0	0	0	0%	104
		割合	0%	0%	0%	56%	42%	2%	0%	0%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	21
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	21
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	4	0	0	0	12	0	0	16
		割合	0%	0%	0%	25%	0%	0%	0%	75%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	0	9	5	2	0	0	0	0	16
		割合	0%	0%	0%	56%	31%	13%	0%	0%	0%	0%	100%
陽谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人)	0	0	0	2	0	0	0	0	4	0	6
		割合	0%	0%	0%	33%	0%	0%	0%	67%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	6
		割合	0%	0%	0%	67%	33%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	0	55	0	0	0	6	0	0	61
		割合	0%	0%	0%	90%	0%	0%	0%	10%	0%	0%	100%
		人数(人)	0	0	0	24	37	0	0	0	0	0	61
		割合	0%	0%	0%	39%	61%	0%	0%	0%	0%	0%	100%

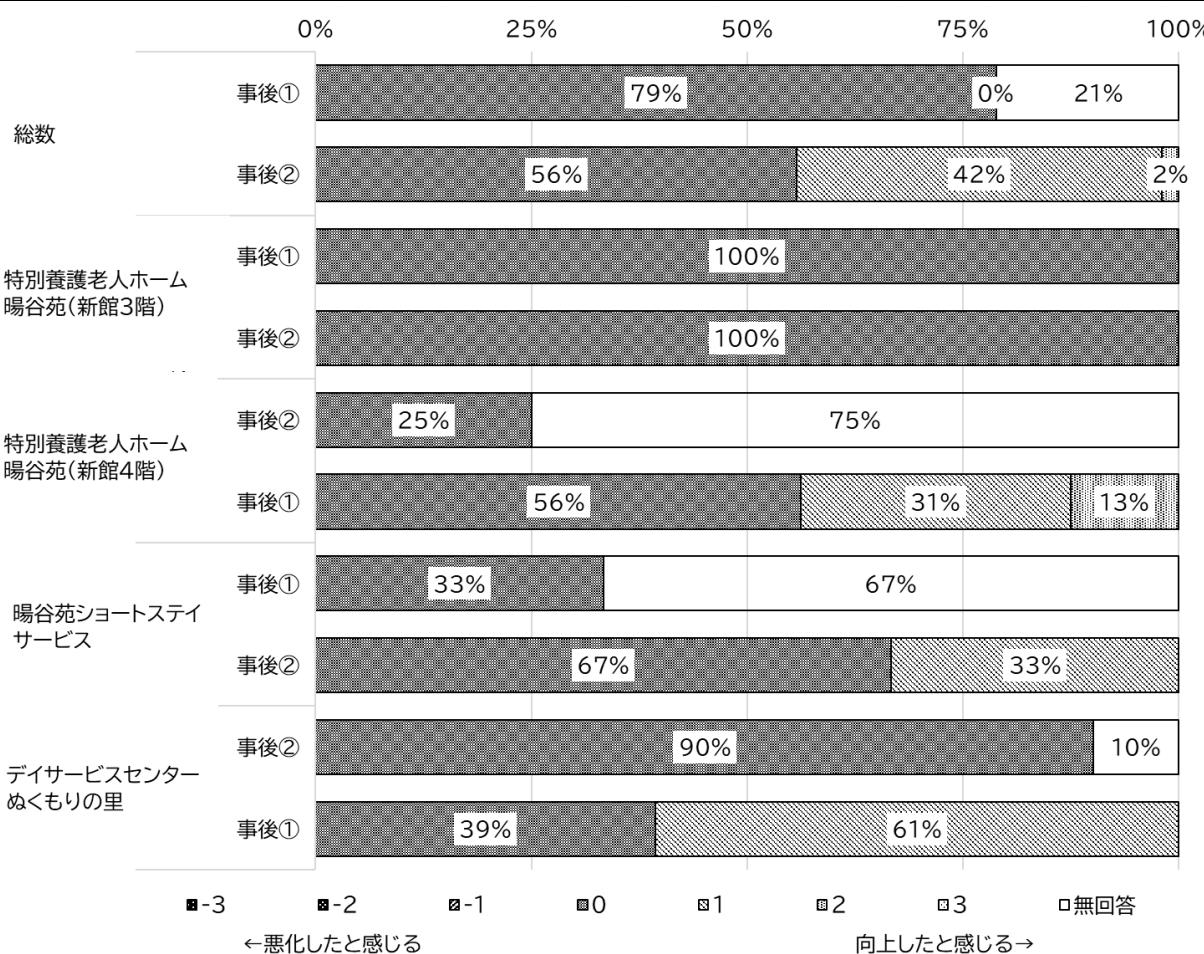


④ 認知機能変化の総合的な評価

認知機能変化の総合的な評価について、総数では事後①、事後②ともに「0(変化なし)」の回答が多かった。

図表 IX-466 利用者調査・認知機能変化の総合的な評価

			←悪化したと感じる							向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
総数	事後①	人数(人)	0	0	0	82	0	0	0	22	104	21%	100%
		割合	0%	0%	0%	79%	0%	0%	0%	21%	104		
事後②		人数(人)	0	0	0	58	44	2	0	0	104	0%	100%
		割合	0%	0%	0%	56%	42%	2%	0%	0%	104		
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	0	0	21	0%	100%
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	21		
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後②	人数(人)	0	0	0	21	0	0	0	0	21	0%	100%
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	21		
陽谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人)	0	0	0	4	0	0	0	12	16	75%	100%
		割合	0%	0%	0%	25%	0%	0%	0%	75%	16		
デイサービスセンターぬくもりの里	事後②	人数(人)	0	0	0	9	5	2	0	0	16	0%	100%
		割合	0%	0%	0%	56%	31%	13%	0%	0%	16		



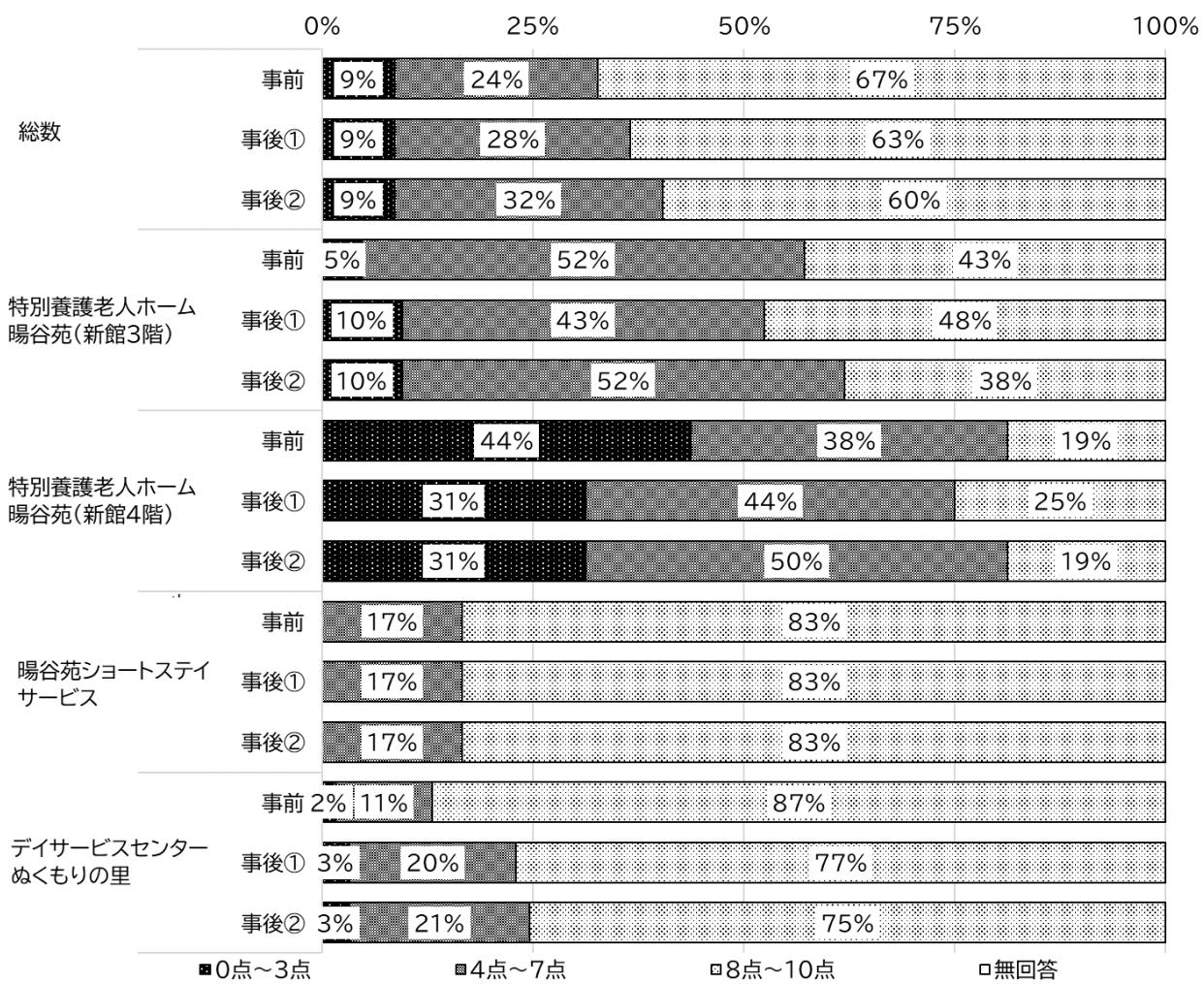
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(意思疎通の難しい利用者についての回答は職員が実施)。

⑤ Vitality Index の変化

Vitality Index について事前と事後①、事後②を比較したところ、大きな変化は見られなかった。

図表 IX-467 利用者調査:Vitality Index の変化

			0点～ 3点	4点～ 7点	8点～ 10点	無回答	合計
施設全体	事前	人数(人)	9	25	70	0	104
		割合	9%	24%	67%	0%	100%
特別養護老人ホーム暁谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	9	29	66	0	104
		割合	9%	28%	63%	0%	100%
特別養護老人ホーム暁谷苑(新館4階)	事後②	人数(人)	9	33	62	0	104
		割合	9%	32%	60%	0%	100%
暁谷苑ショートステイサービス	事前	人数(人)	1	11	9	0	21
		割合	5%	52%	43%	0%	100%
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	2	9	10	0	21
		割合	10%	43%	48%	0%	100%
デイサービスセンターぬくもりの里	事後②	人数(人)	2	11	8	0	21
		割合	10%	52%	38%	0%	100%
特別養護老人ホーム暁谷苑(新館4階)	事前	人数(人)	7	6	3	0	16
		割合	44%	38%	19%	0%	100%
暁谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人)	5	7	4	0	16
		割合	31%	44%	25%	0%	100%
デイサービスセンターぬくもりの里	事後②	人数(人)	5	8	3	0	16
		割合	31%	50%	19%	0%	100%
暁谷苑ショートステイサービス	事前	人数(人)	0	1	5	0	6
		割合	0%	17%	83%	0%	100%
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	1	5	0	6
		割合	0%	17%	83%	0%	100%
デイサービスセンターぬくもりの里	事後②	人数(人)	0	1	5	0	6
		割合	0%	17%	83%	0%	100%



※事前調査または事後調査で、各5項目のうち 1 項目でも無回答がある利用者はすべて無回答とし、各項目の回答が0、1、2、以外の場合は無回答処理をした。

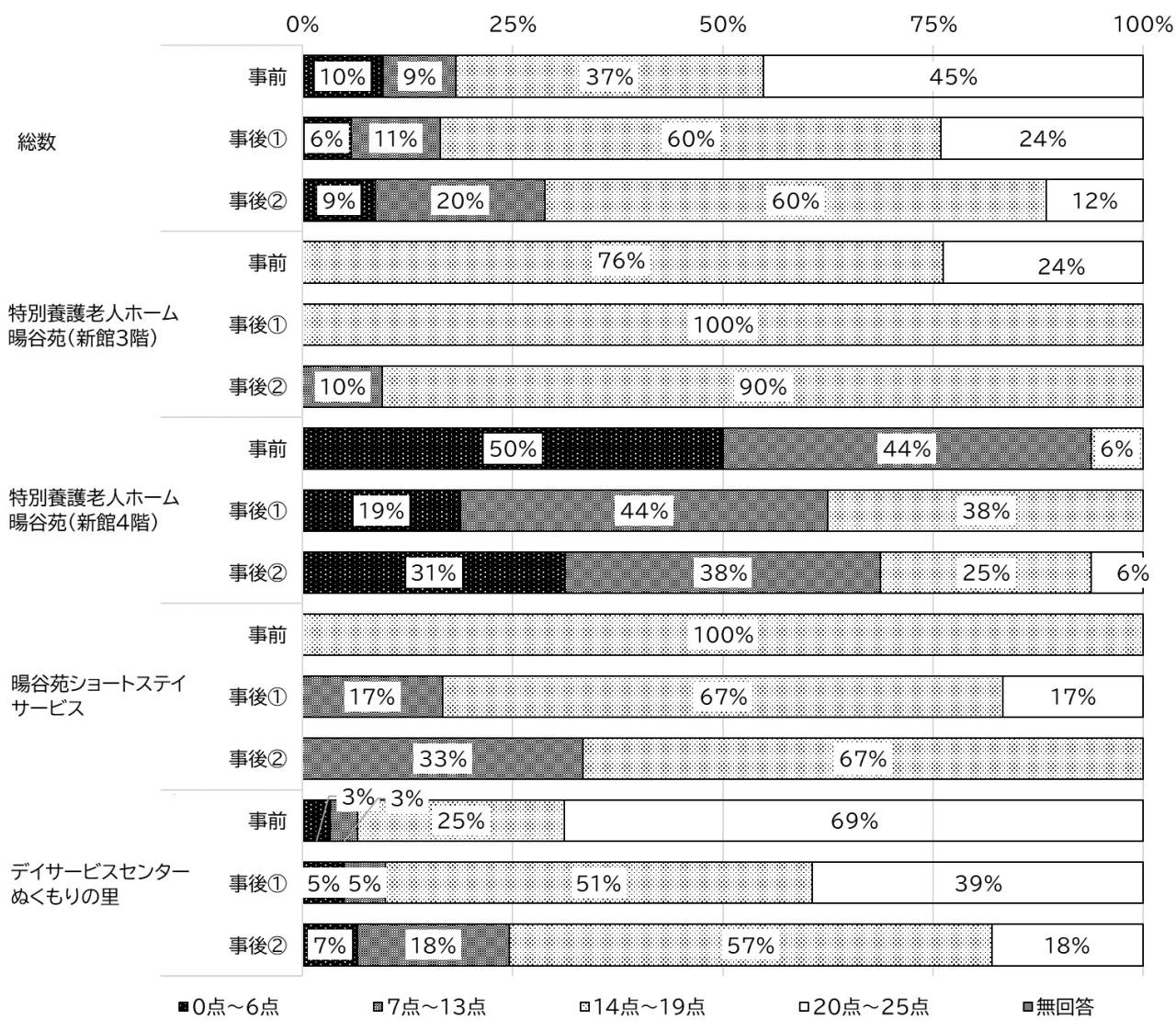
※ Vitality index とは、鳥羽ら(2002)によって開発された、高齢者の日常生活動作「起床」「意志疎通」「食事」「排泄」「活動」の 5 項目から高齢者における日常生活動作に関連した「意欲」を客観的に評価する指標。5 項目それぞれに0～2 点で回答し、それぞれ 2 点が最もよい状態を示す。10 点満点。

⑥ QOL(WHO-5 精神的健康状態表)の変化

QOLについて事前と事後①、事後②を比較したところ、大きな変化は見られなかった。

図表 IX-468 利用者調査:QOL の変化

			0点～6点	7点～13点	14点～19点	20点～25点	無回答	合計
総数	事前	人数(人)	10	9	38	47	0	104
		割合	10%	9%	37%	45%	0%	100%
	事後①	人数(人)	6	11	62	25	0	104
		割合	6%	11%	60%	24%	0%	100%
	事後②	人数(人)	9	21	62	12	0	104
		割合	9%	20%	60%	12%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事前	人数(人)	0	0	16	5	0	21
		割合	0%	0%	76%	24%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	0	21	0	0	21
		割合	0%	0%	100%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	2	19	0	0	21
		割合	0%	10%	90%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事前	人数(人)	8	7	1	0	0	16
		割合	50%	44%	6%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	3	7	6	0	0	16
		割合	19%	44%	38%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	5	6	4	1	0	16
		割合	31%	38%	25%	6%	0%	100%
陽谷苑ショートステイサービス	事前	人数(人)	0	0	6	0	0	6
		割合	0%	0%	100%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	1	4	1	0	6
		割合	0%	17%	67%	17%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	2	4	0	0	6
		割合	0%	33%	67%	0%	0%	100%
デイサービスセンター ぬくもりの里	事前	人数(人)	2	2	15	42	0	61
		割合	3%	3%	25%	69%	0%	100%
	事後①	人数(人)	3	3	31	24	0	61
		割合	5%	5%	51%	39%	0%	100%
	事後②	人数(人)	4	11	35	11	0	61
		割合	7%	18%	57%	18%	0%	100%



※事前または事後で、各5項目のうち 1 項目でも無回答がある利用者はすべて無回答とし、各項目の回答が0、1、2、3、4、5 以外の場合は無回答処理をした。

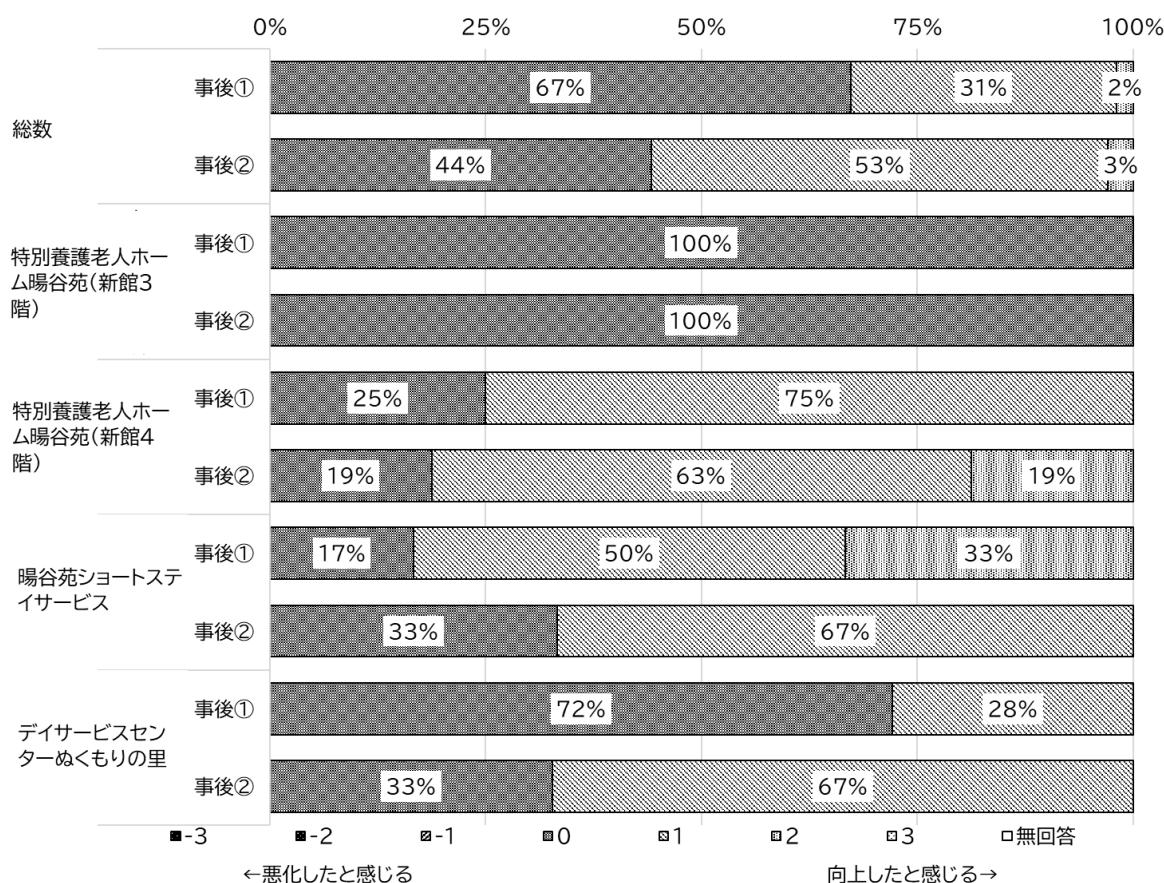
※QOL の変化は、WHO-5 精神的健康状態表を用いて実証対象施設の職員が回答した。最近2週間、利用者の状態に最も近いものについて、5項目それぞれに 5(いつも)～0(まったくない)点で回答し、その合計点で評価。25 点満点。

⑦ QOL の変化の総合的な評価

QOL の変化の総合的な評価としては、総数で事後①では「0(変化なし)」の回答が多く 67% であったが、事後②では「1(向上したと感じる)」の回答が多く 53% であった。

図表 IX-469 利用者調査:QOL の変化の総合的な評価

			←悪化したと感じる							無回答		合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3	無回答	合計	
総数	事後①	人数(人)	0	0	0	70	32	2	0	0	104	
		割合	0%	0%	0%	67%	31%	2%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	0	0	0	46	55	3	0	0	104	
		割合	0%	0%	0%	44%	53%	3%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	0	0	21	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%	
陽谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人)	0	0	0	4	12	0	0	0	16	
		割合	0%	0%	0%	25%	75%	0%	0%	0%	100%	
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	0	1	3	10	3	0	16	
		割合	0%	0%	0%	19%	63%	19%	0%	0%	100%	



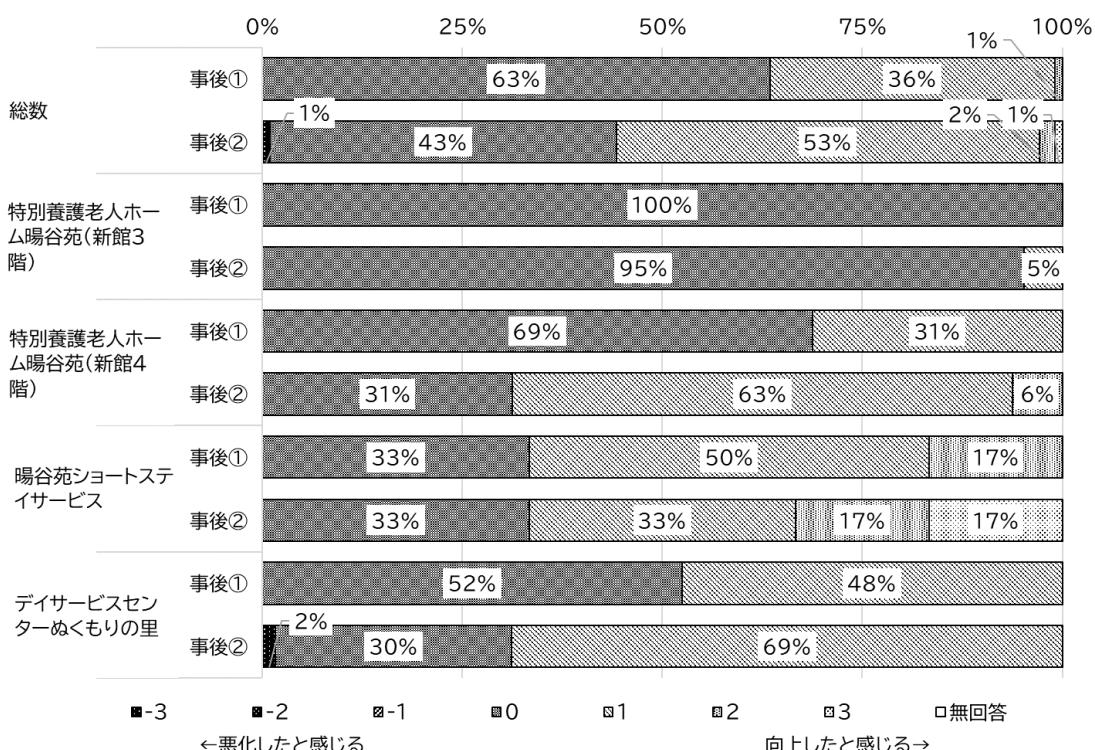
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の 7 段階で評価した(意思疎通の難しい利用者についての回答は職員が実施)。

⑧ 機器導入によるコミュニケーションの変化

利用者の発語量および表情については、事後①では「0(変化なし)」の回答が多く6割程度であったが、事後②では「1(向上したと感じる)」の割合が多く5割程度であった。

図表 IX-470 利用者調査:機器導入によるコミュニケーションの変化

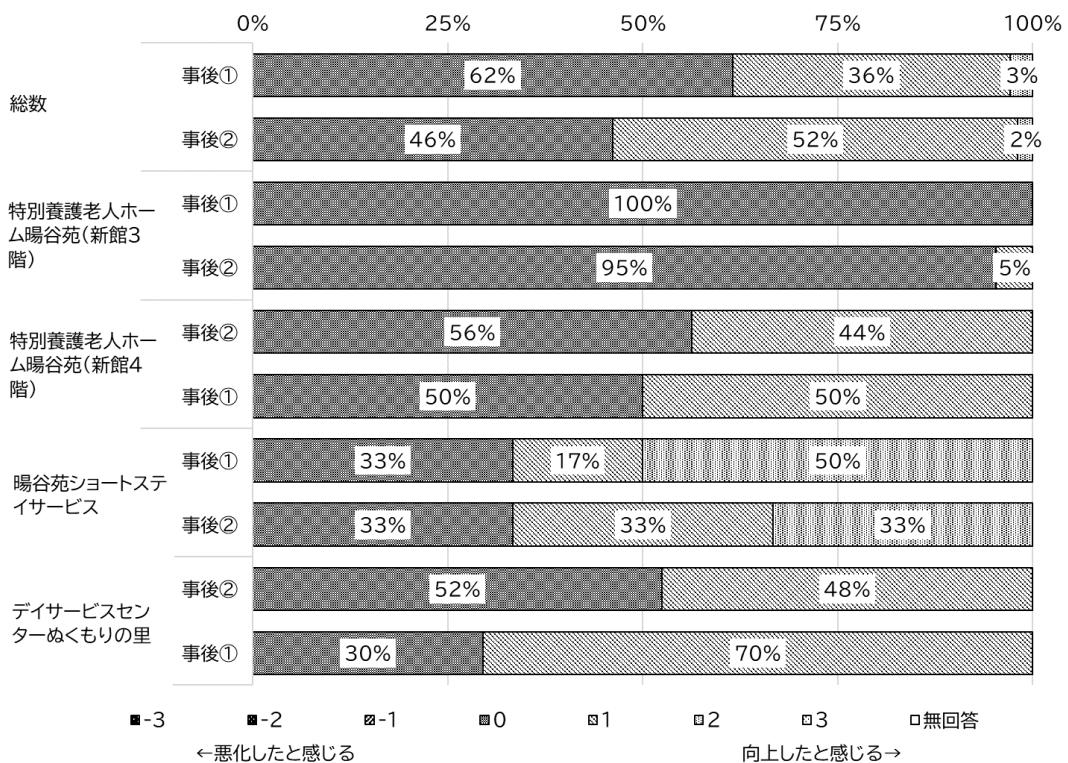
			←悪化したと感じる							↑向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3	0	100%		
総数	事後①	人数(人)	0	0	0	66	37	1	0	0	0	104	
		割合	0%	0%	0%	63%	36%	1%	0%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	1	0	0	45	55	2	1	0	0	104	
		割合	1%	0%	0%	43%	53%	2%	1%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	0	0	0	21	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
陽谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人)	0	0	0	20	1	0	0	0	0	21	
		割合	0%	0%	0%	95%	5%	0%	0%	0%	0%	100%	
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	0	11	5	0	0	0	0	16	
		割合	0%	0%	0%	69%	31%	0%	0%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	20	1	0	0	0	0	0	21	
		割合	0%	0%	0%	95%	5%	0%	0%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	11	5	0	0	0	0	0	16	
		割合	0%	0%	0%	69%	31%	0%	0%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	2	3	1	0	0	0	0	6	
		割合	0%	0%	0%	33%	50%	17%	0%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	2	2	1	1	1	0	0	6	
		割合	0%	0%	0%	33%	33%	17%	17%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	32	29	0	0	0	0	0	61	
		割合	0%	0%	0%	52%	48%	0%	0%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	1	0	0	18	42	0	0	0	0	0	61	
		割合	2%	0%	0%	30%	69%	0%	0%	0%	0%	100%	



※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(意思疎通の難しい利用者についての回答は職員が実施)。

図表 IX-471 利用者調査:利用者の表情の変化

			←悪化したと感じる							向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	0	64	37	3	0	0	0	0	104
		割合	0%	0%	0%	62%	36%	3%	0%	0%	0%	0%	100%
事後②		人数(人)	0	0	0	48	54	2	0	0	0	0	104
		割合	0%	0%	0%	46%	52%	2%	0%	0%	0%	0%	100%
2701	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	21
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
2702	事後②	人数(人)	0	0	0	20	1	0	0	0	0	0	21
		割合	0%	0%	0%	95%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
2703	事後①	人数(人)	0	0	0	9	7	0	0	0	0	0	16
		割合	0%	0%	0%	56%	44%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
2704	事後②	人数(人)	0	0	0	8	8	0	0	0	0	0	16
		割合	0%	0%	0%	50%	50%	0%	0%	0%	0%	0%	100%



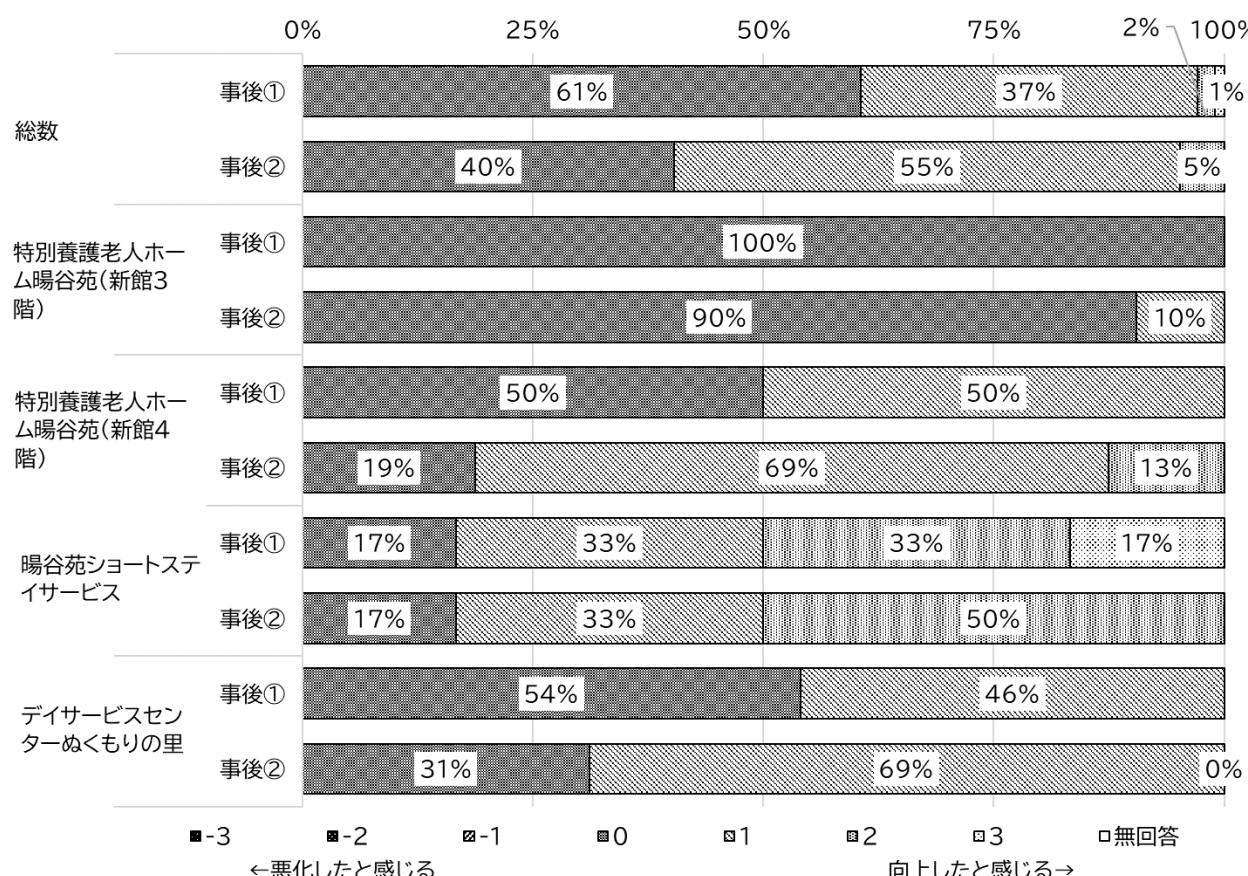
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(意思疎通の難しい利用者についての回答は職員が実施)。

⑨ 機器導入によるコミュニケーション変化の総合的な評価

機器導入によるコミュニケーション変化の総合的な評価については、総数で事後①では「0(変化なし)」の回答が多く61%であったが、事後②では「1(向上したと感じる)」の回答が多く55%であった。

図表 IX-472 利用者調査:機器導入によるコミュニケーション変化の総合的な評価

			←悪化したと感じる							無回答		合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3	無回答	合計	
総数	事後①	人数(人)	0	0	0	63	38	2	1	0	104	
		割合	0%	0%	0%	61%	37%	2%	1%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	0	0	0	42	57	5	0	0	104	
		割合	0%	0%	0%	40%	55%	5%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	0	0	21	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%	
陽谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人)	0	0	0	19	2	0	0	0	21	
		割合	0%	0%	0%	90%	10%	0%	0%	0%	100%	
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	0	8	8	0	0	0	16	
		割合	0%	0%	0%	50%	50%	0%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	19	69%	13%	0%	0%	0%	100%	
		割合	0%	0%	0%	19%	69%	13%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	1	2	2	1	0	0	6	
		割合	0%	0%	0%	17%	33%	33%	17%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	1	2	3	0	0	0	6	
		割合	0%	0%	0%	17%	33%	50%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	33	28	0	0	0	0	61	
		割合	0%	0%	0%	54%	46%	0%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	19	42	0	0	0	0	61	
		割合	0%	0%	0%	31%	69%	0%	0%	0%	100%	



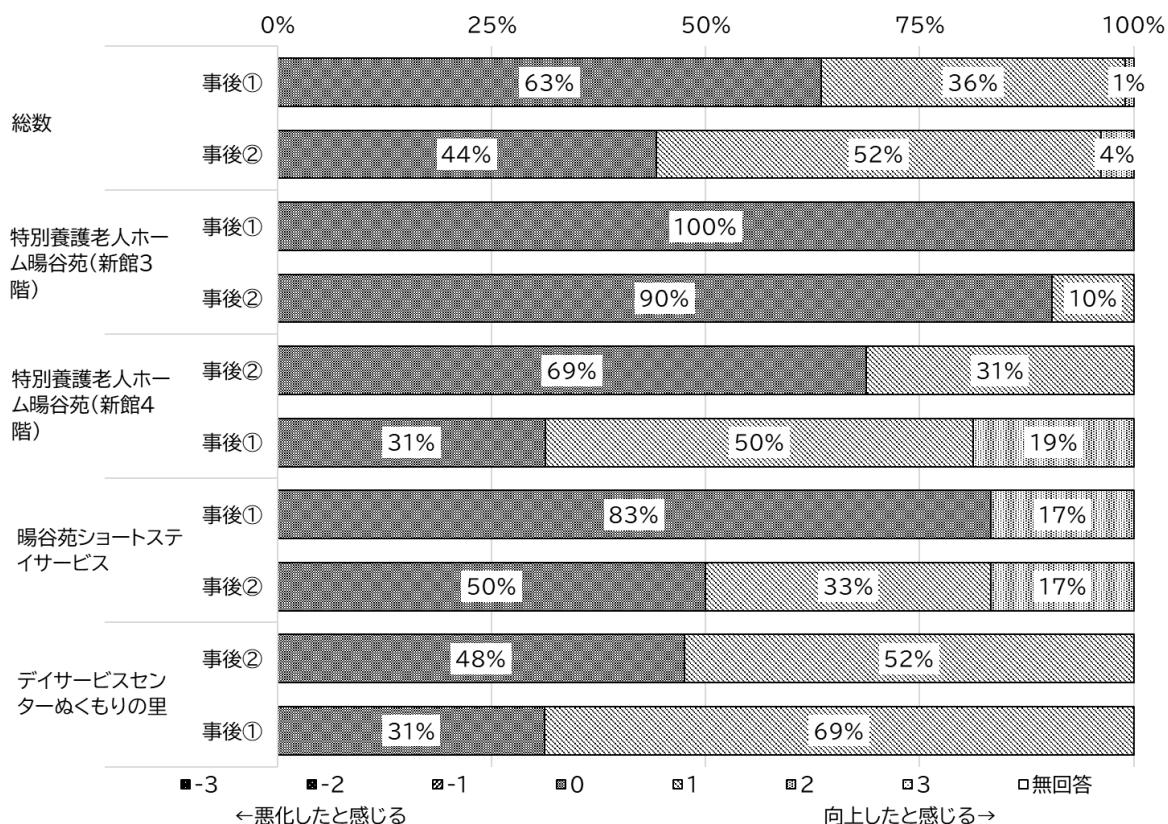
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(意思疎通の難しい利用者についての回答は職員が実施)。

⑩ 機器導入によるレクリエーション・イベントへの参加状況の変化

機器導入によるレクリエーション・イベントの参加状況の変化については、いずれも総数において、事後①では「0(変化なし)」の回答が多く6割程度であったが、事後②では「1(向上したと感じる)」の回答が多く5割程度であった。

図表 IX-473 利用者調査:利用者が自ら進んでレクリエーション・イベントへ参加する頻度の変化

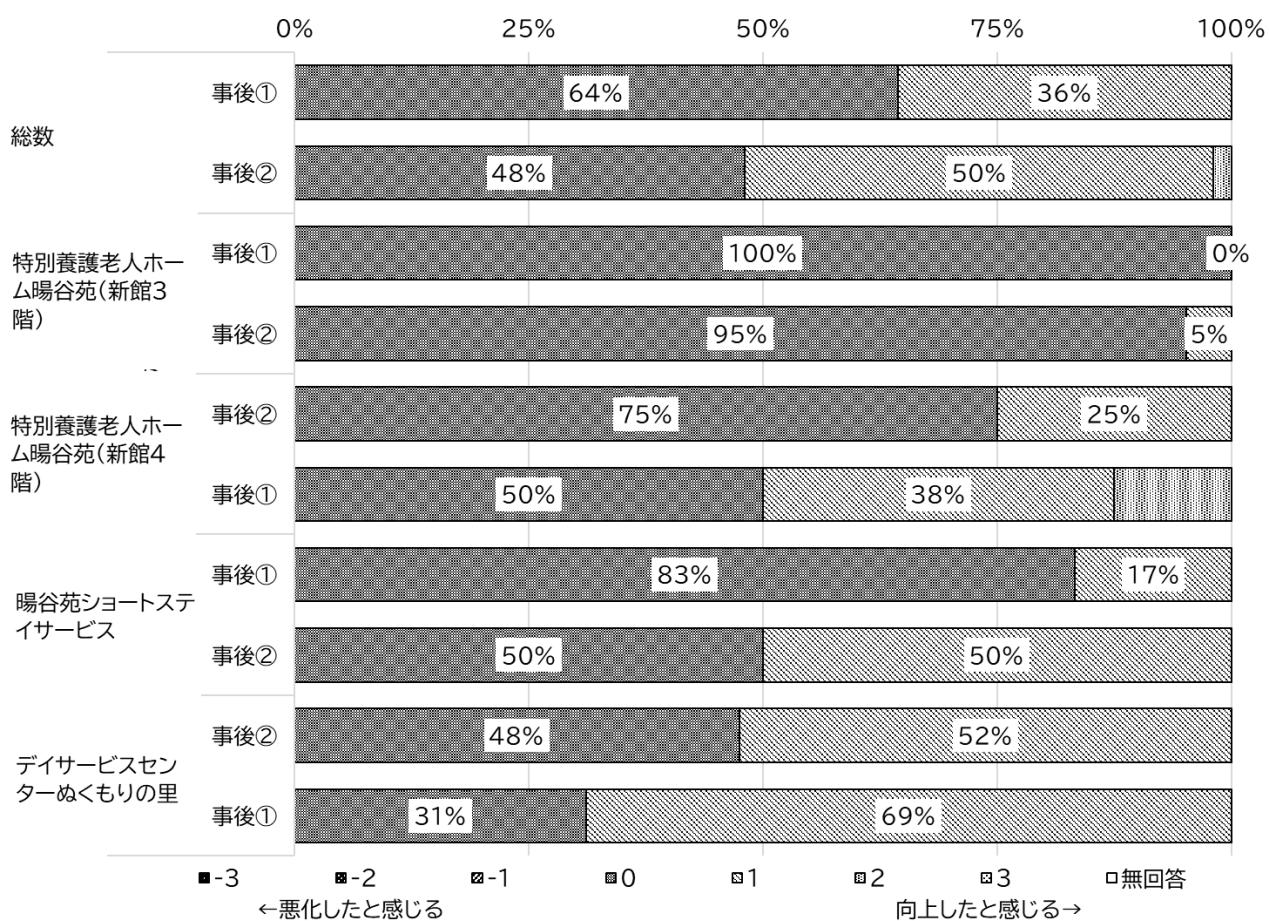
			←悪化したと感じる							向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
総数	事後①	人数(人)	0	0	0	66	37	1	0	0	0	104	
		割合	0%	0%	0%	63%	36%	1%	0%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	46	54	4	0	0	0	0	104	
		割合	0%	0%	0%	44%	52%	4%	0%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	0	0	0	21	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	11	5	0	0	0	0	16	
		割合	0%	0%	0%	69%	31%	0%	0%	0%	0%	100%	
陽谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人)	0	0	0	5	0	1	0	0	0	6	
		割合	0%	0%	0%	83%	0%	17%	0%	0%	0%	100%	
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	0	3	2	1	0	0	0	6	
		割合	0%	0%	0%	50%	33%	17%	0%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	29	32	0	0	0	0	0	61	
		割合	0%	0%	0%	48%	52%	0%	0%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	19	42	0	0	0	0	0	61	
		割合	0%	0%	0%	31%	69%	0%	0%	0%	0%	100%	



※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(意思疎通の難しい利用者についての回答は職員が実施)。

図表 IX-474 利用者調査:促されるとレクリエーション・イベントへ参加する頻度の変化

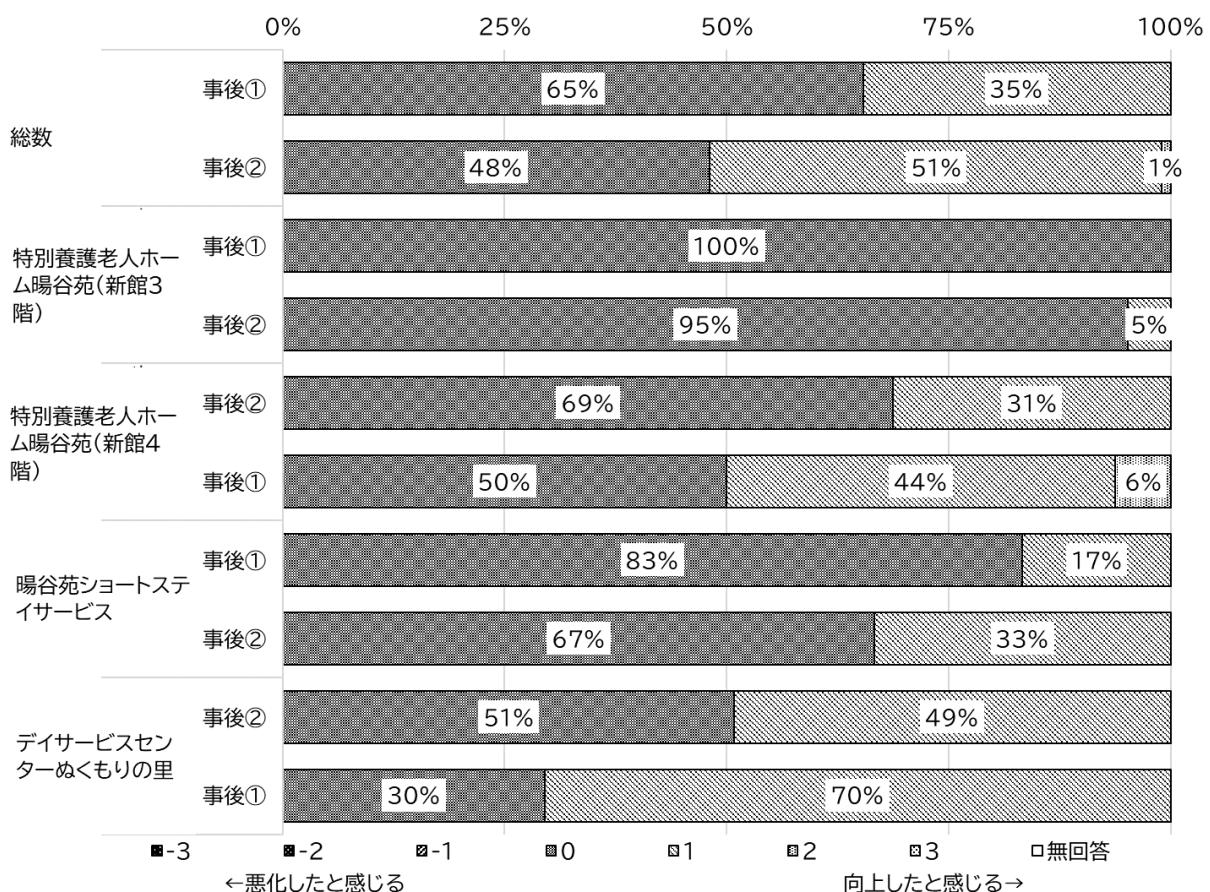
			←悪化したと感じる							無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3		
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	0	67	37	0	0	0	104
		割合	0%	0%	0%	64%	36%	0%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後②	人数(人)	0	0	0	50	52	2	0	0	104
		割合	0%	0%	0%	48%	50%	2%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	0	0	21
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
陽谷苑ショートステイサービス	事後②	人数(人)	0	0	0	20	1	0	0	0	21
		割合	0%	0%	0%	95%	5%	0%	0%	0%	100%
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	0	12	4	0	0	0	16
		割合	0%	0%	0%	75%	25%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	8	6	2	0	0	0	16
		割合	0%	0%	0%	50%	38%	13%	0%	0%	100%
事後①	人数(人)	0	0	0	5	1	0	0	0	0	6
		割合	0%	0%	0%	83%	17%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	3	3	0	0	0	0	6
		割合	0%	0%	0%	50%	50%	0%	0%	0%	100%
事後①	人数(人)	0	0	0	29	32	0	0	0	0	61
		割合	0%	0%	0%	48%	52%	0%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	0	19	42	0	0	0	0	61
		割合	0%	0%	0%	31%	69%	0%	0%	0%	100%



※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(意思疎通の難しい利用者についての回答は職員が実施)。

図表 IX-475 レクリエーション・イベントへの興味・関心の変化

			←悪化したと感じる 向上したと感じる→							無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3		
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	0	68	36	0	0	0	104
		割合	0%	0%	0%	65%	35%	0%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後②	人数(人)	0	0	0	50	53	1	0	0	104
		割合	0%	0%	0%	48%	51%	1%	0%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	0	0	21
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
陽谷苑ショートステイサービス	事後②	人数(人)	0	0	0	20	1	0	0	0	21
		割合	0%	0%	0%	95%	5%	0%	0%	0%	100%
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	0	11	5	0	0	0	16
		割合	0%	0%	0%	69%	31%	0%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	0	8	7	1	0	0	16
		割合	0%	0%	0%	50%	44%	6%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	0	0	5	1	0	0	0	6
		割合	0%	0%	0%	83%	17%	0%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	0	4	2	0	0	0	6
		割合	0%	0%	0%	67%	33%	0%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	0	0	31	30	0	0	0	61
		割合	0%	0%	0%	51%	49%	0%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	0	18	43	0	0	0	61
		割合	0%	0%	0%	30%	70%	0%	0%	0%	100%



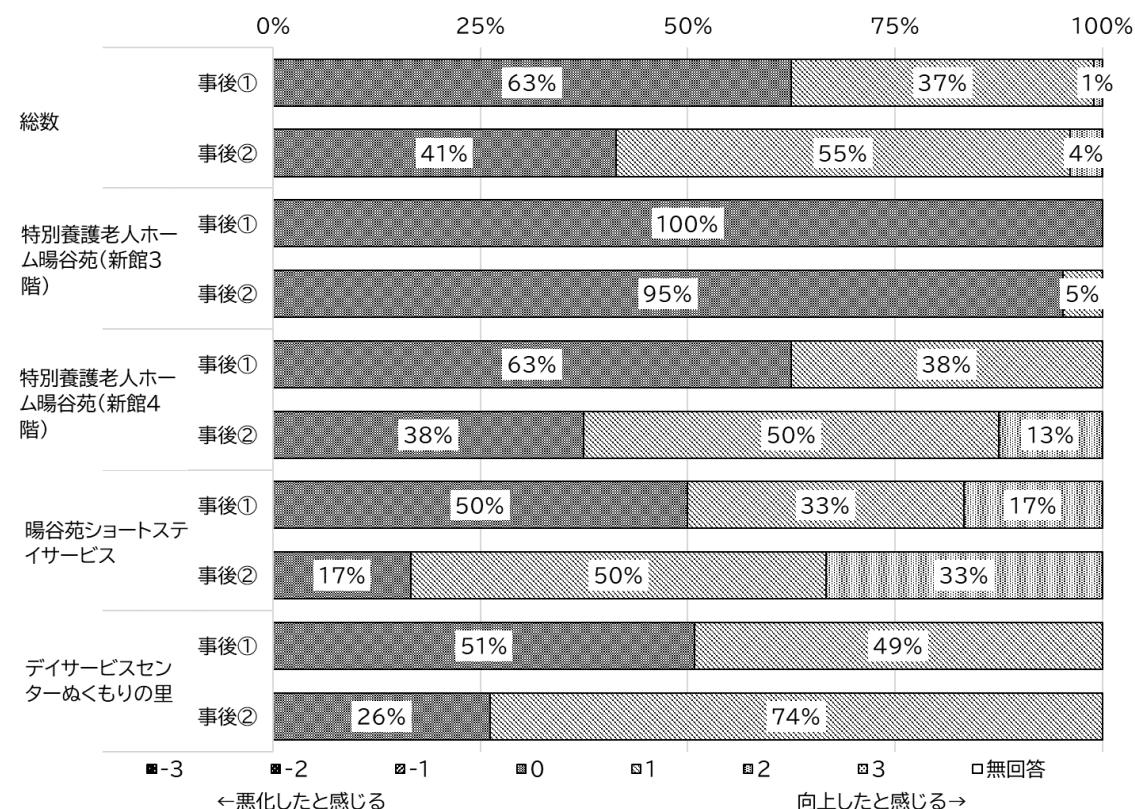
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(意思疎通の難しい利用者についての回答は職員が実施)。

⑪ 機器導入による、食事やレクリエーション・イベント以外の場面での他者との交流の変化

機器導入による、食事やレクリエーション・イベント以外の場面での他社との交流の変化については、いずれも総数において、事後①では「0(変化なし)」の回答が多く6割程度であったが、事後②では「1(向上したと感じる)」の回答が多く5~6割程度であった。

図表 IX-476 利用者調査:食事やレクリエーション・イベント以外の場面で、利用者が自ら進んで談話室に向かう頻度の変化

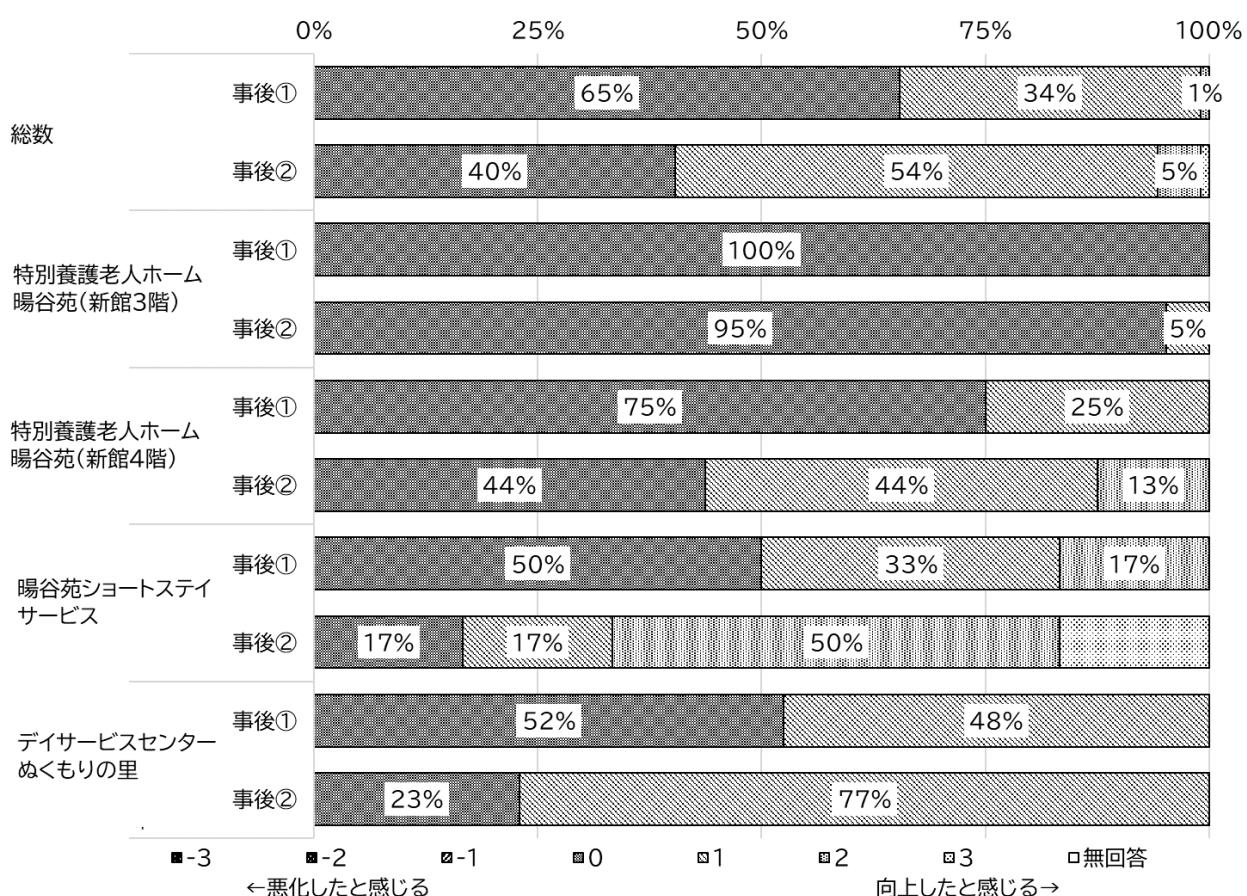
			←悪化したと感じる							↑向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
総数	事後①	人数(人)	0	0	0	65	38	1	0	0	0	104	
		割合	0%	0%	0%	63%	37%	1%	0%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後②	人数(人)	0	0	0	43	57	4	0	0	0	104	
		割合	0%	0%	0%	41%	55%	4%	0%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	0	0	0	21	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
陽谷苑ショートステイサービス	事後②	人数(人)	0	0	0	20	1	0	0	0	0	21	
		割合	0%	0%	0%	95%	5%	0%	0%	0%	0%	100%	
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	0	10	6	0	0	0	0	16	
		割合	0%	0%	0%	63%	38%	0%	0%	0%	0%	100%	
デイサービスセンターぬくもりの里	事後②	人数(人)	0	0	0	6	8	2	0	0	0	16	
		割合	0%	0%	0%	38%	50%	13%	0%	0%	0%	100%	



※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)~+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(意思疎通の難しい利用者についての回答は職員が実施)。

図表 IX-477 利用者調査:食事やレクリエーション・イベント以外の場面で、利用者が他者と交流する時間(談話室にいる時間等)の変化

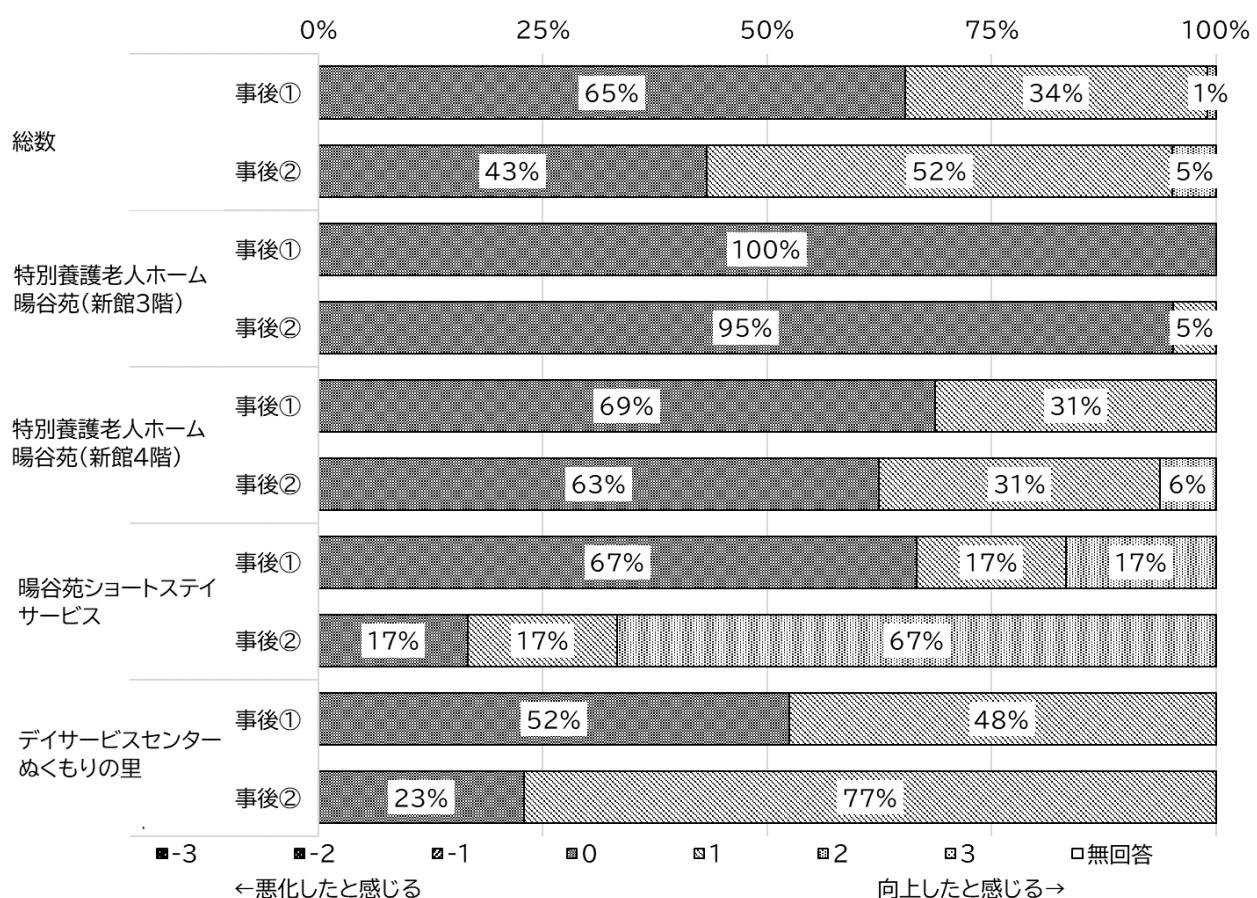
			←悪化したと感じる							向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	0	68	35	1	0	0	0	104	
		割合	0%	0%	0%	65%	34%	1%	0%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	0	0	0	21	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	12	4	0	0	0	0	16	
		割合	0%	0%	0%	75%	25%	0%	0%	0%	0%	100%	
陽谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人)	0	0	0	3	2	1	0	0	0	6	
		割合	0%	0%	0%	50%	33%	17%	0%	0%	0%	100%	
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	0	32	29	0	0	0	0	61	
		割合	0%	0%	0%	52%	48%	0%	0%	0%	0%	100%	
事後②	人数(人)	0	0	0	14	47	0	0	0	0	0	61	
		割合	0%	0%	0%	23%	77%	0%	0%	0%	0%	100%	



※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(意思疎通の難しい利用者についての回答は職員が実施)。

図表 IX-478 利用者調査:食事やレクリエーション・イベント以外の場面で、利用者との他者との交流回数の変化

			←悪化したと感じる							向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	0	68	35	1	0	0	0	104	
		割合	0%	0%	0%	65%	34%	1%	0%	0%	0%	100%	
施設全体	事後②	人数(人)	0	0	0	45	54	5	0	0	0	104	
		割合	0%	0%	0%	43%	52%	5%	0%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	0	0	0	21	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	11	5	0	0	0	0	16	
		割合	0%	0%	0%	69%	31%	0%	0%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人)	0	0	0	10	5	1	0	0	0	16	
		割合	0%	0%	0%	63%	31%	6%	0%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑ショートステイサービス	事後②	人数(人)	0	0	0	4	1	1	0	0	0	6	
		割合	0%	0%	0%	17%	17%	67%	0%	0%	0%	100%	
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	0	32	29	0	0	0	0	61	
		割合	0%	0%	0%	52%	48%	0%	0%	0%	0%	100%	
		人数(人)	0	0	0	14	47	0	0	0	0	61	
		割合	0%	0%	0%	23%	77%	0%	0%	0%	0%	100%	



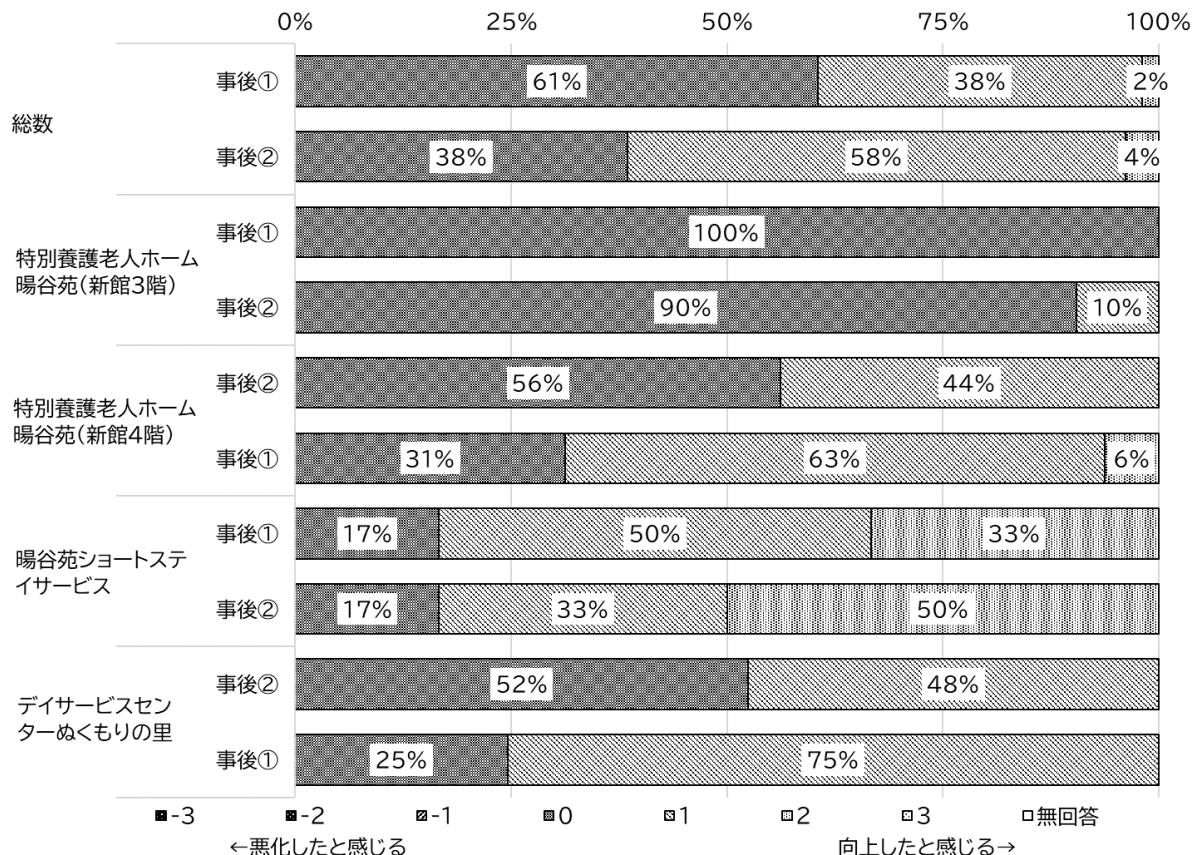
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(意思疎通の難しい利用者についての回答は職員が実施)。

⑫ 機器導入による社会参加の変化の総合的な評価

機器導入による社会参加の変化の総合的な評価については、総数において、事後①では「0(変化なし)」の回答が多く61%であったが、事後②では「1(向上したと感じる)」の回答が多く58%であった。

図表 IX-479 利用者調査:機器導入による社会参加の変化の総合的な評価

			←悪化したと感じる							↑向上したと感じる→		無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	0	63	39	2	0	0	0	104	
		割合	0%	0%	0%	61%	38%	2%	0%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	0	0	0	21	
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	19	2	0	0	0	0	21	
		割合	0%	0%	0%	90%	10%	0%	0%	0%	0%	100%	
陽谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人)	0	0	0	9	7	0	0	0	0	16	
		割合	0%	0%	0%	56%	44%	0%	0%	0%	0%	100%	
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	0	5	10	1	0	0	0	16	
		割合	0%	0%	0%	31%	63%	6%	0%	0%	0%	100%	



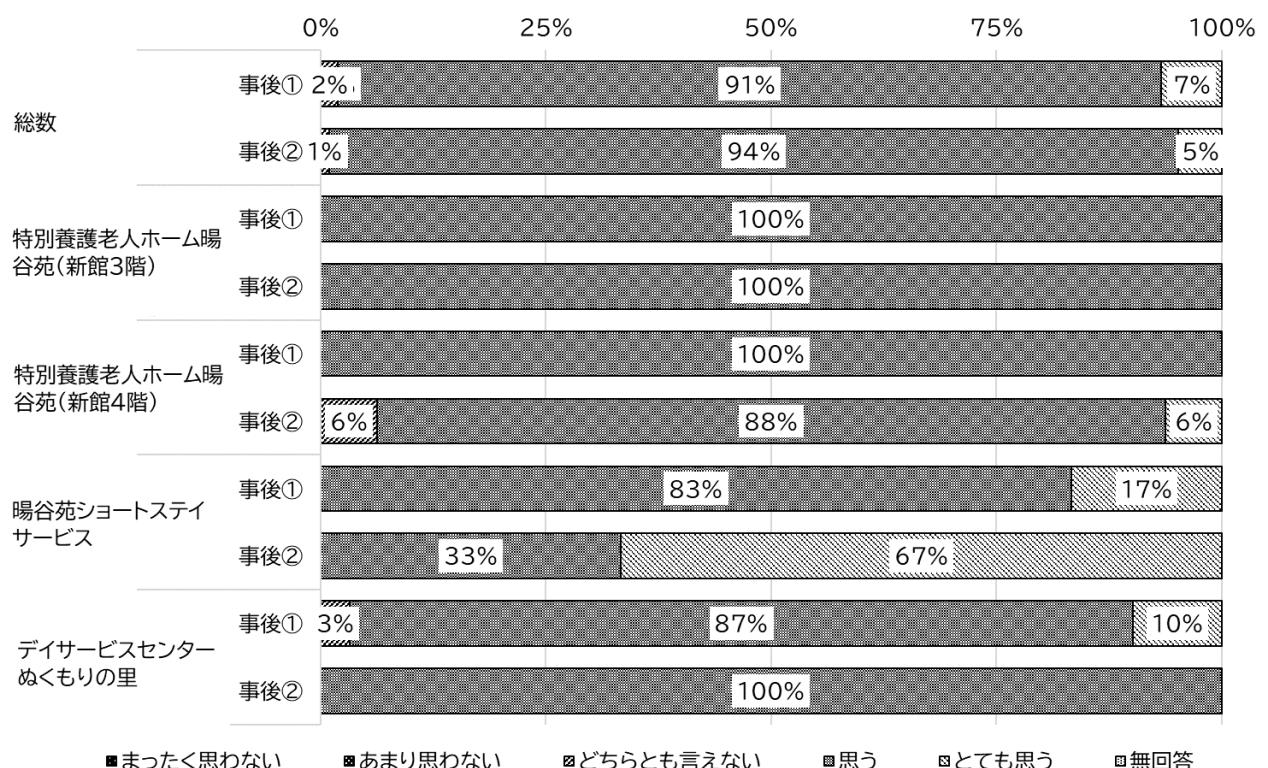
※質問項目に対し、-3(悪化したと感じる)～+3(向上したと感じる)の7段階で評価した(意思疎通の難しい利用者についての回答は職員が実施)。

⑬ 機器導入によるケア内容の変更

機器導入によるケア内容の変更については、総数でみると、事後①ではいずれの項目でも「思う」と回答した割合が最も高かった。事後②では、「機器導入により、日中の生活が充実する」以外の項目について、「思う」と回答した割合が最も高かった。

図表 IX-480 利用者調査:機器導入により、利用者の状況が可視化できる

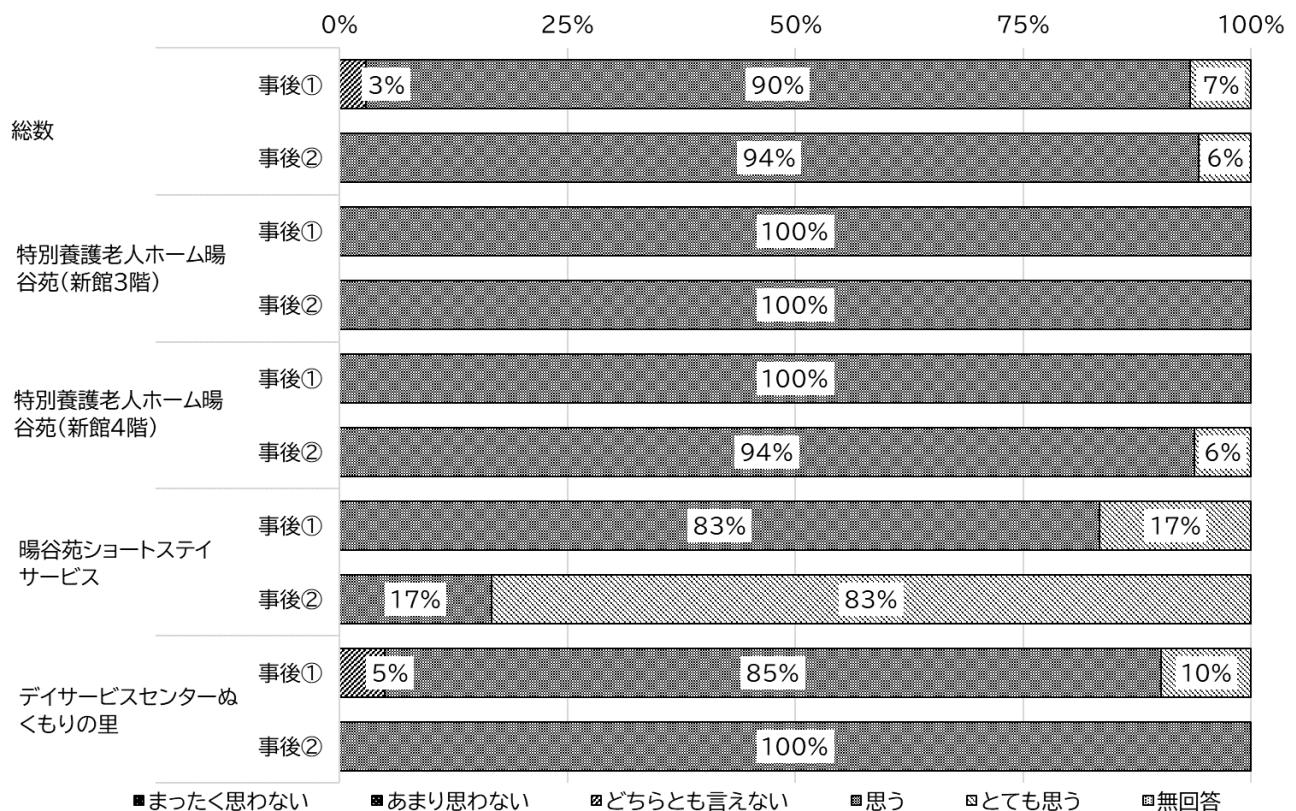
			まったく思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	思う	とても思う	無回答	合計
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	2	95	7	0	104
		割合	0%	0%	2%	91%	7%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後①	人数(人)	0	0	1	98	5	0	104
		割合	0%	0%	1%	94%	5%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	21
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
陽谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人)	0	0	0	16	0	0	16
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	1	14	1	0	16
		割合	0%	0%	6%	88%	6%	0%	100%



※質問項目に対し、1(全く思わない)～5(とても思う)の5段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-481 利用者調査:機器導入により、より適切なタイミングでケアが提供できる

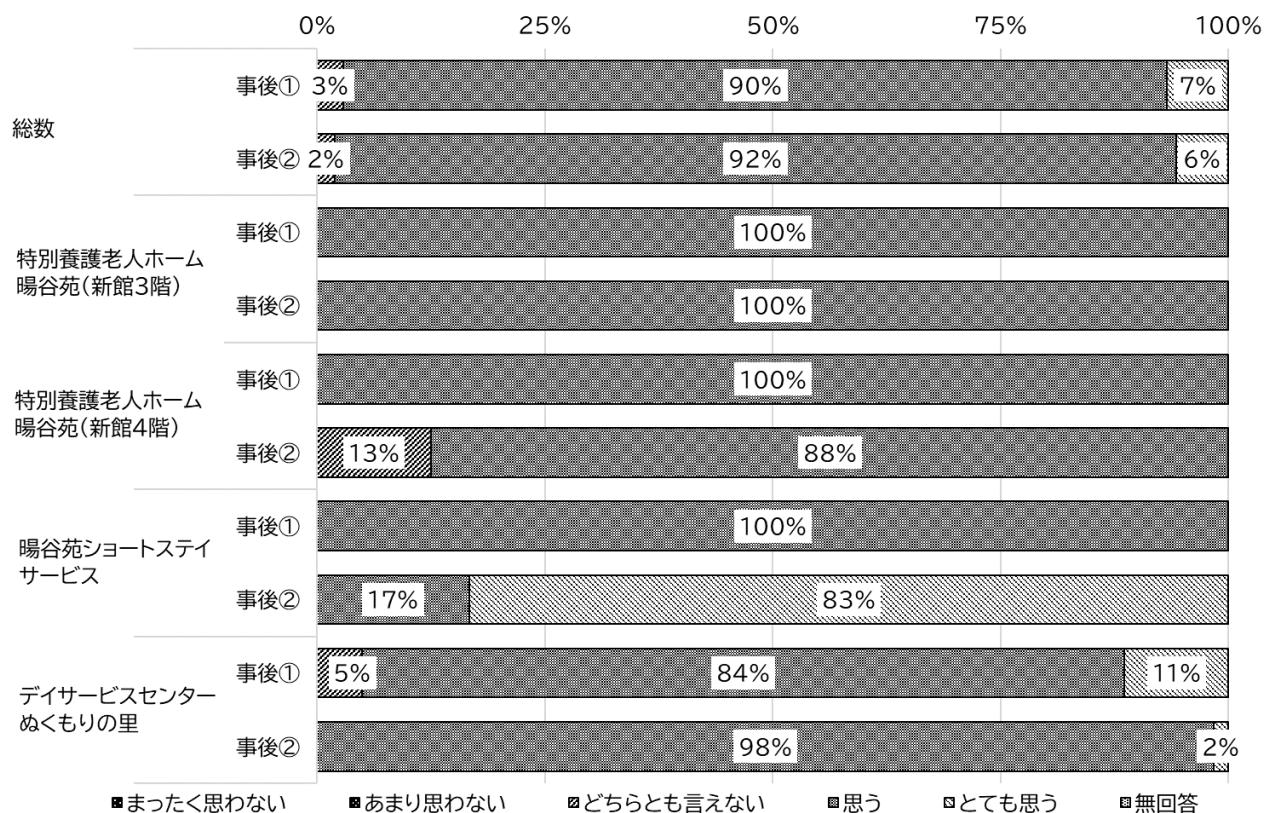
			まったく思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	思う	とても思う	無回答	合計
施設全体	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	3 3%	94 90%	7 7%	0 0%	104 100%
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	98 94%	6 6%	0 0%	104 100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	100 100%	0 0%	0 0%	21 100%
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	100 100%	0 0%	0 0%	21 100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	100 100%	0 0%	0 0%	16 100%
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	94 94%	6 6%	0 0%	16 100%
陽谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	83 83%	17 17%	0 0%	6 100%
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	17 17%	83 83%	0 0%	6 100%
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	3 5%	52 85%	6 10%	0 0%	61 100%
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	100 100%	0 0%	0 0%	61 100%



※質問項目に対し、1(全く思わない)～5(とても思う)の5段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-482 利用者調査:機器導入により、より適切な内容のケアが提供できる

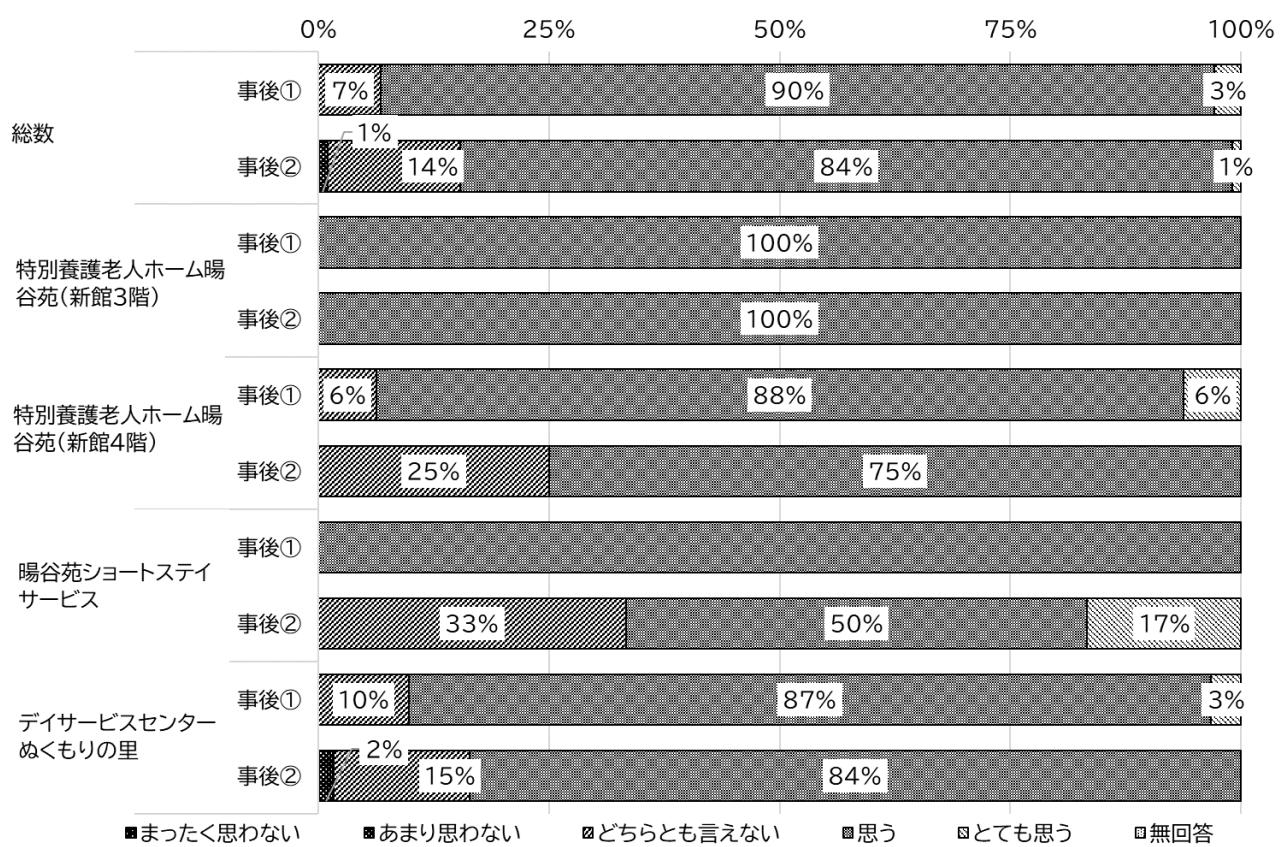
			まったく思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	思う	とても思う	無回答	合計
施設全体	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	3 3%	94 90%	7 7%	0 0%	104 100%
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	2 2%	96 92%	6 6%	0 0%	104 100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	21 100%	0 0%	0 0%	21 100%
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	21 100%	0 0%	0 0%	21 100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	16 100%	0 0%	0 0%	16 100%
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	2 13%	14 88%	0 0%	0 0%	16 100%
陽谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	6 100%	0 0%	0 0%	6 100%
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	1 17%	5 83%	0 0%	6 100%
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	3 5%	51 84%	7 11%	0 0%	61 100%
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	60 98%	1 2%	0 0%	61 100%



※質問項目に対し、1(全く思わない)～5(とても思う)の5段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-483 機器が取得したデータ等から、別なケアに活かすことができる

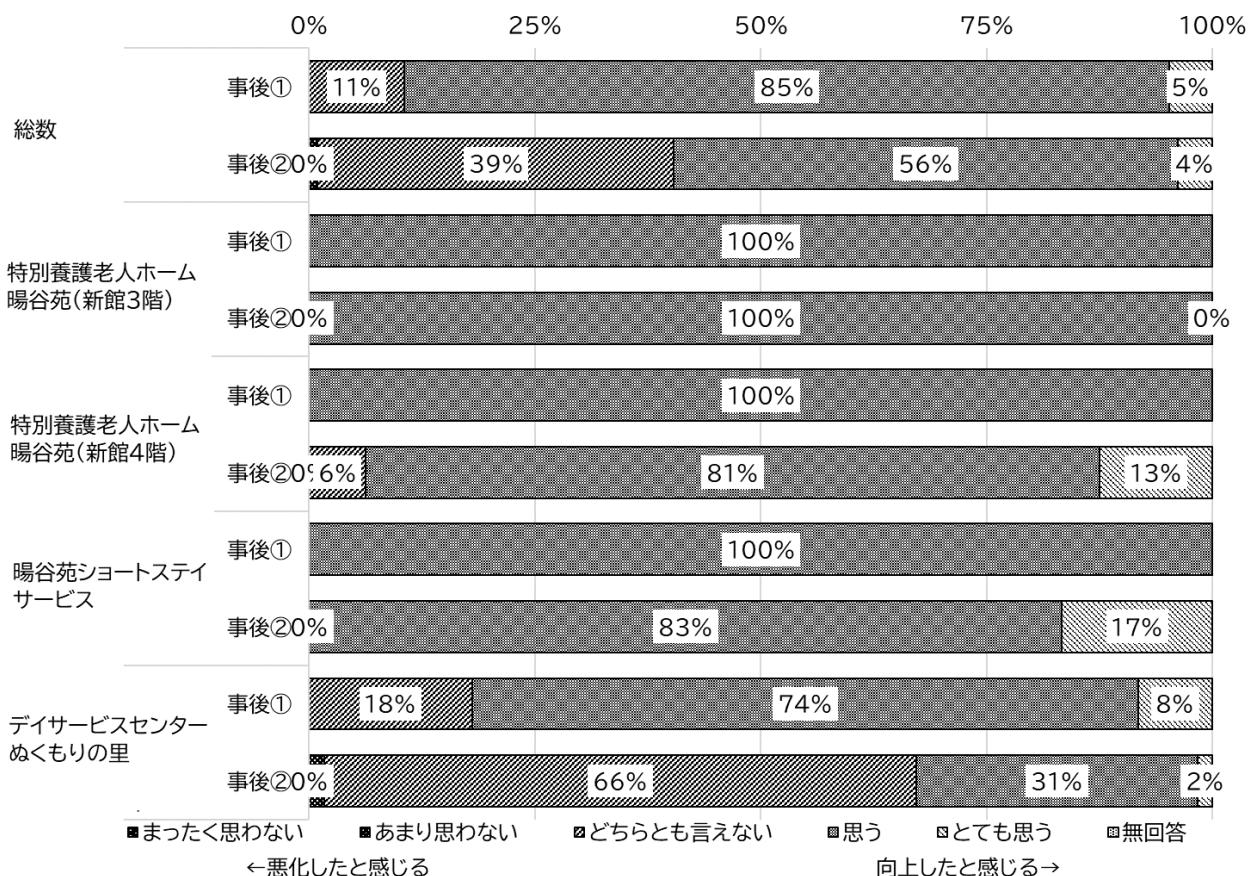
			まったく思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	思う	とても思う	無回答	合計
施設全体	事後①	人数(人)	0	0	7	94	3	0	104
		割合	0%	0%	7%	90%	3%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後②	人数(人)	0	1	15	87	1	0	104
		割合	0%	1%	14%	84%	1%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	21
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
陽谷苑ショートステイサービス	事後②	人数(人)	0	0	0	21	0	0	21
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	1	14	1	0	16
		割合	0%	0%	6%	88%	6%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	4	12	0	0	16
		割合	0%	0%	25%	75%	0%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	0	0	6	0	0	6
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	0	2	3	1	0	6
		割合	0%	0%	33%	50%	17%	0%	100%
	事後①	人数(人)	0	0	6	53	2	0	61
		割合	0%	0%	10%	87%	3%	0%	100%
	事後②	人数(人)	0	1	9	51	0	0	61
		割合	0%	2%	15%	84%	0%	0%	100%



※質問項目に対し、1(全く思わない)～5(とても思う)の5段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-484 利用者調査:機器により取得したデータ等を、ケア計画の策定・見直しに活かすことができる

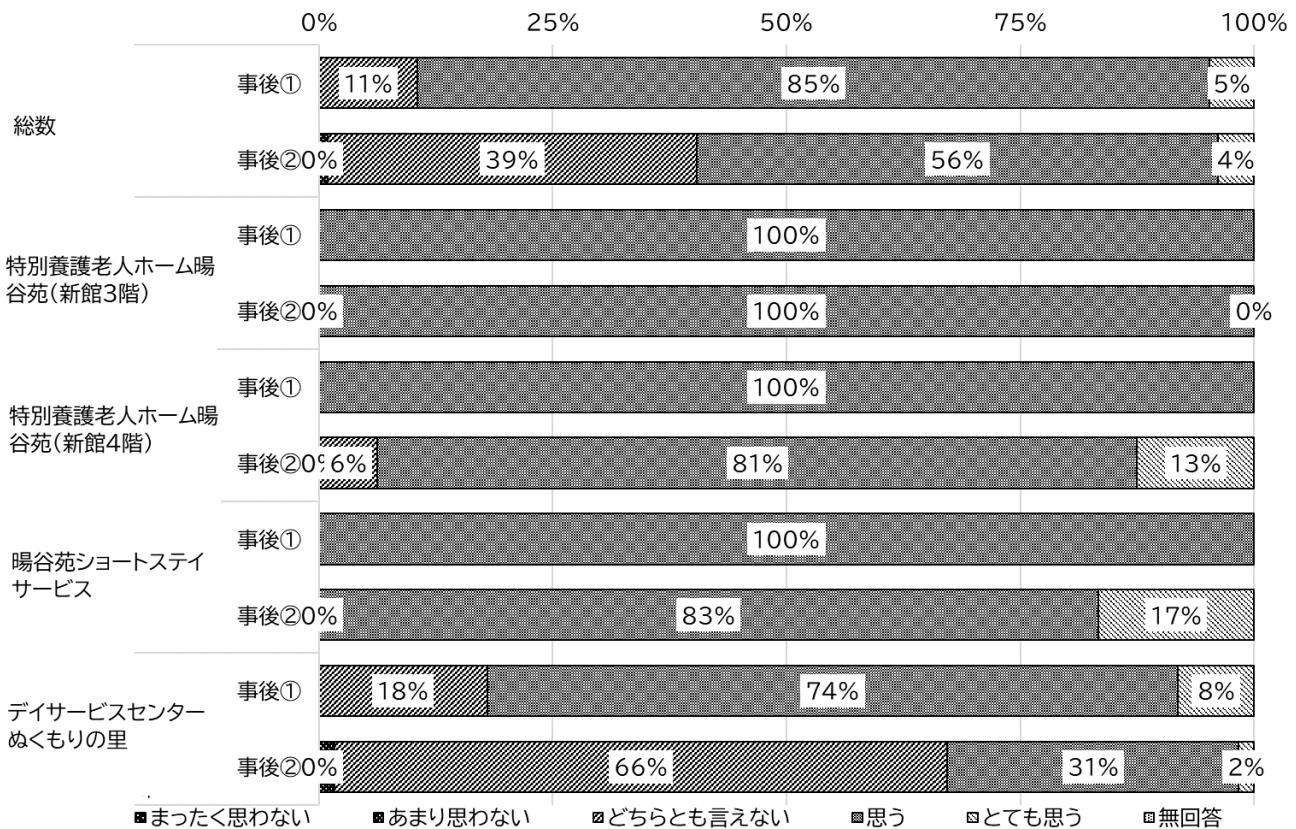
			まったく思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	思う	とても思う	無回答	合計
施設全体	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	11 11%	88 85%	5 5%	0 0%	104 100%
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	1 1%	41 39%	58 56%	4 4%	0 0%	104 100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	21 100%	0 0%	0 0%	21 100%
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	21 100%	0 0%	0 0%	21 100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	16 100%	0 0%	0 0%	16 100%
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	1 6%	13 81%	2 13%	0 0%	16 100%
陽谷苑ショートステイサービス	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	6 100%	0 0%	0 0%	6 100%
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	5 83%	1 17%	0 0%	6 100%
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	11 18%	45 74%	5 8%	0 0%	61 100%
	事後②	人数(人) 割合	0 0%	1 2%	40 66%	19 31%	1 2%	0 0%	61 100%



※質問項目に対し、1(全く思わない)～5(とても思う)の5段階で評価した(回答は職員が実施)。

図表 IX-485 利用者調査:機器導入により、日中の生活が充実する

			まったく思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	思う	とても思う	無回答	合計
総数	事後①	人数(人)	0	0	26	77	1	0	104
		割合	0%	0%	25%	74%	1%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館3階)	事後②	人数(人)	0	1	54	48	1	0	104
		割合	0%	1%	52%	46%	1%	0%	100%
特別養護老人ホーム陽谷苑(新館4階)	事後①	人数(人)	0	0	0	21	0	0	21
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
陽谷苑ショートステイサービス	事後②	人数(人)	0	0	0	21	0	0	21
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
デイサービスセンターぬくもりの里	事後①	人数(人)	0	0	0	16	0	0	16
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	4	12	0	0	0	16
		割合	0%	0%	25%	75%	0%	0%	100%
事後①	人数(人)	0	0	0	6	0	0	0	6
		割合	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	0	3	3	0	0	0	6
		割合	0%	0%	50%	50%	0%	0%	100%
事後①	人数(人)	0	0	26	34	1	0	0	61
		割合	0%	0%	43%	56%	2%	0%	100%
事後②	人数(人)	0	1	47	12	1	0	0	61
		割合	0%	2%	77%	20%	2%	0%	100%



※質問項目に対し、1(全く思わない)～5(とても思う)の5段階で評価した(回答は職員が実施)。

力. ヒアリング調査

実証完了後、実証フィールドへのヒアリング調査を実施した。調査結果の概要は以下の通り。

図表 IX-486 機器導入後の課題・対応

カテゴリ	主な意見
職員	<ul style="list-style-type: none"> 事後①調査時には見守り機器の端末の携帯忘れや、通知に気づけないことがあったが、事後②調査時には機器の使用に慣れ、通知が鳴ったらまずは端末を確認するようになった。 見守り機器導入前は2時間おきに巡回を行っていたが、導入後は見守り機器による確認に代替した。ただし、カメラ機能を導入しなかったフロアでは引き続き定期巡回を実施した。 インカムを活用した記録量や連絡の発話量には初めのうちは個人差があった。そのため、メーカーと連携してインカムの活用量を可視化し、活用量が少ない職員に対して活用を呼び掛けた。
利用者	<ul style="list-style-type: none"> 見守り機器(眠り SCAN eye)のカメラを気にする利用者がいたが機器について説明すれば納得していただけた。 職員がインカムで記録をする様子を不審がる利用者がいるため、施設・事業所の隅で使用する等の配慮が必要であった。 移乗支援機器の利用対象者は、当初6名を予定していたが、下肢の筋肉量や立ち上がりの安定性の面から2名にしか活用できなかった。 暁谷苑ショートステイサービスでは稼働率が事前調査の時期には8割程度であったが、事後①の時期にはほぼ満床、事後②の時期は約9割であった。事後①・事後②調査期間には排泄介助が必要になった利用者もいた。
施設	<ul style="list-style-type: none"> 現場 ICT 活用担当の職員が中心となり、インカムとタブレットで記録する事項の使い分けを整理した。 インカムの音声入力による記録のための発話の仕方をマニュアル化し、施設・事業所の壁に貼ることで職員が迷わず活用できるようにした。 インカムの使用に抵抗感のある職員にも活用してもらうため、発話内容に制限をかけず、自由に気楽にインカムで会話をする雰囲気を大切にした。 フロアを移動する際にインカムのネットワークが切れることがあった。ネットワークが切れることがあると職員が理解すれば対応できた。

図表 IX-487 事前調査実施後の委員会開催の概要

カテゴリ	主な意見
委員会の開催周期	<ul style="list-style-type: none"> (実証フィールド1～3)3か月に1回 (実証フィールド4)定期的な実施は無し
参加職種・役職	<ul style="list-style-type: none"> (実証フィールド1～3)理事長、事務員、相談員、フロアリーダー(3・4階)、ケアマネジャー (実証フィールド4)管理者、介護職員(1名)
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> (実証フィールド1～3)ICT 機器導入前後の業務を振り返り、変更できた点を確認した。夜間の定期巡回では1回あたり5～6分かかるが、機器による確認では1分程度で済み負担軽減につながると確認できた。また、インカム使用のためのスマートフォンの電池切れが頻回だったため、業務中に取り換えられるように端末を整備した。その他、ICT 導入の効率化により生じた余暇時間をどのように

カテゴリ	主な意見
	<p>活用していくかについて引き続き議論を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> (実証フィールド4)インカムの音声入力による記録のための発話の仕方をマニュアル作成について相談した。 (全フィールド)機器導入によって削減された時間の使い道として、機能訓練やレクリエーションを充実させることを意識することにした。機能訓練の計画を詳細に立て、実際に充実した機能訓練を実施できた。
検討結果の周知	<ul style="list-style-type: none"> (実証フィールド1~3)委員会での議論内容を紙媒体で整理・掲示した。 (実証フィールド4)職員の抵抗感は個人差があったが、約1か月使用すれば全職員が使いこなしていた。

図表 IX-488 実証目的に対する達成状況と今後の課題

カテゴリ	主な意見
職員	<ul style="list-style-type: none"> 見守り機器導入により巡回・移動時間が減少し、身体的負担や心理的負担が減少した。 見守り機器の通知が鳴った際、カメラ機能付きの場合にはまず映像を確認してから訪室の必要性を判断するようにしたため、カメラ機能を導入しなかったフロアよりもさらに夜間の業務負担が軽減された。 見守り機器の導入前は利用者が安全に休んでいるかを主な観点として訪室による巡回をこまめに行っていた。カメラ機能付きの見守り機器を導入した場合では、訪室する代わりに映像で様子を確認することで、退屈そうにしている利用者には適宜声掛けをし、コーヒーを飲みながらお話する等、利用者同士も利用者と職員間もコミュニケーションを多くとれるようになった。 もともと介護職員向けにインカムを導入していたが、看護職員、ケアマネジャー、事務職員等も装着したことでの各職種間の連携が促進された。以前は電話でフロアの情報を共有していたが、インカムの導入により連絡の時間が削減できた。 インカム導入により自分の業務と直接関係が無い連絡でも聞こえるため、ベラン職員のアドバイス等を共有でき、OJTにも有効であった。 移乗支援機器導入により、機器の利用準備のために時間はかかるようになっていると思われるが、しゃがむ必要がなくなり、腰の負担が軽減された。
利用者	<ul style="list-style-type: none"> 見守り機器導入により転落のヒヤリハット時に職員が迅速に対応できるようになり、事故を未然に防げるようになった。また、夜間巡回の訪室回数が減少し、睡眠の質が改善されたと感じる。 インカム導入によりケアをしながら記録できるようになったため、転倒防止などで職員が利用者を見守れるようになった。また、利用者の体調に関する情報を即時に記録・共有できるようになったことで、職員と利用者のコミュニケーションが改善された。 移乗支援機器を活用できた利用者では、移乗時に転落するのではないかと不安にされる様子が見られなくなった。 事前調査と事後①・事後②調査の介護記録の内容を振り返ると、利用者とのコミュニケーションが増えていた。利用者の要望に応えることに時間をかけられるようになったと考えられる。
施設	<ul style="list-style-type: none"> 見守り機器導入前は月に2~3件程度の転倒があったが、導入後は発生していない。 インカム導入により記録量が増え、利用者の状態を詳細に把握・共有できるよう

カテゴリ	主な意見
	<p>になった。職員の記録に対する意識が向上したと感じる。また、浴室等の利用状況を歩いて確認しに行く必要がなくなり、生産性向上につながったと感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT 機器を今後も活用するにあたって、ネットワーク環境の整備や定期的な点検が必要と感じている。

(13) 社会福祉法人暁谷福祉会「同意取得の電子化による居宅介護支援業務の効果測定」

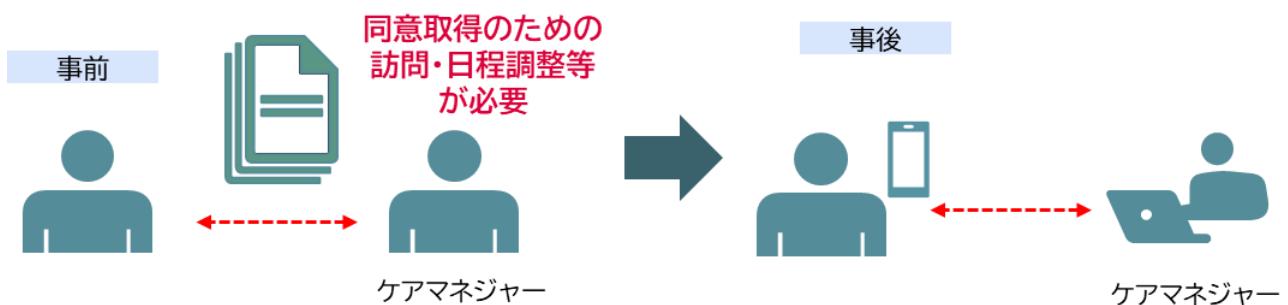
※社会福祉法人暁谷福祉会では、2つのテーマで1提案であったため、(12)(13)の2章に分けて実証結果を記載する。

ア. 実証の概要

① 実証目的

居宅介護支援事業所における実証では記録ソフト(CAREKARTE Live)の電子同意取得機能を用い、同意取得に関わる業務時間の削減を目的とした。

図表 IX-489 実証イメージ 同意取得の電子化による居宅介護支援業務の効果測定



② 実証フィールドの概要

本実証では以下の実証フィールドにて効果測定を実施した。

図表 IX-490 実証フィールドの概要

実証フィールド	法人名	施設名	備考
5	社会福祉法人 暁谷福祉会	ケアプランセンター暁谷苑	タイムスタディ調査は同意取得業務にかかる時間のみを対象として実施

③ 実証期間

調査の時期は以下の通りである。

図表 IX-491 調査の時期 同意取得の電子化による居宅介護支援業務の効果測定

調査	時期
事前調査	令和6年10月15日～10月31日(17日間)
事後調査	令和7年1月14日～1月30日(17日間)
ヒアリング調査	令和7年2月27日

④ 調査項目

同意取得の電子化による居宅介護支援業務の効果測定の調査では、実証の事前と事後で「タイムスタディ調査」、「職員アンケート調査」を実施し、実証終了後に「ヒアリング調査」を行った。以下に各調査の概要を記載する。

図表 IX-492 各調査の概要_同意取得の電子化による居宅介護支援業務の効果測定

調査名	調査対象者	調査概要
タイムスタディ調査 (独自項目)	介護支援専門員4名	<ul style="list-style-type: none"> 回答方法:自記式(1分刻みで自身が実施した作業項目を記入) 調査スケジュール:事前(機器導入前)1回、事後(機器導入後)1回、それぞれ17日間実施
職員向けアンケート調査 (全テーマ共通)	介護支援専門員4名	<ul style="list-style-type: none"> 回答方法:自記式(WEB回答) 調査スケジュール:事前と事後実証期間中それぞれについて、1名につき1回のみ回答
ヒアリング調査 (全テーマ共通)	実証フィールドの管理者	<ul style="list-style-type: none"> 調査方法:WEB会議による聞き取り 調査スケジュール:実証終了後に1回実施

⑤ 独自項目

本調査では「タイムスタディ調査」のみ本テーマ独自項目で実施した。以下に調査項目を示す。なお、事前と事後調査の調査項目は共通とした。

図表 IX-493 タイムスタディ調査項目

大分類	小分類	項目
利用者の同意取得に関する基本情報	同意取得のパターン	ケアプランの新規作成
		ケアプランの更新
		区分変更の確認
		サービス内容変更の確認
		サービス利用票の確認
	同意取得方法	電子
		対面
		郵送
		その他
同意取得に関わる業務時間	—	日程調整や連絡
		移動、待機
		同意取得(ケアプランの説明も含む)
		その他

イ. 職員概要

本調査の対象職員は、1事業所の介護支援専門員4名であり、回答者が特定される可能性がある基本情報については掲載しない。

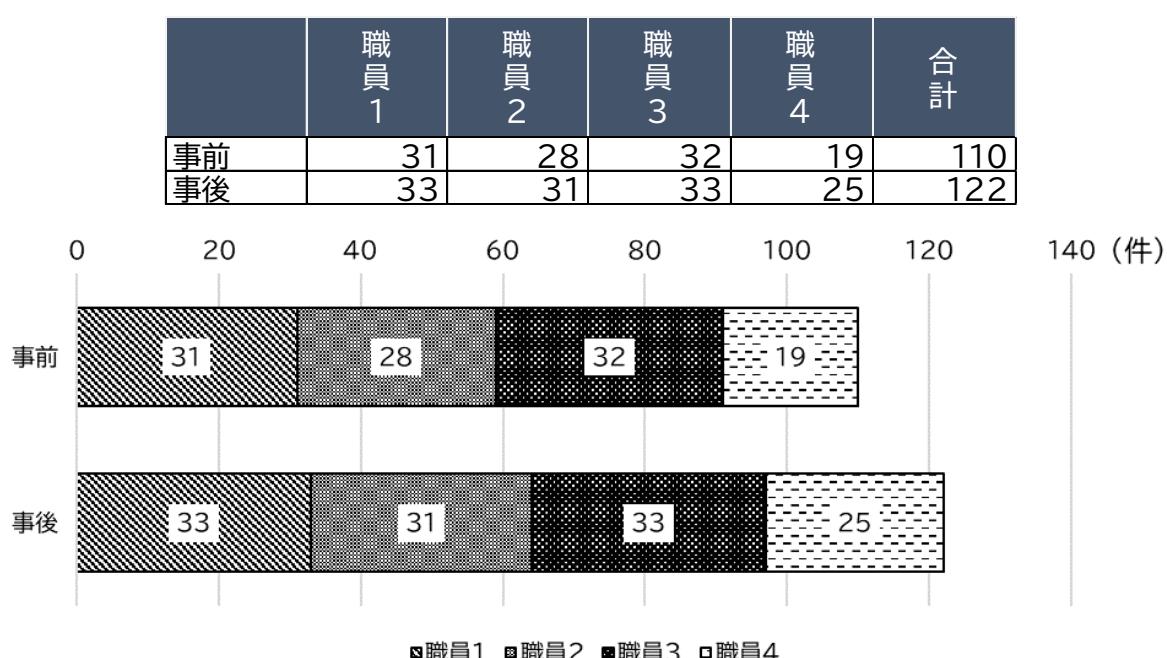
ウ. タイムスタディ調査結果

本調査におけるタイムスタディ調査は前述の通り独自項目によって実施した。独自項目による調査結果を以下に示す。

① 同意取得の件数

各職員が実施した同意取得の件数は事前と事後で大きな変化はなかった。

図表 IX-494 同意取得の件数の変化

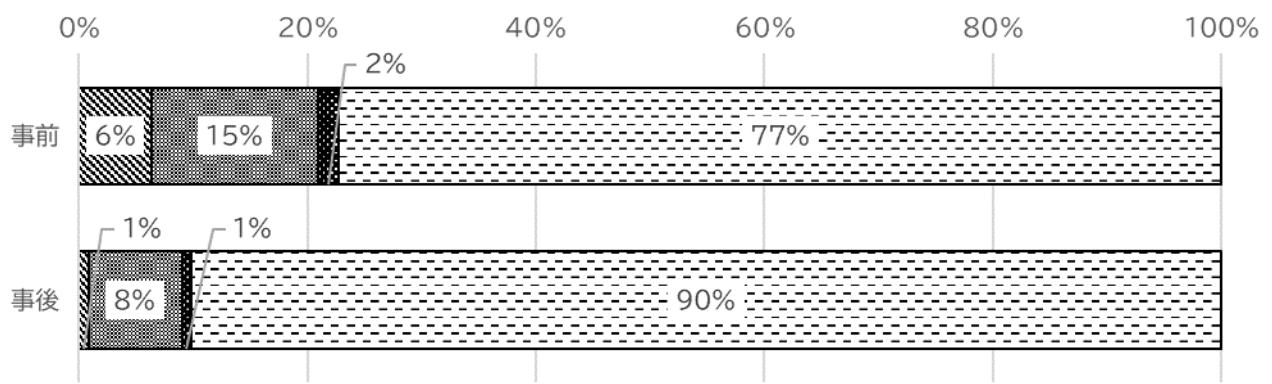


② 同意取得のパターン

同意取得のパターンを比較すると、事前と事後のいずれも「サービス利用票の確認」が最も多かった。

図表 IX-495 同意取得のパターン

		ケア 規 作 成 ラ ン の 新	ケア ア プ ラ ン の 更	区 分 変 更 の 確 認	サ ー ビ ス 更 の 確 認	サ ー ビ ス 内 容 変	サ ー ビ ス 確 認 利 用 票	合 計
事前	件数	7	16	0	2	85	110	
	割合	6%	15%	0%	2%	77%	100%	
事後	件数	1	10	0	1	110	122	
	割合	1%	8%	0%	1%	90%	100%	



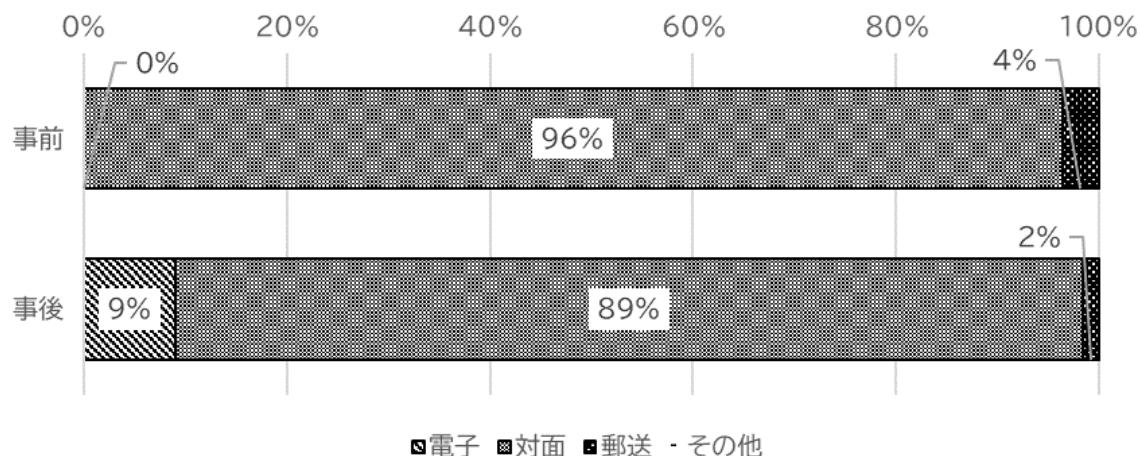
■ケアプランの新規作成 ■ケアプランの更新 ■区分変更の確認 ■サービス内容変更の確認 □サービス利用票の確認

③ 同意取得方法の変化

同意取得方法について事前と比較すると、事後では11件(9%)が電子化された。

図表 IX-496 同意取得方法の変化

		電子	対面	郵送	その他	合計
事前	件数	0	106	4	0	110
	割合	0%	96%	4%	0%	100%
事後	件数	11	109	2	0	122
	割合	9%	89%	2%	0%	100%

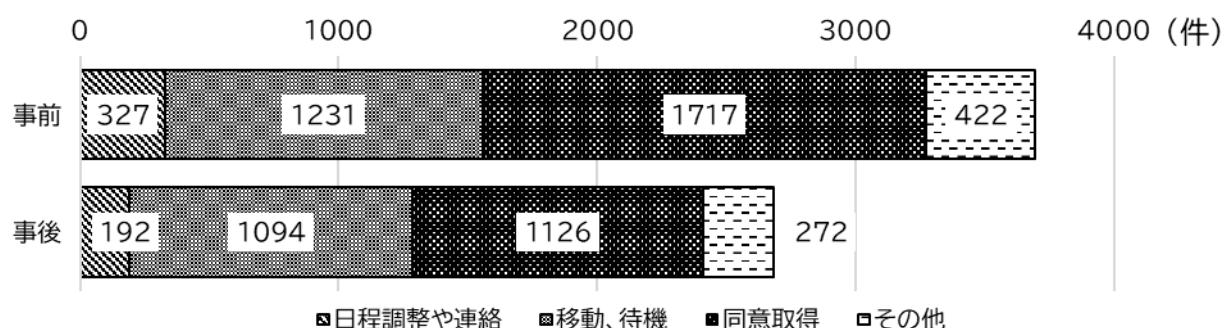


④ 同意取得にかかった時間の変化

調査期間中の同意取得にかかった時間は「日程調整や連絡」「移動、待機」「同意取得」「その他」のいずれも事前から事後にかけて減少した。

図表 IX-497 同意取得にかかった時間の変化(分)

		日 程 調 整 や 連 絡	移 動 、 待 機	同 意 取 得	そ の 他	合 計
事前	分	327	1231	1717	422	3697
	割合	9%	33%	46%	11%	100%
事後	分	192	1094	1126	272	2684
	割合	7%	41%	42%	10%	100%

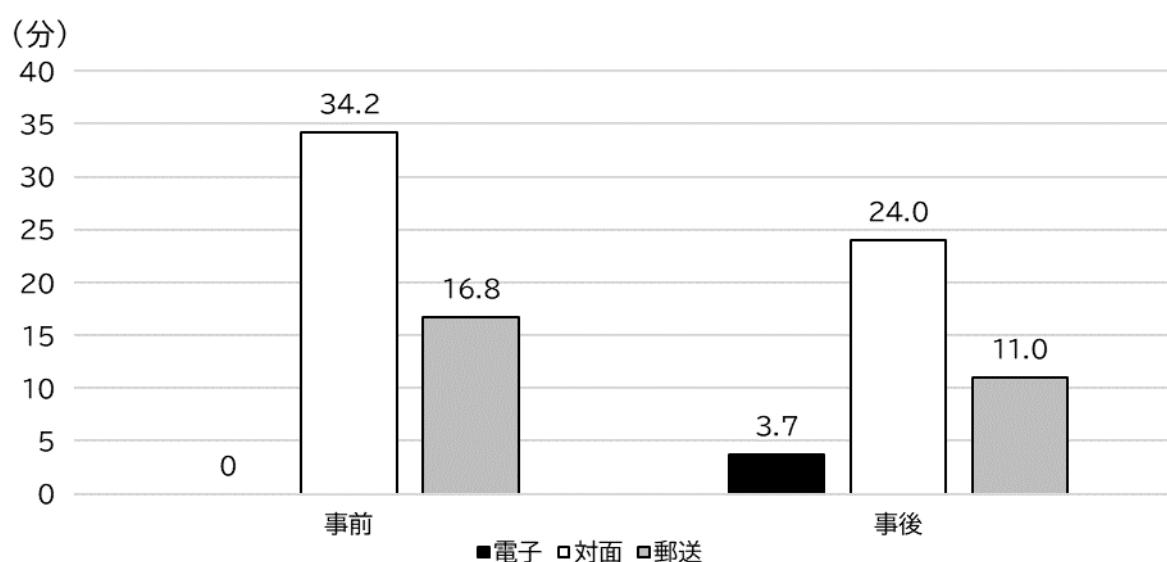


⑤ 同意取得1件当たりにかかる時間の変化

同意取得1件当たりにかかった時間を事前と事後で比較すると、対面や郵送による同意取得にかかる時間も事前から事後にかけて減少した。

図表 IX-498 同意取得1件当たりにかかる時間の変化

	電子	対面	郵送	その他
事前	-	34.2	16.8	-
事後	3.7	24.0	11.0	-



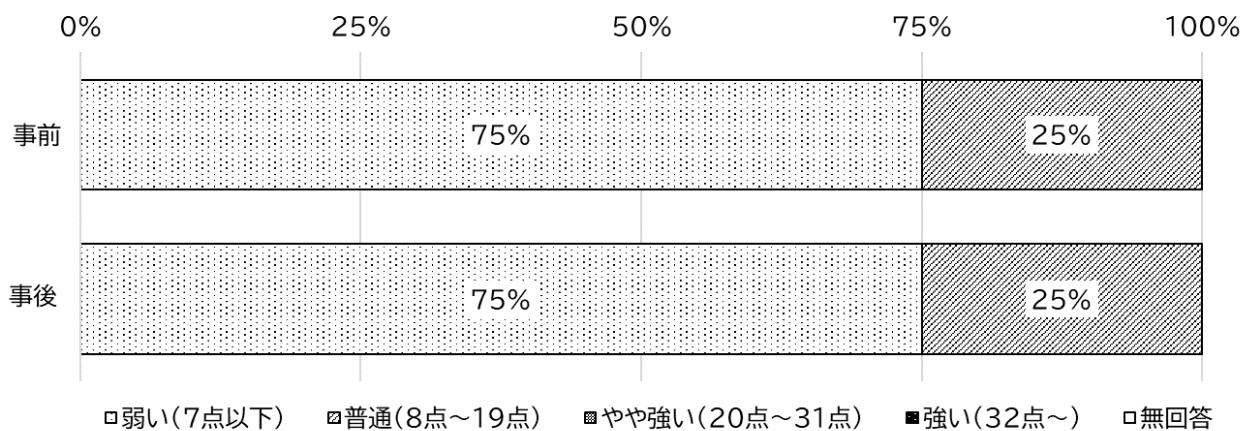
工. 職員向けアンケート調査

① 心理的負担評価

職員の心理的ストレス反応測定尺度合計点については事前と事後で変化はなく、「弱い(7点以下)」と回答した職員の割合が75%であった。

図表 IX-499 職員調査:心理的負担評価

		7点以下	8点～19点	20点～31点	32点～	無回答	合計
事前	人数(人)	3	1	0	0	0	4
	割合	75%	25%	0%	0%	0%	100%
事後	人数(人)	3	1	0	0	0	4
	割合	75%	25%	0%	0%	0%	100%



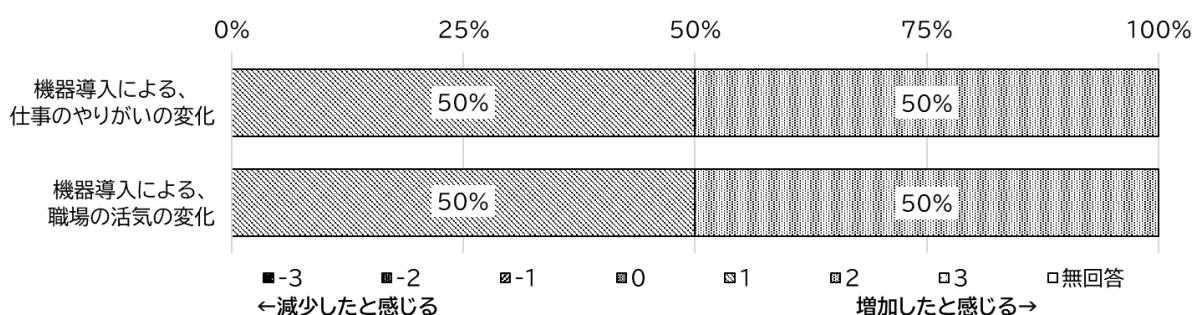
※心理的負担評価(SRS-18)は、18 項目からなる個人の心理的ストレス反応を評価する尺度。各項目について「全くちがう(0点)」～「その通りだ(3点)」で評価する。合計点が0～7点を「弱い」、8～19 点を「普通」、20～31 点を「やや強い」、32 点以上を「強い」と評価した。事前調査および事後調査ともに回答のあった職員のみを集計対象とした。事前調査または事後調査①・②で、各 18 項目のうち 1 項目でも無回答がある職員はすべて無回答とした。また、各項目の回答が 0、1、2、3 以外の場合は無回答処理をした。

② 機器導入によるモチベーションの変化

「機器導入による、仕事のやりがいの変化」「機器導入による、職場の活気の変化」のいずれにおいても、すべての職員が「増加したと感じる」と回答した。

図表 IX-500 職員調査:機器導入によるモチベーションの変化

			←減少したと感じる 増加したと感じる→							無回答	合計
			-3	-2	-1	0	1	2	3		
機器導入による、仕事のやりがいの変化	事後	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	4
機器導入による、職場の活気の変化	事後	人数(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 50%	2 50%	0 0%	0 0%	4



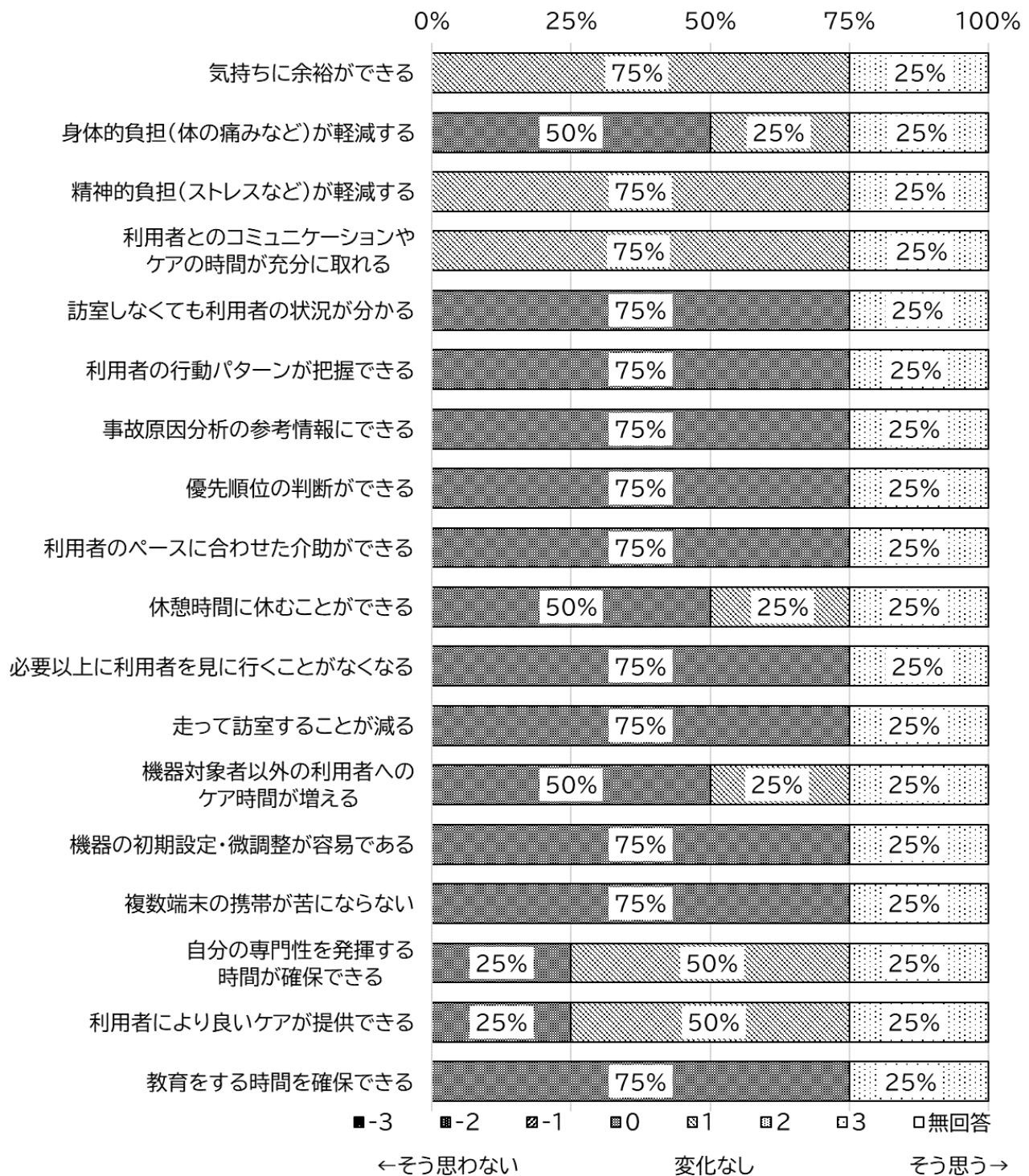
※質問項目に対し、-3(減少したと感じる)～+3(増加したと感じる)の 7 段階で評価した。

③ 機器導入による職員や施設業務の変化

機器導入による職員や施設業務の変化では、「気持ちに余裕ができる」「精神的負担(ストレスなど)が軽減する」「利用者とのコミュニケーションやケアの時間が十分に取れる」に対して「そう思う」と回答した割合が最も高く、「1~3」の回答の合計で100%であった。

図表 IX-501 職員調査:機器導入による職員や施設業務の変化

			変化なし							無回答	合計		
			←そう思わない			そう思う→							
			-3	-2	-1	0	1	2	3				
気持ちに余裕ができる	事後	人数(人)	0	0	0	0	3	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	0%	75%	0%	25%	0%	100%		
身体的負担(体の痛みなど)が軽減する	事後	人数(人)	0	0	0	2	1	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	50%	25%	0%	25%	0%	100%		
精神的負担(ストレスなど)が軽減する	事後	人数(人)	0	0	0	0	3	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	0%	75%	0%	25%	0%	100%		
利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れる	事後	人数(人)	0	0	0	0	3	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	0%	75%	0%	25%	0%	100%		
訪室しなくても利用者の状況が分かる(即時性)	事後	人数(人)	0	0	0	3	0	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	75%	0%	0%	25%	0%	100%		
利用者の行動パターンが把握できる	事後	人数(人)	0	0	0	3	0	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	75%	0%	0%	25%	0%	100%		
事故原因分析の参考情報にできる	事後	人数(人)	0	0	0	3	0	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	75%	0%	0%	25%	0%	100%		
優先順位の判断ができる(同時コールの発生、他の利用者の介護中)	事後	人数(人)	0	0	0	3	0	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	75%	0%	0%	25%	0%	100%		
利用者のペースに合わせた介助ができる	事後	人数(人)	0	0	0	3	0	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	75%	0%	0%	25%	0%	100%		
休憩時間に休むことができる	事後	人数(人)	0	0	0	2	1	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	50%	25%	0%	25%	0%	100%		
必要以上に利用者を見に行くことがなくなる	事後	人数(人)	0	0	0	3	0	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	75%	0%	0%	25%	0%	100%		
走って訪室することが減る	事後	人数(人)	0	0	0	3	0	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	75%	0%	0%	25%	0%	100%		
機器対象者以外の利用者へのケア時間が増える	事後	人数(人)	0	0	0	2	1	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	50%	25%	0%	25%	0%	100%		
機器の初期設定・微調整が容易である	事後	人数(人)	0	0	0	3	0	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	75%	0%	0%	25%	0%	100%		
複数端末の携帯が苦にならない	事後	人数(人)	0	0	0	3	0	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	75%	0%	0%	25%	0%	100%		
自分の専門性を発揮する時間が確保できる	事後	人数(人)	0	0	0	1	2	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	25%	50%	0%	25%	0%	100%		
利用者により良いケアが提供できる	事後	人数(人)	0	0	0	1	2	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	25%	50%	0%	25%	0%	100%		
教育をする(教育をうける)時間を確保できる	事後	人数(人)	0	0	0	3	0	0	1	0	4		
		割合	0%	0%	0%	75%	0%	0%	25%	0%	100%		

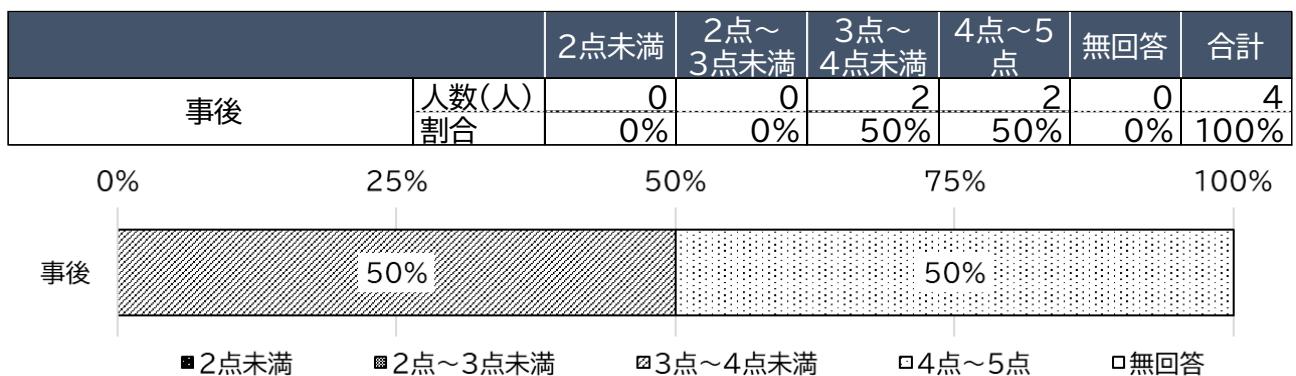


※質問項目に対し、-3(そう思わない)～+3(そう思う)の7段階で評価した。

④ 導入機器の満足度評価 ※出典:QUEST 福祉用具満足度評価

導入機器の満足度については、「3点～4点未満」と「4点～5点」が半数ずつであった。

図表 IX-502 職員調査:導入機器の満足度評価



⑤ 導入機器の満足度評価 機器の継続利用意向

導入機器の継続利用意向については「はい」の回答が100%であった。

図表 IX-503 職員調査:導入機器の満足度評価 機器の継続利用意向



⑥ 職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間

職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間としては「利用者とのコミュニケーション」「記録・文書作成・連絡調整等」「休憩・待機」と回答した職員が多く、3名ずつであった。

図表 IX-504 職員調査:職員間の適切な役割分担(タスク・シフト／シェア)により増やすことができた時間

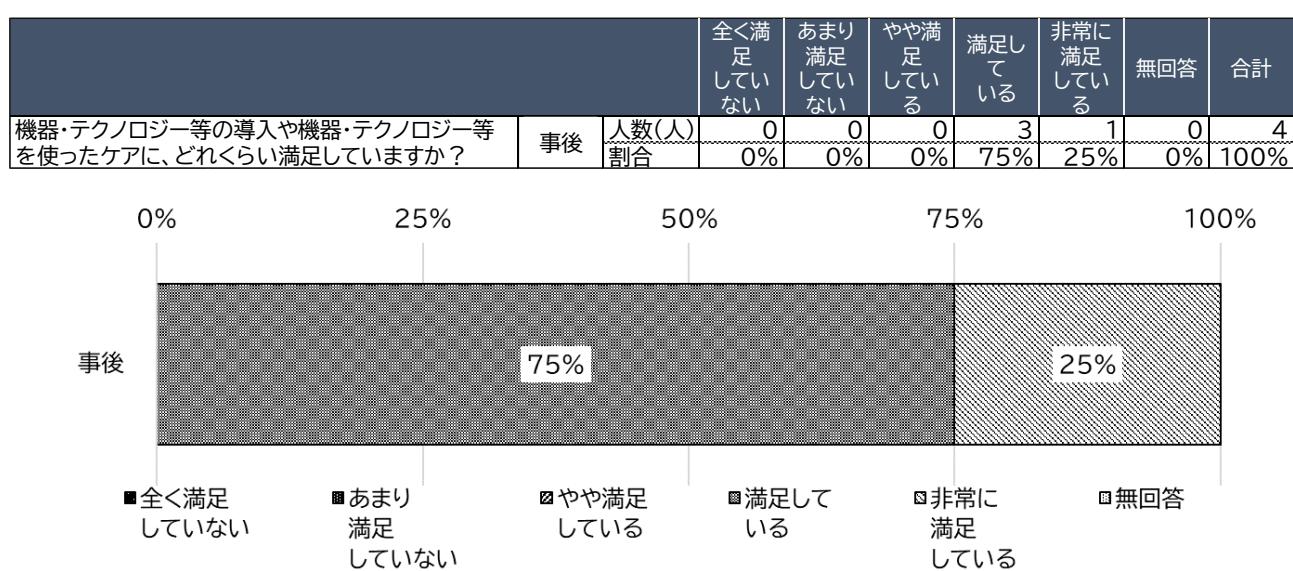
		直接介護								間接業務				休憩		合計（人）				
		移動・移乗・体位変換	排泄介助・支援	生活自立支援	行動上の問題への対応	食事支援	入浴・整容・更衣	コミュニケーション	利用者とのコミュニケーション	その他の直接介護	利用者の見守り	記録・文書作成・連絡調整等	介護計画情報の作成・見直し	利用者のアセスメント・見直し	他の職員に対する指導・教育	その他の間接業務	休憩・待機	仮眠	その他	
事後	人数(人)	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	3	1	0	0	0	3	0	0	4
	割合	0%	0%	25%	0%	0%	0%	75%	0%	0%	75%	25%	0%	0%	0%	75%	0%	0%	-	

※該当する項目をすべて選択する設問。

⑦ 満足度評価

本調査で導入した機器を用いたケアに対する満足度については、「満足している」と回答した割合が高く、75%であった。

図表 IX-505 職員調査:満足度評価



※質問項目に対し、1(全く満足していない)～5(非常に満足している)の5段階で評価した。

オ. ヒアリング調査

実証完了後、実証フィールドへのヒアリング調査を実施した。調査結果の概要は以下の通り。

図表 IX-506 事後調査時の状況

カテゴリ	主な意見
職員について	<ul style="list-style-type: none"> 運用としては、事前にご家族にQRコードをお渡しして登録いただき、同意が必要な書類を送る際は、事前に電話で連絡した後に電子送付していた。利用者のモニタリングは、直接訪問して実施している。 職員も初めてのことに対する不安はあったが、時間や手間の削減効果を実感でき、スムーズに導入できた。 電子同意システムの導入の周知やシステムを使用する中での相談は、朝礼や終礼の中で適宜実施した。
利用者(ご家族)について	<ul style="list-style-type: none"> 同意取得を電子化する方は事業所として事前に選定し(利用者自身による同意取得に認知面等で課題があり、ご家族が県外在住などで直接お会いできない方等)、直接の同意取得が難しい方とした。実際に電子同意システムを操作いただいたのは、利用者ではなくご家族であった。 ケアカルテのマニュアルをご家族に配布する準備が必要であった。マニュアルがあることにより、ご家族も問題なく対応できた。 ご家族からは、電子同意の効率性に納得していただく声が多く聞かれた。
施設として	<ul style="list-style-type: none"> 事後調査において、同意取得にかかる時間を全体的に時間削減できたのは、サービス利用票についての同意取得の割合が増え、ケアプランの新規作成や更新が少なかったためと考えられる。サービス利用票の同意取得業務ではサービス事業所とのやり取りが少ない。

図表 IX-507 実証目的に対する達成状況と今後の課題

カテゴリ	主な意見
職員の観点	<ul style="list-style-type: none"> 間接業務の時間を削減し、利用者とのコミュニケーションやケアプラン作成、また、サービス付き高齢者向け住宅に直接訪問して担当者と相談するなど、他業務に時間を充てることができた。 たとえ1,2名でも訪問せずに同意がとれることは、非常に有意義であり、移動時間や郵送の手間の削減効果を実感している。
利用者の観点	<ul style="list-style-type: none"> パソコンの不具合など、利用者・家族に迷惑をかけることを懸念していたが、実際にはトラブルは生じなかった。
施設の観点	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、電子同意の利用者を増やしていきたい。平時の同意は電子同意で対応できるが、利用者の状態の変化に応じて、対面で相談・説明するなど、個別に対応していく必要がある。

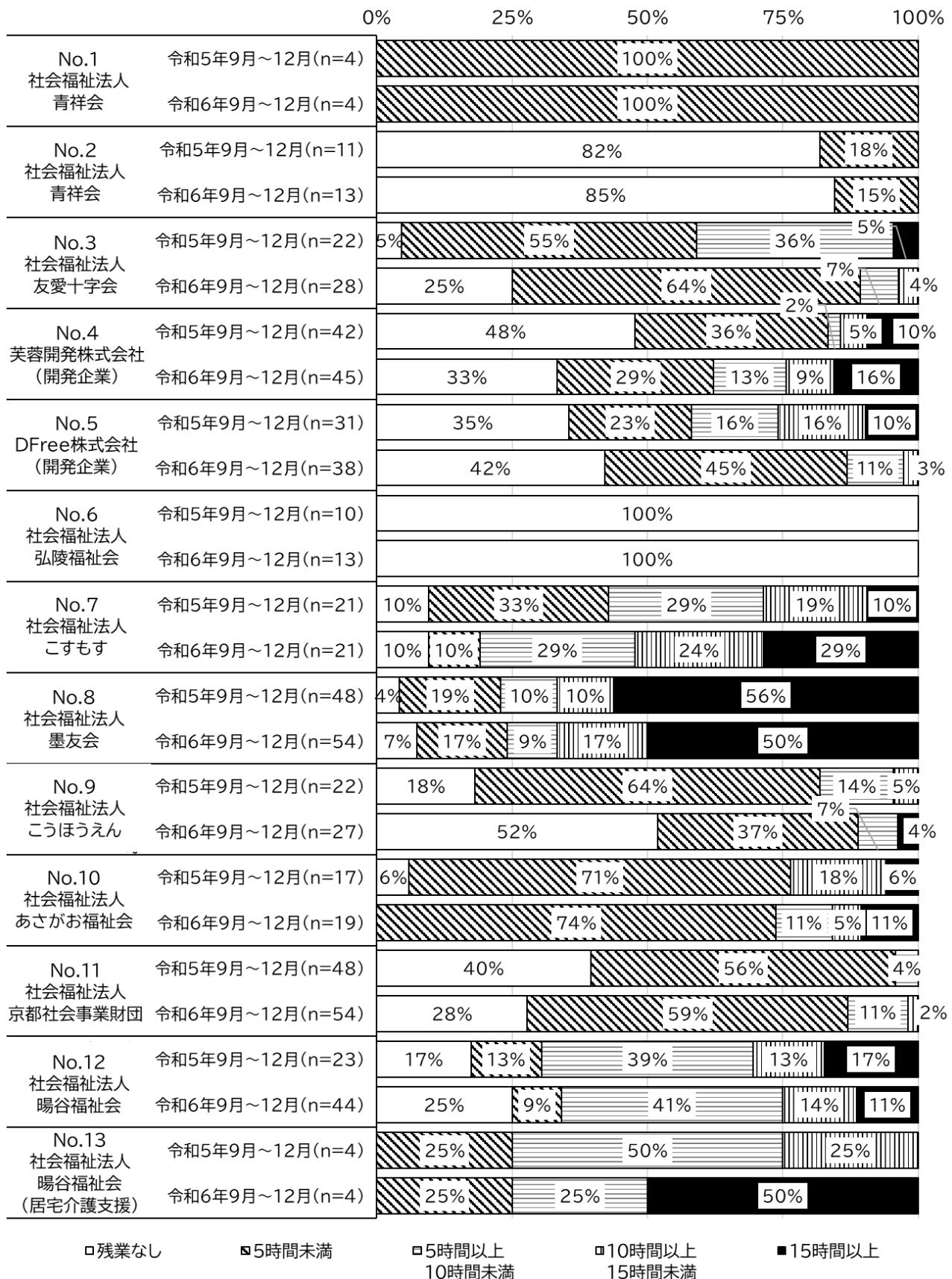
3. 業務時間等調査

(1) 労働時間の変化

労働時間の変化について、採択提案別の結果は以下の通り。

図表 IX-508 労働時間の変化(提案者別)

採択No.	提案者(法人名)	実証フィールド全体	残業なし	5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 15時間未満	15時間以上	平均時間
1	社会福祉法人 青祥会	令和5年9月～12月(n=4)	人数(人) 割合	0 0%	4 100%	0 0%	0 0%	0 0%
		令和6年9月～12月(n=4)	人数(人) 割合	0 0%	4 100%	0 0%	0 0%	3.80
2	社会福祉法人 青祥会	令和5年9月～12月(n=11)	人数(人) 割合	9 82%	2 18%	0 0%	0 0%	0.07
		令和6年9月～12月(n=13)	人数(人) 割合	11 85%	2 15%	0 0%	0 0%	0.06
3	社会福祉法人 友愛十字会	令和5年9月～12月(n=22)	人数(人) 割合	1 5%	12 55%	8 36%	0 0%	4.61
		令和6年9月～12月(n=28)	人数(人) 割合	7 25%	18 64%	2 7%	1 4%	1.80
4	芙蓉開発株式会社 (開発企業)	令和5年9月～12月(n=42)	人数(人) 割合	20 48%	15 36%	1 2%	2 5%	3.60
		令和6年9月～12月(n=45)	人数(人) 割合	15 33%	13 29%	6 13%	4 9%	6.70
5	DFree株式会社 (開発企業)	令和5年9月～12月(n=31)	人数(人) 割合	11 35%	7 23%	5 16%	3 16%	7.41
		令和6年9月～12月(n=38)	人数(人) 割合	16 42%	17 45%	4 11%	1 3%	2.18
6	社会福祉法人 弘陵福祉会	令和5年9月～12月(n=10)	人数(人) 割合	10 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0.00
		令和6年9月～12月(n=13)	人数(人) 割合	13 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0.00
7	社会福祉法人 こすもす	令和5年9月～12月(n=21)	人数(人) 割合	2 10%	7 33%	6 29%	4 19%	6.76
		令和6年9月～12月(n=21)	人数(人) 割合	2 10%	2 10%	6 29%	5 24%	58.77
8	社会福祉法人 墨友会	令和5年9月～12月(n=48)	人数(人) 割合	2 4%	9 19%	5 10%	5 10%	15.03
		令和6年9月～12月(n=54)	人数(人) 割合	4 7%	9 17%	5 9%	9 17%	13.36
9	社会福祉法人 こうほうえん	令和5年9月～12月(n=22)	人数(人) 割合	4 18%	14 64%	3 14%	1 5%	3.03
		令和6年9月～12月(n=27)	人数(人) 割合	14 52%	10 37%	2 7%	0 0%	1.76
10	社会福祉法人 あさがお福祉会	令和5年9月～12月(n=17)	人数(人) 割合	1 6%	12 71%	0 0%	3 18%	4.50
		令和6年9月～12月(n=19)	人数(人) 割合	0 0%	14 74%	2 11%	1 5%	4.98
11	社会福祉法人 京都社会事業財団	令和5年9月～12月(n=48)	人数(人) 割合	19 40%	27 56%	2 4%	0 0%	1.17
		令和6年9月～12月(n=54)	人数(人) 割合	15 28%	32 59%	6 11%	1 2%	2.03
12	社会福祉法人 陽谷福祉会	令和5年9月～12月(n=23)	人数(人) 割合	4 17%	3 13%	9 39%	3 13%	8.80
		令和6年9月～12月(n=44)	人数(人) 割合	11 25%	4 9%	18 41%	6 14%	7.77
13	社会福祉法人 陽谷福祉会 (居宅介護支援)	令和5年9月～12月(n=4)	人数(人) 割合	0 0%	1 25%	2 50%	1 25%	8.19
		令和6年9月～12月(n=4)	人数(人) 割合	0 0%	1 25%	1 25%	0 0%	10.83



(2) 有給休暇の取得状況の変化

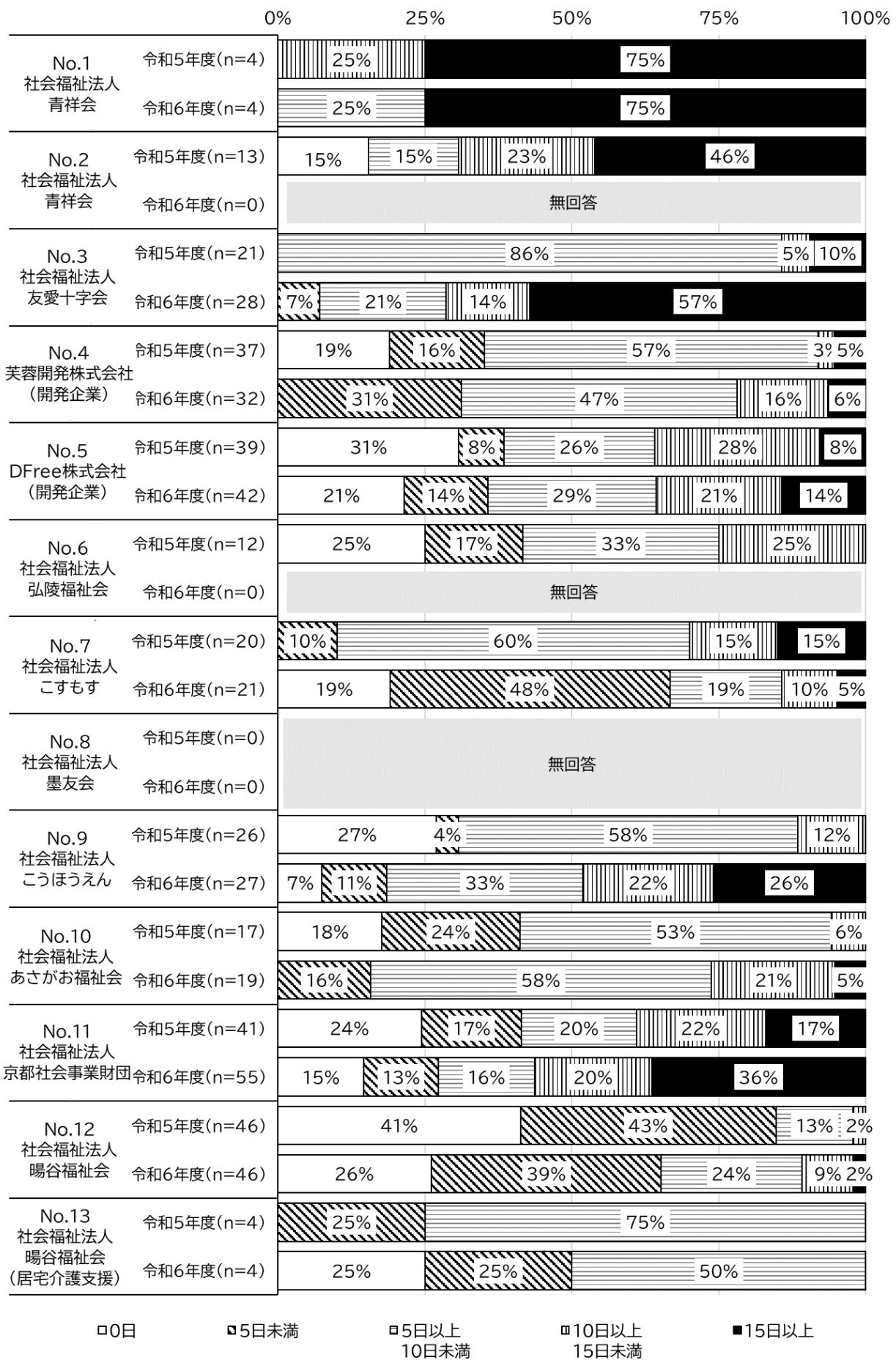
有給休暇の取得状況の変化について、採択提案別の結果は以下の通り。

なお、令和6年度の取得日数は、12か月に満たない場合、取得日数(a)を実績を把握した月(b)で除し、12か月換算した推計値(a/b×12)を算出し、以下に取りまとめた。

図表 IX-509 有給休暇の取得状況の変化(提案者別)

採択No.	提案者(法人名)	実証フィールド全体		0日	5日未満	5日以上 10日未満	10日以上 15日未満	15日以上	平均日数
1	社会福祉法人 青祥会	令和5年度(n=4)	人數(人) 割合	0 0%	0 0%	0 0%	1 25%	3 75%	17.75
		令和6年度(n=4)	人數(人) 割合	0 0%	0 0%	1 25%	0 0%	3 75%	16.33
2	社会福祉法人 青祥会	令和5年度(n=13)	人數(人) 割合	2 15%	0 0%	2 15%	3 23%	6 46%	13.71
		令和6年度(n=0)	人數(人) 割合	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	-
3	社会福祉法人 友愛十字会	令和5年度(n=21)	人數(人) 割合	0 0%	0 0%	18 86%	1 5%	2 10%	8.29
		令和6年度(n=28)	人數(人) 割合	0 0%	2 7%	6 21%	4 14%	16 57%	16.93
4	芙蓉開発株式会社 (開発企業)	令和5年度(n=37)	人數(人) 割合	7 19%	6 16%	21 57%	1 3%	2 5%	4.99
		令和6年度(n=32)	人數(人) 割合	0 0%	10 31%	15 47%	5 16%	2 6%	7.28
5	DFree株式会社 (開発企業)	令和5年度(n=39)	人數(人) 割合	12 31%	3 8%	10 26%	11 28%	3 8%	6.65
		令和6年度(n=42)	人數(人) 割合	9 21%	6 14%	12 29%	9 21%	6 14%	8.00
6	社会福祉法人 弘陵福祉会	令和5年度(n=12)	人數(人) 割合	3 25%	2 17%	4 33%	3 25%	0 0%	6.04
		令和6年度(n=0)	人數(人) 割合	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	-
7	社会福祉法人 こすもす	令和5年度(n=20)	人數(人) 割合	0 0%	2 10%	12 60%	3 15%	3 15%	8.60
		令和6年度(n=21)	人數(人) 割合	4 19%	10 48%	4 19%	2 10%	1 5%	5.15
8	社会福祉法人 墨友会	令和5年度(n=0)	人數(人) 割合	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	-
		令和6年度(n=0)	人數(人) 割合	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	-
9	社会福祉法人 こうほうえん	令和5年度(n=26)	人數(人) 割合	7 27%	1 4%	15 58%	3 12%	0 0%	6.08
		令和6年度(n=27)	人數(人) 割合	2 7%	3 11%	9 33%	6 22%	7 26%	9.51
10	社会福祉法人 あさがお福祉会	令和5年度(n=17)	人數(人) 割合	3 18%	4 24%	9 53%	1 6%	0 0%	5.26
		令和6年度(n=19)	人數(人) 割合	0 0%	3 16%	11 58%	4 21%	1 5%	8.00
11	社会福祉法人 京都社会事業団	令和5年度(n=41)	人數(人) 割合	10 24%	7 17%	8 20%	9 22%	7 17%	7.72
		令和6年度(n=55)	人數(人) 割合	8 15%	7 13%	9 16%	11 20%	20 36%	10.86
12	社会福祉法人 陽谷福祉会	令和5年度(n=46)	人數(人) 割合	19 41%	20 43%	6 13%	1 2%	0 0%	2.49
		令和6年度(n=46)	人數(人) 割合	12 26%	18 39%	11 24%	4 9%	1 2%	3.94
13	社会福祉法人 陽谷福祉会 (居宅介護支援)	令和5年度(n=4)	人數(人) 割合	0 0%	1 25%	3 75%	0 0%	0 0%	4.88
		令和6年度(n=4)	人數(人) 割合	1 25%	1 25%	2 50%	0 0%	0 0%	3.67

※n=0、平均日数「-」となっている箇所は、調査票への回答なし

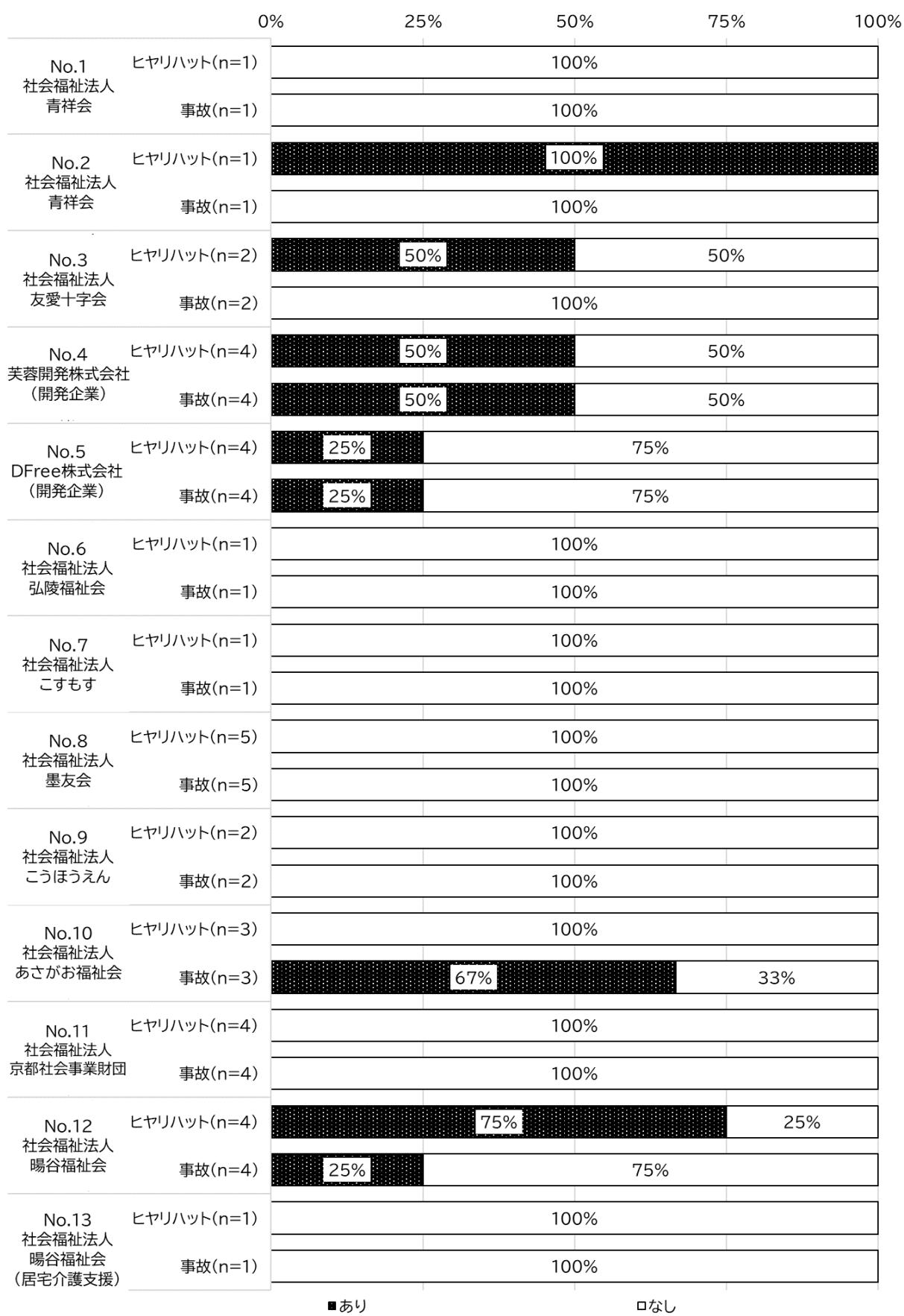


(3) 実証期間中のヒヤリハット・事故

実証期間中のヒヤリハット・事故について、採択提案別の結果は以下の通り。

図表 IX-510 実証期間中のヒヤリハット・事故の有無(提案者別)

採択 No.	提案者(法人名)	実証フィールド全体		あり	なし
1	社会福祉法人 青祥会	ヒヤリハット	施設数(件) 割合	0 0%	1 100%
		事故	施設数(件) 割合	0 0%	1 100%
2	社会福祉法人 青祥会	ヒヤリハット	施設数(件) 割合	1 100%	0 0%
		事故	施設数(件) 割合	0 0%	1 100%
3	社会福祉法人 友愛十字会	ヒヤリハット	施設数(件) 割合	1 50%	1 50%
		事故	施設数(件) 割合	0 0%	2 100%
4	芙蓉開発株式会社 (開発企業)	ヒヤリハット	施設数(件) 割合	2 50%	2 50%
		事故	施設数(件) 割合	2 50%	2 50%
5	DFree株式会社 (開発企業)	ヒヤリハット	施設数(件) 割合	1 25%	3 75%
		事故	施設数(件) 割合	1 25%	3 75%
6	社会福祉法人 弘陵福祉会	ヒヤリハット	施設数(件) 割合	0 0%	1 100%
		事故	施設数(件) 割合	0 0%	1 100%
7	社会福祉法人 こすもす	ヒヤリハット	施設数(件) 割合	0 0%	1 100%
		事故	施設数(件) 割合	0 0%	1 100%
8	社会福祉法人 墨友会	ヒヤリハット	施設数(件) 割合	0 0%	5 100%
		事故	施設数(件) 割合	0 0%	5 100%
9	社会福祉法人 こうほうえん	ヒヤリハット	施設数(件) 割合	0 0%	2 100%
		事故	施設数(件) 割合	0 0%	2 100%
10	社会福祉法人 あさがお福祉会	ヒヤリハット	施設数(件) 割合	0 0%	3 100%
		事故	施設数(件) 割合	2 67%	1 33%
11	社会福祉法人 京都社会事業財団	ヒヤリハット	施設数(件) 割合	0 0%	4 100%
		事故	施設数(件) 割合	0 0%	4 100%
12	社会福祉法人 暁谷福祉会	ヒヤリハット	施設数(件) 割合	3 75%	1 25%
		事故	施設数(件) 割合	1 25%	3 75%
13	社会福祉法人 暁谷福祉会 (居宅介護支援)	ヒヤリハット	施設数(件) 割合	0 0%	1 100%
		事故	施設数(件) 割合	0 0%	1 100%



図表 IX-511 実証期間中のヒヤリハットの内容・再発防止策

提案No.	提案者(法人名)	内容	再発防止策
2	社会福祉法人 青祥会	アムロジピン5mg 1錠/分1朝…処方指示のところ、楽くすりの登録薬が10mgだったため、そのまま処方箋に10mgが印字された。処方通り5mgを2錠で調剤した。ダブルチェックの検薬時に1錠であるはずの薬包内に2錠あり、間違いに気づいた。	登録薬に変更があれば速やかに変更する。
3	社会福祉法人 友愛十字会	0:30、定時排泄介助のため訪室すると、主がベッドよりすり落ち、壁とベッドの隙間にしゃがみ込むような姿勢となっていた。主はベッド柵を持ちておられることが多く、普段は体動があっても基本的にベッド上方で臥床されている。また、両足をやや曲げた姿勢で休まれることが多いため、足先がベッド柵の外に出ることはほぼなく、仮に出たとしても、ベッド柵を持ちされていることや、体重や重心のバランスから、容易に転落するとは考えにくい。よって本件発生時は通常の臥床位置よりもかなり下方(足元側)に臥床されていたと考えられる。当時、自動体位変換機能付きのエアマットが動作中であり、自動体位変換機能によって臥床位置がずれていき、転落に至ったのではないかと推測する。	自動体位変換機能付きエアマットの使用を一時中止とする。
4	芙蓉開発株式会社 (開発企業)	施設外周の散歩実施中、杖歩行で歩かれていた入居者が疲れたので車椅子に移乗した時に本人に杖を持たせたままだった。するとその入居者が杖を落とされて前かがみになられた時、前のめりに車椅子が傾いた。	車椅子対応している時に、物は持たせないように職員同士声掛けを行い安全に注意を払う。
4	芙蓉開発株式会社 (開発企業)	夕食後、所在確認に訪室。居室へは上履きだけが残されており施設内を探したところ、他入居者の居室へ靴下のみで行っていた。	認知症もあり、いつ何処へ徘徊されるのか予想がつかないので、眠りスキャンと目視を併用しながら所在確認を定期的に行う。
4	芙蓉開発株式会社 (開発企業)	夕食後薬を服用する時に翌日の朝食後薬も一緒にセットされていた。バタバタしており、二人で確認することをしていなかった。	ダブルチェックし、服薬前にもう一度確認することを再度徹底し、全職員で共有する。バタバタしない時間帯の夜勤出勤者と申し送りの時間に確認することを統一した。
4	芙蓉開発株式会社 (開発企業)	パソコンで見守り機器の画面を確認すると離床になっているが音が鳴らなかった。パソコンの音量が0(ゼロ)になっていたのが原因。	パソコンでの音量調整は基本触らないことを徹底する。故障も考えられるため、夜間帯前に必ず鳴るか確認するよう統一した。
5	DFree 株式会社 (開発企業)	入居者様が自分で服薬をした際、床に落としてしまった。	・口に入れ、飲み込むまで見守りをする。 ・エプロンやタオルを膝に敷き、床に落ちるのを防ぐ。
12	社会福祉法人 暁谷福祉会	見守り機器の画面では良眠と表示されていたが、実際に訪室して確認すると開眼され、起きていた。	画面の表示上では良眠となっていても、実際に居室を訪問して睡眠状態を確認する。
12	社会福祉法人 暁谷福祉会	見守り機器からの反応が無く、画面確認が行えずに対応が遅れた。 通信エラーの状態になっていた。	見守り機器に接続している LAN ケーブルを差し直し、本体を再起動することで通信が再開した。日勤者は退勤前に通信エラーが無いかを確認するようにする。
12	社会福祉法人 暁谷福祉会	移乗支援機器導入時、立位介助の際に利用者様の腕がすり抜けて落ちそうになった為、支える。	十分に前傾姿勢が取れていなかつたことが原因と考えられる。
12	社会福祉法人 暁谷福祉会	インカムを使用して連絡したが、相手側の端末がネットワークエラーになっており、伝わっていなかつた。	フロアを離れた後などは、ネットワークが繋がっているか確認するように職員間で周知を行う。

図表 IX-512 実証期間中のヒヤリハットの内容・再発防止策

提案No.	提案者(法人名)	内容	再発防止策
4	芙蓉開発株式会社 (開発企業)	いつもは開けない廊下の開閉センサー付きの掃き出し窓を換気のために開けていたところ、「家に帰りたい」と言っていた認知症の入居者が外に出ていた。	家に帰りたいと本人が言われていたので、ご家族に協力を求めて電話で声を聞いてもらって安心してもらう。掃き出し窓の開閉には十分注意する。
4	芙蓉開発株式会社 (開発企業)	見守り機器の離床検知音が鳴り駆けつけると、ポータブルトイレと車椅子の間に座り込まれていた。移乗の際に座り損ねた様子。	本人にはトイレに行きたい時はナースコールを押してくださいと再度お願いをする。居室方向へ向かわれているのに気づいた時は、見守りを強化しその後の観察を行う。
4	芙蓉開発株式会社 (開発企業)	夜間コールあり、訪室するとベッド付近の床に座つておられた。ティッシュをとろうとしたら転んだと話される。	ティッシュはベッド上に置いて休んでいただく。他には普段使われているものや興味がありそうなものには目に届かないようにおく。見守り機器は起きようとした時点で音がなるよう設定し、転落、転倒の予防をしていく。
5	DFree 株式会社 (開発企業)	トイレにて、排泄が終わり立ち上がった際に、床にこぼれた尿で足を滑らせて転倒した。	便座の隙間から尿漏れしていたため、ビニールでカバーをして床に尿がこぼれるのを防止した。 排泄の前後の見守りの強化をした。
10	社会福祉法人 あさがお福祉会	夜勤明けの職員が介護記録ソフト入力用端末をズボンのポケットに入れたまま、気付かずに持ち帰ってしまった。	制服のズボンのポケットに入れてしまうと端末がコンパクトで薄型なので動いていても気付きにくい。ポケットに入れないようにし、ストラップをつける。 退勤前にズボンのポケットの確認を習慣化する。(ロッカールームのドア、職員用通用口に注意喚起を掲示) 退勤時に充電場所に端末を戻す際に、数が揃っているかを確認する。
10	社会福祉法人 あさがお福祉会	日勤の看護師が介護記録ソフト入力用端末を使用した後、ログアウトの作業を忘れて返却した。その後夜勤者が同端末をログインしたまま使用し、夜勤者の記録が別の職員の名前で入力されてしまった。	端末の使用に慣れるまで、日中各ユニット用、看護師用、夜勤用と端末を分けて使用するようにし、それぞれの端末に表示を行った。 発生した事例を共有して注意喚起を行うと共に、マニュアルの見直しを行った。
12	社会福祉法人 湯谷福祉会	利用者対応中、見守り機器で他利用者の離床検知があり、対応終了後に訪室したが尻もちをつかれていた。	継続して確認用端末を持ち歩いて業務を行うように周知を行う。

X. 実証結果:匿名調査

1. 調査概要

(1) 調査目的

介護ロボット等による生産性向上の取組について、利用者家族の忌憚ない意見を把握することを目的とし、匿名調査を行った。

(2) 調査対象

実証対象となった施設の利用者家族を対象に調査を行った。

(3) 調査方法

施設のご協力をいただき、実証対象の利用者家族に協力依頼の文書を配布し、QRコードよりWEBアンケートに回答いただいた。なお、本調査については任意回答とした。

(4) 調査項目

調査項目は、以下の通り。

図表 X-1 匿名調査の調査項目

調査項目
<ul style="list-style-type: none">● ご家族が入所されている施設名● 介護ロボット等を活用したケアについての満足度● 満足度の理由● 介護ロボットやテクノロジーの導入、介護現場の生産性向上についてのご意見● 機器の活用を通じて、ご家族に感じた変化

(5) 回収状況

回収状況は、以下の通り。

図表 X-2 テーマ別の回収状況

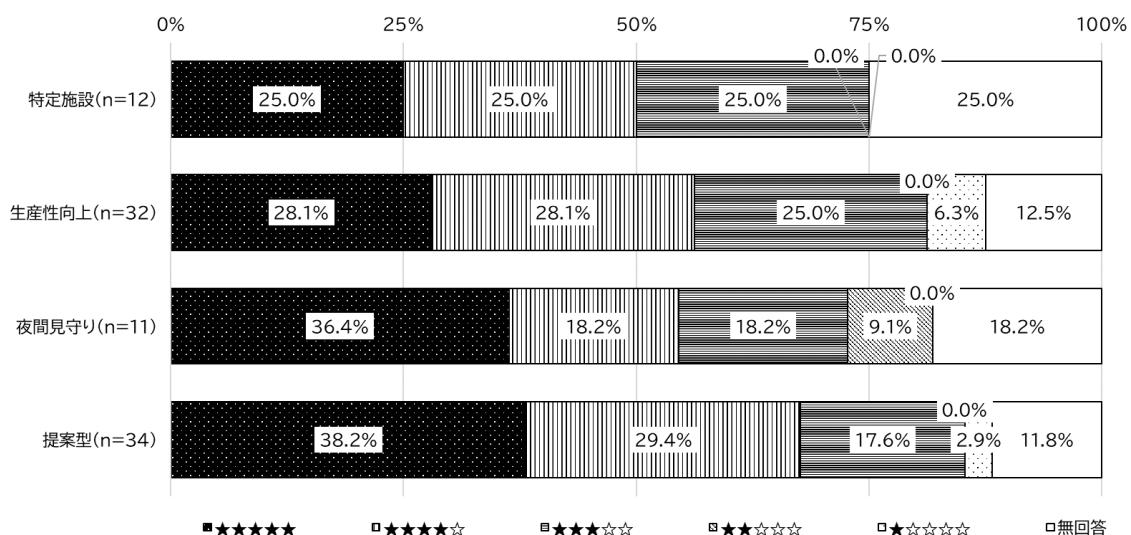
	テーマ	回答件数
1	特定施設	12
2	生産性向上	32
3	夜間見守り	11
4	提案型	34
	合計	89

2. 調査結果

(1) 機器の導入や機器を使ったケアについての満足度

機器の導入や機器を使ったケアについての満足度は以下の通り。

図表 X-3 機器の導入や機器を使ったケアについての満足度



※満足度の理由に関して「実態がよくわからない」等の回答は無回答として集計。

(2) 満足度の理由、介護ロボット等の生産性向上の取組についての自由意見

満足度の理由、介護ロボット等による生産性向上の取組についての自由意見は以下の通り。

テーマ	主な回答
特定施設	<ul style="list-style-type: none">面会に来たら、スタッフがインカムを使い、いつもよりやりとりしていた気がする。(★3)先日データを少し見せていただき、こんな風にケアしていただけていたとわかった。時々データを開示していただけるとありがたい。(★4)ベッドの下にセンサーがあって、忙しそうなスタッフに対しても父に対しても優しい。(★4)少ない人員でもいかに多様性に応えるかを追求してくれていることも含めて、本施設を選んだ。今回の実証実験のことも聞いており、いろんな取り組みを試してみる点も含め、好印象です。(★5)インカムでのやり取りに耳を傾けてみると、日頃家族には見えないスタッフ同士のやりとりが聞こえて来て、親を預けていることに安心できた(★5)
生産性向上	<ul style="list-style-type: none">上手く使用してもらえば良いと思います(★1)看護介護職員が優しく気を遣ってもらっている。(★3)安全に十分配慮願います。(★3)どの職種でも人材不足の中で、それを解消するための方法があるのであれば利用するのは賛成です。ただ介護の場合、人ととの関わりが欠かせない場面

テーマ	主な回答
	<p>があると思うので、どの場面で導入、利用するのかを選択していく事も重要なと思います。(★3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実際現場で見たわけでは無いのですが、テレビ番組でロボットを導入したり犬猫を飼ったりで入所者さんたちの表情が明るくなったのを見たことがあり、人手不足の業界で現場の方々の負担軽減になるのであれば一石二鳥だと思っています。(★4) ● スタッフの方々には「人」でしかできないケアや介護に専念していただくことが願いです。日頃から介護には愛情やぬくもりというものが大切だと感じています。その点で家族にとっては安心できる施設です。(★4) ● ロボットでも大丈夫な所は、便利で良いと思います。(★4) ● 介護者の負担軽減となり、その分多方面に目が届いて危機管理に繋がる。(★5) ● 眠っている時間、起きている時間など画像を見せて説明してくれるので分かりやすい。(★5) ● 職員さんの肉体的負担を軽減できている。(★5)
夜間見守り	<ul style="list-style-type: none"> ● 見守りのシステムのレベルが低い。状況の確認しか出来ない。誤報が多すぎる。業務の一部しか軽減出来ていない。(★2) ● 利用者側に時間を使ってもらえる。(★3) ● 機械を使うことで良く見守りができる。(★4) <p>⑩ 寝ている状態を知ることができ、適切な心拍数などを把握してもらっていると思っています。(★5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スタッフが丁寧に介護している様子がうかがえ、ロボットやテクノロジーが少しでも生産性向上に繋がることを期待します。(★5)
提案型	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設職員の方の体力的効率化。介護される人口も増えるにあたり、考えて行かなければいけない問題点だと思います。(★1) ● 導入していることは知っているが、実際の効果については具体的に知らされていないため評価が難しい。しかしながら、介護現場における人手不足は深刻と思われるため、ITの積極活用導入は必須と考えられる。利用者によっては、プライバシー等において抵抗感を感じると思われるため、配慮も必要と思う。(★3) ● 導入により安心感が増す。(★3) ● センサーがあり、安心出来る。(★4) ● 自分で表現できないことを映像で確認して適切に対応していただけるから、とてもよいと思います。大変な介護の仕事を少しでも助けとなるようなロボットなど、どんどん活用してほしいと思います。(★4) ● 夜間眠れている事がわかる。(★4) ● いつでもどこでも何が起きても、職員の方に状況が把握してもらえるので、すごく安心できます。(★5) ● 人の目が届かない所も機械が見守ってくれるから安心だと思います。(★5) ● 誤ってベットから転倒したりした時に早期にわかるため安心だと思う。(★5)

(3) 機器の活用を通じて、家族に感じた変化についての自由意見

テーマ	主な回答
特定施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 特に感じない。 ● 感じる点はありません。おそらく、スタッフにしかわからない変化ではないでしょうか。新たな取り組みをし続ける姿勢というのは、働くスタッフや我々家族にとっては、結果以上に姿勢を評価しています。 ● 特に感じる点はなかったのですが、介護以外の雑務などを補助する方がたくさんいるとスタッフは余裕を持てるかなと思いました。
生産性向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 特に無し。 ● 大きな変化は無い。 ● 笑顔が多くなった。 ● 安心し、幸福度が向上していると思います。 ● 楽しくすごしてくれている事や、夜間のことなどをわかりやすく教えて下さるので、過ごし方がよくわかって良い。
夜間見守り	<ul style="list-style-type: none"> ● 特に無い。 ● 見てもらっている安心感。 ● 呼吸回数や心拍数、睡眠時間等、介護施設で、あらゆる医療面で健康管理している事が最先端だと思った。
提案型	<ul style="list-style-type: none"> ● 特に無し。 ● まだ入ったばかりなのでまだ実感がありません。 ● よく転倒するのでその理由が知れたことで、何も知らないより安心はしている。 ● 父は夜中に何度か起き上がるでこの見守りシステムのおかげでスタッフの方に気づいてもらえてありがたいと思いました。 ● 体調が悪くてもすぐに対応してくれるので、以前より元気になっている気がします。 ● 機械なのか、職員さんの対応なのかわかりませんが、笑顔が増えて穏やかになっております。会話も増えました。

以上

XI. 生産性向上推進体制加算 報告データ分析

1. 調査概要

(1) 調査目的

生産性向上推進体制加算の算定に当たって、厚生労働省に報告されたデータを分析し、生産性向上の取組の成果等を把握することを目的として実施した。

(2) 調査対象

令和6年12月19日までに、電子申請・届出システムにおいて報告があった全データを集計対象とした。

(3) 集計方法

電子申請・届出システムにおいて報告するデータは、事業年度毎に1回報告する生産性向上の取組に関する様式のデータであり、今年度は事前・事後の比較可能なデータは収集していないため、各加算において報告されたデータの単純集計・サービス別集計のみを提示する。

2. 調査結果

(1) 報告データの概況

令和6年12月19日までに、電子申請・届出システムにおいて報告があったデータは以下の通り。

図表 XI-1 報告データの概況

	事業所数			割合	
	加算（Ⅰ）算定	加算（Ⅱ）算定	合計	加算（Ⅰ）算定	加算（Ⅱ）算定
短期入所生活介護	2	33	35	5.7%	94.3%
短期入所療養介護	0	10	10	0.0%	100.0%
特定施設入居者生活介護	0	23	23	0.0%	100.0%
小規模多機能型居宅介護	0	7	7	0.0%	100.0%
認知症対応型共同生活介護	2	30	32	6.3%	93.8%
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	4	4	0.0%	100.0%
地域密着型介護老人福祉施設	2	12	14	14.3%	85.7%
看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	-	-
介護老人福祉施設	2	60	62	3.2%	96.8%
介護老人保健施設	3	39	42	7.1%	92.9%
介護医療院	0	4	4	0.0%	100.0%
介護予防短期入所生活介護	0	10	10	0.0%	100.0%
介護予防短期入所療養介護	0	7	7	0.0%	100.0%
介護予防特定施設入居者生活介護	0	7	7	0.0%	100.0%
介護予防小規模多機能型居宅介護	0	1	1	0.0%	100.0%
介護予防認知症対応型共同生活介護	0	2	2	0.0%	100.0%
総数（重複除く実数）	11	246	257	4.3%	95.7%

(2) 集計対象サービスの分類

報告されたデータはサービスによってばらつきがあるため以下の分類で集計を実施した。

図表 XI-2 集計データの概況

	事業所数			割合	
	加算（Ⅰ）算定	加算（Ⅱ）算定	合計	加算（Ⅰ）算定	加算（Ⅱ）算定
介護老人福祉施設※地域密着型含	4	72	76	5.3%	94.7%
介護老人保健施設	3	39	42	7.1%	92.9%
認知症対応型共同生活介護※予防含	2	32	34	5.9%	94.1%
特定施設入居者生活介護※予防含	0	34	34	0.0%	100.0%
短期入所	2	59	61	3.3%	96.7%
総数（重複除く実数）	11	234	245	4.5%	95.5%

(3) 人員配置の状況

人員配置の状況は以下の通り。様式上は「(常勤換算方式)利用者3(人):介護職員 ○(人)」としての回答としているが、回答にエラーがある可能性があることに留意が必要である。

図表 XI-3 サービス別・算定加算別 人員配置の状況

利用者3(人):介護職員の人数	事業所数	割合								平均値	中央値	
		1人未満	1人	1人超 1.5人以下	1.5人超	合計	1人未満	1人	1人超 1.5人以下	1.5人超		
介護老人福祉施設 (地域密着型含)	加算(Ⅰ)	0	0	2	2	4	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	3.60	3.15
	加算(Ⅱ)	0	19	28	25	72	0.0%	26.4%	38.9%	34.7%	3.36	1.35
介護老人保健施設	加算(Ⅰ)	0	1	2	0	3	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	1.07	1.10
	加算(Ⅱ)	2	12	9	16	39	5.1%	30.8%	23.1%	41.0%	7.75	1.20
認知症対応型共同生活介護 (介護予防含)	加算(Ⅰ)	0	1	1	0	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	1.10	1.10
	加算(Ⅱ)	1	10	1	20	32	3.1%	31.3%	3.1%	62.5%	3.13	2.00
特定施設入居者生活介護 (地域密着型・介護予防含)	加算(Ⅰ)	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	加算(Ⅱ)	4	15	5	10	34	11.8%	44.1%	14.7%	29.4%	3.26	1.00
短期入所生活介護 短期入所療養介護	加算(Ⅰ)	0	0	0	2	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	2.25	2.25
	加算(Ⅱ)	2	19	20	18	59	3.4%	32.2%	33.9%	30.5%	2.77	1.20
合計	加算(Ⅰ)	0	2	5	4	11	0.0%	18.2%	45.5%	36.4%	2.21	1.30
	加算(Ⅱ)	9	75	63	87	234	3.8%	32.1%	26.9%	37.2%	3.91	1.20

(4) 利用者の状況

WHO-5(精神的健康状態表)の結果は以下の通り。

図表 XI-4 サービス別・算定加算別 WHO-5の状況

	利用者数	割合								
		0点～6点	7点～13	14点～19	20点～25	合計	0点～6点	7点～13	14点～19	20点～25
介護老人福祉施設 (地域密着型含)	加算(Ⅰ)	1	9	8	2	20	5.0%	45.0%	40.0%	10.0%
	加算(Ⅱ)	20	114	200	93	427	4.7%	26.7%	46.8%	21.8%
介護老人保健施設	加算(Ⅰ)	7	2	5	3	17	41.2%	11.8%	29.4%	17.6%
	加算(Ⅱ)	24	108	129	79	340	7.1%	31.8%	37.9%	23.2%
認知症対応型共同生活介護 (介護予防含)	加算(Ⅰ)	0	0	3	8	11	0.0%	0.0%	27.3%	72.7%
	加算(Ⅱ)	27	49	75	46	197	13.7%	24.9%	38.1%	23.4%
特定施設入居者生活介護 (地域密着型・介護予防含)	加算(Ⅰ)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	加算(Ⅱ)	14	49	94	90	247	5.7%	19.8%	38.1%	36.4%
短期入所生活介護 短期入所療養介護	加算(Ⅰ)	0	2	2	4	8	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%
	加算(Ⅱ)	13	95	153	99	360	3.6%	26.4%	42.5%	27.5%
合計	加算(Ⅰ)	8	13	18	17	56	14.3%	23.2%	32.1%	30.4%
	加算(Ⅱ)	98	409	639	407	1,553	6.3%	26.3%	41.1%	26.2%

生活・認知機能尺度の結果は以下の通り。

図表 XI-5 サービス別・算定加算別 生活・認知機能尺度の状況

		利用者数					割合			
		7点～14	15点～21	22点～28	29点～35	合計	7点～14	15点～21	22点～28	29点～35
介護老人福祉施設 (地域密着型含)	加算 (I)	4	7	8	1	20	20.0%	35.0%	40.0%	5.0%
	加算 (II)	80	124	126	98	428	18.7%	29.0%	29.4%	22.9%
介護老人保健施設	加算 (I)	3	2	3	9	17	17.6%	11.8%	17.6%	52.9%
	加算 (II)	63	84	103	85	335	18.8%	25.1%	30.7%	25.4%
認知症対応型共同生活介護 (介護予防含)	加算 (I)	1	2	5	3	11	9.1%	18.2%	45.5%	27.3%
	加算 (II)	52	68	59	23	202	25.7%	33.7%	29.2%	11.4%
特定施設入居者生活介護 (地域密着型・介護予防含)	加算 (I)	0	0	0	0	0	-	-	-	-
	加算 (II)	29	48	59	109	245	11.8%	19.6%	24.1%	44.5%
短期入所生活介護	加算 (I)	0	2	5	1	8	0.0%	25.0%	62.5%	12.5%
	加算 (II)	55	101	114	89	359	15.3%	28.1%	31.8%	24.8%
合計	加算 (I)	8	13	21	14	56	14.3%	23.2%	37.5%	25.0%
	加算 (II)	278	415	455	403	1,551	17.9%	26.8%	29.3%	26.0%

(5) 職員の状況

職員 1 人あたり 1 月あたり総業務時間の結果は以下の通り。介護老人福祉施設、介護老人保健施設および認知症対応型共同生活介護では、加算 (I) を算定している事業所は加算 (II) を算定している事業所と比較して職員 1 人あたり総業務時間の平均が低い結果であった。

図表 XI-6 サービス別・算定加算別 職員 1 人あたり1月あたり総業務時間の状況

職員1人あたり総業務時間	事業所数					割合				平均値	中央値
	140時間未満	140時間以上150時間未満	150時間以上160時間未満	160時間以上	合計	140時間未満	140時間以上150時間未満	150時間以上160時間未満	160時間以上		
介護老人福祉施設 (地域密着型含)	加算 (I)	1	1	2	0	4	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	139.9
	加算 (II)	14	17	16	25	72	19.4%	23.6%	22.2%	34.7%	150.6
介護老人保健施設	加算 (I)	1	1	0	1	3	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	136.2
	加算 (II)	12	10	9	8	39	30.8%	25.6%	23.1%	20.5%	147.2
認知症対応型共同生活介護 (介護予防含)	加算 (I)	0	1	1	0	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	148.0
	加算 (II)	8	7	6	11	32	25.0%	21.9%	18.8%	34.4%	149.6
特定施設入居者生活介護 (地域密着型・介護予防含)	加算 (I)	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	加算 (II)	8	10	4	12	34	23.5%	29.4%	11.8%	35.3%	147.6
短期入所生活介護 短期入所療養介護	加算 (I)	0	0	0	2	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	175.5
	加算 (II)	13	11	11	24	59	22.0%	18.6%	18.6%	40.7%	151.1
合計	加算 (I)	2	3	3	3	11	18.2%	27.3%	27.3%	27.3%	146.8
	加算 (II)	54	55	46	79	234	23.1%	23.5%	19.7%	33.8%	149.6

職員 1 人あたり1月あたり超過勤務時間の結果は以下の通り。令和5年度介護労働実態調査結果においては、「1週間の平均的な残業時間」は1.6 時間であり、1月当たりに換算すると1.6 時間/週÷7日×30日=6.86 時間であった。加算(Ⅰ)、加算(Ⅱ)算定施設いずれも平均時間は当該結果を下回る結果であった。

図表 XI-7 サービス別・算定加算別 職員 1 人あたり1月当たり超過勤務時間

職員1人あたり超過勤務時間		事業所数					割合				平均値	中央値
		1時間未満	1時間以上5時間未満	5時間以上	10時間以上	合計	1時間未満	1時間以上	5時間以上	10時間以上		
介護老人福祉施設 (地域密着型含)	加算(Ⅰ)	1	1	0	2	4	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	6.2	3.9
	加算(Ⅱ)	16	28	15	13	72	22.2%	38.9%	20.8%	18.1%	6.0	3.0
介護老人保健施設	加算(Ⅰ)	1	2	0	0	3	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	1.4	1.4
	加算(Ⅱ)	11	11	9	8	39	28.2%	28.2%	23.1%	20.5%	6.8	4.2
認知症対応型共同生活介護 (介護予防含)	加算(Ⅰ)	0	2	0	0	2	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	3.5	3.5
	加算(Ⅱ)	10	8	7	7	32	31.3%	25.0%	21.9%	21.9%	6.0	3.5
特定施設入居者生活介護 (地域密着型・介護予防含)	加算(Ⅰ)	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	加算(Ⅱ)	11	6	7	10	34	32.4%	17.6%	20.6%	29.4%	7.5	5.3
短期入所生活介護	加算(Ⅰ)	0	1	1	0	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	5.2	5.2
	加算(Ⅱ)	7	22	19	11	59	11.9%	37.3%	32.2%	18.6%	6.2	5.2
合計	加算(Ⅰ)	2	6	1	2	11	18.2%	54.5%	9.1%	18.2%	4.0	2.8
	加算(Ⅱ)	55	74	56	49	234	23.5%	31.6%	23.9%	20.9%	6.4	3.9

職員 1 人あたり1年あたり有給休暇の取得日数の結果は以下の通り。令和5年度介護労働実態調査結果においては、有給休暇の取得日数は平均 7.9 日であった。いずれの区分においても当該結果を上回る結果であった。

図表 XI-8 サービス別・算定加算別 職員 1 人あたり1年あたり有給休暇取得日数

有給休暇の取得状況		事業所数					割合				平均値	中央値
		5日未満	5日以上10日未満	10日以上15日未満	15日以上	合計	5日未満	5日以上10日未満	10日以上15日未満	15日以上		
介護老人福祉施設 (地域密着型含)	加算(Ⅰ)算定	0	3	1	0	4	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	9.1	8.9
	加算(Ⅱ)算定	5	31	32	4	72	6.9%	43.1%	44.4%	5.6%	9.8	10.1
介護老人保健施設	加算(Ⅰ)算定	0	2	1	0	3	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	9.2	9.3
	加算(Ⅱ)算定	0	17	19	3	39	0.0%	43.6%	48.7%	7.7%	11.0	10.4
認知症対応型共同生活介護 (介護予防含)	加算(Ⅰ)算定	0	1	0	1	2	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	11.5	11.5
	加算(Ⅱ)算定	3	8	18	3	32	9.4%	25.0%	56.3%	9.4%	10.8	10.9
特定施設入居者生活介護 (地域密着型・介護予防含)	加算(Ⅰ)算定	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
	加算(Ⅱ)算定	4	16	9	5	34	11.8%	47.1%	26.5%	14.7%	9.7	9.2
短期入所生活介護	加算(Ⅰ)算定	0	0	1	1	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	21.5	21.5
	加算(Ⅱ)算定	3	24	28	4	59	5.1%	40.7%	47.5%	6.8%	10.7	10.3
合計	加算(Ⅰ)算定	0	6	3	2	11	0.0%	54.5%	27.3%	18.2%	11.8	9.8
	加算(Ⅱ)算定	15	95	105	19	234	6.4%	40.6%	44.9%	8.1%	10.4	10.2

參考資料

令和 6 年度
「介護ロボット等による生産性向上の取組に関する効果測定事業」報告書
発 行:令和 7 年(2025)年 3 月
発行者:厚生労働省 老健局高齢者支援課
〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
電話 03-5253-1111(代表)